

令和 3 年度

植物防疫年報

三重県病害虫防除所

三重県内で新たに発生がみられた病害虫

トマト立枯病

(病害虫発生特殊報第1号、令和3年8月4日発表)



目 次

I	病虫害防除所の組織と業務	1
1.	病虫害防除所の業務内容	1
2.	病虫害防除所の組織図	1
II	病虫害防除員の設置及び活動状況	4
1.	病虫害防除員の配置	4
2.	病虫害防除員の活動状況	5
III	病虫害発生予察に関する業務	6
1.	病虫害発生予察の対象作物及び有害動植物	6
(1)	指定有害動植物名	6
(2)	指定外有害動植物名	7
2.	病虫害発生予察の調査圃場	8
(1)	県予察圃場	8
(2)	予察灯・トラップ	8
(3)	その他の調査圃場	8
(4)	ミバエ類等侵入警戒調査圃場	11
(5)	火傷病侵入警戒調査圃場	11
(6)	調査地点図	12
3.	作物別の病虫害発生状況	13
(1)	水稲	13
(2)	麦類	17
(3)	大豆	18
(4)	果樹	20
(5)	茶	25
(6)	野菜	27
(7)	全作物一覧	28
4.	病虫害の発生面積と防除面積	33
5.	発行された予察情報	35
(1)	発生予察情報の一覧	35
(2)	予報	36
(3)	注意報	85
(4)	特殊報	85
(5)	技術情報	86

IV 事業関係の試験成績	93
1. 診断対策	93
(1) 灰色かび病の薬剤感受性検定	93
(2) ミカンハダニの薬剤感受性検定	96
V 農薬の指導に関する業務	98
1. 農薬危害防止対策	98
(1) 農薬危害防止運動の実施	98
(2) 農薬安全使用講習会の開催状況	98
(3) ゴルフ場の調査点検実施状況	99
(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類の発生状況	100
(5) ゴルフ場におけるシバツトガの発生状況	101
2. 無人航空機による空中散布の実施状況	102
VI 各種データ	103
1. トラップ等データ	103
(1) 予察灯	103
(2) フェロモントラップ	117
(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査	120
(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査	120
(5) ミバエ類等侵入警戒調査	121
(6) 火傷病侵入警戒調査	122
2. 巡回等データ	123
(1) 水稲	123
(2) 麦類	136
(3) 大豆	137
(4) 果樹	139
(5) 茶	164
(6) 野菜	173
3. 気象データ	187
(1) 気象概況	187
(2) 旬別気象表	188
(3) 気象グラフ	189

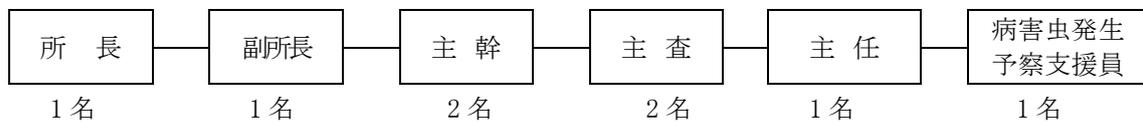
I 病虫害防除所の組織と業務

1. 病虫害防除所の業務内容

植物防疫法関係	発生予察業務	病虫害発生事業に関すること 病虫害発生予察情報の発行に関すること
	防除指導業務	病虫害防除の企画・調査・指導に関すること 病虫害防除員に関すること 航空防除に関すること
農薬取締法関係	農薬安全対策業務	農薬適正使用啓発・登録情報に関すること 農薬使用者・取扱者の指導・取締に関すること ゴルフ場の農薬安全使用指導等に関すること 農薬管理指導士に関すること

2. 病虫害防除所の組織図

(1) 事務の体制



発生予察従事職員		
農業研究所	農産物安全安心研究課	1名
	茶業研究課	1名
	伊賀農業研究課	1名
	紀南果樹研究課	1名

(2) 発生予察の体制

所外からの情報 → 病虫害防除所

ア. 調査依頼

発生予察従事職員

・農業研究所 4人

病虫害防除員

・市町 29人

・共済 7人

・広域 7人

1法人

予察灯調査委託

・県予察灯 2人

ア. 調査・研究

・県予察圃場

・地区予察圃場

・巡回調査圃場

・侵入警戒調査圃場

イ. 検討

・所内検討会

・三重県病虫害

発生予察警報

発令検討会等

イ. 情報検討

病虫害発生予察情報会議

・農産園芸課

・病虫害防除所

・中央・地域農業改良普及センター

・農業研究所

・農業共済組合・その他関係機関

ウ. 情報交換

植物防疫関係諸会議

・農林水産省関連

・日本植物防疫協会(JPP)関連

予察用の主な機器類 ()は導入年度

・予察灯 6台(H16、21、22、23、24、28)

・人工気象器 1台(H7)

・定温恒温器 1台(H30)

・光学顕微鏡 1台(S61)

・実体顕微鏡 2台(S61、R2)

・乾燥器 1台(S61)

→ 情報の発信

ア. 情報提供先等

	県内					県外	
	農業者	防除員	農業団体	市町	県機関	国機関	他県
予報	AD E	AB	AB	A	A	A C	C
技術情報	E	AB	AB	A	A	A C	C
報告						A C	

イ. 情報の内容

予報:発生予報、注意報、警報、特殊報

技術情報:防除に関する情報

報告:現況報告、年次報告

ウ. 発信の方法

A:eメール、ファックス

B:郵送、運搬

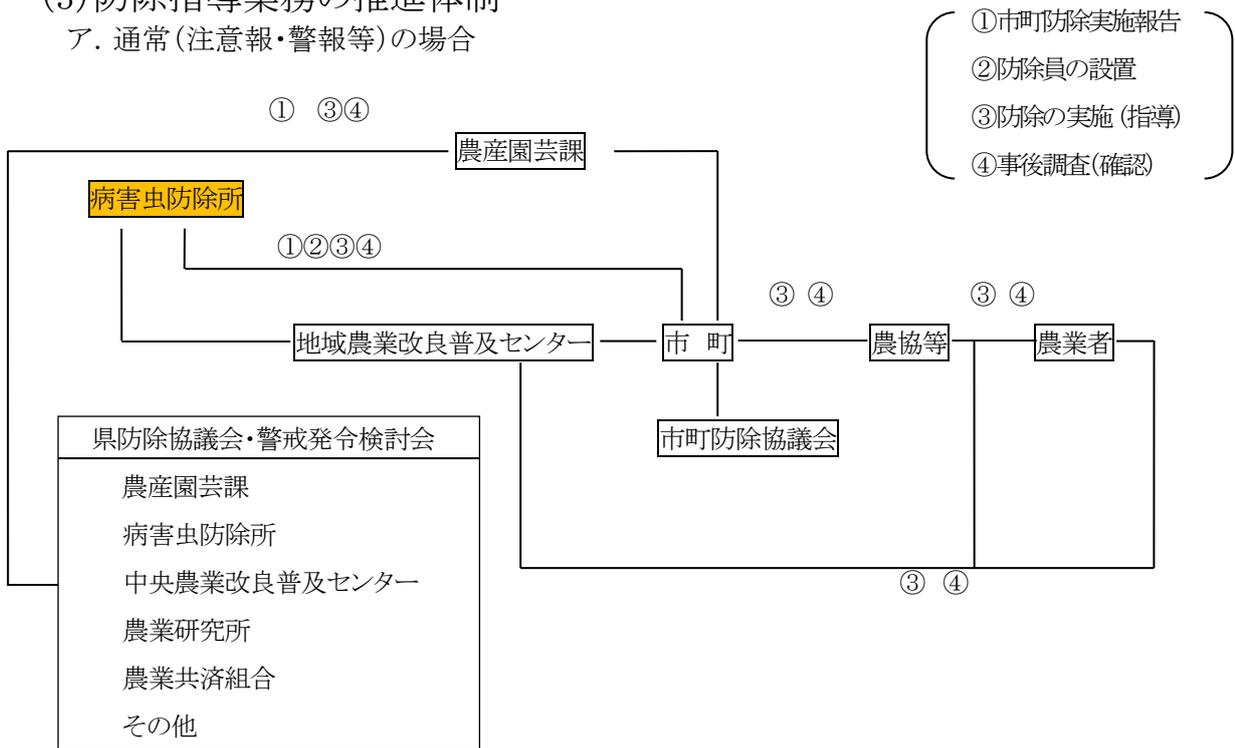
C:JPP-NET(植物防疫情報総合ネットワーク)および発生予察集計プログラム(農林水産省)

D:報道機関(農産園芸課・病虫害防除所)

E:ホームページ

(3) 防除指導業務の推進体制

ア. 通常(注意報・警報等)の場合

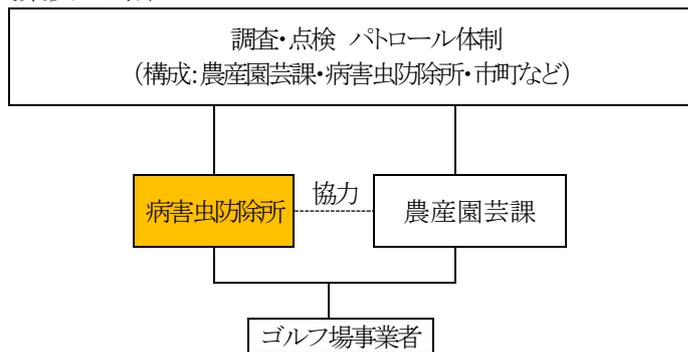


イ. 緊急(緊急防除・防除勧告)の場合

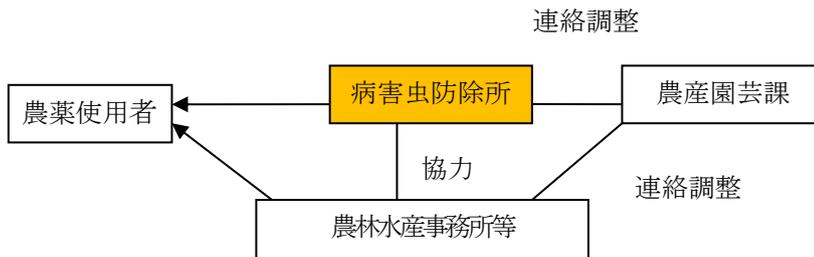
国から植物防疫法第17条による緊急防除(侵入病害虫など)や第30条による防除勧告(防除が未実施・不適切など)を受けた場合、農産園芸課は「三重県緊急防除対策会議」を組織し、速やかに防除を実施する。

(4) 農薬安全対策の推進

ア. ゴルフ場の農薬安全対策



イ. 農薬使用者の監視指導



II 病虫害防除員の設置及び活動状況

1. 病虫害防除員の配置

(1) 配置状況(所属別地域別配置人数)

地区	市町	農業共済組合等	広域	合計
桑名	4	1	1(法人)	6
四日市鈴鹿	6	1	2(うち法人1)	8
津	1	1	1	3
松阪	4	1	1	6
伊勢志摩	7	1	1	9
伊賀	2	1	1	4
紀州	5	1	1	7
合計	29	7	7(うち法人1)	43(うち法人1)

(2) 病虫害防除員所属

①市町関係(29名)

市町名	所属	市町名	所属
桑名市	農林水産課	伊勢市	農林水産課
いなべ市	農林課	玉城町	産業振興課
木曾岬町	産業課	南伊勢町	水産農林課
東員町	産業課	大紀町	農林課
四日市市	農水振興課	度会町	産業振興課
菰野町	観光産業課	鳥羽市	農水商工課
朝日町	産業建設課	志摩市	農林課
川越町	産業建設課	伊賀市	農林振興課
鈴鹿市	農林水産課	名張市	農林資源室
亀山市	産業振興課	尾鷲市	水産農林課
津市	農林水産政策課	紀北町	農林水産課
松阪市	農水振興課	熊野市	農業振興課
明和町	農水商工課	御浜町	農林水産課
多気町	農林商工課	紀宝町	産業建設課
大台町	産業課		

②農業共済組合(7名)

組合名
三重県農業共済組合 桑員支所
三重県農業共済組合 三泗鈴亀支所
三重県農業共済組合 津支所
三重県農業共済組合 松阪飯多支所
三重県農業共済組合 伊勢地域支所
三重県農業共済組合 伊賀名張支所
三重県農業共済組合 東紀州支所

③広域関係(6名および1法人)

担当地域名	氏名
桑員地域	三重北農業協同組合
三泗地域	三重北農業協同組合
鈴亀地域	平野 三男
津市地域	鈴木 功
松阪飯多地域	小林 雅彦
伊勢地域	福井 敏
伊賀地域	松尾 眞澄
東紀州地域	菊山 竜二

2. 病虫害防除員の活動状況

(1) 主な活動内容

①防除指導

水稻等の共同・空中防除の打ち合わせや薬剤散布に必要な応じて立ち会い、適切な広報活動及び防除指導を行った。また、病虫害防除所から発表された予報・注意報等の病虫害発生予察情報の広報を適宜行った。

②病虫害発生状況調査

管内の巡回調査を行い、水稻、麦、大豆、野菜等の病虫害発生状況の把握に努めた。また、広域病虫害防除員は担当地域の巡回調査で農家に対して聞き取り調査を行った。

③農薬安全使用指導

広報誌への掲載等を通じて農薬の適正使用の啓発に努めた。

④関係機関との打ち合わせ

共同防除、空中防除、防除暦作成等のため、JAや農業共済、農業改良普及センター等と適宜連携を図った。

⑤講習会・協議会

病虫害防除所が主催した植物防疫技術研修会等に参加し、最新の技術と情報の収集に努めた。

(2) 活動実績

(一人当たり平均、単位:時間)

防除指導	病虫害発生状況調査	農薬安全使用指導	関係機関との打ち合わせ	講習会 協議会	その他	合計
12.4	26.8	0.7	5.2	5.6	3.3	52.7

Ⅲ 病害虫発生予察に関する業務

1. 病害虫発生予察の対象作物及び有害動植物

(1) 指定有害動植物名(植物防疫法 22 条) (延 108 種)

区分	作物名	対象病害虫名
普通作物	イネ	いもち病、紋枯病、稲こうじ病、縞葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、イネカメムシ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、ホソハリカメムシ、ミナミアオカメムシ)、イネミズゾウムシ、ツマグロヨコバイ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤガ
	コムギ	うどんこ病、赤かび病
	ダイズ	アブラムシ類、ハスモンヨトウ、吸蜜性カメムシ類(アオクサカメムシ、イチモンジカメムシ、プチヒゲカメムシ、ホソヘリカメムシ、ミナミアオカメムシ)
果樹	カンキツ	そうか病、黒点病、かいよう病、ハダニ類(ミカンハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ミカンクロアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタアブラムシ)
	カキ	炭疽病、カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アザミウマ類(カキクダアザミウマ)、カイガラムシ類(クワコナカイガラムシ)
	ナシ	黒星病、シンクイムシ類(ナシヒメシンクイ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)、アブラムシ類(ナシノアブラムシ、ナシミドリオオアブラムシ、モモアカアブラムシ)
	ブドウ	べと病、晩腐病
茶	チャ	炭疽病、ハダニ類(カンザワハダニ)、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)、チャノホソガ
野菜	トマト	疫病、灰色かび病、葉かび病、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、コナジラミ類(オンシツコナジラミ、タバココナジラミ)、オオタバコガ
	ハクサイ	アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ)、コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	キャベツ	黒腐病、菌核病、コナガ、アブラムシ類(モモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシ)、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、オオタバコガ
	ネギ	さび病、黒斑病、べと病、アブラムシ類(ネギアブラムシ)、アザミウマ類(ネギアザミウマ)、シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ
	イチゴ	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類(ワタアブラムシ)、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ハダニ類(カンザワハダニ、ナミハダニ)、オオタバコガ

(2) 指定外有害動植物名(植物防疫法第 31 条) (延 65 種)

区 分	作物名	対 象 病 害 虫 名
普通作物	イ ネ	白葉枯病、苗立枯病、萎縮病、イネドロオイムシ、イネクロカメムシ、イチモンジセセリ、アワヨトウ、イナゴ類、イネシンガレセンチュウ、スクミリンゴカイ、イネゾウムシ、ササキリ類
	コ ム ギ	さび病、縞萎縮病、黒穂病、黒節病、ムギアカタマバエ、アブラムシ類
	ダ イ ズ	紫斑病、コガネムシ類(マメコガネ、ヒメコガネ、ドウガネブイブイ)、シロイチモジマダラメイガ
果 樹	カンキツ	褐色腐敗病、ヤノネカイガラムシ、チャノキイロアザミウマ、ミカンハモグリガ、アカマルカイガラムシ、ハマキムシ類(チャハマキ、チャノコカクモンハマキ)
	カ キ	うどんこ病
	ナ シ	赤星病、うどんこ病
	ブ ド ウ	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハダニ類
	ウ メ	黒星病、かいよう病、アブラムシ類、ウメシロカイガラムシ
茶	チ ヤ	もち病、輪斑病、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、ツマグロアオカスミカメ、クロシロカイガラムシ、ヨモギエダシヤク
野 菜	ト マ ト	黄化葉巻病、ハモグリバエ類、すすかび病、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ハクサイ	軟腐病、白斑病、べと病、モンシロチョウ、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	キャベツ	根こぶ病、モンシロチョウ、タバコガ類(オオタバコガを除く)
	ネ ギ	黒斑病、ネギハモグリバエ、ネギコガ、ヨトウムシ類
	イ チ ゴ	萎黄病、コナジラミ類

2. 病虫害発生予察の調査圃場

農作物の栽培地帯における病虫害の発生及び被害を的確に予想し、その地帯の防除作業の実施に寄与するために、県予察圃場、地区予察圃場、巡回調査圃場、侵入調査圃場を設置し、調査を実施する。

(1) 県予察圃場 (3 地点 7 圃場)

作目	設置場所	設置数	備考
イネ	農業研究所	1	コシヒカリ
カンキツ	紀南果樹研究室	1	紀南果樹研究課担当
チャ	茶業・花植木研究室	1	茶業研究課担当
秋冬ハクサイ	農業研究所	1	
冬キャベツ、春キャベツ	〃	2	
ネギ	〃	1	

(2) 予察灯・トラップ (8 地点 22 箇所)

作目	設置場所	設置数	備考
予察灯	農業研究所	2	イネ、畑作物
	紀南果樹研究室	1	カンキツ
	伊賀農業研究室	1	イネ
	紀北町島原	1	イネ
	御浜町神木	1	イネ
フェロモントラップ	農業研究所	13	ニカメイガ(水田)、ハスモンヨトウ(畑)、コナガ(畑)、ネギコガ(畑)、チャノコカクモンハマキ(ナシ園)、チャハマキ(ナシ園)、ナシヒメシンクイ(ナシ園)、シロイチモジヨトウ(畑)、オオタバコガ(畑)、チャバネアオカメムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ
	林業研究所	2	チャバネアオカメムシ(場内・山林内)
	多気町矢田	1	チャバネアオカメムシ

(3) その他の調査圃場 (地区予察圃場 41 地点 41 圃場、巡回圃場 147 地点 370 圃場) 地点数は重複有り

県予察圃場の他に、地区予察圃場と巡回調査圃場で調査を行っている。

地区予察圃場は、農作物の中心地帯に農作物の種類ごとに設置した。この圃場における調査は、その地帯における病虫害の発生状況を把握するとともに、病虫害の発生に関与する各種の条件がどのように影響したかを検討する資料を得るために行なう。

巡回調査圃場は、病虫害の発生が類似した地点ごとに任意に抽出した圃場、あるいは地帯区分せずに系統抽出等によって抽出した圃場について定量的観察を行うとともに、管内を巡回して定性的観察を行うために設置する。以下の表中で、地区予察圃場の地名は太字で示してある。

- ① イネ 60 地点 240 圃場(地区予察圃場 19 地点 19 圃場=19 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 60 地点 221 圃場=41 地点各 4 圃場+地区予察圃場 19 地点併置の各 3 圃場)

地区	設置場所
桑名	いなべ市北勢町阿下喜 いなべ市市大安町高柳、いなべ市藤原町川合、桑名市坂井、桑名市市長島町平方、東員町瀬古泉、木曾岬町小林、桑名市上深谷部(普通期)
四日市鈴鹿	菰野町千草、亀山市山下町、四日市市下海老町、鈴鹿市矢橋町、鈴鹿市御菌町 四日市市山田町、四日市市水沢野田町、四日市市茂福、亀山市太森町、鈴鹿市石薬師町、菰野町潤田(普通期)、鈴鹿市地子町(普通期)
津	津市安濃町草生、津市安東町、津市一志町井生 津市芸濃町北神山、津市雲出本郷町、津市美里町家所、津市戸木町、津市白山町川口、一志町高野(普通期)
松阪	松阪市美濃田町、多気町兄国、明和町坂本 松阪市嬉野下之庄町、松阪市藤之木町、松阪市清水町、松阪市西黒部町、多気町朝柄、明和町明星、松阪市嬉野新屋庄町(普通期)
伊勢志摩	伊勢市円座町、玉城町蚊野、志摩市磯部町下之郷 伊勢市上地町、伊勢市西豊浜町、伊勢市楠部町、度会町牧戸、鳥羽市松尾町、南伊勢町泉、伊勢市小俣町(普通期)
伊賀	伊賀市大野木、伊賀市甲野 伊賀市羽根、伊賀市岡田、伊賀市中柘植、伊賀市馬田、名張市東田原
紀州	紀北町島原、熊野市飛鳥町 御浜町下市木、紀宝町大里

- ② 3 年産コムギ 9 地点 36 圃場(巡回調査圃場 9 地点 36 圃場=9 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町片樋	松阪	松阪市藤之木町、多気町兄国
四日市鈴鹿	菰野町竹成、鈴鹿市下大久保町	伊勢志摩	伊勢市西豊浜町
津	津市殿村	伊賀	伊賀市西之澤、伊賀市畑村

- ③ ダイズ 8 地点 32 圃場(巡回調査圃場 8 地点 32 圃場=8 地点各 4 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	いなべ市大安町大井田	松阪	松阪市藤之木町、松阪市保津町
四日市鈴鹿	四日市市江村町、鈴鹿市下大久保町	伊賀	伊賀市木興町、伊賀市千戸
津	津市白山町川口		

- ④ カンキツ 13 地点 13 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 11 地点 11 圃場=11 地点各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
桑名	桑名市多度町小山(1)	伊勢志摩	南伊勢町船越(1)、五ヶ所浦(1)、泉(1)
津	津市大里窪田町(1)	紀州	紀北町道瀬(1)、熊野市久生屋町(1)、御浜町下市木(1)・阿田和(1)・中立(1)、紀宝町大里(1)
松阪	多気町五桂(1)、松阪市小阿坂町(1)		

- ⑤ カキ 2 地点 4 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 2 地点 2 圃場=地区予察圃場 2 地点併置の各 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
松阪	松阪市嬉野川北町(2)	伊勢志摩	玉城町蚊野(2)

- ⑥ ナシ 6 地点 7 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 3 地点 4 圃場=2 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市下海老町(1)	伊勢志摩	玉城町富岡(1)
津	津市久居小野辺町(1)、津市香良洲町(1)	伊賀	伊賀市羽根(2)
松阪	松阪市嬉野川北町(1)		

- ⑦ ブドウ 6 地点 8 圃場(地区予察圃場 2 地点 2 圃場=2 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 5 地点 6 圃場=3 地点各 1 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 1 地点併置の 1 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市久居明神町(1)	伊賀	伊賀市森寺(2)、伊賀市上之庄(2)、名張市下小波田(2)
伊勢志摩	玉城町勝田(1)		

- ⑧ ウメ 4 地点 4 圃場(巡回調査圃場 4 地点 4 圃場=4 地点各 1 圃場)

地区	設置場所	地区	設置場所
津	津市片田田中町	紀州	御浜町中立、御浜町上市木
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦		

- ⑨ チャ 6 地点 18 圃場(地区予察圃場 3 地点 3 圃場=3 地点各 1 圃場、巡回調査圃場 6 地点 15 圃場=2 地点各 3 圃場+1 地点 2 圃場+地区予察圃場 3 地点併置の 7 圃場) 表中の(数字)は圃場数

地区	設置場所	地区	設置場所
四日市鈴鹿	四日市市水沢町(3)、鈴鹿市山本町(4)、亀山市太森町(3)	伊勢志摩	度会町牧戸(2)
松阪	大台町柝原(3) 松阪市飯南町粥見(3)		

⑩ 野菜 47 地点 53 圃場 (地区予察圃場 10 地点 10 圃場、巡回調査圃場 37 地点 43 圃場)

表中の(数字)は圃場数

野菜名	地区	設置場所	地区予察圃場	巡回調査圃場
冬春トマト	桑名 四日市鈴鹿 松阪 伊勢志摩	木曾岬町和泉(1)、木曾岬町源緑輪中(1)、桑名市長島町(1) 四日市市貝家町(1) 松阪市嬉野一志町(1)、明和町佐田(1) 伊勢市小俣町相合(1)	1 地点 1 圃場	6 地点 6 圃場
冬ハクサイ	四日市鈴鹿 津 松阪	四日市市水沢町(2)、四日市市下海老町(1)、四日市市平尾町(1)、 鈴鹿市国分町(2) 津市一志町(2) 多気町丹生(1)、明和町金剛坂(1)	2 地点 2 圃場	6 地点 8 圃場
冬キャベツ	四日市鈴鹿 津 松阪 伊勢志摩	四日市市平尾町(1)、四日市市下海老町(2)、鈴鹿市国府町(2) 津市芸濃町椋本(1)、津市河辺町(1)、津市久居野口町(1)、 津市新家町(1) 松阪市嬉野森本町(1) 玉城町岡出(1)	3 地点 3 圃場	11 地点 14 圃場
春キャベツ	四日市鈴鹿 津	四日市市下海老町(1)、四日市市赤水町(1) 津市川方町(2)、津市新家町(2)		
青ネギ	松阪 伊勢	松阪市柿木原町(1) 伊勢市東豊浜町(1)、伊勢市小俣町(2)	1 地点 1 圃場	2 地点 3 圃場
白ネギ	鈴鹿 松阪	鈴鹿市深溝町(1)、鈴鹿市山本町(1) 明和町佐田(1)、多気町三疋田(1)	1 地点 1 圃場	3 地点 3 圃場
冬春イチゴ	津 松阪 伊勢志摩	津市芸濃町椋本(1)、津市雲出長常町(1) 松阪市藤之木町(1)、松阪市曾原町(1)、松阪市嬉野権現前町(1)、 松阪市新開町(1) 玉城町勝田(1)、玉城町岩出(1)、伊勢市小俣町相合(1)、 伊勢市二見町(1)、志摩市磯部町栗木広(1)	2 地点 2 圃場	9 地点 9 圃場

(4) ミバエ類等侵入警戒調査圃場(6 地点)

果樹等に多大の被害をもたらすミバエ類の侵入警戒のために誘引トラップを設置する(4~10 月)。

地区	設置場所	ウリミバエ・ミカンコミバエ種群 (ユーゲルア D8)	チチュウカイミバエ (メドフライコール)
桑名	桑名市多度町小山	○	○
津	津市大里窪田町	○	○
松阪	多気町五桂	○	○
伊勢志摩	南伊勢町船越	○	○
紀州	紀北町道瀬	○	○
	御浜町志原(紀南果樹研究室)	○	○

(5) 火傷病侵入警戒調査圃場(7 地点)

寒冷地のリンゴ等に多大の被害をもたらす火傷病の侵入警戒のために巡回調査を実施する(4~9 月)。

調査樹	地区	設置場所
日本ナシ	四日市鈴鹿	四日市市下海老町
	津	津市久居小野辺町、津市香良洲町
	松阪	松阪市嬉野川北町
	伊勢	玉城町富岡
	伊賀	伊賀市羽根
カナメモチ	四日市鈴鹿	鈴鹿市高塚町

3. 作物別の病虫害発生状況

(1) 水稻

① 生育状況

(a) 育苗期

県内 20 育苗施設におけるばか苗病の発生状況は、発生施設率が 5% (2 年 33%)、発生箱率が 0.01% (2 年 0.05%) で、いずれも昨年より低かった。

(b) 移植～活着期

気温は平年並であり日照時間が長かったことから、一部強風で植え傷みも見られたが、活着はおおむね順調であった。

(c) 分けつ期

梅雨入りが例年になく早く、降雨の日が多く日照不足により軟弱徒長の生育となった。茎数は平年より少なかった。

(d) 幼穂形成期～出穂期

出穂は平年より4～5日早かった。分けつが少なく穂数が少なかった分、1 穂当たりのもみ数はやや多くなった。

(e) 登熟期

7 月下旬の高温多照により稔実は良好であった。8 月の低温日照不足により粒の肥大が抑制された。登熟は平年並みであった。高温障害は例年より少なかったが、収穫期の降雨による刈遅れが見られた

(f) 作柄

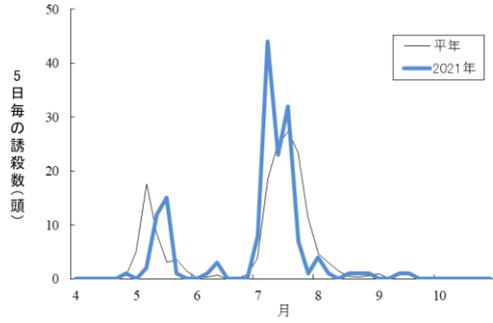
収量は 479kg/10a (昨年 477kg)、作況指数は 99 で作柄は「平年並」となった。コシヒカリの 1 等米比率は 47.9% (4 年 3 月 31 日速報値) でほぼ平年並みとなった。

② 病虫害の発生状況

梅雨入りが 5 月 16 日頃と例年になく早く、ブラスタムによるいもち病感染好適日の出現は例年より早く、日数もやや多であった。梅雨の影響で葉いもち病の発生が 6 月下旬以降中山間や谷地田を中心に見られた。中南勢地域で発生が多くみられ、葉いもち、穂いもちともに発生面積、発病程度はやや多であった。スクミリンゴガイは最近2年に比べ発生が少なく、防除対策の実施により発生が抑えられたものと考えられる。斑点米カメムシ類は前年よりは少なかったが平年よりは多く、やや多の発生であった。一部地域では発生が多く被害粒、不稔粒が多かった。トビイロウンカの飛来は平年より早くから確認され、その後も断続的に飛来があり被害が心配されたが、被害は確認されなかった。

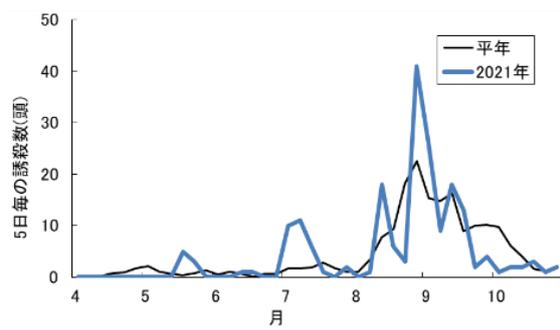
(b) 予察灯での誘殺状況(60ワット白熱灯)

・イネミズゾウムシ



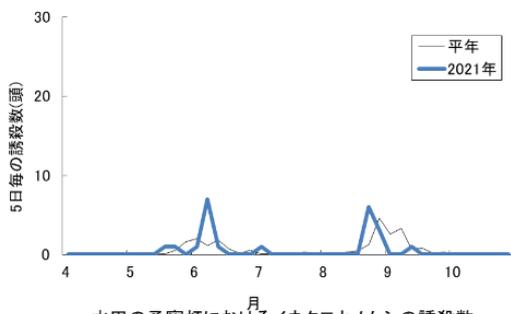
水田予察灯におけるイネミズゾウムシ誘殺数の推移
(松阪市嬉野川北町60W白熱灯)

・ミナミアオカメムシ



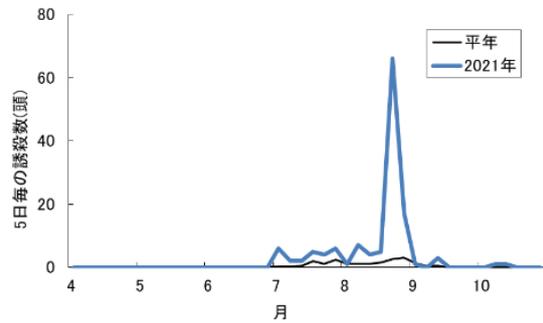
水田の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

・イネクロカメムシ



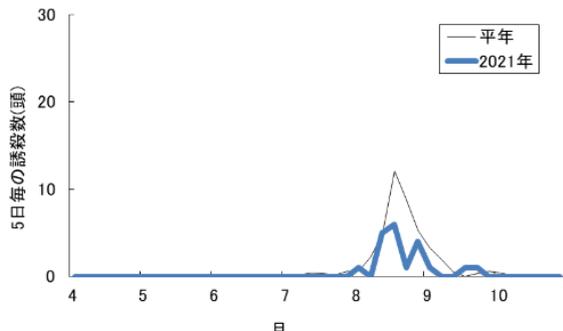
水田の予察灯におけるイネクロカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

・イネカメムシ

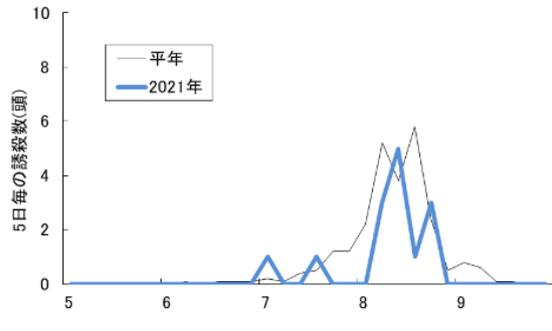


水田の予察灯におけるイネカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)

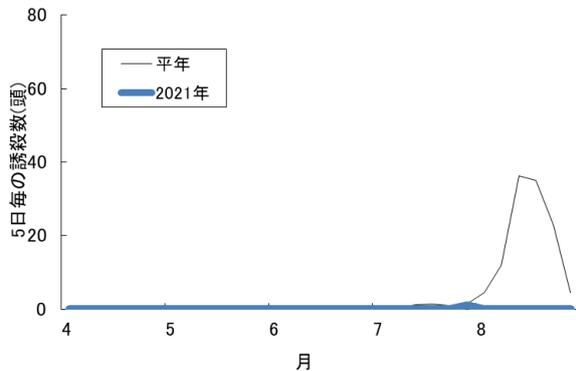
・クモヘリカメムシ



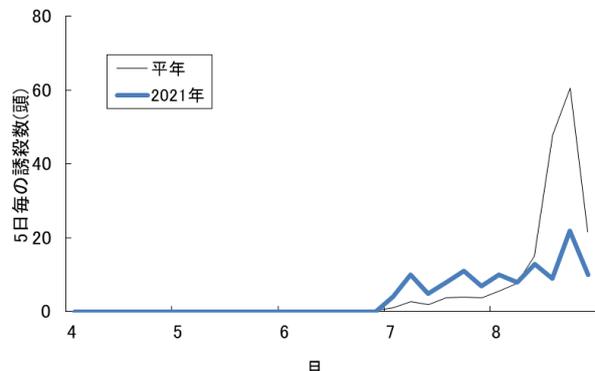
水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)

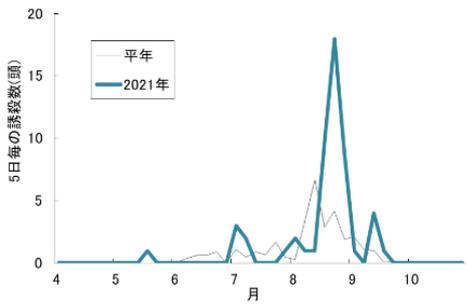


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)

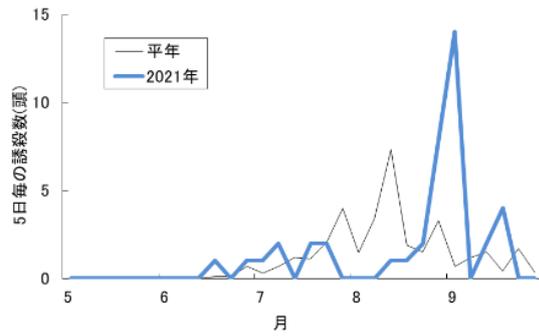


水田の予察灯におけるクモヘリカメムシの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

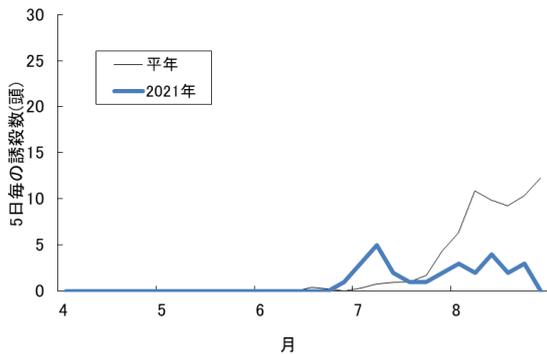
・ヒメビウンカ



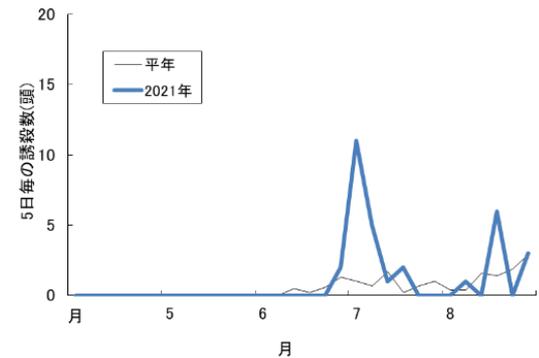
水田予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)

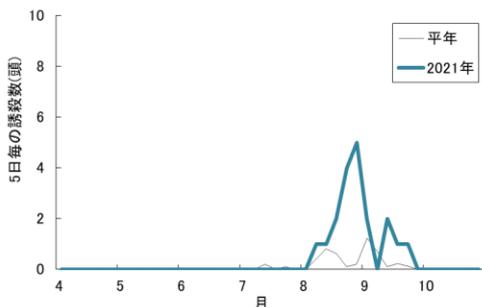


水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)

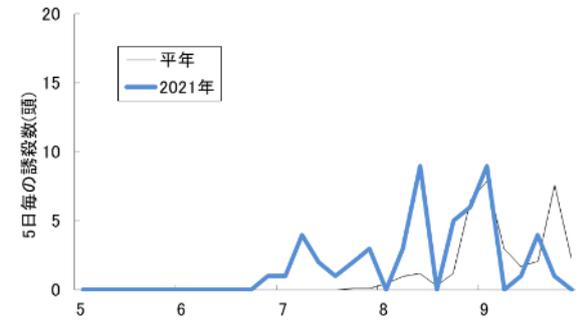


水田の予察灯におけるヒメビウンカの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

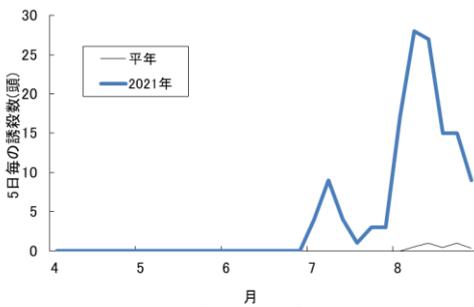
・トビイロウンカ



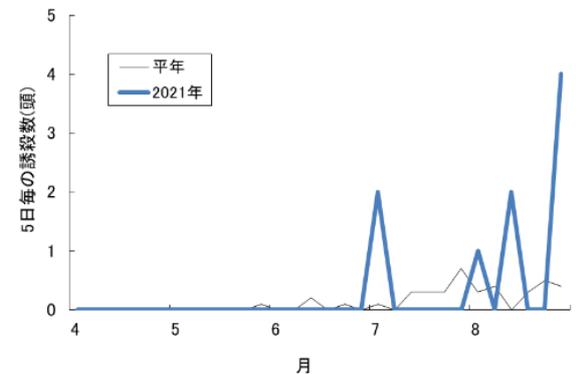
水田予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)

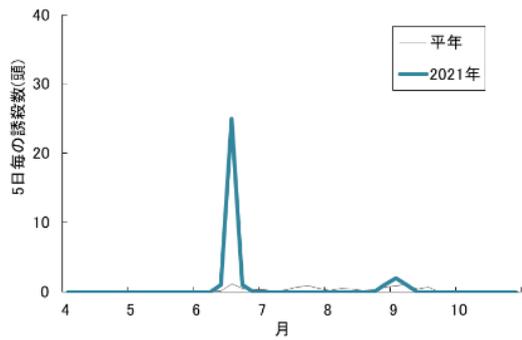


水田の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)

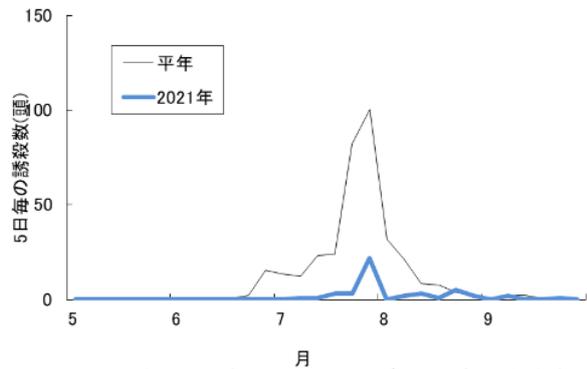


水田の予察灯におけるトビイロウンカの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

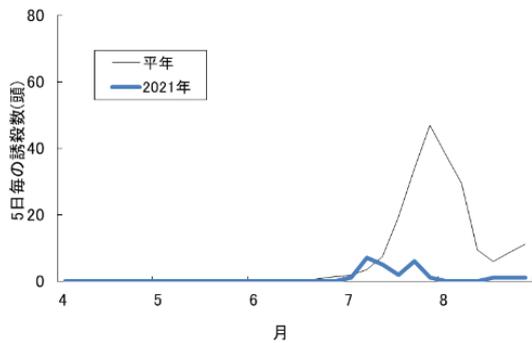
・ツマグロヨコバイ



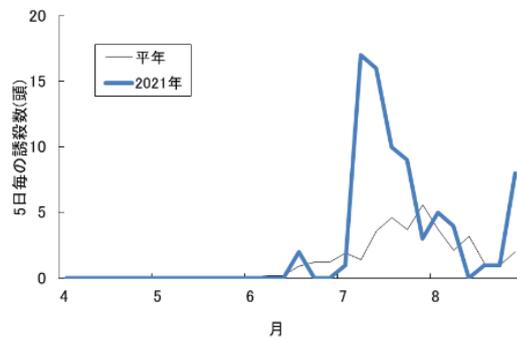
水田予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(松阪市 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(伊賀市 60W白熱灯)



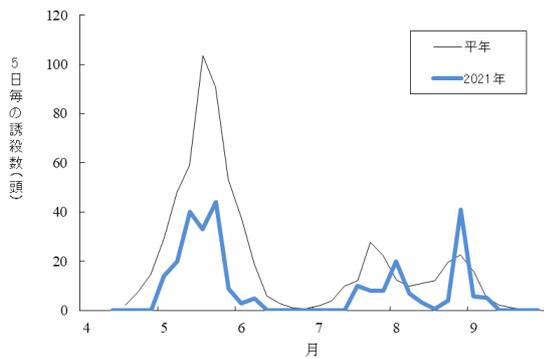
水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(紀北町 60W白熱灯)



水田の予察灯におけるツマグロヨコバイの誘殺数
(御浜町 60W白熱灯)

(c) フェロモントラップでの誘殺状況

・ニカメイガ



フェロモントラップによるニカメイガ誘殺数の推移
(松阪市)

(2) 麦類(令和3年産)

a 生育状況

(a) 播種期

10月下旬から播種が始まり、それ以降好天にも恵まれ12月中旬まで播種作業は順調に進んだ。

(b) 生育期

出芽苗立ちは概ね良好となり、12月中旬～1月上旬は例年に比べて気温が低く、生育が停滞するほ場も見られたが、生育期間を通じて気温は高めに推移したため、生育は早まった。

(c) 出穂期

播種の早いところでは3月下旬に出穂期を迎えるなど8～12日早かった。開花期も同様であった。

(d) 登熟期

4月以降気温は平年並みに経過したが、断続的に降雨があり5月中旬に梅雨入りとなったため登熟はやや不良となった。成熟期は平年より2～5日早くなった。5月下旬から刈り取りが始まったが、定期的な降雨があり、本格的な収穫は6月からとなった。1等比率は昨年を下回り、収量も減少した。

b 病害虫の発生状況

コムギ縮萎病は、耐病性品種の作付けが進められたため、県全体としての発生量は少なかった。

赤かび病については、開花直後の発生は少なかったが、5月中旬に感染好適日(梅雨入り)があり、発生が拡大したがその後の天候の回復により大きな被害とならなかった。

(3)大豆

a 生育状況

(a) 播種期

播種作業は、7月中下旬好天に恵まれ、比較的順調に進み発芽も順調であった。

(b) 生育期

生育初期は適度な降雨があり生育は良好であったが、一部播種が遅れた圃場では8月中旬の降雨により湿害が発生したがおおむね生育は良好であった。9月、10月は台風の接近や通過はなかったものの、定期的に降雨があり、一部湿害となったほ場が見受けられた。また、10月以降は、日照量が多くなり生育は回復傾向となった。

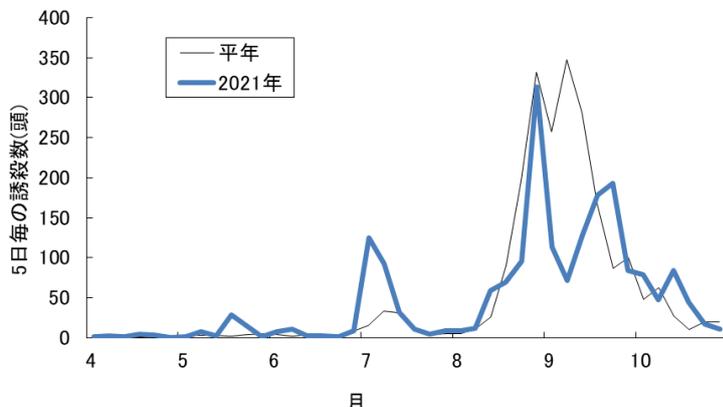
(c) 成熟期

台風の直撃はなかったため全体的に病害は少なかった。吸食性カメムシ類は適期に防除がなされた。収穫作業は11月中旬から始まり12月中に終了した。

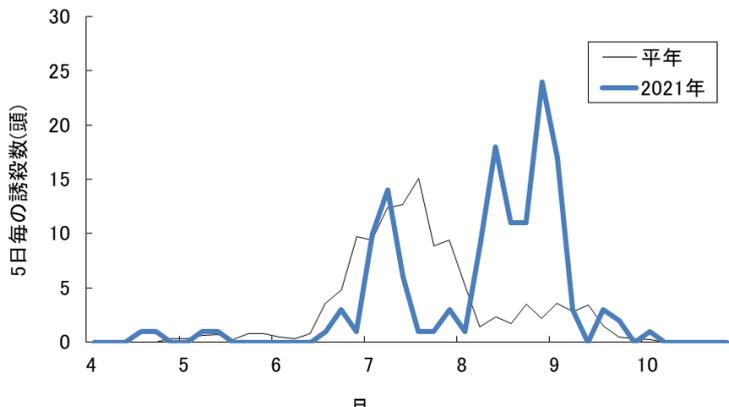
子実の被害としてはフタスジヒメハムシ、吸食性カメムシ類の被害粒は平年並かやや少ない発生であった。紫斑粒については少なかった。

b 病害虫の発生状況

ダイズでは、ハスモンヨトウについて、フェロモントラップの誘殺数や白変の発生状況から技術情報第10号(7月21日)、15号(9月17日)を発表し、発生状況の周知と適期防除の注意喚起を行った。吸汁性カメムシは、複数回防除を行う生者が増え、一部に多発圃場が見られたもの全体での発生は平年並～やや少であった。

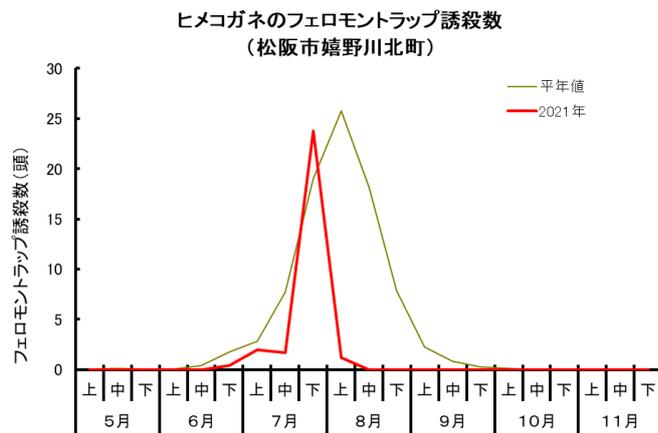


畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

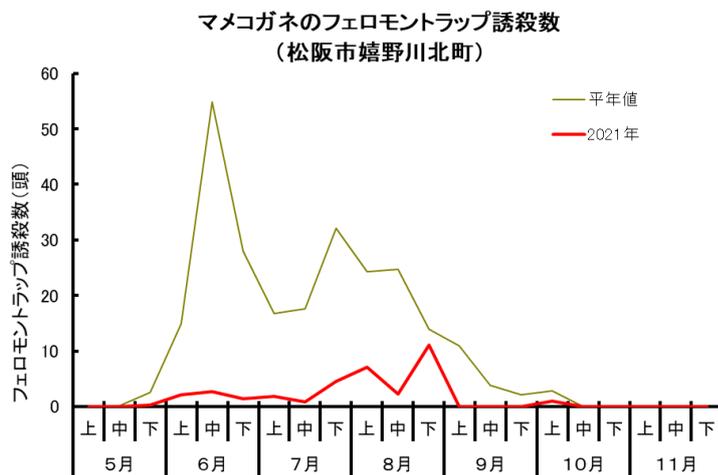


畑地の予察灯におけるイチモンジカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

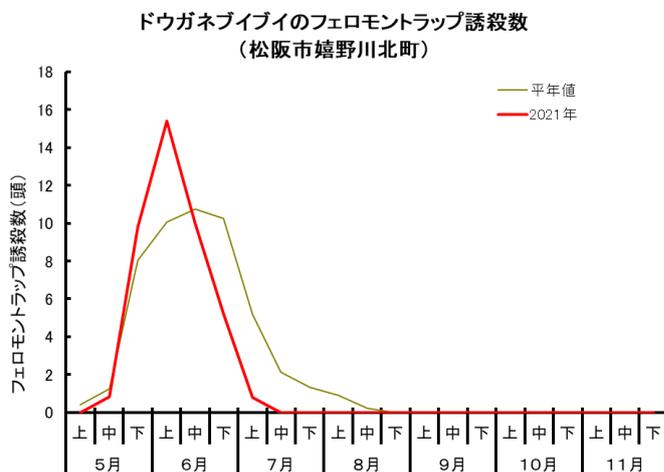
・ヒメコガネ



・マメコガネ



・ドウガネブイブイ



(4) 果樹

①生育状況

ア カンキツ

- ・発芽期は、平年に比べて極早生温州では16日、早生温州では12日早かった。
- ・開花盛期は、平年に比べて極早生温州では11日、早生温州で8日早かった。
- ・着花量は、極早生温州は紀州地域では多かった。早生温州も全体的に多かった。
- ・果実発育は、横径が極早生温州は2.2mm平年より大きく、早生温州は1.9mm平年より大きかった。
- ・果実品質は、糖度については、平年に比べて極早生温州は0.5度低く、早生温州は0.1度低くなった。クエン酸については、平年に比べて極早生温州は0.1度低く、早生温州は0.04度低かった。

イ ナシ(幸水)

- ・開花盛期は平年より12日早い4月3日だった。収穫盛期は平年より6日早い、8月13日であった。
- ・開花がばらつき結実はやや悪かったが、最終着果量に影響はなかった。
- ・果実の生長は生育後半に良好になり、収穫期における果実重は平年より大きかった。
- ・果実糖度は平年並みだった。

ウ カキ(前川次郎)

- ・開花盛期は平年より6日早い5月14日であった。
- ・気温が高く着色は遅れたが、収穫盛期は11月10日と平年並であった。
- ・果実糖度は平年より高く、果実重も平年より大きかった。

エ ブドウ(巨峰)

- ・4月は平年並の気温であったが、発芽期は露地栽培で平年より3日遅かった。開花盛期は平年並であった。有核栽培の結実は良好であった。
- ・梅雨の時期は平年と比べて降水量が多く、日照時間は少なかった。収穫期は露地栽培で平年より遅かった。加温ハウス栽培の果実品質は良好であったが、雨よけハウス栽培や露地栽培は8月中旬以降の降雨の影響で、糖度上昇の遅延や裂果が発生した。

②病害虫の発生状況

カンキツでは、そうか病の発生量は平年並であった。発生時期は春葉で早く、果実ではやや早かった。黒点病の発生量はやや多かった。かいよう病の発生量はやや少なかった。ミカンハダニについては、発生量は期間を通して平年並で推移したが、局所的に発生が見られる圃場があった。

ナシでは、黒星病の発生量は、6月はやや多く確認されたが、その後は平年並で推移した。収穫時にはカメムシと輪紋病の被害果が1割程度あった。

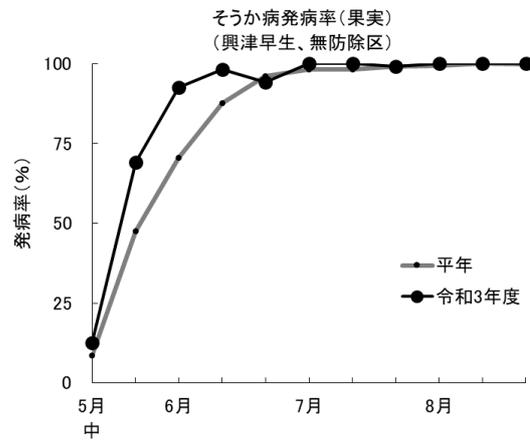
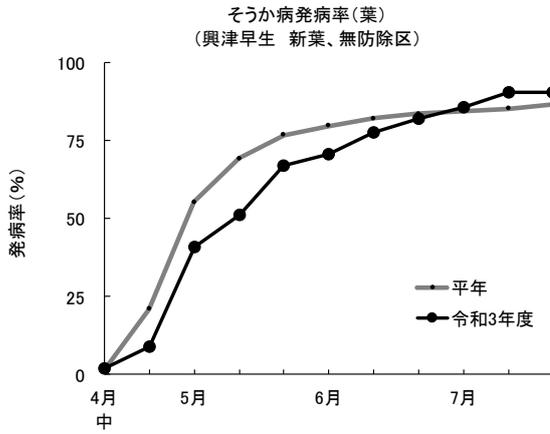
カキでは、炭疽病、うどんこ病、フジコナカイガラムシの発生量は平年並であった。

ブドウでは、べと病、黒とう病及び晩腐病の発生量は平年並であった。

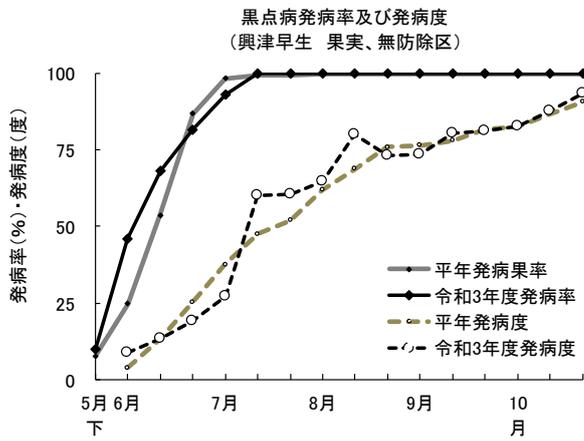
果樹カメムシ類の発生量は、8月までは平年より少なく推移したが、9月以降増加した。

ア カンキツ(御浜町 紀南果樹研究室)

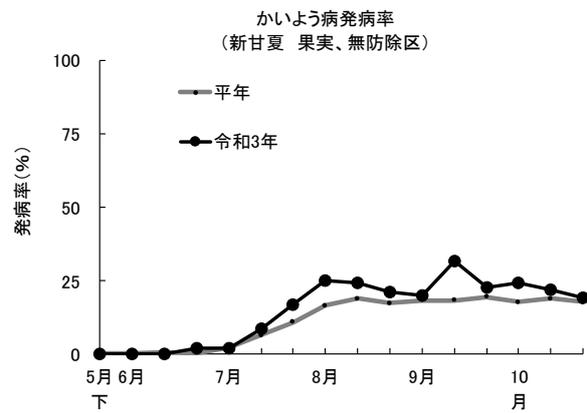
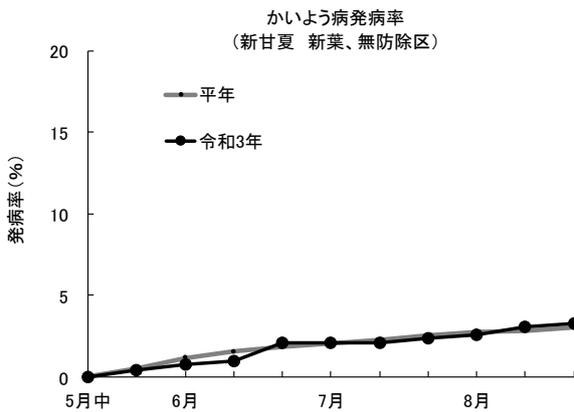
ア) そうか病



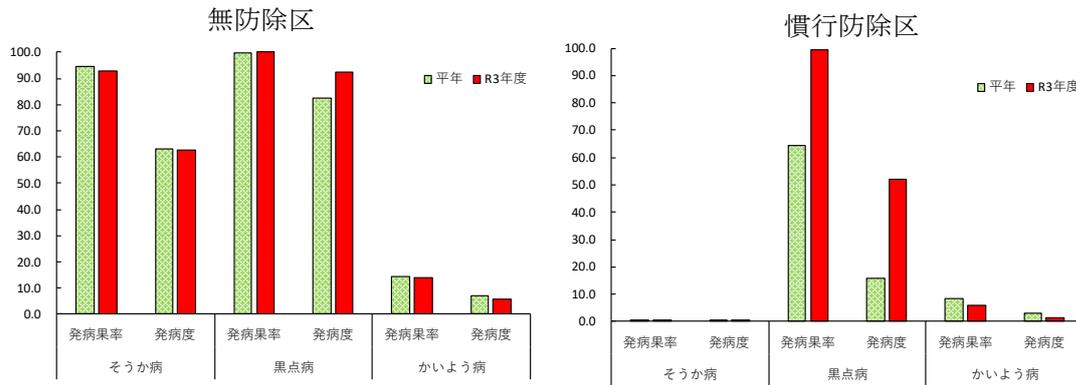
イ) 黒点病



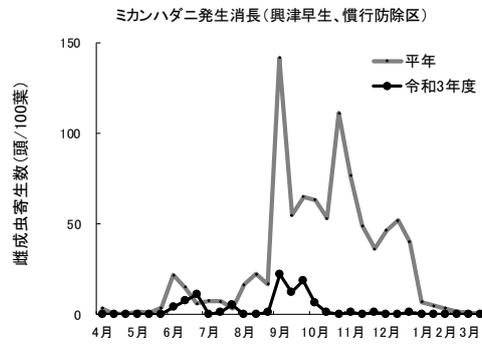
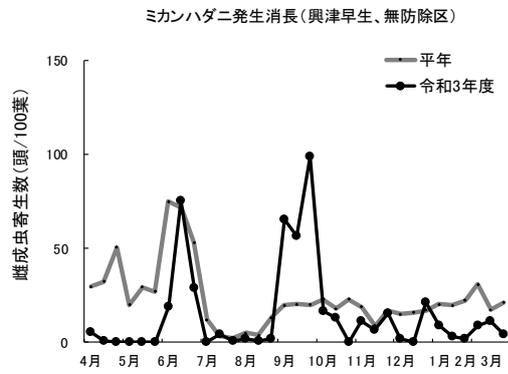
ウ) かいよう病



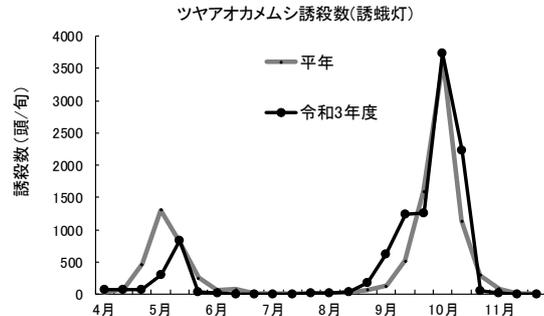
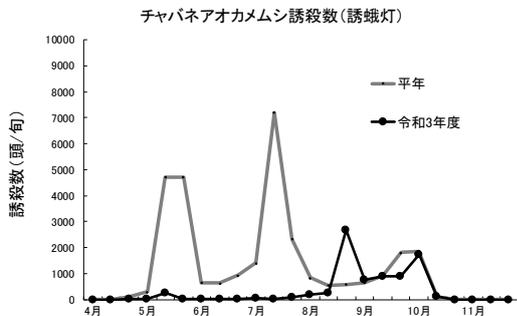
エ) 収穫果実(外観果実調査)



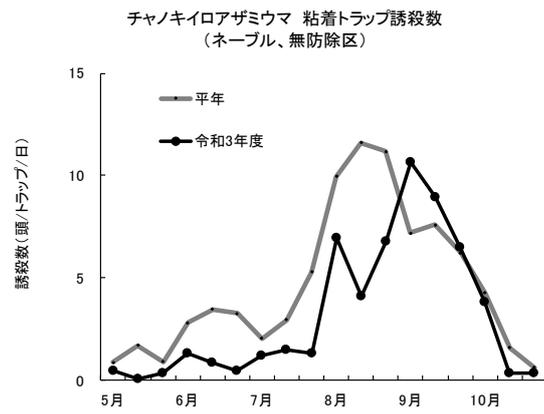
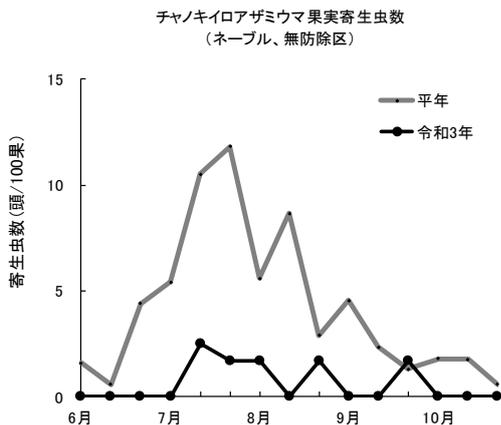
オ) ミカンハダニ



カ) カメムシ類の予察灯への飛来状況

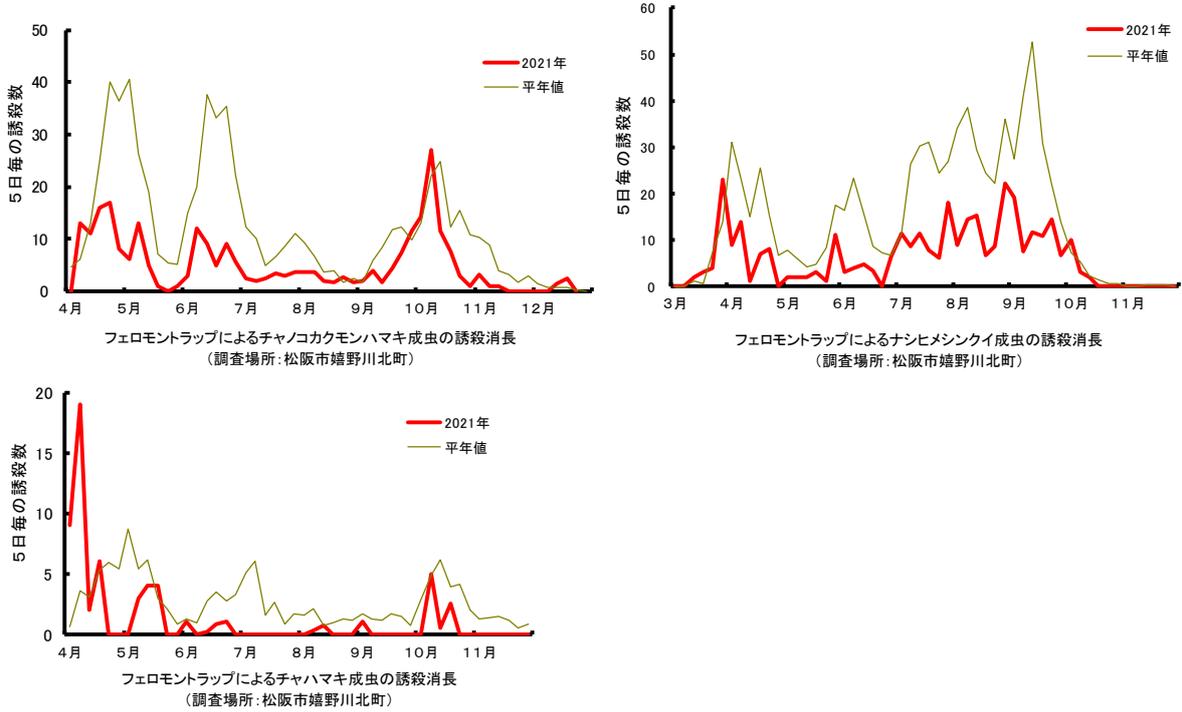


キ) チャノキイロアザミウマ

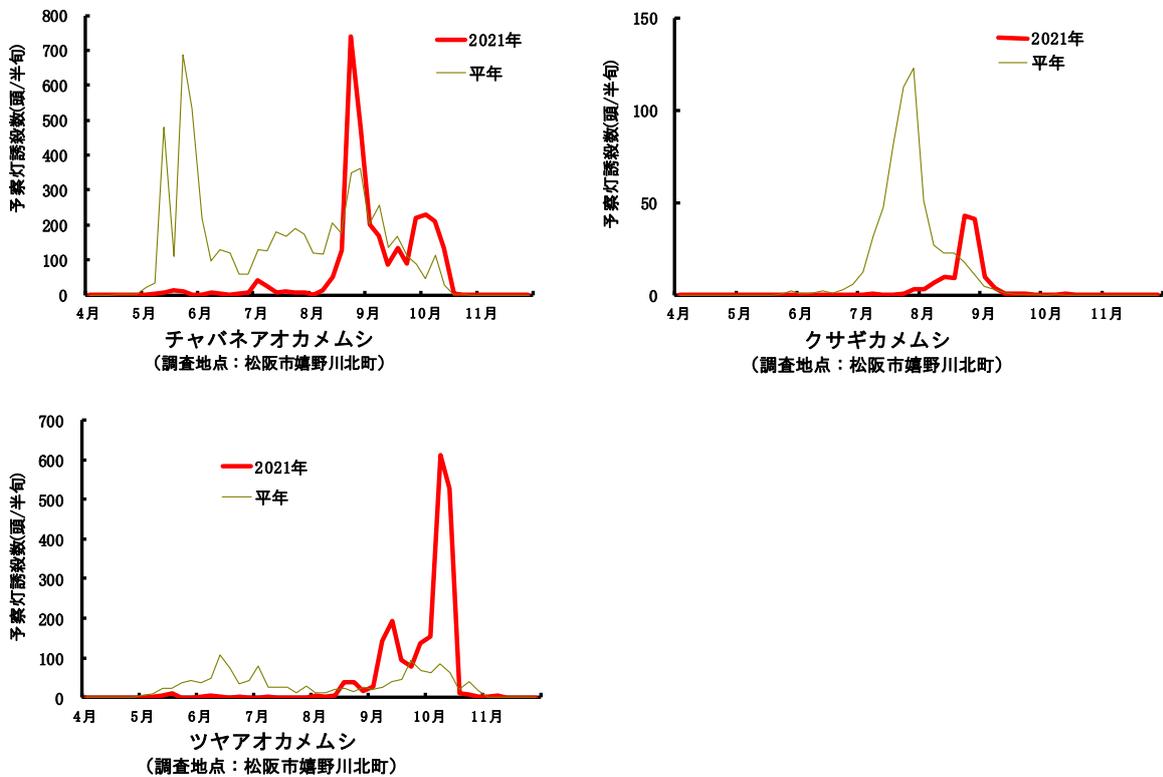


イ ナシ

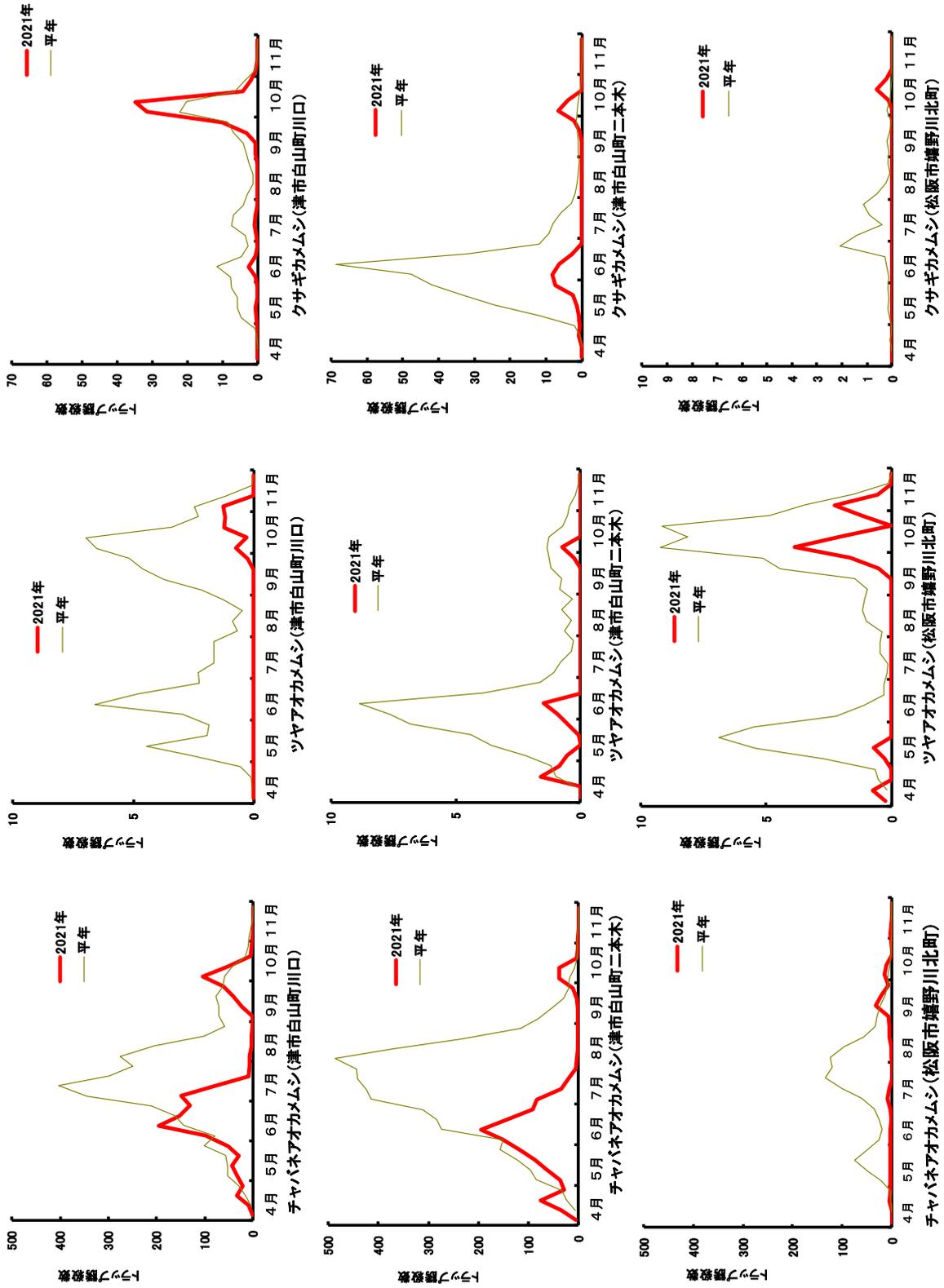
ア) フェロモントラップでの誘殺状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



イ) カメムシ類の予察灯への飛来状況(松阪市嬉野川北町 病害虫防除所)



フェロモントラップにおける果樹カメムシ類誘殺数(白山町川口、白山町二本木、埴野川北町)



(5) 茶

①生育状況

- ・ 一番茶の摘採時期は平年並み～やや早かった。
- ・ 虫害防除のため、一番茶後に中切り更新を行うは場が多かった。

(生育に関するデータ)

農水省 8 月 18 日発表

一番茶摘採面積 2,400ha(前年比 95%)、単収 417kg(前年比 99%)

農業研究所茶業・花植木研究室作況園

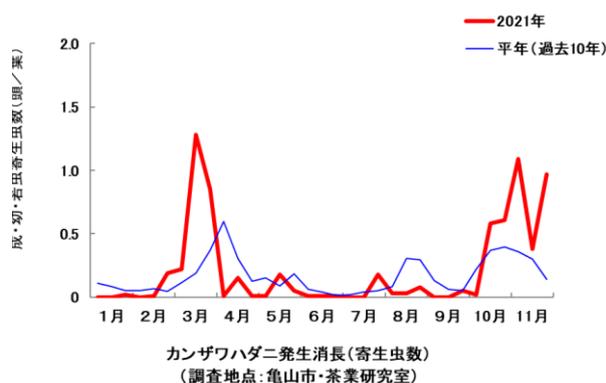
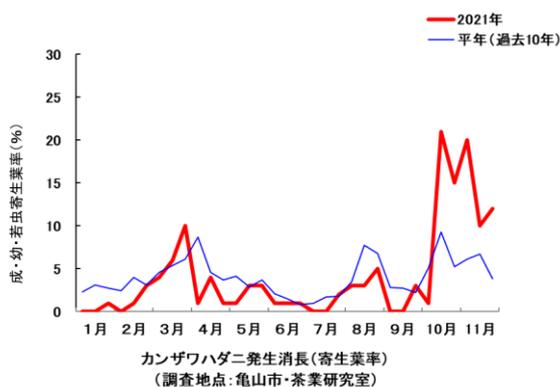
一番茶:摘採時期 5/6(平年 5/6)、単収 548kg(平年 551kg)

二番茶:摘採時期 6/26(平年 6/27)、単収 579kg(平年 569kg)

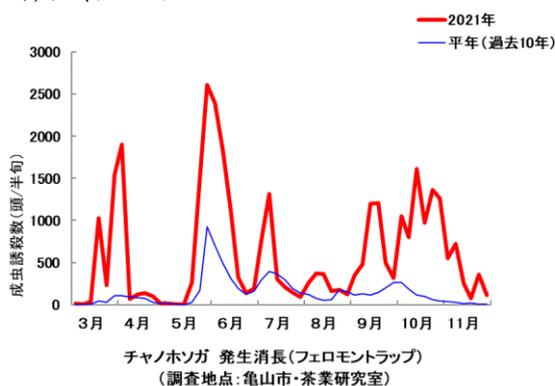
②病虫害発生状況

- ・ 輪斑病が 8 月後半、もち病が 6 月後半に発生が目立つ時期があったが、炭疽病も含めていずれの病害も平年並以下で推移した。
- ・ カンザワハダニは 3 月、10 月で多かったが、それ以外は平年並からやや少なかった。クワシロカイガラムシは年間を通してやや多かった。チャノミドリヒメヨコバイは 7 月の発生が多かった。チャノコカクモンハマキとチャハマキおよびチャノホソガは概ね平年並以下であった。

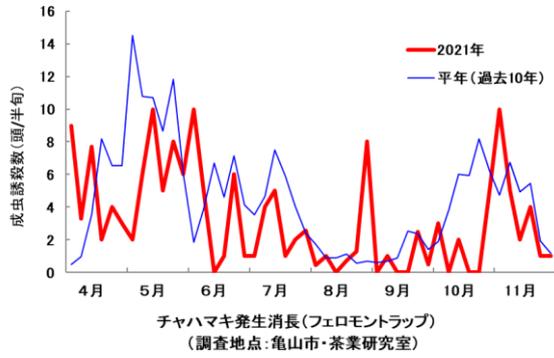
ア) カンザワハダニ



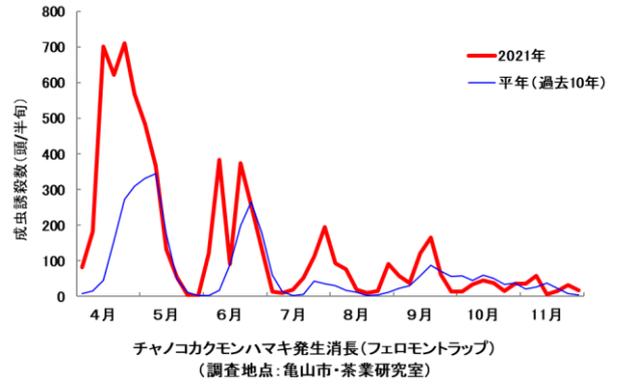
イ) チャノホソガ



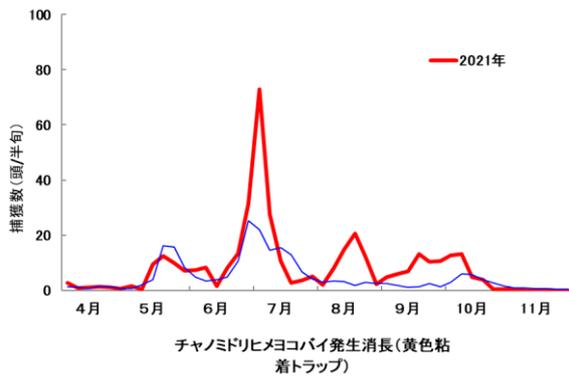
ウ) チャハマキ



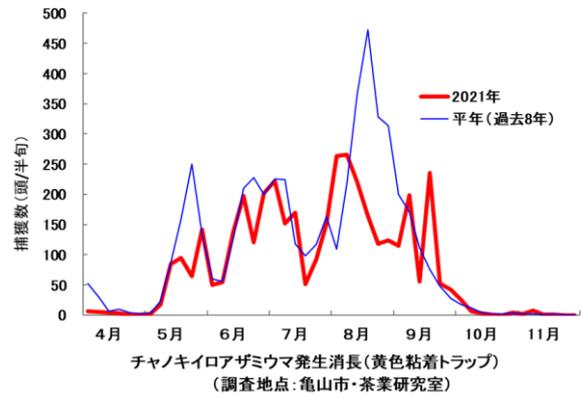
エ) チャノコカクモンハマキ



オ) チャノミドリヒメヨコバイ



カ) チャノキイロアザミウマ

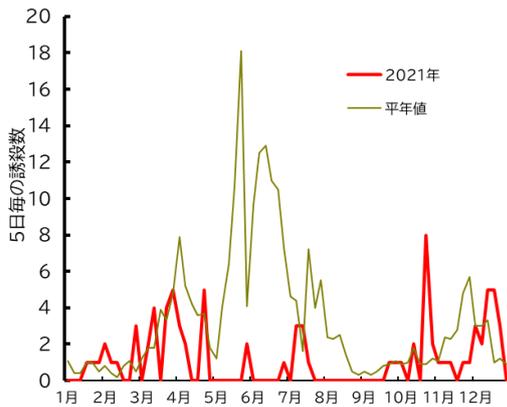


(6) 野菜

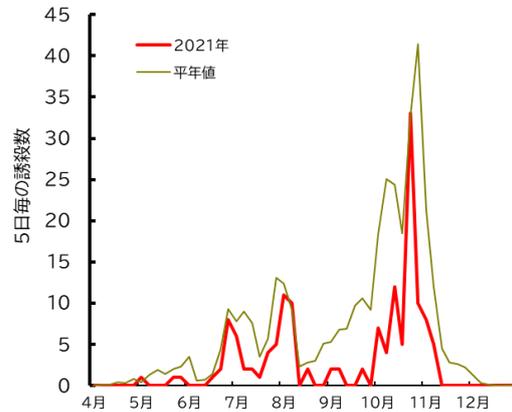
a 生育及び病害虫の発生状況

- ・トマトでは、特に北勢地域でタバココナジラミの発生が目立つほ場で黄化葉巻病、黄化病が多く確認された。
- ・キャベツ、ハクサイなどの露地野菜では、今年は台風の接近や通過がなかったため、キャベツでは黒腐病やハクサイでは軟腐病などの病害の発生は少なく経過した。
- ・ネギでは、ネギハモグリバエ類が多発し、葉の白化が著しい被害が見られ、ネギハモグリバエ B 系統による被害とみられる。ネギアザミウマについては期間を通じて少ない傾向であった。
- ・イチゴでは、園地によっては炭そ病が多く発生した。ハダニ類は園地によって発生量の差が大きく、園地での天敵などの定着に左右されているとみられる。また、園地によっては炭酸ガスを利用した防除も行われている。アザミウマ類については少ない傾向であった。うどんこ病は全体的に発生が少なかった。

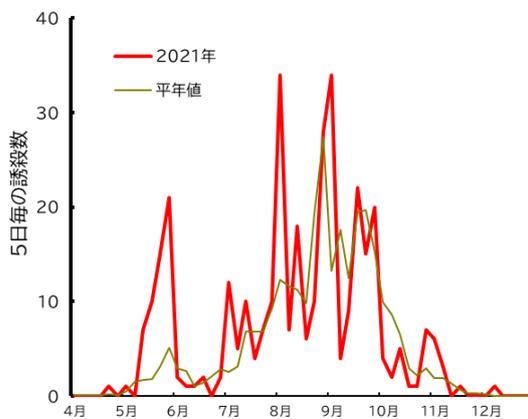
b フェロモントラップ



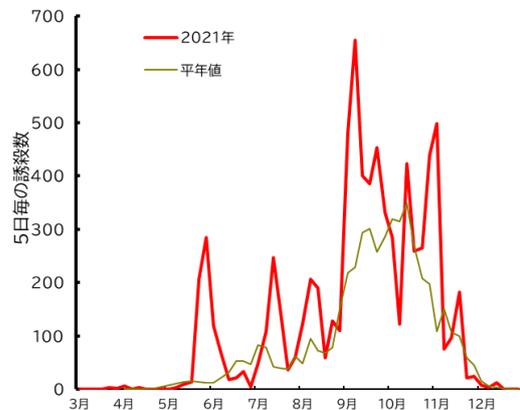
フェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



フェロモントラップによるオオタバコガ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)



(図) フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

(7) 全作物一覧

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
イネ（早期）	葉いもち	6月中旬～8月上旬 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	育苗期間中および置き苗での発生はなかった。7月上旬の発生圃場率、発病度ともに多であった。地域により発生に差がみられた。	感染好適条件は平年より早く5月中旬から出現。初発時期は平年並みであった。中山間や谷地田を中心に発生。箱施用や本田防除が行われたが、感染好適条件の出現はやや多であり、発生はやや多となった。	箱施用、本田防除が行われた。
	穂いもち	7月下旬～8月下旬 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	発生面積・発病率ともに平年並であった。地域により発生に差がみられた。	感染好適日が平年より多かったこと、8月中旬のくずついた天気が続いたことにより、やや多となった。	本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第12号（8月19日）発表による注意喚起を行った。
	紋枯病	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	期間を通して発生は場率、発病率、発病度とも平年より低く、発生は場内で水平進展は見られたが、垂直進展は少なかった。発生はやや多の地域があった。	発病時期の気温が近年では比較的低く推移したため、活動及び増殖に好適となり、発生量がやや多くなったと考えられる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われ、実害は出なかった。
	斑点米カメムシ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	6月上旬頃から7月には発生はやや少なかったが、8月以降多く発生した。また、地域差はあるが、斑点米カメムシ類全体では、期間を通してやや多の発生量であった。	7月下旬から8月上旬の降雨が少なく推移したため、活動及び増殖に好適となり、発生量がやや多くなったと考えられる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第9号（7月12日発表）による注意喚起を行った。
	イネミズゾウムシ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	移殖後の5～6月における越冬世代成虫の発生量、8月上旬における第一世代成虫の発生量ともに平年より少であった。	昨年夏の越冬成虫量はやや多、第一世代の発生量は少であった。箱施用剤により発生が抑えられていると思われる。	被害の恐れのある圃場では箱施用が行われ、実害は出なかった。
	ツマグロヨコバイ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生量はやや少であり、予察灯への飛来も少なかった。	前年の発生量は並であったが、箱施用剤により発生が抑制されていると思われる。	被害の恐れのある圃場では本田防除が行われた。病害虫防除技術情報第9号（7月12日発表）による注意喚起を行った。
	セシロウカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	6月第3半旬以降予察灯により飛来を確認した。その後も飛来は確認されているが、発生は少なかった。	初飛来は早かったが、その後の飛来数は比較的小さかった。	本種を対象とした防除は行われなかった。病害虫防除技術情報第6号（6月17日発表）、病害虫発生予察注意報第1号（7月1日発表）による注意喚起を行った。
	トビロウカ	7月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	6月第3半旬以降、予察灯により飛来を確認した。例年より飛来時期が早く、8月中旬以降の被害が予想されたが、被害はほとんど確認されなかった。	飛来時期が早く、飛来数も多かったが、被害がほとんど確認されなかった。被害が出る程の飛来数でなかったこと、飛来後の環境が原因と考えられる。	本種を対象とした防除は行われていない。病害虫防除技術情報第6号（6月17日発表）、病害虫発生予察注意報第1号（7月1日発表）、病害虫防除技術情報第11号（7月29日発表）、病害虫防除技術情報第14号（9月7日発表）による注意喚起を行った。
	ヒメトビウンカ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	発生面積・発生量は平年よりやや多かった。	梅雨時に降雨が少なく、活動及び増殖に好適となり、発生量がやや多くなったと思われる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はほとんどなかったと考えられる。
	ニカメイガ	6月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	本年は越冬世代の発生は少なかったが、第一世代、第二世代の生量は平年並みであった。	フェロモントラップの誘殺数は、越冬世代では少、第一世代では平年並であった。	例年被害の出る地域では、必要に応じて防除が行われた。
	コブノメイガ	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	本年は越冬世代の発生は少なかったが、第一世代、第二世代の生量は平年並みであった。	普通期栽培での発生が中心であるが、近年、普通期栽培が増加しているため、発生は増加傾向にある。	本種を対象とした防除事例は少ない。
	白葉枯病	8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	早期栽培水稲ではほとんど発生が見られなかった。	強風を伴う降雨日がほとんどなかった。	本病害を対象とした防除は行われなかった。
	もみ枯細菌病（細菌性苗腐敗症）	4月中旬～5月上旬、8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年より少なかった。	健全な種子の供給、育苗施設の環境改善により、近年発生は少ない。	種子消毒で防除を行った。
	苗立枯病	4月中旬～5月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	育苗期間中の発生量は全体としては平年並に少なかった。	育苗期間中の夜間の低温、日中の高温により発病が誘発されるが、育苗期間中そういう条件が少なかった。	種子消毒及び育苗散布を行った。
	ばか苗病	4月中旬～5月上旬、7月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	発生は確認されていない。	種子消毒の徹底によるものと思われる。	種子消毒で防除した。採種圃および周辺圃場でも対策が徹底されている。
	籾葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本病害を対象とした防除は行われていない。
	萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は確認されていない。	例年、発生は確認されていない。	本種の防除を目的とした防除は行われなかった。
	イネドロオイムシ	5月中旬～7月上旬 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	発生量は少なかった。例年、実害は少ない。	発生が散見されたが、収量減につながる被害はなかった。	本種の防除を目的とした防除は行われなかった。
	イネクロカメムシ	5月中旬～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：多	発生量は並だったが、6月上旬頃から発生が確認された。	近年の一時期、被害が多発したがことがあったが、本年の発生量平年並み。	本種を対象とした防除は行われなかった。実害はなかった。
	イチモンジセセリ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	発生量は平年並みであった。	暖冬傾向であったが、寒い時期があった。	本種を対象とした防除は行われていない。
アワトウ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	発生は平年よりやや多かった。	寒い時期もあったが、暖冬傾向である、越冬条件に恵まれた。	本種を対象とした防除は行われていない。	
フタオビコヤガ	7月～8月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	7～8月の発生量は少なかった。	前年が発生が少ない年であった。	本種を対象とした防除は行われていない。実害はなかった。	
イナゴ類	6月～9月 平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	圃場、地域による差があるが、7～8月の発生量は平年より多かった。8月以降、葉の食害が目立つ圃場が見られた。	近年増加傾向にある。周囲の休耕田の影響が考えられる。	本種を対象とした防除は行われていない。実害は少ないと思われる。	
イネシンガレセンチュウ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されていない。	種子更新・種子消毒が行われており、例年発生量は少ない。	種子消毒で防除した。	
小麦	うどんこ病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、発生量は平年並に少ない状況であったが、収量増を目的にした多肥栽培でまれに発生している。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	赤かび病	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	発生面積は多かったが少発生にとどまった。	梅雨入りが早く、5月中旬に感染好適日があり、発生が拡大したがその後の天候の回復により大きな被害とならなかった。	開花期の薬剤防除が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
	さび病類	4月～6月上旬 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	近年ほとんど発生を確認しておらず、発生量は平年並に少ない状況であった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	縞萎縮病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	耐病性品種の作付が増えた。	耐病性品種・播種時期・施肥管理など耕種的に対応した。
	黒穂病類	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	種子更新により一健全種子が使用されているため、ほとんど発生はなかった。	本病を主目的とした防除は行われていない。
	ムギアカタマバエ	5月～6月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	連作圃場では発生があるが、わずかである。	連作回避で防除した圃場が多かった。
	アブラムシ類	4月～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生はほとんど確認されなかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
大豆	アブラムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生量は平年よりやや少く推移した。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	ハスモンヨトウ	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	8月～9月の発生量が平年よりやや多かった。	飛来数は平年並みであるが、発生量はやや多い。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	吸蜜性カメムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	10月に各地で発生が確認された。	近年ミナミアオカメムシが分布拡大し、発生量が増加した。早期水稲の収穫に伴ってダイズへの飛来が集中した。	集団化された圃場では、発生量に応じて無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	紫斑病		平年：やや少 前年：やや少	紫斑粒の発生量はやや少なかった。	種子消毒の実施が指導された。	健全種子の使用、種子消毒が行われた。集団化された圃場では、無人ヘリまたは乗用散布機で防除が行われた。
	コガネムシ類	8月～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生はほとんど確認されなかった。	フェロモントラップの状況から、本年の発生量は、平年並に少なかったと思われる。	本種を主目的とした防除は行われていない。
	シロイチモンジマダラメイガ		平年：やや多 前年：やや多	食害による被害粒の発生量はやや少なかった。	例年の発生変動の範囲内である。	本種を主目的とした防除は行われていない。
かんきつ	そうか病	春葉 4～7月 平年：早 前年：早 果実 5～9月 平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	春葉での初発は4月6日(平年4月16日)と早く、果実では5月12日(平年5月16日)とやや早かった。発生量は、ほぼ平年並で推移した。	5月下旬の降水量はやや多かったが、防除が的確に行われ、発生が抑制された。	イミベンコナゾール水和剤、ジチアノン剤、銅剤、EBI剤等による発芽期防除が行われた。
	黒点病	果実 5月～ 平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	果実での初発は5月23日(平年5月23日)と平年並(県予察圃)。9月までの発生量は平年並に推移したが、その後、やや多くなった。	8月、9月の降雨により、発生が認められた。	初期感染時期から降水量に応じてマンゼブ剤、ポリカーバメート剤等による防除が行われた。
	かいよう病	春葉 5～9月 平年：並 前年：やや早 果実 6～9月 平年：並 前年：早	平年：並 前年：やや少	温州みかんでの発生量は期間を通じて平年並に少なかった。中晩柑での発生量は平年並であったが、局所的に多発生が確認される圃場があった。	中晩柑では銅剤による防除の実施により数年前から発生が抑制されていることが、全体的に発生が抑えられた大きな要因と考えられる。	中晩柑類では定期的に銅剤による防除が実施された。また、降雨の前には銅剤等による防除が行われた。
	ミカンハダニ	4月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	局所的に多発生が確認されたが、全体的には平年並に推移した。	梅雨や秋雨が長く降水量が多かったため、ハダニの発生量は増加は抑えられた。	マシ油乳剤を主体とした防除が実施されているが、多発時にはアセキノシル剤、シフルメトフェン剤、シエノピラフェン・ピリダベン剤等による防除が行われた。
	ハマキムシ類	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	アラニカルブ剤等による防除が行われた。
	褐色腐敗病	8月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並に少ない。	温州みかんでは台風通過後に一斉防除が実施された。	マンゼブ剤、シアゾファミド剤等で防除が行われた。
	ヤノカイガラムシ	第1世代 4～7月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	近年、全般的に発生量自体が少ない。	マシ油乳剤、DMTP剤等による防除が行われた。
	チャノキイロアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	8月以降、北勢中勢地域を中心に発生量が平年よりやや多く推移した。	梅雨や秋雨が長く、適期防除が難しく、増加がみられた。	ネオニコチノイド剤、クロルフェニル剤、合成ピレスロイド剤等による防除が行われた。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて平年並に推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が行われた。
	ミカンハモグリガ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：多	初発が早く、期間初めは多く確認されたが、その後は平年並に推移した。	初発が早く防除が遅れ、発生が確認されたが、その後は適宜防除が実施され、発生が抑制された。	幼木を中心に、アセタミプリド剤、チアメトキサム剤による防除が行われた。
	アカマルカイガラムシ	第1世代 5～6月 第2世代 7～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	紀州地域中心に発生しており、期間を通じて発生量は平年並に推移した。	紀州地域を中心に防除が実施された。	マシ油剤、DMTP剤、プロフェジン剤、アラニカルブ剤、ジノテフラン等による防除が行われた。
かき	カキノヘタムシガ	7月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、アラニカルブ剤、プロチオホス剤等による防除が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	例年発生は少ない。	IGR剤、フェンプロバトリン剤等による防除が行われた。
	炭疽病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	例年発生は少ない。	マンゼブ剤、イミノクタジン剤等による防除が行われた。
	うどんこ病	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	防除が的確に行われ、発生が抑制された。	石灰硫黄合剤、テフコナゾール剤、イミノクタジン剤等による防除が行われた。
	カキクダアザミウマ	5月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	近年、典型的な被害の発生は、ほとんど見られない。発生密度そのものが低いと考えられる。	本害虫を対象とした防除は通常実施されていない。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
	フジコナガイ ガラムシ	6月～ 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ジノテフラン剤、DMTP剤、プロチオホス剤等による防除が行われた。
なし	黒星病	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	5月中旬頃の降雨により6月の発生はやや多く確認されたが、その後は平年並で推移した。	5月の中旬頃の降雨により発病に好適な気候であったが、降雨が続かず、また防除により感染および発病が抑制された。	発病初期には罹病部の除去が行われた。ストロビルリン系剤、DMI剤、ジチアノン剤等による防除が行われた。
	ナンシメシキイ	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	フェロモントラップ（松阪市）では発生量はやや少く推移した。一般圃場における発生量も、平年並に少く推移した。	一般圃場では防除により概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、チオジカルブ剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハマキムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	フェロモントラップ（松阪市）の誘殺数は、チャノコカクモンハマキおよびチャハマキはやや少く推移した。一般圃場での発生量も、平年並に少く推移した。	一般圃場では防除により概ね発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤、MEP剤等による防除が実施された。一部では地域でまとまって、交信攪乱剤の設置が行われた。
	ハダニ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生は少く推移した。	降雨と防除により抑制されたと考えられる。	エトキサゾール剤、ビフェナゼート剤、ミルベメクチン剤等による防除が行われた。
	赤星病	～6月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生は少く推移した。	付近に中間宿主がある圃場以外では、典型的な被害はほとんど見られず、菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤、マンゼブ剤等による防除が行われた。
	うどんこ病	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	期間を通じて発生は平年並に推移した。	適期の薬剤防除などにより発病が抑制された。	イミノクタジン剤、EBI剤等による防除が行われた。
	輪紋病	5～8月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	例年発生は少なく、菌密度そのものが低いと考えられる。	DMI剤等の散布や休眠期のチオファネートメチルベースト剤塗布による防除が行われた。
	アブラムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通じて発生量はやや少く推移した。	的確な防除により、発生が抑制された。	ネオニコチノイド剤等による防除が行われた。
	クワコナガイ ガラムシ	5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	的確な防除により、発生が抑制された。	DMTP剤、ピリフルキナゾン剤等による防除が行われた。
	ぶどう	べと病	6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に推移した。	適期防除により発生は抑制された。
ハマキムシ類		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップ（松阪市）の誘殺数は、チャノコカクモンハマキおよびチャハマキはやや少く推移した。一般圃場での発生量も、やや少く推移した。	適期の薬剤防除などにより多発に至らなかったと考えられる。	ダイアジノン剤等による防除が行われた。
晚腐病		6～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生量は平年並で推移した。	適期防除により発生は抑制された。	アゾキシストロビン剤、マンゼブ剤等による防除が行われた。
黒とう病		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	発生密度そのものが低いと考えられる。	イミベンコナゾール剤、ベノミル剤、トリフルミゾール剤、マンゼブ剤等による防除が行われた。
チャノキイロ アザミウマ		5～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	ベルメトリン剤等による防除が行われた。
クワコナガイ ガラムシ		4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並に少く推移した。	適期の薬剤防除により発生が抑制された。	DMTP剤、ダイアジノン剤による防除が行われた。
果樹共通	カメムシ類	4～9月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	8月までには平年より少く推移したが、9月以降、発生量は増加した。	秋に発生が増え始めたことから技術情報を発出し、防除を呼び掛けた。また、各産地JAの呼びかけなどにより防除も行われた。	飛来が確認された圃場では、ネオニコチノイド剤、合成ピレスロイド剤、MEP剤等による防除が行われた。
茶	炭疽病	4月～10月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	発生量は8月の長雨で一時的に増えたが、それ以外の期間は平年並かそれ以下で推移した。	8月の降水量が多く発生が増加したと考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	カンザワハダニ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	9月までは平年より少く推移したが10月以降の発生量はやや増加した。	5月以降、月に1回は降雨が続く時期があったため、発生量が抑えられたが10月以降降水量が少なかった。	エトキサゾール剤、ミルベメクチン剤、シグメトフェン剤等による防除が行われた。
	チャノコカク モンハマキ	越冬世代（4～5月） 平年：早 前年：やや早 第一世代（6～7月）	平年：並 前年：並	期間を通じて発生時期は平年より早く、発生量は平年並であった。	暖冬傾向で、特に1月下旬から4月上旬の気温が高く推移したことが発生時期に影響したと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	チャハマキ	4月～10月 平年：早 前年：やや早	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生時期は平年より早く、発生量はやや少～平年並であった。	暖冬傾向で、特に1月下旬から4月上旬の気温が高く推移したことが発生時期に影響したと考えられる。	エマメクチン安息香酸塩剤等による防除が行われた。
	もち病	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	発生量は7月に一部でやや多かったが、期間を通じては平年並であった。	6月後半の一時的な低温と高湿が発生に適した条件であったと考えられる。	デブコナゾール剤等による防除が行われた。
	輪斑病	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	8月後半に一部の圃場で発生が増加したが、全体では平年並であった。	8月の長雨とその後の高温が発生に好適な条件であったと考えられる。	アゾキシストロビン剤等による防除が行われた。
	チャノボソガ	越冬世代（3～4月） 平年：並 前年：やや多 第一世代（5～6月）	平年：並 前年：やや多	発生ピーク時のフェロモントラップの誘殺数も多く、一部圃場で巻葉が多く見られたが、全体では平年並であった。	暖冬で越冬世代の活動が活発であったため4月の発生が多くなり、それ以降の発生量が増加したと考えられる。	ミルベメクチン剤等による防除が行われた。
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	6月までは平年並みかそれ以下であったが、7月に発生量のピークが見られ、その後は平年並～やや多で推移した。	期間を通し平年より気温が高い期間が長かったことが発生増につながったと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。
	チャノキイロ アザミウマ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	期間を通じて発生量は平年並～やや少であった。	5月以降、月に1回は降雨が続く時期があったため、発生量が抑えられたと考えられる。	ピリフルキナゾン剤等による防除が行われた。
	ツマグロアオ カスミカメ	4月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量はほぼ平年並みであった。	防除のタイミングや隣接に雑草が多いなど周囲の条件による影響が大きいと考えられる。	ピリフルキナゾン剤、トルフェンピラド剤等による防除が行われた。
クワシロカイ ガラムシ	第1世代（5月） 平年：やや早 前年：やや早 第2世代（7月） 平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	第1世代幼虫孵化最盛期は5月第3半旬とやや早、第2世代幼虫は7月第4半旬と平年並であった。発生量は期間を通してやや多で、そのうちでも特に6月までの発生が多めで推移した。	多発圃場では一番茶摘採後の中刈りを行い発生を抑制している。	ピリフルキナゾン剤による冬季防除、ピリフルキナゾン剤やプロフェンジン剤等による幼虫孵化期を中心とした防除が行われた。	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
	ヨモギエダシヤク	6月～10月 平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	発生量は平年並で推移した。	発生量の増減につながる要因は少なく、平年並の発生量であった。	ルフェュロン剤等による防除が行われた。
冬春トマト	疫病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全般的に平年並に少なかった。	例年、ほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。
	灰色かび病	4～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	全体的な発生はやや少であるが、圃地によっては多発ほ場が見られている。	換気等によるハウス内環境の改善などがなされた。	薬剤耐性菌発生に配慮した防除がなされた。
	アブラムシ類	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	コナジラミ類の侵入を阻止する防虫ネットの設置や薬剤防除により、同時防除された。
	ハスモンヨトウ	9月～10月	平年：並 前年：やや少	トマト施設内における発生は、期間を通して発生量は平年並に少ない状況であった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいる。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。発生が多いほ場ではフェロモントラップを設置しているほ場もある。
	葉かび病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生は一部圃場での発生にとどまり、発生に広がりが認められなかった。期間を通しての発生はやや少であった。	近年、葉かび病抵抗性品種の導入が進んでいるため、発生は少ない状況である。しかし、葉かび病の防除圧が減っているため、逆にすずかび病の発生は増加している。	発生圃場では薬剤による防除がなされた。抵抗性品種導入圃場では、抵抗性を打破する新レースの出現に注意する必要がある。
	黄化葉巻病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	主にコナジラミ類の防除が徹底していない圃地で発生量がやや多となっている。	一部圃場ではコナジラミの侵入防止用の防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている。	防虫ネットの設置や発病株の除去の徹底を指導している。
	ハモグリバエ類	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	期間を通して発生量は平年並に少なかった。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるため、多発する圃場は少なくなっている。	発生圃場では薬剤による防除や葉欠きが行われた。
	コナジラミ類	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	一部ほ場ではやや多の発生となっている。	防虫ネットの設置により侵入を防いでいるが防虫ネットの老朽化などにより、侵入が認められている圃地がある。	薬剤による防除が行われている。
	オオタバコガ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	オオタバコガのフェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）による誘殺数調査によると、全期間（4月～12月末）のオオタバコガの誘殺数は147頭（平年：368.4頭）とやや少ない誘殺数である。	侵入を阻止するネットの設置により回避を図っている。	薬剤による防除がなされた。
秋冬ハクサイ	アブラムシ類	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	一般圃場における発生は少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	コナガ	9月～12月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	ほとんど発生が見られない。全体的に発生はやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで、5,397頭が誘殺され、平年3816.5頭で、やや多であった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌注処理などの薬剤による防除が行われた。
	軟腐病	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	降雨があって排水が停滞するような一部ほ場で発生しているが本年は発生がやや少ない。	水田裏作での栽培でほ場が湿地傾向にあるほ場で発生が認められている。	薬剤による防除がなされた。
	白斑病	9月～12月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生は平年同様少なかった。近年発生は少ない傾向である。	防除により発生は抑えられた。	薬剤による防除がなされた。
	べと病	9月～12月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生はやや少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除がなされた。
	ヨトウガ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生はやや少であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
冬キャベツ	黒腐病	10月～12月 平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	10月中旬以降、台風の接近がなかったため、発生量は少であった。	初期防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	菌核病	11月～12月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	ほ場により、発生の有無に差があり、連作ほ場で発生が多い。	畑地圃場で発生する傾向となっている。	被害株の早期撤去などが行われた。
	コナガ	9月～12月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	フェロモントラップによると4月～12月までの誘殺数は59頭（平年214.0頭）と少なく、ほ場での発生量もやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。近年、秋の発生量は少ない傾向である。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	ほ場によって発生が見られたがやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	フェロモントラップ（松阪市嬉野川北町）誘殺数は、9月から11月までで、5,397頭が誘殺され、平年3816.5頭で、やや多であった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	根こぶ病	11月～2月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	目立った発生は確認されなかった。一部ほ場で発生が確認されている。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が認められる程度である。	発生圃場では定植前に薬剤による防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	ヨトウガ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並であった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌注処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
春キャベツ	菌核病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並の発生量であった。	前年の発生ほ場への作付けを行ったほ場で発生が認められている。	被害株の早期撤去などが行われた。
	根こぶ病	4月～5月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全体的に発生は平年並であった。	例年発生は少なく、畑地圃場の一部で発生が確認される程度である。	定植前の薬剤による防除、発病株の除去等が行われた。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生過程の概要	発生原因の解析	防除の概要
	コナガ	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	一部圃場で発生が見られたが、全体的に発生は平年並に少なかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	モンシロチョウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	本年はほ場での飛翔があまり見られなかった。	育苗期および定植時の防除により発生は抑制された。	育苗期の灌漑処理や本圃での薬剤散布などの防除が行われた。
	アブラムシ類	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生はほとんど見られず、平年よりやや少なかった。	育苗期および定植時の防除により、発生は抑制された。	育苗期灌漑処理などの薬剤による防除が行われた。
秋冬ネギ	さび病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並に少なかった。近年発生量は少ない傾向にある	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	アブラムシ類	5月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通して発生は平年並に少なかった。	例年ほとんど発生は見られない。	薬剤による防除が行われた。
	黒斑病	6月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	発生は平年並である。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除が行われた。
	ネギハモグリバエ	5月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	本年は防除困難なほ場は少なくなり、発生量はやや少なかった。	ネギハモグリバエは長年のネギの産地では期間を通して発生が見られており、年々発生量、被害量が多くなってきている。	薬剤による防除が行われた。
	ネギアザミウマ	5月～11月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	例年、発生が多い状況であるが、本年の発生は平年並程度であった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向である。	薬剤による防除が行われた。
	ネギコガ	8月～12月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	ほ場での発生は平年並に少なかった。	例年、ほ場ではほとんど発生は見られない。	発生圃場では薬剤による防除が行われた。
	シロイチモジヨトウ	8月～12月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	シロイチモジヨトウのフェロモントラップ（松阪市綿野川北町）による誘殺数調査によると、8月から12月の誘殺数は238頭（平年：228.8頭）と平年並であった。	防除により発生は抑制された。近年発生が多い傾向がある。	薬剤による防除が行われた。
冬春イチゴ	灰色かび病	4月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	年間を通じて発生量はやや少なかった。	防除の遅れなどによりいったん多発すると防除困難となることが多いが、本年は防除困難となるほ場は見られなかった。	薬剤による防除、発病部位の除去などが行われた。
	アブラムシ類	6月～3月 平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	期間を通じて発生量は平年並であった。	防除効果が高い薬剤が普及し、多発する圃場は減少している。	薬剤による防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	9月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	フェロモントラップ（松阪市綿野川北町）誘殺数は、9月から11月までで、5,397頭が誘殺され、平年3816.5頭で、やや多であった。	育苗期および定植時の防除が実施されたこと等により、発生は抑制された。	育苗期に薬剤による防除が行われた。
	うどんこ病	6月～3月 平年：少 前年：少	平年：少 前年：少	苗床、本圃での発生は、ともに少なく推移した。	防除により発生は抑制された。	薬剤による防除がなされた。
	炭疽病	6月～11月 平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	育苗期の後半から徐々に発生が見られるようになり、発生量はやや多かった。	主力品種は罹病性の‘豪姫’であるが、近年は県育成の抵抗性品種‘かおり野’の導入が進んでいる。	薬剤による予防防除、発病を軽減する育苗方法の導入（雨よけ育苗、底面給水等）、抵抗性品種（かおり野）の導入、発病株の除去等が行われた。
	アザミウマ類	3月～4月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	発生は平年よりやや少なかった。	密度上昇による被害拡大がないよう、早期発見に努めている。	薬剤による防除が行われた。
	ハダニ類	6月～3月 平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	ほ場間差が大きく、管理方法の差がそのまま発生量の差となって表れており、発生の二極化がみられている。	ほ場による差が大きく、定植時に少ない状況であることが重要であるとみられる。	薬剤による防除がなされた。薬剤感受性の低下を防ぐため、天敵資材（カブリダニ）や気門封鎖剤を組み合わせた防除を実施している。

4. 病害虫の発生面積と防除面積

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
イネ (早期水稲)	24,600	葉いもち			233	6645	6878	17220	17220
		穂いもち				2215	2215	17220	19680
		紋枯病			117	2798	2915	17220	19680
		イネミズゾウムシ			127	7101	7228	6150	6150
		セジロウンカ				466	466	17220	19680
		トビイロウンカ					0	17220	19680
		ヒメトビウンカ				11076	11076	17220	19680
		ツマグロヨコバイ				991	991	17220	19680
		ニカメイチュウ第1世代				348	348		
		ニカメイチュウ第2世代				3847	3847		
		斑点米カメムシ類	120	1042	1982	8627	11652	17220	19680
		コブノメイガ					0	0	0
		苗立枯病					0	24600	24600
		ばか苗病					0	24600	24600
		籾枯細菌病					0		
		籾枯細菌病 (種子消毒)						24600	24600
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病					0	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0		
		イネシンガレセンチュウ (種子消毒)						24600	24600
		イネドロオイムシ				464	464	0	0
		イネクロカメムシ					3950	3950	0
フタオビコヤガ					233	233	0	0	
イチモンジセセリ					233	233	0	0	
アワヨトウ					117	117	0	0	
イネ (普通期水稲)	1,300	葉いもち			59	236	295	910	910
		穂いもち					0	910	1040
		紋枯病					0	910	1040
		イネミズゾウムシ			7	286	293	325	325
		セジロウンカ				59	59	910	1040
		トビイロウンカ					0	910	1040
		ヒメトビウンカ				591	591	910	1040
		ツマグロヨコバイ				414	414	910	1040
		ニカメイチュウ第1世代					0	0	0
		ニカメイチュウ第2世代					0	0	0
		斑点米カメムシ類		108	0	325	433	910	1040
		コブノメイガ				59	59	0	0
		苗立枯病					0	1300	1300
		ばか苗病					0	1300	1300
		もみ枯細菌病					0		
		もみ枯細菌病 (種子消毒)						1300	1300
		縮葉枯病					0	0	0
		白葉枯病					0	0	0
		萎縮病					0	0	0
		イネシンガレセンチュウ					0		
		イネシンガレセンチュウ (種子消毒)						1300	1300
		イネドロオイムシ				464	464	0	0
		イネクロカメムシ					3950	3950	0
フタオビコヤガ					233	233	0	0	
イチモンジセセリ					233	233	0	0	
アワヨトウ					117	117	0	0	
コムギ R3年産	6,430	さび病類				0	0	0	0
		うどんこ病				5	5	0	0
		赤かび病				5001	5001	6430	6430
		黒穂病類				0	0	0	0
		縮萎縮病				0	0	0	0
		アブラムシ類				0	0	0	0
		ムギアカタマバエ					0	0	0
ダイズ	4,410	ハスモンヨトウ	551	0	413	1792	2756	2646	2646
		吸実性カメムシ類		138	413	965	1516	3087	4851
		紫斑病					0	2867	2867
		アブラムシ類					0	0	0
		コガネムシ類				184	184	0	0

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積 (ha)	
			甚	多	中	少	計	実面積	延面積
カンキツ	1,366	シロイチモジマダラメイガ				75	75	0	0
		そうか病			5	100	105	1229	2459
		黒点病		10	355	790	1155	1229	5840
		かいよう病			74	451	525	1229	3074
		ヤノネカイガラムシ				49	49	1229	2151
		ミカンハダニ	2	314	525	841	1229	3996	
		カメムシ類		41	369	410	1229	775	
		チャノキイロアザミウマ	2	838	315	1155	1229	4918	
ナシ	145	ミカンハダニ			115	1040	1155	1229	1229
		アブラムシ類				315	315	1229	615
		黒星病			1	20	21	138	1825
		赤星病				21	21	138	482
		うどんこ病				62	62	138	156
		輪紋病				7	7	138	827
カキ	380	ハダニ類				41	41	138	413
		カメムシ類		8		36	44	138	138
		炭疽病				16	16	266	1131
		うどんこ病				19	19	266	1397
ブドウ	111	カキノヘタムシガ				22	22	266	599
		カメムシ類	1	28	85	114	266	599	
		べと病			2	26	28	105	844
		黒とう病				14	14	105	738
チャ	2,400	チャノキイロアザミウマ				14	14	105	387
		晩腐病			2	12	14	105	492
		炭疽病			58	518	576	2088	5013
		もち病				120	120	1296	1944
		輪斑病			7	376	383	2160	2400
		チャノコカクモンハマキ		108	972	1080	2105	3789	
		チャハマキ				480	480	1440	1872
		チャノホソガ			13	1331	1344	2021	4126
		チャノミドリヒメヨコバイ			19	1517	1536	2021	4126
		カンザワハダニ	8	37	916	961	2088	6388	
冬春トマト	63	チャノキイロアザミウマ	14	115	950	1079	2105	7158	
		ツマグロアオカスミカメ				552	552	1680	1680
		クワシロカイガラムシ	3	94	1103	1200	1920	2688	
秋冬ハクサイ	177	ヨモギエダシヤク		1	359	360	1200	1440	
		疫病					0	5	10
		灰色かび病				12	12	63	295
冬キャベツ	231	アブラムシ類					0	0	0
		軟腐病				4	4	53	53
		白斑病					0	35	70
		べと病			1	1	107	107	
		アブラムシ類				32	32	177	221
		ヨトウガ				14	14	105	126
春キャベツ	146	コナガ				1	1	107	107
		黒腐病					0	218	251
		菌核病				14	14	133	151
		モンシロチョウ				7	7	50	64
		コナガ				8	8	218	264
		ヨトウガ				14	14	133	264
秋冬ネギ	163	ハスモンヨトウ				11	11	199	199
		菌核病				2	2	14	28
		モンシロチョウ				14	14	23	35
		コナガ				3	3	123	210
冬春イチゴ	74	さび病					0	3	5
		黒斑病		1	112	122	152	217	
		アブラムシ類					0	1	1
		ネギハモグリバエ			2	101	103	163	495
		ネギアザミウマ	1	47	57	105	52	163	
冬春イチゴ	74	ネギコガ				1	1	6	6
		灰色かび病				3	3	74	305
		うどんこ病				1	1	74	102
		アブラムシ類				8	8	74	102
		ハダニ類		1	32	34	74	320	
					1	1	74	85	

5. 発行された予察情報

(1) 発生予察情報の一覧

発生予報	第1号 4月22日	第2号 5月20日	第3号 6月24日	第4号 7月20日	第5号 8月26日	第6号 10月21日	第7号 3月24日
------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------

	病虫害名	対象作物
注意報第1号 令和3年7月1日	ウンカ類(トビイロウンカ、セジロウンカ)	水稲

	病虫害名	対象作物
特殊報第1号 令和3年8月4日	トマト立枯病	トマト

	病虫害名	対象作物
技術情報第1号 令和3年4月1日	赤かび病	ムギ類
技術情報第2号 令和3年4月1日	スクミリンゴガイ	水稲
技術情報第3号 令和3年4月13日	サツマイモ基腐病	サツマイモ
技術情報第4号 令和3年5月13日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第5号 令和3年6月11日	コナジラミ類	トマト
技術情報第6号 令和3年6月17日	ウンカ類	水稲
技術情報第7号 令和3年7月5日	いもち病	水稲
技術情報第8号 令和3年7月5日	クワシロカイガラムシ	チャ
技術情報第9号 令和3年7月12日	斑点米カメムシ類	水稲
技術情報第10号 令和3年7月21日	ハスモンヨトウ	ダイズ・野菜類・花き類
技術情報第11号 令和3年7月29日	トビイロウンカ	水稲
技術情報第12号 令和3年8月19日	いもち病	普通期水稲
技術情報第13号 令和3年9月1日	果樹カメムシ類	果樹類
技術情報第14号 令和3年9月8日	トビイロウンカ	普通期水稲
技術情報第15号 令和3年9月17日	ハスモンヨトウ	ダイズ・野菜類・花き類
技術情報第16号 令和3年12月1日	スクミリンゴガイ	水稲
技術情報第17号 令和4年3月22日	カンザワハダニ	チャ

(2) 予報

防除第7号
令和3年4月22日

目次

ページ

各位

三重県病害虫防除所長

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	10
5. 気象のデータ	11
6. おしらせ	13

令和3年度病害虫発生予報第1号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、イネミズゾウムシの発生時期は平年並、発生量は平年並と予想されます。

コムギでは、赤かび病の発生量は平年並と予想されます。

2) 果樹

ミカンハダニの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。カンキツでは、そうか病、かいよう病の発生量は平年並と予想されます。ナシでは、黒星病、赤星病、ハダニ類、アブラムシ類の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量は平年並と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノホソガ、クワシロカイガラムシ、チャノコカクモンハマキの発生量はやや多と予想されます。多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。

カンザワハダニの発生量は平年並と予想されます。チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、ハダニ類の発生は平年並と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								4月	5月			
						下旬	上旬	中旬	下旬			
イネ	イネミズゾウムシ	平年並	平年並	小	普通					1) 近年、発生量が少ないので移植後、発生の状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。		
コムギ	赤かび病	—	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第1号(令和3年4月1日発表)。 2) 開花期から乳熟期にかけて感染するので、開花最盛期が防除適期です。開花前の薬剤散布は防除効果が劣ります。 3) 出穂および開花状況を把握し、適期防除を行ってください。 4) 曇雨天が続くと被害は増加するので天候の推移に注意し、曇天または降雨が続く場合は追加防除を行ってください。		
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	低					1) 発芽期の防除を実施することで、その後の発生を抑えることができます。 2) 新葉に病斑が見られる圃場では、その後果実へ感染しますので、幼果期の防除を計画してください。		
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通					1) 越冬病斑が見られる圃場では、新葉や幼果へと感染していくので、初期の予防散布がポイントです。 2) 越冬病斑が多い圃場では、伝染源となる発病葉及び発病枝は除去し、圃場外で処分してください。 3) 3~4月に防除を実施していない圃場では、5月に防除を実施してください。		
	ミカンハダニ	—	やや多	中	普通					1) 冬期にマシン油乳剤を散布していない圃場では、新梢伸長期に急増することがあるので注意してください。 2) 発生量は圃場によるばらつきがあるので、発生状況をよく観察してください。 3) 成虫が1葉当たり0.5~1.0頭になったら防除を計画してください。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
ナシ	黒星病	—	平年並	小	普通					1) 昨年の発生が多かった圃場では、天気予報の降雨の情報に注意し、防除適期を逃さないようにしてください。 2) 発病が確認されたら追加防除を行ってください。
	赤星病	—	平年並	小	普通					1) カイツカイブキ等の枝葉に生成された病原菌が4月頃の雨滴によって飛散し、ナシに感染します。 2) 例年発生する圃場や発生が確認された圃場では早めに防除してください。
	ハダニ類	—	平年並	小	普通					1) 発生が見られる圃場では、低密度のうちに防除してください。
	アブラムシ類	—	平年並	小	普通					1) 初期の寄生を見つけることが重要です。 2) 寄生葉付近はアリが活発に活動していることがあるので、発見の目安になります。
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	少	低					1) 本年は越冬量がやや少ないものの一部では発生が確認されます。 2) 山林に近い圃場や過去に多数飛来があった圃場では、飛来に注意してください。 3) 果樹カメムシ類は、4月はウメ、5月はナシ、ビワ、モモに飛来します。 4) 防除は圃場及び圃場周辺(街灯への夜間飛来など)への果樹カメムシ類の飛来を確認して行ってください。 5) 一旦飛来すると連続して飛来することが多いので、防除実施後も注意してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
						4月		5月		
						下旬	上旬	中旬	下旬	
チャ	カンザワハダニ	—	平年並	小	普通					1) 一番茶摘採後圃場を確認して、多発状況であれば摘採前日数に注意して防除してください。 2) 葉裏に生息していますので、葉裏に十分かかる様に薬剤をいねいに散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。 4) 天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。
	チャノホソガ	—	やや多	小	普通					1) 新芽に産卵します。若齢幼虫の多発が認められた圃場では防除しましょう。 2) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	低					1) 新芽の葉柄基部や未展開葉の内側などを吸汁加害します。 2) 新芽の伸長と共に発生量が増加します。
	クワシロカイガラムシ	—	やや多	中	普通					1) 4月16日現在の有効積算温度による予測式では、孵化最盛日は5月17日で平年並(亀山10年平年値 5月17日)、防除適期は5月第4～5半旬頃と予想されます。なお、今後の温度変化により防除適期は変化しますので、ご注意ください。 2) 天敵保護のために、天敵への影響が小さい薬剤を選択してください。 3) 孵化時期に散水により枝幹を濡らすことで歩行型幼虫の固着を防ぐ効果があります。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		4月		5月		
						下旬	下旬	中旬	下旬	
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	小	普通					1) 幼虫は孵化数日後に葉を2~3枚綴るようになるので、葉が効きにくくなります。孵化直後の若齢幼虫を対象に防除してください。 2) 例年、越冬世代成虫の発生最盛期は5月第2半旬です。この7~15日後の幼虫孵化期(5月中下旬頃)が防除適期です。 3) 病害虫防除所のホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載しているので参考してください。
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	中	普通					1) 圃場によって発生にばらつきがあります。こまめに圃場を観察し、発生状況を確認してください。 2) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去し、葉裏にもかかるよう丁寧に散布してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 薬剤散布の際は、収穫前日数と総使用回数を遵守するとともに、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して、薬剤の選択を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	平年並	平年並	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(発生時期±) 2) 予察灯(4月第1半旬~第3半旬)では、未飛来(平年5月1日初飛来)と平年並(発生時期±) 3) 予察灯(昨年7月第1半旬~9月第2半旬)では、誘殺数は197頭(平年153頭)とやや多(+) 4) 巡回調査圃場(昨年8月)では、発生圃場率5.5%(平年8.6%)と少、払い落とし虫数は0.1頭(平年0.2頭)と少(-) 考察: 予察灯における飛来状況から、発生時期は平年並と考えられます。また、昨年の予察灯及び巡回調査結果から越冬成虫の予想発生量は平年並と考えられます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 作況試験田(11月12日播種・品種あやひかり・松阪市)では、出穂期は3月29日(平年4月9日)と早(±) 3) 一般圃場では、出穂期が早い状況(±) 考察: 今後の気象条件、作況試験田および一般圃場の状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、旧葉発病度0(平年0.006)と平年並に少(±) 3) 一般圃場での発生量は平年並(概してやや少)(-) 考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、温州みかんでは旧葉発病度0(平年0.04)と平年並に少、中晩柑類では旧葉発病度0.9(平年3.8)と少(-) 3) 一般圃場での発生量は少~平年並(概してやや少)(-) 考察: 今後の気象条件、巡回調査結果および一般圃場の発生状況から、予想発生量は温州みかん、中晩柑類ともに平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(4月上旬)では、100葉当り雌成虫寄生頭数は、無防除区5.5頭(平年29.8頭)、慣行防除区0頭(平年3.4頭)とともに少(-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、寄生葉率6.9%(平年5.0%)、寄生虫数/葉は0.49頭(平年0.25頭)とともにやや多の傾向(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少~平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 今後の気象条件、巡回調査結果の発生状況を重視し、予想発生量はやや多と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、発病芽率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少(-)</p> <p>考察: 今後の気象条件と巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、発病葉率0%(8年平均0%)と平年並に少の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±)</p> <p>考察: 巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、寄生葉率0%(8年平均0%)と平年並に少の傾向(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	アブラムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、寄生枝率0%(8年平均0.2%)と平年並に少の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
果樹共通	カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町4月1日~10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0.0頭(平年4.5頭)と少、ツヤアオカメムシ73.0頭(平年29.2頭)と多(+~-)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市4月第1半旬~第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ0頭(平年0頭)、ツヤアオカメムシ0頭(平年0頭)といずれも平年並(±)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(御浜町4月1~10日)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は1.8頭(平年1.4頭)、ツヤアオカメムシ16.4頭(平年0.4頭)とともに多の傾向(+)</p> <p>4) フェロモントラップ(4月2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)1頭(平年4.5頭)と少、中間地(津市白山町二本木)16頭(平年5.3頭)と多、平坦地(松阪市嬉野川北町)0頭(平年0.1頭)とやや少(±)</p> <p>5) 昨年度のフェロモントラップ(令和2年10月1日~11月30日)ではチャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)111.0頭(平年141.5頭)とやや少、中間地(津市白山町二本木)31.4頭(平年38.7頭)とやや少、平坦地(松阪市嬉野川北町)4.7頭(平年18.1頭)と少(-)</p> <p>6) チャバネアオカメムシの越冬量は、0.6頭/地点(平年4.2頭)と少、クサギカメムシの越冬量は、4.3頭/地点(平年51.7頭)と少(-)</p> <p>7) 巡回調査圃場(4月第1~2週)では、カンキツ圃場への飛来は未確認(-)</p> <p>考察: 昨年度秋以降の越冬世代の発生量はやや少と考えられ、越冬量も少ない一方で、御浜町など一部で誘殺数が多いことから今後の圃場への飛来数の予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャ	カンザワハダニ	—	平年並
	チャノホソガ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃では、萌芽日は3月30日(平年4月3日)と早、初飛来は3月2日(平年3月17日)と早、フェロモントラップ(3月第4半旬~4月第3半旬)では誘殺数4879.0頭(平年468.9頭)と多(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃(4月第1～第3半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数15.8頭(8年平均89.6頭)とやや少の傾向(-) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、叩き落とし虫数0.1頭(平年1.6頭)と少(-) 4) 一般圃場では、発生は未確認(-) 考察: 県予察圃、巡回調査圃場、一般圃場の状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
	クワシロカイガラムシ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、雌成虫寄生株率20.0%(平年14.6%)とやや多の傾向(+) 3) 一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察: 今後の気象状況、巡回調査圃場の状況を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第1～第3半旬)では、誘殺数963.0頭(平年68.3頭)と多(+) 3) 巡回調査圃場(4月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数0.8枚/m ² (平年1.55枚/m ²)とやや少(-) 4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量は平年並(±) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、今後の気象状況と県予察圃フェロモントラップの状況を考慮すると予想発生量はやや多と考えます。
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	要因 1) 1か月予報(4月15日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+) 2) 巡回調査圃場(4月第2週)では、寄生株率3.1%(平年14.3%)と少、寄生程度1.0%(平年7.6%)と少(-) 3) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±) 考察: ほ場間差が大きいが、全体としての現状の発生量はやや少と考えられ、気象要因による増加を考慮して予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方 1 か月予報 (令和 3 年 4 月 15 日 名古屋地方気象台発表)

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温と降水量はほぼ平年並み、日照時間はほぼ平年並みか多い見込みです。

1 週目 4 月 17 日 ～23 日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
2 週目 4 月 24 日 ～30 日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
3～4 週目 5 月 1 日 ～14 日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報 (令和 3 年 4 月 18 日 16 時 35 分 名古屋地方気象台発表)

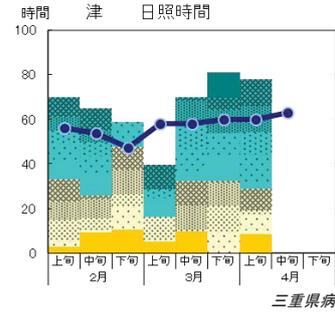
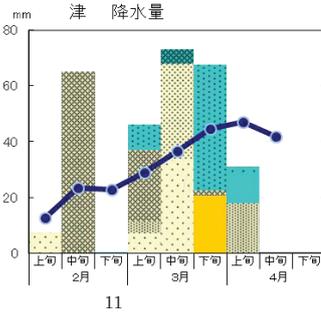
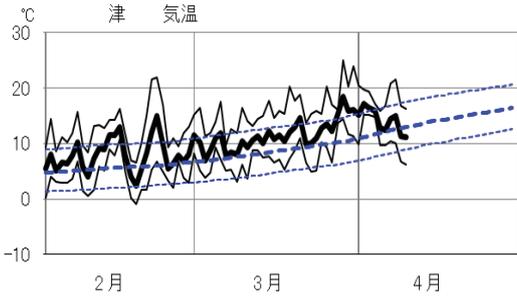
予報期間 4 月 19 日～4 月 25 日

向こう一週間は、高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間の終わりは湿った空気の影響で雲が広がりやすいでしょう。

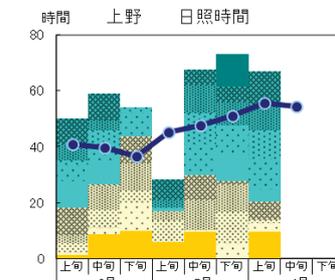
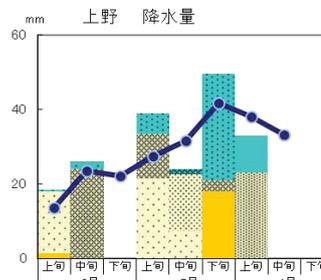
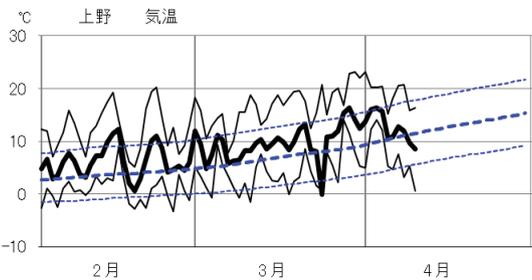
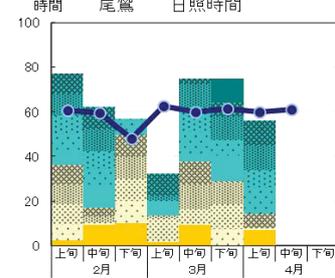
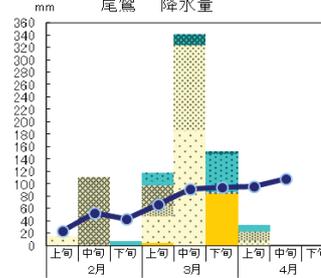
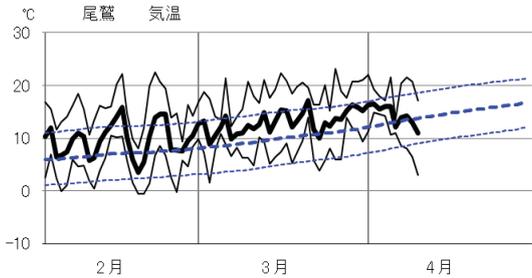
最高気温は、平年並か平年より高く、期間の前半は平年よりかなり高いところもある見込みです。最低気温は、平年並みか平年より低い日が多いですが、期間の後半は平年より高いところがあるでしょう。

降水量は、平年より少ない見込みです。

気象の日別推移 (気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etm/index.php> から作成) (4 月 10 日まで)



三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 平年値

6. お知らせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|---------------|
| 第1回 4月22日(木)(今回) | 第2回 5月20日(木) |
| 第3回 6月24日(木) | 第4回 7月20日(火) |
| 第5回 8月26日(木) | 第6回 10月21日(木) |
| 第7回 3月24日(木) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたことを「掲載通知」として電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況を確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mic>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

13

三重県病害虫防除所

防除第12号
令和3年5月20日
各位
三重県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予報第2号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもちの発生時期はやや早、発生量はやや多と予想されます。発生を見かけたら速やかに防除してください。イネクロカメムシの発生量は平年並と予想されます。イネミズゾウムシの発生時期は平年並、発生量はやや少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、かいよう病(中晩柑)、黒点病、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。そうか病、かいよう病(温州みかん)、ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量はやや多と予想されます。降雨が続く場合は予防的に防除を実施してください。ハダニ類の発生量は平年並と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量はやや多と予想されます。降雨が続く場合は予防的に防除を実施してください。

果樹共通では、カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、もち病、チャノホソガの発生量は平年並、炭疽病、カンザワハダニ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病、うどんこ病の発生量は平年並と予想されます。

ネギでは、ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

野菜共通では、コナガの発生量は平年並と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

1 農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	5月		6月		
							平年比	平年比	程度		平年比
イネ	葉いもち	やや早	やや多	小	普通	置苗で発生			本田で発生	<ul style="list-style-type: none"> 1) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに除去し、枯死させてください。 2) 本田粒剤による予防は、初発前に行ってください。 3) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)において、感染好適条件の現れた7~10日後に初発が予測されます。 4) プラスタムの最新情報は、病害虫防除所ホームページで随時更新しています。 	
	イネクロカメムシ	—	平年並	小	普通		成虫誘殺数		被害量	<ul style="list-style-type: none"> 1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークになる6月下旬に実施してください。 	
	イネミズゾウムシ	平年並	やや少	小	低		成虫誘殺数			<ul style="list-style-type: none"> 1) 株当たり0.5頭以上の成虫が発生していれば、防除してください。 	
カンキツ	そうか病	—	やや少	小	普通	葉・枝			果実	<ul style="list-style-type: none"> 1) 梅雨明けまで幼果に感染します。 2) 6月以降は新芽や幼果の病斑から二次感染するので、予防散布が重要です。 	
	黒点病	—	平年並	小	普通		発病程度			<ul style="list-style-type: none"> 1) 生理落果盛期～後期に予防散布を実施してください。 2) 上記薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があったら次の防除を実施してください。 3) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 	

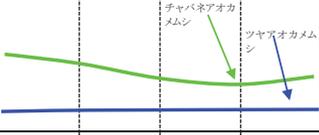
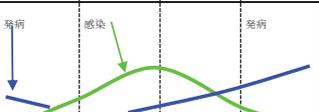
2

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	5月		6月		
							平年比	平年比	程度		平年比
カンキツ	かいよう病	—	温州 やや少 中晩柑 平年並	温州 小 中晩柑 中	温州 低 中晩柑 普通	発病程度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 旧葉で越冬病斑が見られる圃場では、感染を助長する降雨等の気象条件に注意し、ボルドー剤による予防防除を実施してください。 2) 越冬病斑が見られない圃場でも、本病に弱い品種(カラ、セミノールなど)では、幼果への感染防止対策として予防散布を実施してください。 3) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起きます。 	
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通	雌ダニ密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 梅雨期は薬剤散布のタイミングが取りにくい時期です。マシン油乳剤等を有効に利用する散布を計画して下さい。 2) 発生密度が高い圃場では、散布ムラのないように十分に薬剤散布してください。 3) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。 	
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	小	普通	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 例年被害の多い圃場では6月上旬～中旬に防除し、その後は30日間隔を目安に次回の防除を行ってください。 	
ナシ	黒星病	—	やや多	中	普通	発病程度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 圃場内をよく観察し、発病が認められる場合は速やかに防除を実施してください。 2) 発病葉は発見次第取り除き、圃場外へ持ち出して処分してください。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため同一系統薬剤の連用を避けてください。 	
	ハダニ類	—	平年並	小	普通	雌ダニ密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 防除の目安は成虫の1葉当り寄生頭数が1頭以上の時です。 2) 薬剤抵抗性発達を回避するため、同一系統薬剤使用は年1回としてください。 	

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		5月		6月		
						発生時期	発生量	下旬	中旬	
ブドウ	べと病	—	やや多	小	普通	発病程度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 雨が続くとき急に発生が広がります。降雨が予想される時は、早めに予防散布を行ってください。 2) 葉裏をよく観察し、病斑を認めたら直ちに防除を実施してください。 3) 被害葉、被害果穂は発見次第取り除き、圃場外に持ち出し処分してください。
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低					<ul style="list-style-type: none"> 1) 降雨がなく気温の高い夜に飛来が多いので、夜間の街灯に注意したり、圃場を見回るなどして、早期発見に努めてください。 2) 山林に近い圃場では特に注意が必要です。 3) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。 4) 夕刻から活発に飛翔するので朝夕の薬剤散布が効果的です。 5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布すると、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 気温が25℃前後で降雨時間が長く湿潤であると多発します。 2) 6月上中旬頃の気象によっては感染が助長されるので注意してください。 3) 旧葉に病斑葉が多いところでは注意してください。 4) 開葉初期に防除してください。
	もち病	—	平年並	小	低					<ul style="list-style-type: none"> 1) 気温が低い(15~22℃)と多発します。 2) 山間地など日陰になりやすいところでは、降雨により感染が多くなります。 3) 萌芽期が防除適期です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		5月		6月		
						発生時期	発生量	下旬	中旬	
チャ	カンザワハダニ	—	やや少	小	普通	雌メニ密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 世代交代が早く、急増することがあるので、発生密度の低い時期に防除してください。 2) 葉裏に生息していますので丁寧に散布してください。 3) 天敵への影響の小さい薬剤を選択してください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	チャノホソガ	—	平年並	中	普通	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 防除適期は孵化直後の潜葉期(幼虫による絵描き状態)です。 2) 成虫の飛来状況と新芽への産卵状況(水滴状の卵)に注意してください。 3) 成虫の飛来状況は、病害虫防除所のホームページを参考にしてください。
	チャノミドリヒメコバエ	—	やや少	小	普通	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 成虫で越冬し、新芽の伸長とともに発生が増加します。 2) 新芽を加害し、先端から褐変して落葉することもあります。 3) 二番茶の萌芽期~開葉初期に防除してください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	低	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 成虫で越冬し、新芽の葉の組織内に産卵し、加害します。 2) 二番茶の萌芽前~開葉初期に防除してください。
イチゴ	うどんこ病	—	平年並	中	普通	親株発病程度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 今後1か月は感染しやすい時期です。圃場をよく観察し、早期発見に努め、発病葉は適切に処分してください。 2) 育苗圃で発生が多いと本圃でも多発するため、親株の時期から薬剤防除を徹底し、健全苗を育成してください。特にハウスで発生が多くなることがあるので注意して下さい。 3) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		5月		6月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					1) 高温・多湿条件で発生しやすいため、今後の梅雨・高温期にかけては注意が必要です。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。 3) 罹病株は感染源となります。見つけ次第速やかに除去し、圃場外に持ち出して処分してください。 4) 水滴の跳ね返りによって病原菌が広がります。灌水時は、跳ね返った水滴が茎葉に当たらないよう注意してください。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	小	普通					1) 春から秋にかけて4～5回発生します。 2) 幼虫が葉の内部に潜り、表皮を残して食害するため、潜入防止のための早期防除が重要です。
野菜共通	コナガ	—	平年並	中	普通					1) 近年、大きな被害は見られませんが、繁殖力が旺盛なアブラナ科野菜の重要害虫です。 2) 中・老齢幼虫は殺虫効果が低くなるので、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	やや早	やや多	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(+) 2) 東海地方の今年の梅雨入りは5月16日と平年より21日早く、プラスタムの感染好適日初日も早い(—) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、置き苗での発生率0%(平年0%)、本田での発生圃場率0%(平年0%)と、平年並に少(±) 4) 一般圃場では、発生量は無で平年並(±) 考察: 今後の気象条件から予想発生量はやや多と考えます。
	イネクロカメムシ	—	平年並	要因 1) 予察灯(水田位置・松阪市)における誘殺数は、昨年8月第2半旬～10月第6半旬では34頭(平年28.7頭)と平年並、本年4月第1半旬～5月第3半旬では0頭(平年0.2頭)と平年並に少(±) 考察: 昨年と本年の水田予察灯の誘殺状況から、予想発生量は平年並と考えます。
	イネミズゾウムシ	平年並	やや少	要因 1) 予察灯(水田位置・松阪市:4月第1半旬～5月第3半旬)では、越冬成虫の初飛来日は4月30日(平年4月29日)と平年並。誘殺数は15頭(平年32.2頭)とやや少(発生時期±、発生量—) 2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発生圃場率29.4%(平年45.9%)と少、被害株率8%(平年14.5%)と少、株当り虫数0.01頭(平年0.03頭)と少(—) 3) 一般圃場での発生量は無～やや少(概して少)(—) 考察: 予察灯の状況から幼虫の予想発生時期は平年並、巡回調査結果、一般圃場の状況から、予想発生量はやや少と考えます。
カンキツ	そうか病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(+) 2) 県予察圃(5月14日、無防除)では、新葉発病率51.0%(平年69.2%)と少、発病果率12.5%(平年8.5%)とやや多(±) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病度0(平年0.02)と少(—) 4) 一般圃場では、発生量は少(—) 考察: 一般圃場の発生状況から、現状の発生量は少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(無防除区)では、昨年10月上旬の果実発病度は94.8(平年78.1)で多 (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場では、昨年10月上旬の果実発病度10.3(平年10.6)と平年並 (±)</p> <p>4) 感染源となる枯枝は平年並 (±)</p> <p>考察: 平年と比べて大きな増減の要因はなく、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 やや少 中晩柑 平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (+)</p> <p>2) 県予察圃(5月14日、新甘夏、無防除)では、新葉発病率0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉発病度は温州みかんでは0%(平年0.03%)と平年並に少、中晩柑類では2.1%(平年2.2%)と平年並 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 温州みかんでは、現状の発生量は少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃(5月14日)では、100葉当り寄生頭数は、無防除区0頭(平年31.8頭)と少、慣行防除区0頭(平年1.3頭)と少 (-)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、旧葉寄生率3.1%(平年6.3%)と少、寄生頭数0.1頭/葉(平年0.71頭/葉)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少) (-)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況から、発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 県予察圃における5月上旬の黄色粘着トラップ誘殺数0.4頭/日(平年値0.9頭/日)とやや少 (-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並 (±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況から、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ナシ	黒星病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (+)</p> <p>2) 東海地方の今年の梅雨入りは5月16日と平年より21日早い (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率0%(平年0.4%)と少 (-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を重視して予想発生量はやや多と考えます。</p>
	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(5月第2週)では、寄生率0%(平年0.04%)と平年並に少 (±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
ブドウ	べと病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想 (+)</p> <p>2) 東海地方の今年の梅雨入りは5月16日と平年より21日早い (+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、発病率は0%(平年0%)と平年並に少 (±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少 (-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられますが、今後の気象条件を重視して予想発生量はやや多と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町・5月1日~10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ11頭(平年299.4頭)と少、ツヤアオカメムシ297頭(平年1304.5頭)と少 (-)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:5月第1半旬~第3半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ7頭(平年536頭)と少、ツヤアオカメムシ5頭(平年36.9頭)と少 (-)</p> <p>3) フェロモントラップ(5月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で33.6頭(平年52.3頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で34.3頭(平年96.2頭)と少、平地地(松阪市嬉野川北町)で2.8頭(平年49.3頭)と少 (-)</p> <p>4) フェロモントラップ(5月第2週)では、ツヤアオカメムシ誘殺数は、山地(津市白山町川口)で0頭(平年4.4頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で0頭(平年3.6頭)と少、平地地(松阪市嬉野川北町)で0.7頭(平年5.4頭)と少 (-)</p> <p>5) 巡回調査圃場(5月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落とし虫数0頭(平年0.2頭)と少 (-)</p> <p>6) 一般圃場では、発生量はやや少~平年並(概してやや少) (±)</p> <p>考察: 一般圃場の発生状況から現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(+) 2) 県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認(±) 3) 巡回調査圃場(5月第1週)では、新葉発病葉数0葉/m ² (平年0.04葉/m ²)と少(-) 考察:現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮し予想発生量はやや少と考えます。
	もち病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(+) 2) 県予察圃(一番茶期)では、発生は未確認(±) 3) 巡回調査圃場(5月第1週)では、新葉発病枚数0枚(平年0枚)と平年並に少(±) 考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	カンザワハダニ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(±) 2) 県予察圃(5月上旬)では、寄生葉率1.0%(平年4.1%)と少、寄生頭数0.01頭/葉(平年0.15頭/葉)と少(-) 3) 巡回調査圃場(5月第1週)では、発生圃場率14.3%(平年40.0%)と少、寄生葉率0.4%(平年4.1%)と少、寄生頭数0.007頭/葉(平年0.09頭/葉)と少(-) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) 考察:現状の発生量は少と考えられ、今後の気温の上昇を考慮し予想発生量はやや少と考えます。
	チャノホソガ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(±) 2) 県予察圃(4月第3半旬~5月第2半旬)では、フェロモントラップ誘殺数398.3頭(平年216.7頭)と多(+) 3) 巡回調査圃場(5月第1週)では、巻葉数0.20枚/m ² (平年0.57枚/m ²)とやや少(-) 4) 一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察:一般圃場を重視し現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は引き続き平年並と考えます。
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(±) 2) 県予察圃(4月第3半旬~5月第2半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数6.2頭(8年平均7.1頭)と平年並の傾向(±) 3) 巡回調査圃場(5月第1週)では、叩き落とし虫数0頭(平年0.8頭)と少(-) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、予想発生量は引き続きやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、気温は高く、降水量は多い予想(±) 2) 県予察圃(4月第3半旬~5月第2半旬)では、黄色粘着トラップ捕殺数28.1頭(8年平均49.7頭)とやや少の傾向(-) 3) 巡回調査圃場(5月第1週)では、叩き落とし虫数0頭(平年1.4頭)と少(-) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
イチゴ	うどんこ病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は多い予想(±) 2) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少)(-) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、今後の発病における適温条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	炭疽病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は多い予想(+) 2) 一般圃場では、発生量は平年並に少(±) 考察:現状の発生量は平年並に少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は多い予想(±) 2) 昨年12月上旬~2月下旬の平均気温は、7.3℃(平年6.2℃)と高く、越冬量が多いとみられる(+) 3) 巡回調査圃場(5月第2週)では、被害葉率0%(平年0%)と平年並に無(±) 4) 一般圃場では、発生量は無(-) 考察:冬期の気温が高めに経過し、今後発生量が増加することが見込まれることから予想発生量はやや少と考えます。
野菜共通	コナガ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(5月13日発表)によると、平年に比べ平均気温は高く、降水量は多い予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(4月第3半旬~5月第2半旬)では、誘殺数5頭(平年18.6頭)と少(-) 3) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少)(-) 考察:現状の発生量はやや少と考えられるが、今後フェロモントラップにおいて誘殺数が増加する時期にあたることから、予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和3年5月13日 名古屋地方気象台発表)

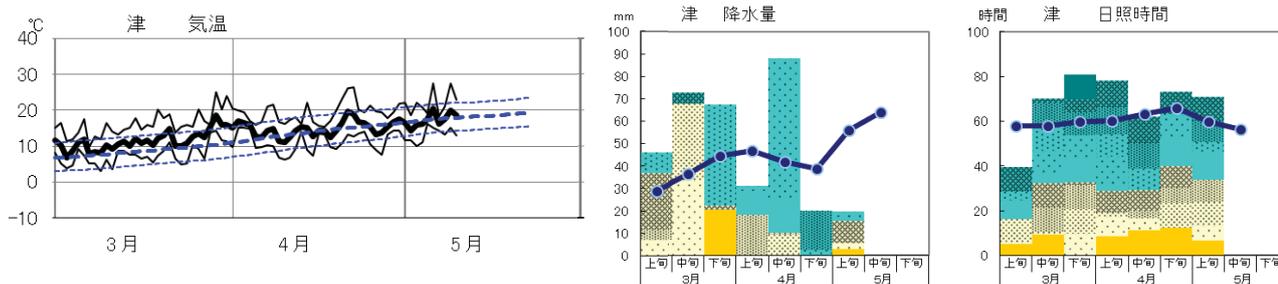
天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に、期間の前半はかなり高くなる可能性があります。低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は多く、日照時間は少ないでしょう。

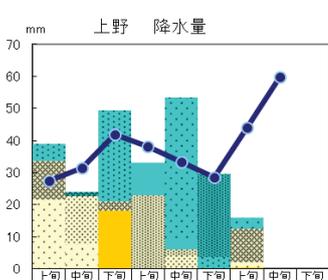
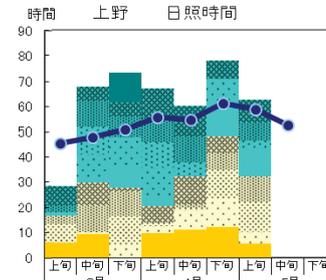
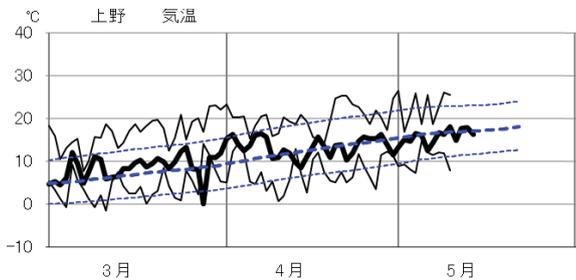
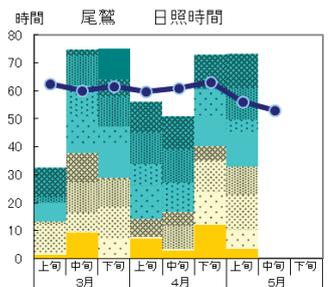
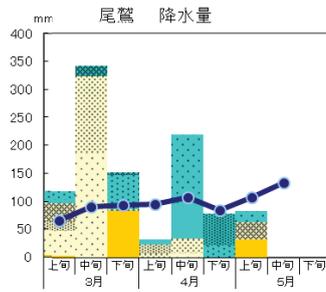
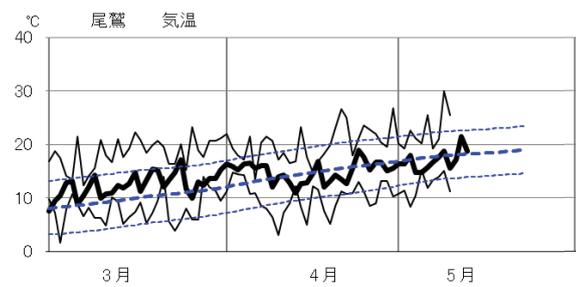
1週目 5月15日～21日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
2週目 5月22日～28日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
3～4週目 5月29日～6月11日	天気は数日の周期で変わるでしょう。

東海地方週間天気予報(令和3年5月17日16時36分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 5月18日から5月24日まで
向こう一週間は、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、雨の降る日が多いでしょう。なお、21日頃は前線の活動の程度によっては、大雨となるおそれがあります。
最高気温は、平年並か平年より低い日が多いですが、期間のはじめと終わりは平年より高い所もある見込みです。
最低気温は、平年並か平年より高く、期間の中頃にかけてはかなり高い日もあるでしょう。
降水量は、平年より多いか、かなり多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (5月10日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 — 旬平均値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 — 旬平均値 害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月22日(木) (済み)
- 第2回 5月20日(木) (今回)
- 第3回 6月24日(木)
- 第4回 7月20日(火)
- 第5回 8月26日(木)
- 第6回 10月21日(木)
- 第7回 3月24日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたことを「掲載通知」として電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご利用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	8
4. 予察項目の見方	15
5. 気象のデータ	16
6. おしらせ	18

令和3年度病害虫発生予報第3号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、葉いもちはやや多、穂いもちの発生時期は平年並、発生量はやや多と予想されます。圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。紋枯病の発生時期および発生量は平年並、白葉枯病の発生量は平年並と予想されます。セジロウカカの発生時期は早、発生量はやや多と予想されます。トビイロウカカの発生時期は早、発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し適期防除に努めてください。斑点米カメムシ類は平年並、イネクワカメムシは平年並、ツマグロヨコバイは少と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、黒点病の発生量は平年並と予想されます。かいよう病(温州みかん・中晩柑)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、黒星病の発生量はやや多と予想されます。降雨が続く場合は予防的に防除を実施してください。ハダニ類の発生量はやや少と予想されます。

ブドウでは、べと病の発生量は平年並と予想されます。

果樹共通では、果樹カメムシ類の発生量はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、クワシロカイガラムシ、チャノコカクモンハマキの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し適期防除に努めてください。クワシロカイガラムシの発生時期は平年並と予想されます。チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマの発生量は平年並と予想されます。炭疽病、カンザワハダニの発生量はやや少と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は平年並と予想されます。ハダニ類の発生量はやや少と予想されます。うどんこ病の発生量は少と予想されます。ネギ共通では、ネギコガの発生量は、やや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	発生消長の一例				
								6月	7月			
						下旬	中旬	下旬				
イネ	葉いもち	平年並	やや多	中	普通	発病程度				1) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めてください。 2) 補植用置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。 3) 感染適温は24℃で、葉身の「ぬれ」時間が長いほど感染量が多くなります。 4) 雨天が続いた場合、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除をしてください。		
	穂いもち	平年並	やや多	中	普通	発病程度				1) 上位葉の葉いもち病斑が伝染源となります。 2) 圃場および周辺圃場での葉いもちの発生状況に注意してください。 3) 薬剤散布は出穂始めから穂揃い期に予防的に行ってください。		
	紋枯病	平年並	平年並	小	普通	発病程度				1) 幼穂形成期頃(穂肥時期)から発生が目立つようになります。 2) 水面に近い茎から茎へ感染します。薬剤散布によって病斑の上位葉への進展を阻止してください。		
	白葉枯病	—	平年並	小	低	発病程度				1) 深水、冠水、台風によって感染や発病が助長されます。 2) 常発地では台風直後に薬剤散布をしましょう。予防的な薬剤散布が効果的です。 3) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意してください。		
	斑点米カメムシ類	—	平年並	小	普通	発病程度				1) 畦畔などのイネ科雑草で増殖します。草刈りをこまめに行い、イネ科雑草の穂がつかないように管理してください。 2) 水田内で雑草が多発すると、水田への侵入を助長するため、早めに除去しましょう。 3) 出穂2~3週間前と出穂期の2回除草が効果的です。出穂2~3週間前の1回除草だけでは、水稻の出穂期に、再び畦畔のイネ科雑草の穂がでてカメムシが本田に飛来します。		

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
						6月		7月		
						平年比	平年比	程度	平年比	
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	小	普通		1) 常発地で薬剤散布する場合は、越冬成虫の発生量がピークとなる6月下旬に実施してください。 2) 日中は株元に潜んでいるので、夕方や曇天の日に薬剤散布を行うと効果的です。			
	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低		1) 萎縮病を媒介しますが、本県での発生は少ないとされています。 2) 当面、防除が必要な密度には達しないと思われます。			
	セジロウンカ	早	やや多	小	低		1) 例年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2) 被害の発生は局所的であることが多いです。 3) 多発時は発生予察情報に従い防除してください。			
	トビイロウンカ	早	やや多	—	—		1) 例年、6月末から7月にかけて海外から飛来します。九州以北では越冬できないとされています。 2) 被害の発生は局所的であることが多いです。 3) 多発時は発生予察情報に従い防除してください。			
カンキツ	そうか病	—	平年並	小	普通		1) 常発圃場や昨年多発した圃場、幼木園、高接ぎ更新園の温州みかんでは、発生に注意してください。 2) 果実への感染は梅雨末期頃までと言われています。			
	黒点病	—	平年並	小	普通		1) 枯枝が伝染源です。梅雨時期の枯枝発生に注意し、樹冠内や圃場内の枯枝を除去してください。 2) 薬剤散布は前回の散布後に積算降水量が200～300mmに達した時を目安に実施してください。			

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項
						6月		7月		
						平年比	平年比	程度	平年比	
カンキツ	かいよう病	—	温州 やや少	温州 小	温州 低		1) 降雨があると急速に感染が広がるので、発生圃場では雨の合間に防除してください。 2) 発病枝葉、果実は、見つけ次第剪除し処分してください。 3) 幼木や高接樹ではミカンハモグリガの被害部に発病しやすいので、ミカンハモグリガの防除を実施してください。 4) 中晩柑類では、梅雨期頃から10月中下旬頃まで果実への感染が起きます。			
	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通		1) 発生密度が高くなると防除が困難になります。1葉当りの雌成虫発生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 薬剤は葉裏にもかかるように散布してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。			
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	普通		1) 寄生果率10%を目安に防除してください。 2) 7月になり果実肥大が進むと果頂部で加害します。 3) 圃場周辺のイヌマキ・サンゴジュ等が発生源となります。			
ナシ	黒星病	—	やや多	中	普通		1) 発病果及び発病葉は除去して、圃場外に持ち出し処分してください。 2) 発病が確認される圃場では、すみやかに防除を計画してください。 3) 薬剤散布を実施するときは薬剤をていねいに散布し、同一系統薬剤の連用を避けてください。			
	ハダニ類	—	やや少	中	普通		1) 1葉当り寄生数が1～2頭で防除を実施してください。 2) 7～8月に密度が高くなります。徒長枝での発生にも注意してください。 3) 同一系統薬剤の連用は避けてください。			

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
ブドウ	べと病	—	平年並	小	普通	発病程度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 降雨が連続すると病徴が急速に進展するので、葉裏に病斑を認めたら直ちに薬剤を散布してください。 2) 降雨の合間に防除を計画してください。 3) 被害葉及び被害落葉は感染源となるので圃場外に持ち出して処分してください。 4) 同一系統薬剤の連用を避けてください。 	
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	少	低		チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ		<ul style="list-style-type: none"> 1) 7月後半以降で飛来数が増加する可能性がありますので注意が必要です。 2) ナシ(無袋栽培)、カキでまとまった飛来を確認したら、防除を実施してください。 3) 中山間地や以前多発したことがある地域では、圃場への飛来に注意してください。 	
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通	発病程度			次の感染	<ul style="list-style-type: none"> 1) 旧葉の病斑が感染源です。新葉の展葉までに毛茸の脱落部分から感染します。 2) 新芽の1葉期前後に感染し易く、潜伏期間の15~20日を経て発病します。 3) 二番茶摘採後に整剪枝を行うことによって、発生が抑制できます。 	
	カンザワハダニ	—	やや少	小	低	ダニ密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 葉裏に産卵するので、丁寧に散布してください。 2) 天敵が増加する時期なので、天敵に影響が少ない薬剤を選択してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので同一系統の薬剤の連用は避けてください。 	
	チャノホソガ	—	平年並	中	普通	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 年間6~7世代発生します。 2) 防除適期は孵化直後の潜葉期(絵描き状態)です。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとしてください。 	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		要防除圃場率	6月		7月		
							発生時期	発生量	発生時期		発生量
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	中	普通	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 年間5~8回発生し、新芽を加害します。葉先が褐変し、ひどくなると落葉します。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。 	
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通	成虫密度				<ul style="list-style-type: none"> 1) 年間7~8回発生し、新芽を加害します。萌芽初期に芽の芯から加害し、条痕となります。 2) 萌芽期~開葉初期に防除してください。 	
	クワシロカイガラムシ	平年並	やや多	中	普通				第二世代幼虫孵化	<ul style="list-style-type: none"> 1) 病害虫防除技術情報第4号(5月13日発表) 2) 年3回発生します。孵化最盛期の2~5日後が防除適期です。 3) 有効積算温度による発生活消長予測式では、第2世代幼虫の孵化最盛期は平年より早いと予測されます。 4) 歩行型幼虫の発生状況をルーペ等で実際に確認して防除してください。 5) 孵化開始から2週間程度の断続的な散水により孵化抑制及び孵化幼虫の生存率を低下できます。 6) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。 	
	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	小	普通	第一世代成虫				第二世代成虫	<ul style="list-style-type: none"> 1) 年間4世代発生します。防除適期は誘殺ピークの7~10日後です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップの誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) 交信かく乱剤をまとまった面積に実施することにより、次世代以降の密度を下げるができます。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐためジアシルヒドラジン系 IGR 剤(虫18)、ジアミド剤(虫28)の使用回数は最大年1回までとしてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		6月		7月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	-	少	小	低					1) 育苗期の防除を徹底してください。 2) 薬剤防除は予防散布に努めます。葉裏から発生しやすいので、葉液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布してください。 3) 発病を認めたときは、集中的に散布して感染拡大を防いでください。
	炭疽病	-	平年並	中	普通					1) 病原菌は高温多湿条件を好み、梅雨時期以降に発生が多くなるため、十分な注意が必要です。 2) 病原菌(孢子)を含む水の跳ね返りで感染が拡大します。頭上灌水は避け、株を濡らさないようにしてください。 3) 発病株は感染源となるため、周辺株を含めて直ちに除去し、処分してください。 4) 薬剤防除は、葉液が株元まで十分かかるよう丁寧に散布してください。
	ハダニ類	-	やや少	小	普通					1) 作物残渣から歩行によって移動します。葉かき後の残渣は圃場外に持ち出し、速やかに処分してください。 2) 多発すると防除が困難になります。早期発見に努め、発生初期に防除を行ってください。 3) 散布は葉裏を中心に丁寧に行ってください。 4) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ共通	ネギコガ	-	やや少	小	普通					1) 春から秋にかけて4~5回発生します。 2) 幼虫は葉の内部に潜り、表皮を残して食害します。潜入防止のため、発生初期から防除を行うことが重要です。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	葉いもち	平年並	やや多	要因 1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+) 2) プラストム(6月20日現在)によると、感染好適条件は、6月16日~18日にかけて広範囲で出現(+) 3) 巡回調査圃場(6月第1~2週)では、本田における発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少(±) 4) 置き苗での発生は、巡回調査圃場(6月第1~2週)では1地点で発生を確認(±) 5) 一般圃場では、発生量は無で、平年並に少(±) 考察:巡回調査結果および一般圃場の発生状況から現状の発生量は平年並と考えられ、気象を考慮して予想発生量はやや多と考えます。
	穂いもち	平年並	やや多	要因 1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+) 2) 農業研究所作況試験田(4月26日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並(発生時期±) 3) 一般圃場では、生育は概ね平年並(発生時期±) 4) 葉いもち発生量はやや多の予想(+) 考察:水稲の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、葉いもちの予想発生量を重視して、予想発生量はやや多と考えます。
	紋枯病	平年並	平年並	要因 1) 農業研究所作況試験田(4月26日移植コシヒカリ、移植50日目)によると、葉齢の進展は平年並、茎数はやや少ない(発生時期±、発生量-) 2) 昨年8月の巡回調査圃場では、発生圃場率35.2%(平年27.8%)と多い傾向、発病度は1.3(平年1.5)とやや少の傾向(±) 3) 一般圃場では、生育は平年並、茎数はやや少ない(発生時期±、発生量-) 考察:水稲の生育状況を考慮して予想発生時期は平年並、同様に水稲の生育状況と感染源となる越冬菌核量を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。
	白葉枯病	-	平年並	要因 1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+) 2) 県内では4月以降、激しい風を伴う大雨はなし(-) 考察:これまでのところ、激しい風雨による冠水の機会は少ないため、予想発生量は平年並に少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	斑点米カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2)水田位置予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数はアカスジカスミカメ7頭(平年12.7頭)と少、アカヒゲホソドリカスミカメ0頭(平年18.5頭)と少(—)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、畦畔イネ科雑草すくい取りによる発生地点率は、ホソハリカメムシで6.5%(平年7.7%)とやや少、クモヘリカメムシで3.2%(平年0%)と多の傾向、シラホシカメムシ類で4.8%(平年4.2%)とやや多、アカスジカスミカメで14.5%(平年41.4%)と少、アカヒゲホソドリカスミカメで1.6%(平年11.1%)と少、概して平年並(±)</p> <p>考察:巡回調査結果から、現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	イネクロカメムシ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は水田位置10頭(平年5.6頭)と多、畑位置21頭(平年98.3頭)と少(±)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、発生圃場率1.4%(平年1.5%)と平年並、25株当たり成虫数0.009頭(平年0.004頭)と多(+)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:一般圃場を重視して、現状の発生量は平年並に少と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	少	<p>要因</p> <p>1)予察灯(4月第1半旬～6月第2半旬)では、誘殺数は松阪市・水田位置0頭(平年0.4頭)と少、紀北町0頭(平年0頭)平年並に少、御浜町0頭(平年0.3頭)でやや少、松阪市・畑位置4頭(平年34.2頭)と少、伊賀市(5月第1半旬～6月第2半旬)0頭(平年0.2頭)は平年並に少(—)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、払い落とし成虫数0.07頭(平年0.16頭)と少(—)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:予察灯、巡回調査結果、一般圃場の発生状況から、現状の発生量は少と考えられ、予想発生量は少と考えます。</p>
	セジロウンカ	早	やや多	<p>要因</p> <p>1)予察灯・松阪市水田位置では6月13日初誘殺(平年初誘殺7月20日)(発生時期—)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0.002頭)と平年並に少(±)</p> <p>3)一般圃場では、発生量は平年並に少(±)</p> <p>考察:これまでの誘殺状況から発生時期は早く、初誘殺から水稲収穫までの期間が長くなることから発生密度が上昇すると予想されるため、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	トビイロウンカ (例年より発生が早い ため特別に記載 しています)	早	やや多	<p>要因</p> <p>1)予察灯・松阪市畑位置では6月11日初誘殺、6月13日4頭誘殺。本予察灯では過去10年で3度誘殺があり、最も早い2019年の7月15日より1か月以上早い(発生時期—)</p> <p>2)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、払い落とし成虫数は0頭(平年0頭)と平年並(±)</p> <p>考察:これまでの誘殺状況から発生時期は早く、初誘殺から水稲収穫までの期間が長くなることから発生密度が上昇すると予想されるため、予想発生量はやや多と考えます。</p>
カンキツ	そうか病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬、無防除)では、春葉発病率70.8%(平年79.8%)と少、発病果率92.5%(平年70.5%)と多(±)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、春葉発病度0.03(平年0.02)と平年並(±)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:巡回調査結果の発生状況を考慮して、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬、無防除)では、果実発病率45.8%(平年24.7%)と多(+)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、春葉発病度0.06(平年1.2)と少(—)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>5)感染源となる枯枝量は平年並(±)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 やや少 中晩柑 やや少	<p>要因</p> <p>1)1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2)県予察圃(6月上旬、新甘夏、無防除)では、春葉発病率1.2%(平年1.3%)と平年並、発病果率0%(平年0.2%)とやや少(—)</p> <p>3)巡回調査圃場(6月第1～2週)では、春葉発病率は温州みかんでは0%(平年0.1%)とやや少、中晩柑では2.0%(平年3.2%)と少(—)</p> <p>4)一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:温州みかんでは、現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は少と考えられますが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(—)</p> <p>2) 県予察圃(6月上旬)では、寄生頭数は無防除区 18.9頭/100葉(平年 74.9頭/100葉)と少、慣行防除区 4.4頭/100葉(平年 21.8頭/100葉)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第1~2週)では春葉寄生率 14.3%(平年 8.8%)と多、寄生頭数 0.21頭/葉(平年 0.36頭/葉)と少(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月上旬、無防除)では、誘殺数 1.2頭/日(平年 2.8頭/日)と少(—)</p> <p>3) 県予察圃(6月上旬、無防除)では、寄生虫数 0頭/100果(平年 1.6頭/100果)と少(—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第1~2週)では、被害果率 0%(平年 0.5%)と少(—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少~平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第1~2週)では、発病率 0.3%(平年 1.9%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察:一般圃場の発生状況を考慮して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	ハダニ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(—)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第1~2週)では、寄生率 0%(平年 0.06%)と少、寄生頭数 0頭/葉(平年 0.0006頭/葉)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察:一般圃場の発生状況を考慮して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ブドウ	べと病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第1~2週)では、発病率 0%(平年 0%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(御浜町6月上旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ 16頭(平年 68.1頭)と少、チャバネアオカメムシは 8頭(平年 647.3頭)と少(—)</p> <p>2) 予察灯(畑・松阪市:6月第2半旬)では、誘殺数はツヤアオカメムシ 4頭(平年 49.2頭)と少、チャバネアオカメムシ 7頭(平年 96.2頭)と少(—)</p> <p>3) フェロモントラップ(6月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は、平坦地(松阪市嬉野川北町)で 2.7頭(平年 20.7頭)と少、中間地(津市白山町二本木)で 156.0頭(平年 272.7頭)と少、山地(津市白山町川口)で 159.8頭(平年 144.6頭)と平年並(—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(6月第2週、カンキツ圃場)では、叩き落としまたは見取り調査による飛来は 0頭(平年 0.07頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察:一般圃場の状況を考慮して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 0%(平年 8.9%)、発病葉数 0枚/m²(平年 0.2枚/m²)とともに少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、気象を考慮し予想発生量はやや少と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月中旬)では、寄生頭数 0.01頭/葉(平年 0.04頭/葉)と少、寄生率 1.0%(平年 1.5%)とやや少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率 50.0%(平年 44.5%)とやや多、寄生率 3.3%(平年 4.4%)とやや少、寄生頭数 0.05頭/葉(平年 0.1頭/葉)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノホソガ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、誘殺数9,686頭(平年2,620頭)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、巻葉数0.11枚/m²(平年0.24枚/m²)と少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察:現状の発生量は、巡回調査圃場および一般圃場の結果からやや少と考えられ、県予察圃の状況から予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、捕殺数46.7頭(8年平均52.5頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数0.7頭(平年2.3頭)と少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察:県予察圃場と一般圃場の結果から現状の発生量は平年並と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、捕殺数544頭(8年平均787頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、叩き落とし虫数0頭(平年8.8頭)と少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察:一般圃場を重視し現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	クワシロカイガラムシ	平年並	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 有効積算温度による予測式では、第2世代幼虫孵化最盛日は7月20日頃(平年7月21日頃)(発生時期±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、雌寄生株率15.1%(平年7.5%)と多、雄寄生株率25.0%(平年8.6%)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察:現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。予想発生時期は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(5月第4半旬～6月第3半旬)では、誘殺数654頭(平年170頭)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(6月第2週)では、ハマキムシ類巻葉数3.61枚/m²(平年1.09枚/m²)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや少(-)</p> <p>考察:県予察圃と巡回調査圃場の結果を重視し現状の発生量は平年並と考えられ、県予察圃の状況から予想発生量はやや多と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0.0%(平年4.1%)と少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察:現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件から引き続き予想発生量は少と考えます。</p>
	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察:現状の発生量は、平年並に少と考えられ、今後の気象条件から予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ハダニ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、寄生株率0.5%(平年6.8%)と少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(-)</p> <p>考察:一般圃場の状況から現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(6月17日発表)によると、気温はほぼ平年並、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(6月第2週)では、被害率0%(平年0.05%)とやや少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して少)(-)</p> <p>考察:巡回調査の状況から現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和3年6月17日 名古屋地方気象台発表)

期間のはじめを中心に、前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温はほぼ平年並み、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

1週目 6月19日～25日	前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
2週 6月26日～7月2日	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
3～4週目 7月3～16日	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報

(令和3年6月20日16時37分 名古屋地方気象台発表)

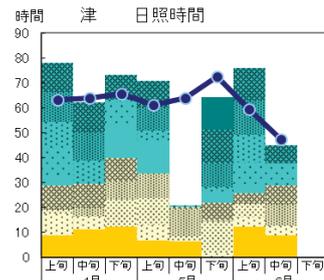
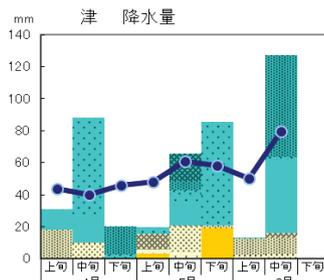
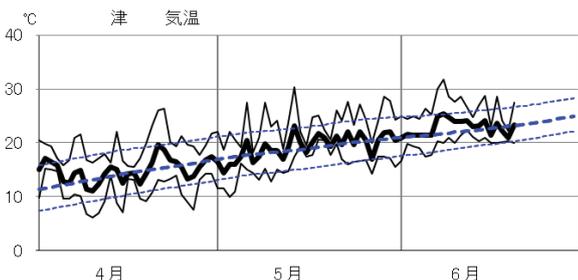
予報期間 6月21日～6月27日まで

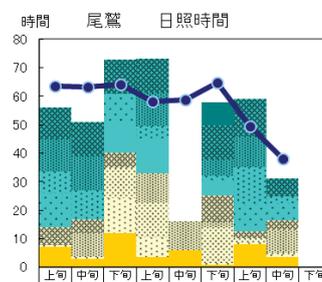
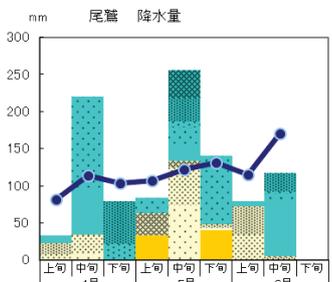
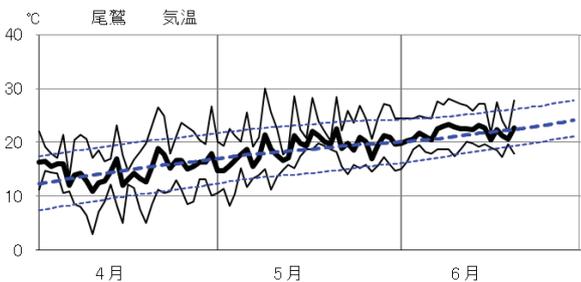
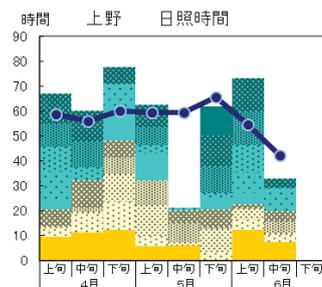
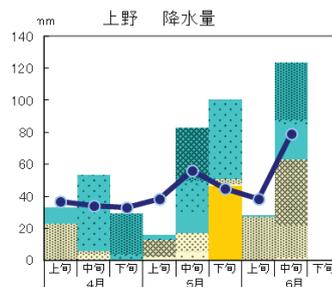
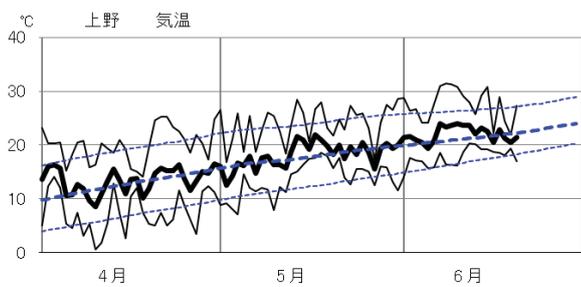
向こう一週間は、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れる日もありますが、その後は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低い日が多いですが、期間のはじめは平年より高い所もある見込みです。

降水量は、平年並みか平年より多いでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (6月20日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬年値

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|------------------|
| 第1回 4月22日(木)(済み) | 第2回 5月20日(木)(済み) |
| 第3回 6月24日(木)(今回) | 第4回 7月20日(火) |
| 第5回 8月26日(木) | 第6回 10月21日(木) |
| 第7回 3月24日(木) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouvaku-sys.com/novaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各位

三重県病害虫防除所長

目次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	7
4. 予察項目の見方	13
5. 気象のデータ	14
6. おしらせ	16

令和3年度病害虫発生予報第4号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネでは、トビイロウンカの発生量は**多**、セジロウンカの発生量は**やや多**と予想されます。防除を徹底してください。穂いもちの発生量は**やや多**と予想されます。防除を行ってください。紋枯病、白葉枯病、斑点米カメムシ類、イネコカメムシの発生量は**平年並**と予想されます。ツマグロヨコバイの発生量は**少**と予想されます。

ダイズでは、吸害性カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意して防除してください。ハスモンヨトウの発生量は**平年並**、紫斑病、コガネムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

2) 果樹

カンキツでは、黒点病、かいよう病(温州、中晩柑)の発生量は**平年並**と予想されます。ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノミドリヒメヨコバイの発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意してください。カンザワハダニ、チャノコカクモンハマキの発生量は**平年並**と予想されます。炭疽病、チャノキイロアザミウマの発生量は**やや少**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは炭疽病の発生量は**平年並**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530
TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568
ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	7月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
イネ	穂いもち	—	やや多	大	高	出穂	発病密度				1) 病害虫防除技術情報第7号(7月5日発表)。 2) 穂いもちが上位葉で発生している圃場では、感染の恐れがあります。発生状況に注意してください。 3) これから出穂期となる圃場において、薬剤散布する場合は、出穂始めから穂揃い期に実施してください。 4) 特に作期のおそい圃場や、いもち病に弱い品種は、適期防除を徹底してください。	
	紋枯病	—	平年並	中	普通	出穂	発病密度				1) 高温多湿条件で発病が助長されます。 2) 多肥、過繁茂の圃場では発生しやすくなります。 3) 薬剤散布は出穂7~10日前に実施してください。	
	白葉枯病	—	平年並	小	低		発病密度				1) 常発地では、台風や集中豪雨の直後に薬剤散布してください。 2) 「みえのゆめ」は耐病性の弱い品種なので注意が必要です。	
	斑点米カメムシ類	—	平年並	中	普通	アカヒゲホソミドリカメムシ アカスジカメムシ	ホソハリカメムシ シロモヘリカメムシ				1) 病害虫防除技術情報第9号(7月12日発表)。 2) 薬剤散布は穂揃い期に実施してください。広域での一斉防除が効果的です。 3) 中山間など山沿いの地域では、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 4) 平坦地域においても、防除後に発生が確認された場合は、2回目の防除を実施してください。 5) 周囲よりも出穂の早い水田および遅い水田では、被害が集中するので防除を徹底してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月	8月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	中	普通	被害量				1) 発生圃場では、今後出すくみ穂や白穂被害が目立つようになります。 2) 常発地で薬剤散布する場合は、株元までかかるように行ってください。
	ツマグロヨコバイ	—	少	小	低	成虫密度				1) 9月上旬までに収穫する圃場では、実害はほとんどありません。
	セジロウンカ	—	やや多	中～大	低	成虫密度				1) 病害虫発生予察注意報第1号(7月1日発表)。 2) 発生予測によると、本年は飛来時期が早いことから第3世代の発生に伴う被害が8月中旬から予想されます。 3) コシヒカリ等の早期栽培でも被害が発生する可能性があるため、必ず防除をしてください。
	トビイロウンカ	—	多	甚	高	成虫密度				1) 病害虫発生予察注意報第1号(7月1日発表)。 2) 発生予測によると、本年は飛来時期が早いことから第3世代の発生に伴う被害が8月中旬から予想されます。 3) コシヒカリ等の早期栽培でも被害が発生する可能性があるため、必ず防除をしてください。
ダイズ	紫斑病	—	やや少	小	普通	発病密度				1) これから播種する圃場では、種子消毒を徹底してください。 2) 莢が形成され始めたら、薬剤散布をしてください。
	コガネムシ類	—	やや少	中	普通	成虫密度				1) 通常は防除の必要はありませんが、多発する場合は加害初期に防除してください。 2) ヒメコガネとドウガネブイブイは夜行性の種のため、夕方に薬剤散布すると効果的です。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月	8月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	平年並	小	普通	被害量				1) 白変葉を目印に早期発見に努め、若齢幼虫期に防除して下さい。 2) 発生量が急増することがありますので、防除所ホームページにおいて、フェロモントラップでの誘殺状況に注意してください。
	吸実性カメムシ類	—	やや多	中	普通	開花				1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 遅くとも、9月下旬(開花30日後・子実肥大初期)までに1回目の薬剤散布をしてください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。
カンキツ	黒点病	—	平年並	小	普通	発病程度				1) 薬剤散布を定期的の実施し、8月下旬まで感染防止に努めてください。 2) 梅雨明け後は感染源となる枯枝が増加するので、切除に努めてください。 3) 薬剤散布後、積算で200mm以上の降雨があれば2回目の防除を実施してください。
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑平年並	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑普通	発病程度				1) 果実・夏枝に病斑が見られる圃場では、発病した枝・葉・果実を除去し、薬剤防除を行ってください。 2) 防風対策に努め、台風の前接近が予想される場合には、直前に防除してください。 3) 高接樹や幼木については、ミカンハモグリガの防除も徹底してください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月	8月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 1葉当りの雌成虫寄生数が0.5～1.0頭程度を目安に防除してください。 2) 高温により活動が停滞する時期ですが、圃場での発生状況をよく確認し、多発している場合は防除してください。 3) 薬剤散布は葉裏にかかるよう、丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統の薬剤の連用を避けてください。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	中	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 寄生果率10%になった時を防除の目安にしてください。 2) 7月以降は寄生部位が果頂部に移ります。
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低					<ul style="list-style-type: none"> 1) 圃場内を観察し、飛来が認められたら防除を実施してください。 2) 圃場(特にナシ、カキ)によっては局所的に飛来してきます。過去に発生が多かった圃場周辺では注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると袋の上から加害されることがあります。
チャ	炭疽病	—	やや少	小	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 感染源は旧葉、感染するのは新芽の上位葉で、新芽生育期に降雨が続くと発生が多くなります。 2) 防除時期は1～2葉展開期です。 3) 整枝による病斑葉の刈り落としも防除効果があります。ただし、葉層の確保充実も考慮してください。 4) 耐性菌が出現しやすいため同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	—	平年並	小	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 発生が少なければ防除の必要はありません。 2) 抵抗性の発達を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		7月	8月			
						発生量	下旬	中旬	下旬	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	中	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育が停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	小	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 新芽の萌芽～開葉初期に防除してください。 4) 一斉防除が効果的です。
	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	小	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 若齢幼虫期に防除してください。防除適期は成虫発生ピークから7日～10日後頃です。 2) 病害虫防除所ホームページにフェロモントラップ誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。
イチゴ	炭疽病	—	平年並	中	普通					<ul style="list-style-type: none"> 1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 薬剤による予防防除を徹底してください。降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 3) 耐性菌が出現しやすいため同一系統薬剤の連用は避けてください。 4) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう、丁寧に灌水を行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	穂いもち	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(+)</p> <p>2) いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6月26日～7月10日の県内アメダスポイント12か所の気象データから判定した感染好適条件出現回数は、のべ15回で平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、葉いもちの発生圃場率16.5%(平年11.3%)、発病度1.52(平年0.67)、発病株における上位葉への進展率4.4%(平年2.6%)でいずれも多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、葉いもちの発生量は少～やや多(概して平年並)、常発地や風通しの悪い場所での発生が複数報告(±)</p> <p>考察: 巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	紋枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 昨年8月の巡回調査結果から、圃場残存菌核数はやや多と予想(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、発生圃場率0.9%(平年3.6%)、発病株率0.04%(平年0.3%)といずれも少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少)(-)</p> <p>考察: 巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から現状の発生量はやや少と考えられますが、昨年8月の調査結果を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	白葉枯病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、発生圃場率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は無(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	斑点米カメムシ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 予察灯の誘殺数(松阪市・水田位置4月第1半旬～7月第1半旬)は、ミナミアオカメムシ20頭(平年15.3頭)とやや多、アカスジカスミカメ29頭(平年90.4頭)と少、アカヒゲホソドリカスミカメ10頭(平年74.6頭)と少(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、すくい取りによる発生圃場率はクモヘリカメムシ3.2%(平年7.1%)、ミナミアオカメムシ0.8%(平年2.2%)、アカスジカスミカメ17.7%(平年35.0%)、アカヒゲホソドリカスミカメ4.8%(平年11.6%)といずれも少。すくい取り成虫数は、クモヘリカメムシ0.04頭(平年0.4頭)、ミナミアオカメムシ0.01頭(平年0.07頭)、アカスジカスミカメ1.3頭(平年3.9頭)、アカヒゲホソドリカスミカメ0.1頭(平年0.37頭)といずれも少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 予察灯の誘殺数、一般圃場の調査結果を重視して予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネクロカメムシ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(松阪市・4月第1半旬～7月第1半旬)では、誘殺数は水田位置12頭(平年9.1頭)と多、畑位置76頭(平年188頭)と少(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、発生圃場率16.1%(平年12.0%)、被害株率1.39%(平年1.16%)といずれもやや多(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	ツマグロヨコバイ	—	少	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(6月第1半旬～7月第1半旬)では、誘殺数は、松阪市・水田位置27頭(平年2.6頭)とやや多、松阪市・畑位置230頭(平年2,479頭)、伊賀市0頭(平年31.9頭)、紀北町1頭(平年4.7頭)、御浜町3頭(平年5.7頭)といずれも少(-)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1～2週)では、発生圃場率10.5%(平年26.8%)、払い落とし成幼虫数0.2頭(平年1.2頭)といずれも少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 予察灯、巡回調査圃場、一般圃場の調査結果から、予想発生量は少と考えます。</p>
	セジロウンカ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 飛来は例年より早く、予察灯(5月第1半旬～7月第1半旬)での誘殺数は松阪市・水田位置1頭(平年0.7頭)とやや多、伊賀市1頭(平年1.4頭)とやや少、紀北町0頭(平年5.7頭)、御浜町0頭(平年9.1頭)といずれも少(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(7月第1～2週)の払い落とし調査では、紀州地域の成虫の発生圃場率0%(平年6.6%)、県全体の発生圃場率0%(平年1.2%)といずれも少(-)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概してやや少)(-)</p> <p>考察: 飛来時期を重視して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	トビイロウンカ	—	多	<p>要因</p> <p>1) 予察灯(5月第1半旬～7月第1半旬)では、松阪市・畑位置では12頭(平年0頭)、伊賀市では2頭(平年0頭)、紀北町4頭(平年0頭)といずれも多の傾向、御浜町2頭(平年0.5頭)と多(+)</p> <p>2) 飛来は例年より早く、近県でも広い範囲で飛来が確認されている(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 予察灯、飛来時期、近県の飛来状況から、予想発生量は多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	紫斑病	—	やや少	要因 1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(+) 2) 巡回調査圃場(昨年11月)では、紫斑粒の発生率0.1%(平年0.3%)と少(-) 考察: 昨年の紫斑粒発生状況と今後の気象条件を考慮し、予想発生量はやや少と考えます。
	コガネムシ類	—	やや少	要因 1) 畑位置予察灯(松阪市・4月第1半旬~7月第1半旬)では、誘殺数はドウガネブイブイ77頭(平年135.3頭)と少、ヒメコガネ6頭(平年31.4頭)と少(-) 2) 県予察圃フェロモントラップ(5月上旬~6月下旬)では、誘殺数はマメコガネ6.4頭(平年100.4頭)と少、ドウガネブイブイ41.2頭(平年40.8頭)と平年並、ヒメコガネ0.4頭(平年2.3頭)と少(-) 考察: 県予察圃フェロモントラップの誘殺状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップで5月第6半旬の誘殺数は285頭(平年12頭)と多(+)。6月第3半旬~7月第2半旬では、誘殺数は236頭(平年346頭)とやや少(-) 考察: フェロモントラップの誘殺状況から現状の発生量はやや少と考えられるが、これ以前に多数の誘殺があること、今後の気象条件を考慮して予想発生量は平年並と考えます。
	吸実性カメムシ類	—	やや多	要因 1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±) 2) 畑位置予察灯(松阪市・6月第2半旬~7月第1半旬)では、ミナミアオカメムシの誘殺数は150頭(平年33.6頭)と多、イチモンジカメムシは15頭(平年28.6頭)と少、クサギカメムシは0頭(平年21.6頭)と少(±) 考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。
カンキツ	黒点病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、無防除区で果実発病度27.1(平年37.5)とやや少の傾向(-) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、果実発病度0.06(平年1.1)と平年並の傾向(±) 4) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概して平年並)(±) 5) 感染源となる枯枝は平年並(±) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±) 2) 県予察圃(7月上旬、新甘夏)では、発病率2.1%(平年2.1%)と平年並、発病率1.7%(平年2.2%)と平年並(±) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、温州みかんは発病率0%(平年0.1%)と少、発病率0%(平年0%)と平年並に少、中晩柑は発病率5.0%(平年6.9%)と平年並の傾向、発病率0.67%(平年0.89%)と平年並みの傾向(温州土、中晩柑土) 4) 一般圃場では、発生量は平年並(±) 考察: 現状の発生量は温州みかん、中晩柑ともに平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。
	ミカンハダニ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±) 2) 県予察圃(7月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区で0頭(平年12.1頭)と少、慣行防除区で0頭(平年7.7頭)とやや少の傾向(-) 3) 巡回調査圃場(7月第1週)では、新葉における寄生率3.4%(平年8.1%)とやや少の傾向、寄生頭数0.07頭/葉(平年0.34頭/葉)とやや少の傾向(-) 4) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概して平年並)(±) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±) 2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月上旬)では、誘殺1.2頭/日(平年2.0頭/日)と少(-) 3) 県予察圃(7月上旬)では、100果当り寄生虫数0頭(平年5.4頭)と少(-) 4) 巡回調査圃場(7月第1週)では、被害率0.8%(平年0.9%)と平年並(±) 5) 一般圃場では、発生量は少~やや少(概してやや少)(-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	要因 1) 予察灯(御浜町:7月1日~7月10日)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ39.0頭(平年1412.0頭)とやや少の傾向、ツヤアオカメムシ5.0頭(平年10.3頭)と並の傾向(-) 2) 予察灯(畑・松阪市:6月第2半旬~7月第1半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ62頭(平年594.0頭)とやや少の傾向、ツヤアオカメムシ8頭(平年385.4頭)と少、クサギカメムシ0頭(平年26.1頭)と少(-) 3) フェロモントラップ(6月第2週~7月第1週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で628.5頭(平年861.8頭)、中間地(津市白山町二本木)で508.2頭(平年1,281.4頭)、平地地(松阪市嬉野川北町)で15.7頭(平年144.3頭)といずれもやや少の傾向(-) 4) 巡回調査圃場(7月第1週)では、カンキツ圃場での叩き落とし虫数0頭(平年0.02頭)とやや少(-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃では、二番茶期の発病葉数0枚/m²(平年0.5枚/m²)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1~2週)では、発病葉数0.4枚/m²(平年1.2枚/m²)と平年並の傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(6月中旬~7月上旬)では、寄生葉率2.0%(平年3.3%)とやや少、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.07頭/葉)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1~2週)では、寄生葉率1.11%(平年1.2%)と平年並、寄生頭数0.01頭/葉(平年0.07頭/葉)とやや少、発生圃場率33.3%(平年14.9%)と多(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、巡回調査圃場の発生圃場率を重視して予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第2半旬~7月第1半旬)では、捕殺数135.7頭(8年平均70.3頭)と多の傾向(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1~2週)では、叩き落とし虫数3.4頭(平年2.3頭)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 現状の発生量は多と考えられ、現在が発生のピークと考え今後の予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第2半旬~7月第1半旬)では、捕殺数935頭(7年平均1,046頭)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1~2週)では、叩き落とし虫数0頭(平年13.7頭)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノコカクモンハマキ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(6月第2半旬~7月第1半旬)では、誘殺数1,251頭(平年804頭)とやや多の傾向(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1~2週)では、ハマキムシ類巻葉数8.17枚/m²(平年0.18枚/m²)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、ハマキムシ類の発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(7月15日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並が多い予想(+)</p> <p>2) 7月上旬の降水量は平年に比べかなり多かった(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(7月第1週、親株)では、発病株率0%(平年0.05%)と平年並に少(±)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅				

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和3年7月15日 名古屋地方気象台発表)

向こう1か月は、平年と同様に晴れの日が多いですが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、降水量は平年並か多いでしょう。

1週目 7月17日～23日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
2週目 7月24日～30日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
3～4週目 7月31日～8月13日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報(2021年07月19日 名古屋地方気象台 発表)

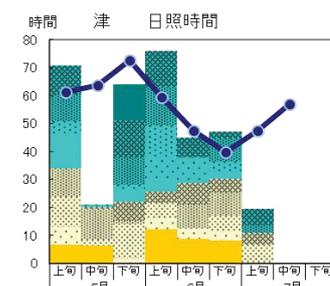
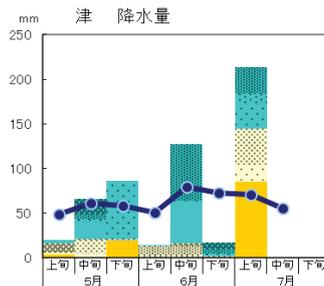
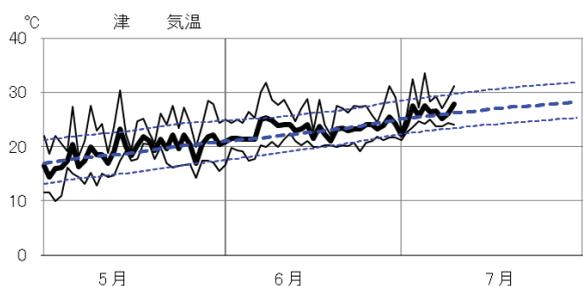
予報期間 7月16日から7月22日まで

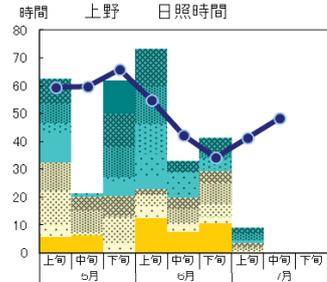
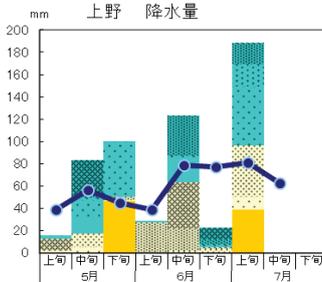
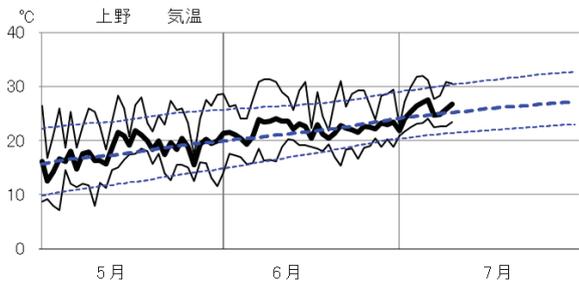
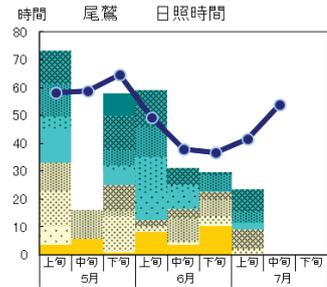
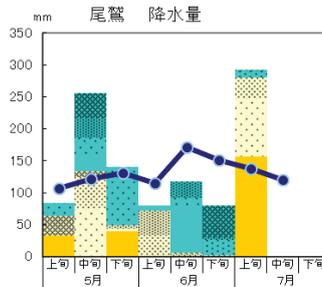
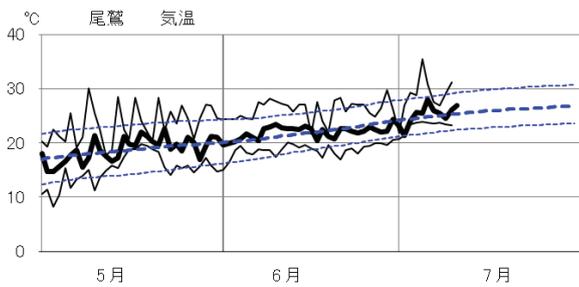
向こう一週間は、高気圧に覆われておおむね晴れますが、期間のはじめは寒気の影響で雨の降る所がある見込みです。期間の終わりは湿った空気の影響で曇りが多くなりやすいでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高い日が多い見込みです。

降水量は、平年並か平年より少ないでしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (7月10日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 前年並

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 前年並

15

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月22日(木) (済み) 第2回 5月20日(木) (済み)
- 第3回 6月24日(木) (済み) 第4回 7月20日(火) (今回)
- 第5回 8月26日(木)
- 第6回 10月21日(木)
- 第7回 3月24日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたことを「掲載通知」として電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

16

三重県病害虫防除所

各 位

三重県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予報第5号

目 次

	ページ
1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	6
4. 予察項目の見方	11
5. 気象のデータ	12
6. おしらせ	14

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネ(普通期)では、トビイロウンカの発生量は**多**と予想されます。早期発見・早期防除に努めてください。斑点米カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。周辺圃場の収穫状況に注意しながら、薬剤散布を行ってください。ツマグロココバイの発生量は**やや少**と予想されます。

ダイズでは、ハスモンヨトウの発生量は**やや多**と予想されます。白変葉が確認された場合には速やかに防除を行ってください。吸実性カメムシ類の発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意して防除してください。

2) 果樹

カンキツではかいよう病(中晩柑)の発生量は**やや多**と予想されます。発病した夏秋梢や果実等の除去に努め、台風などの強風雨の前には防除を実施してください。黒点病、かいよう病(温州)、ミカンハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**平年並**と予想されます。

果樹共通では、カメムシ類の発生量は**やや少**と予想されます。

3) 茶

チャでは、チャノホソガの発生時期は**やや早**、発生量は**やや多**、チャノミドリヒメヨコバイの発生量は**やや多**と予想されます。今後の発生状況に注意し防除を実施してください。クワシロカイガラムシの発生時期と発生量はともに**平年並**、炭疽病、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマの発生量は**いずれも平年並**と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、炭疽病の発生量は**やや多**と予想されます。圃場をよく観察し、早期発見、早期除去に努めて下さい。

ネギでは、シロイチモジヨトウの発生量は**平年並**と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

1

三重県病害虫防除所

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項		
			平年比	平年比		程度	平年比	8月				
								下旬	中旬		下旬	下旬
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	やや多	中	普通	被害量					1) 病害虫防除技術情報第9号(7月12日発表)。 2) 周辺で収穫作業がある時は圃場への侵入に注意し、穂揃い期に薬剤散布を実施してください。 3) 防除後も侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7~10日後に2回目の防除をしてください。 4) 薬剤散布する場合は、周辺圃場の収穫状況を考慮してドリフトに注意してください。	
	ツマグロココバイ	—	やや少	中	低	成虫密度					1) 発生量が少ないので、被害は少ないと思われます。	
	トビイロウンカ	—	多	中~大	低	成虫密度					1) 病害虫発生予察注意報第1号(7月1日発表) 2) 病害虫技術情報第11号(7月29日発表) 3) 発生が確認された場合には速やかに防除を行ってください。	
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	中	普通	被害量					1) 病害虫防除技術情報第10号(7月21日発表)。 2) 圃場を見回り、白変葉を目印として、早期発見、早期防除に努めてください。 3) 薬剤散布は若齢幼虫期に行ってください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項		
			発生時期	発生量		発生時期	8月				9月	
							8月	9月				
発生時期	発生量	発生時期	発生時期	発生時期	発生時期	発生時期	発生時期	発生時期				
ダイズ	吸実性カメムシ類	—	やや多	中	普通	成虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 1) 近年、ミナミアオカメムシによる被害粒の多発や、青立ち症状が増加しています。 2) 薬剤散布は、9月中旬(開花20日後・莢伸長期)と10月上旬(開花40日後・子実肥大中期)の2回散布が効果的です。 3) 1回散布の場合は、9月下旬頃(開花30日後・子実肥大初期)に散布してください。 4) 移動性が高いため、広域一斉防除が効果的です。 5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。 	
	黒点病	—	平年並	中	普通	発病程度					<ol style="list-style-type: none"> 1) 乾燥が続くと樹勢の衰弱により枯枝が増加します。感染源となる枯枝の除去に努めてください。 2) 9月は後期感染の時期なので、果実への感染防止に努めてください。 	
	かいよう病	—	温州平年並 中晩柑やや多	温州小 中晩柑中	温州低 中晩柑高	普通	発病程度					<ol style="list-style-type: none"> 1) 発病した夏秋梢や果実等の除去に努めてください。 2) 防風対策を行うとともに、台風の接近が予想される場合は防除をしてください。 3) ミカンハモグリガの被害痕から菌が侵入しやすいため、高接樹や幼木はミカンハモグリガの防除も実施してください。
	ミカンハダニ	—	平年並	中	普通	普通	ダニ密度					<ol style="list-style-type: none"> 1) 秋になって急増することがあるので、発生状況をよく観察してください。 2) 1葉当たりの雌成虫寄生数が0.5~1.0頭程度を目安に防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用を避けてください。
カンキツ	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通	成虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 1) この時期の被害発生部位は果頂部で、果実肥大が緩慢になり被害が判りにくくなるため、丁寧な観察が必要です。 2) イヌマキ、サンゴジュ等の防風垣に隣接した樹で、被害が多くなることがあります。 	

3

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項	
			発生時期	発生量		発生時期	8月				9月
							8月	9月			
発生時期	発生量	発生時期	発生時期	発生時期	発生時期	発生時期	発生時期				
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	小	低	チャバネアオカメムシ ツヤアオカメムシ					<ol style="list-style-type: none"> 1) 例年飛来が多く見られる圃場では、圃場内の観察をきめ細かく行ってください。 2) 大雨、強風などの後に、急に圃場へ多数飛来することがあります。カンキツやカキ圃場等では、発生状況に十分に注意してください。 3) ナシ、ブドウの有袋栽培では、袋と果実が密着すると、袋の上から加害されることがあるので注意してください。
	炭疽病	—	平年並	小	普通	発病					<ol style="list-style-type: none"> 1) 防除時期は秋芽1~2葉開葉期です。 2) 三番茶期から秋番茶期にかけて増加します。 3) 降雨が続くと感染しやすくなります。降雨の前は予防剤で、降雨の後は治療剤で防除してください。 4) 治療剤(EBI剤など)は耐性菌が出現しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。
	カンザワハダニ	—	平年並	小	普通	普通	ダニ密度				
チャ	チャノホソガ(第4世代幼虫)	やや早	やや多	小	普通	成虫誘殺数					<ol style="list-style-type: none"> 1) 新芽開葉初期の孵化幼虫(潜葉期、絵描き状態)を対象に防除してください。 2) 本年の発生時期は、平年よりやや早いと予想されます。病害虫防除所のホームページにフェロモントラップによる誘殺状況を掲載していますので参考にしてください。 3) ハマキムシ類の間接暴露による薬剤抵抗性の発達を避けるため、ジアシルヒドランジ系 IGR 剤(虫 18)、ジアミド剤(虫 28)の使用回数は最大年1回までとしましょう。

4

三重県病害虫防除所

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項
			発生量	程度		8月		9月		
						発生量	程度	下旬	中旬	
チャ	チャノミドリヒメヨコバイ	—	やや多	中	普通					1) 新芽の先が褐変し、ひどいときは芽が硬化し発育停止します。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	中	普通					1) 萌芽期に加害されると芽の成長が止まり、褐変枯死する場合があります。 2) 晴天が続くと発生が多くなります。 3) 秋芽の萌芽期～開葉初期に防除してください。一斉防除が効果的です。
	クワシロカイガラムシ	平年並	平年並	小	普通					1) 病害虫防除技術情報第6号(7月6日発表) 2) 第2世代幼虫孵化最盛期による予測では第3世代幼虫孵化最盛日は平年並と予想されます。 3) 防除適期は孵化最盛日から2～4日後頃です。 4) この時期はばらつきが大きくなるため圃場で幼虫の孵化を確認してから防除してください。 5) 天敵に影響の少ない薬剤を選択してください。
イチゴ	炭疽病	—	やや多	中	普通					1) 発病株は感染源となるため、周辺株も含めて速やかに除去し、圃場外に持ち出して適切に処分してください。 2) 病原菌を含む水滴の跳ね返りによって感染が拡大します。水滴が跳ね返らないよう丁寧に灌水を行ってください。 3) 薬剤による予防防除を徹底してください。葉かき作業後や降雨、台風等の前後は特に重点的に防除してください。 4) 薬剤耐性菌を生ずる恐れがあるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
ネギ	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通					1) 幼虫の発生は8～10月に多くなります。 2) 幼虫は老齢になるに従って薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。 3) 薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避けてください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ(普通期)	斑点米カメムシ類	—	やや多	要因 1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 予察灯(7月第4半旬～8月第3半旬・松阪市)では、水田位置でイネカメムシ誘殺数は27頭(平年8.9頭)と多、ミナミアカメムシ誘殺数は22頭(平年17.6頭)とやや多、クモヘリカメムシの誘殺数は6頭と少(+) 3) 巡回調査圃場(8月第1～2週・早期水稲)では、すくい取り調査による斑点米カメムシ類の発生圃場率は47.9%(平年42.5%)とやや多の傾向、虫数は3.5頭(平年1.9頭)とやや多の傾向(+) 4) 一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概してやや少)(-) 考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、予察灯の誘殺数を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。
	ツマグロヨコバイ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 予察灯(7月第4半旬～8月第3半旬・松阪市)では、誘殺数は水田位置で0頭(平年3.1頭)と少(-) 3) 巡回調査圃場(8月第1～2週)では、払い落とし調査による発生圃場率は40.3%(平年35.7%)とやや多の傾向、成幼虫数は3.4頭(平年3.5頭)と平年並み(+) 4) 一般圃場では、発生量は少～やや少(概して少)(-) 考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	トビイロウンカ	—	多	要因 1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±) 2) 予察灯(7月第4半旬～8月第3半旬)の誘殺数は松阪市の水田位置で2頭(平年1.3頭)とやや多、伊賀市で19頭(平年2.8頭)と多(+) 3) 巡回調査圃場(8月第1～2週)では、発生圃場率0%(平年0%)、払い落とし成虫数0頭(平年0頭)とともに平年並に少(±) 4) 一般圃場では、発生量は少(-) 5) 飛来は例年より早く、近県でも広い範囲で飛来が確認されており、注意報が発表されている。(+) 考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、予察灯、飛来時期、近県の状況から予想発生量は多と考えます。
ダイズ	ハスモンヨトウ	—	やや多	要因 1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±) 2) フェロモンラップ(7月第2半旬～8月第4半旬)では、松阪市嬉野川北町で1176頭(平年546頭)と多(+) 3) 巡回調査圃場(8月第1～2週)では、葉食害度1.1(平年0.2)と多、白変か所数0.5か所/a(平年0.4か所/a)と平年並(±) 4) 一般圃場では、発生量は無～平年並(概して少)(-) 考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
ダイズ	吸食性カメムシ類	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 予察灯(7月第4半旬～8月第3半旬・松阪市)では、畑位置でミナミアオカメムシ106頭(平年59.9頭)と多、イチモンジカメムシ33頭(平年42.5頭)とやや少、ホソヘリカメムシ34頭(平年39.1頭)と平年並(±)</p> <p>3) 大豆巡回調査圃場(8月第1～2週)では、25株当たり寄生虫数0頭(平年0.004頭)とやや少(—)</p> <p>4) 水稲巡回調査圃場(8月第1～2週)では、ミナミアオカメムシ発生圃場率3.8%(平年1.9%)と多、すくい取り虫数0.06頭(平年0.04頭)と多(+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は、無～少(概して少)(—)</p> <p>考察:ミナミアオカメムシの発生状況を重視して現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
カンキツ	黒点病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、果実発病度64.8(平年62.0)とやや多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1～2週)では、果実発病度0.2(平年3.2)と少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±)</p> <p>5) 感染源となる枯枝の量は平年並(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬、新甘夏、無防除)では、発病率率2.6%(平年2.8%)と平年並、発病率率25.0%(平年16.5%)とやや多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1～2週)のうち、温州みかんでは春葉発病度0(平年0.05)と平年並の傾向、果実発病度0(平年0.006)と平年並(±)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1～2週)のうち、中晩柑では春葉発病度2.6(平年2.4)と平年並、果実発病度1.9(平年2.5)とやや少(±)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並～やや多(概してやや多)(+)</p> <p>考察:温州みかんの現状の発生量は、平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。中晩柑類の現状の発生量は、一般圃場を重視してやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃(8月上旬)では、100葉当たり寄生頭数は慣行防除区で0頭(平年16.4頭)と少(—)</p> <p>3) 県予察圃(8月上旬)では、100葉当たり寄生頭数は無防除区で2.2頭(平年5.2頭)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1～2週)では、春葉における寄生率率8.9%(平年4.3%)とやや多の傾向、寄生虫数1.56頭/葉(平年0.16頭/葉)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(—)</p> <p>考察:一般圃場を考慮し、現在の発生量はやや少と考えられますが、今後の気象状況を考慮し発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノキイロアザミウマ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(8月上旬、無防除)では、誘殺数7.0頭/日(平年10.0頭)とやや少(—)</p> <p>3) 県予察圃(8月上旬、無防除)では、100果当たり寄生虫数1.7頭(平年5.6頭)と少(—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1～2週)では、被害率率1.2%(平年0.6%)とやや多の傾向(+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量はやや少～平年並(概して平年並)(±)</p> <p>考察:現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
果樹共通	カメムシ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(+)</p> <p>2) 予察灯(御浜町:8月上旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ177頭(平年841.1頭)とやや少、ツヤアオカメムシ19頭(平年18.3頭)とやや多の傾向(±)</p> <p>3) 予察灯(松阪市:7月第3半旬～8月第2半旬)では、誘殺数はチャバネアオカメムシ43頭(平年943.7頭)とやや少の傾向、ツヤアオカメムシ8頭(平年119.7頭)と平年並の傾向(—)</p> <p>4) フェロモントラップ(7月第3週～8月第2週)では、チャバネアオカメムシ誘殺数は山地(津市白山町川口)で27.5頭(平年1027.9頭)とやや少の傾向、中間地(津市白山町二本木)で30.5頭(平年1740.9頭)とやや少の傾向、平坦地(松阪市嬉野川北町)で2.0頭(平年475.1頭)とやや少の傾向(—)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察:現在の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	炭疽病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 8月中旬のアメダスポイント津の降雨日数は9日、降水量は193mm(+)</p> <p>3) 県予察圃では、二番茶期の病葉数0枚/㎡(9年平均0.54枚/㎡)と平年並に少の傾向(-)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1~2週)では、発病葉数0.1枚/㎡(平年1.2枚/㎡)と少(-)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 現在の発生量はやや少と考えられるが、気象の状況を考慮し予想発生量は平年並と考えます。</p>
	カンザワハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(7月中旬~8月上旬)では、寄生葉率5.0%(平年7.0%)とやや少、寄生頭数0.21頭/葉(平年0.17頭/葉)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1~2週)では、寄生葉率3.1%(平年0.9%)と多、寄生頭数0.09頭/葉(平年0.02頭/葉)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(-)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	チャノホソガ (第4世代幼虫)	やや早	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃では、第2世代成虫のフェロモントラップ誘殺ピークは7月第2半旬(平年7月第3.2半旬)とやや早(発生時期-)</p> <p>3) 県予察圃フェロモントラップ(7月第3半旬~8月第2半旬)では、誘殺数1,373頭(平年1,188頭)とやや多(+)</p> <p>4) 巡回調査圃場(8月第1~2週)では、巻葉数2.83枚/㎡(平年0.60枚/㎡)と多(+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 発生時期はやや早、現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノミドリヒメコバ イ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月第3半旬~8月第2半旬)では、捕殺数32.5頭(8年平均45.9頭)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1~2週)では、叩き落とし虫数1.9頭(平年1.4頭)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや多と考えられ、引き続き予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
チャ	チャノキイロアザミウ マ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃黄色粘着トラップ(7月第3半旬~8月第2半旬)では、捕殺数996頭(8年平均824頭)とやや多の傾向(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1~2週)では、叩き落とし虫数0.6頭(平年7.4頭)と少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
	クワシロカイガラムシ	平年並	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(亀山市)の第2世代幼虫孵化最盛日は7月16日(平年7月16日)と平年並(発生時期±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1~2週)では、雄繭寄生株率22.2%(平年7.0%)と多、雌成虫寄生株率15.4%(平年7.6%)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 第2世代幼虫孵化最盛期から、予想発生時期は平年並と考えます。現状の発生量は一般圃場の状況を重視して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	炭疽病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 8月中旬のアメダスポイント津の降雨日数は9日、降水量は193mm(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週、育苗床)では、発病株率0.2%(平年0.4%)と平年並の傾向(±)</p> <p>4) 一般圃場では、やや少~やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられるが、気象の状況を考慮して、予想発生量はやや多と考えます。</p>
ネギ	シロイチモジトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(8月19日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量は平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(松阪市:7月第3半旬~8月第2半旬)では、誘殺数は80頭(平年58.0頭)とやや多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(8月第1週)では、青ネギの被害株率0%(平年0.4%)と少(-)</p> <p>4) 一般圃場では、少~平年並(概してやや少)(-)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、フェロモントラップの状況を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多		多

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和3年8月19日名古屋地方気象台発表)

暖かい空気が流れ込みやすい時期があるため、向こう1か月の気温は平年並か高いでしょう。

降水量と日照時間はともに平年並でしょう。

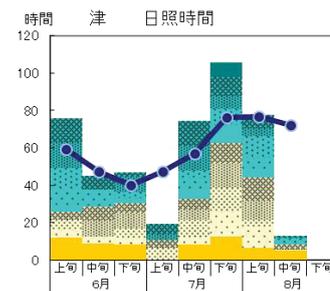
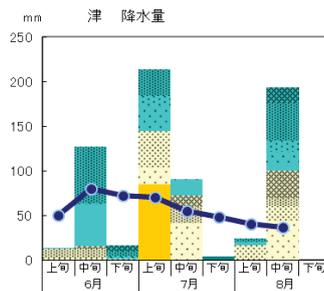
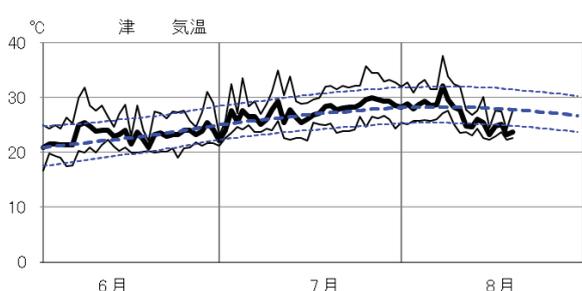
1週目 8月21日～27日	平年と同様に晴れの日が多くなりますが、期間のはじめは湿った空気の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。
2週目 8月28日～9月3日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
3～4週目 9月4日～17日	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

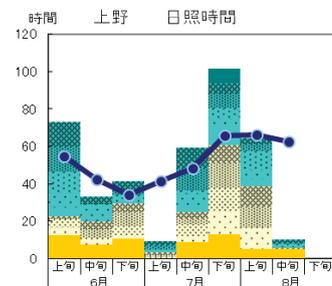
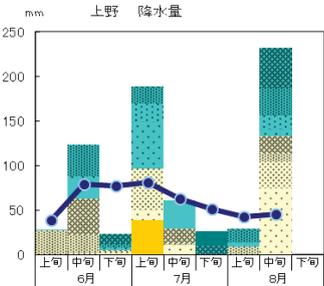
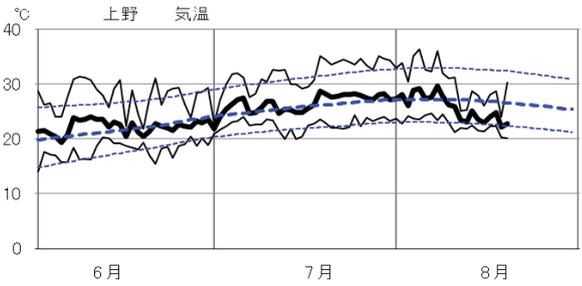
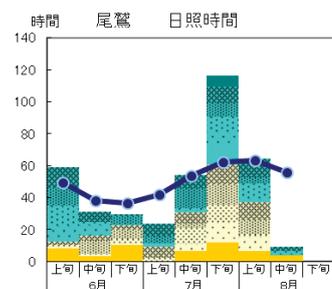
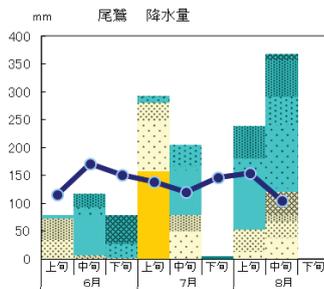
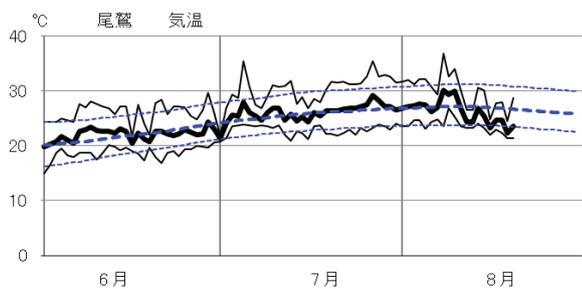
東海地方週間天気予報(令和3年8月23日10時35分名古屋地方気象台発表)

予報期間 8月24日～8月30日

向こう一週間は、期間のはじめは気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすく雨の降る所もありますが、その後は高気圧に覆われて晴れる日が多いでしょう。最高気温は、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い所もある見込みです。最低気温は、平年並か平年より高いでしょう。降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (8月20日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 年平均
 - - - 年最高
 - - - 年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平均値

凡例
 ■ 31日
 ■ 旬10日目
 ■ 旬9日目
 ■ 旬8日目
 ■ 旬7日目
 ■ 旬6日目
 ■ 旬5日目
 ■ 旬4日目
 ■ 旬3日目
 ■ 旬2日目
 ■ 旬1日目
 ■ 旬平均値

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- 第1回 4月22日(木)(済み) 第2回 5月20日(木)(済み)
- 第3回 6月24日(木)(済み) 第4回 7月20日(火)(済み)
- 第5回 8月26日(木)(今回) 第6回 10月21日(木)
- 第7回 3月24日(木)

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

各 位

三重県病害虫防除所長

目 次

ページ

1. 向こう1か月の予報と対策	1
2. 作物別の状況	2
3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠	5
4. 予察項目の見方	8
5. 気象のデータ	9
6. おしらせ	11

令和3年度病害虫発生予報第6号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 果樹

カンキツでは、ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

ハクサイでは、白斑病の発生量はやや少と予想されます。

キャベツでは、黒腐病の発生量はやや少と予想されます。

ネギでは、シロイチモジトウの発生量は平年並、ネギコガの発生量はやや少と予想されます。

2) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量は平年並と予想されます。

野菜共通では、ハスモンヨトウの発生量は平年並、コナガの発生量はやや少と予想されます。

3) 野菜

トマトでは、疫病の発生量は平年並と予想されます。

イチゴでは、炭疽病の発生量はやや多と予想されます。ほ場をよく観察し発病株の早期除去に努めてください。ハダニ類の発生量は平年並、うどんこ病はやや少と予想されます。

515-2316 三重県松阪市嬉野川北町 530

TEL 0598-42-6365 Fax 0598-42-7568

ホームページ <http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量			要防除 圃場率	発生活長の一例				防除の注意事項	
			平年比	平年比	程度		平年比	11月				
								下旬	上旬	中旬		下旬
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	中	普通	成ダニ密度					1) 1葉当りのハダニ成虫数が、0.5～1.0頭程度確認されたら、薬剤防除してください。 2) 中晩柑類で袋かけをする品種では、作業前に必ず発生状況を確認し、必要に応じて防除を行ってください。 3) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
チャ	カンザワハダニ	—	平年並	小	普通	成ダニ密度					1) 薬剤がかかりにくい葉裏に生息しているので、丁寧に薬剤散布してください。 2) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。	
トマト	疫病	—	平年並	小	普通	発病程度					1) 病徴の進展が非常に早いので、発生を確認した場合には集中的に薬剤散布をしてください。 2) 20℃ぐらいの温度で多湿条件の時に発生が多くなります。 3) 病原菌は被害植物の残渣とともに土中に残り、伝染源となります。発病株は圃場外に持ち出して適切に処分してください。	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通	発病程度					1) ビニールの被覆後、発生が増加します。 2) 予防防除に重点をおいて薬剤散布をしてください。 3) 発病を認めたときは、葉裏に葉液がかかるよう、下葉を除去して丁寧に防除してください。	
	炭疽病	—	やや多	中	普通	発病程度					1) 感染した苗は、本圃定植後に発病します。 2) 発病株は圃場外へ持ち出して適切に処分してください。	

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		10月	11月				
						発生量	下旬	上旬	中旬		下旬
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	小	普通	成ダニ密度					<ol style="list-style-type: none"> 天敵を利用する場合は、発生密度の低いうちに導入し、農薬は天敵への影響を考慮して使用してください。 薬剤防除では、発生を確認したら、できるだけ早期に防除してください。 薬剤がかかりやすくなるため下葉を除去し、葉裏まで丁寧に散布してください。 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハクサイ	—	やや少	小	普通	発病程度					<ol style="list-style-type: none"> 秋から初冬にかけて、雨が多いと多発する傾向があります。 肥料切れすると発病を助長します。 発病初期の薬剤防除を徹底してください。
キャベツ	黒腐病	—	やや少	小	普通	発病程度					<ol style="list-style-type: none"> 土壌中の病原菌が雨滴で葉に飛散し、感染します。大雨後や特に冠水したときは、速やかに薬剤防除をしてください。 翌年の伝染源となるので、発病株は圃場外に持ち出して適切に処分してください。
ネギ	ネギコガ	—	やや少	小	普通	幼虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 幼虫が葉の内部に潜るので、潜入防止のため、発生初期から防除をしてください。
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	中	普通	幼虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 若齢幼虫から葉の内部に侵入し、内側から表皮を残して食害します。 老齢幼虫ほど薬剤の効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除してください。 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生消長の一例				防除の注意事項	
			発生量	程度		10月	11月				
						発生量	下旬	上旬	中旬		下旬
野菜共通	コナガ	—	やや少	小	普通	幼虫密度					<ol style="list-style-type: none"> 冬でも生育を続けて加害します。 薬剤抵抗性の発達を回避するため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハスモンヨトウ	—	平年並	中	普通	幼虫密度					病害虫防除技術情報第15号発表(令和3年9月17日) <ol style="list-style-type: none"> 老齢幼虫は防除効果が劣るので、若齢幼虫のうちに防除を行ってください。 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きいため、適期防除に努めてください。 施設ではハウスのパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月上旬)では、100葉当り寄生頭数は慣行防除区で6.7頭(平年63.1頭)と少(—)</p> <p>3) 県予察圃(10月上旬)では、100葉当り寄生頭数は無防除区16.7頭(平年22.9頭)とやや少(—)</p> <p>4) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生葉率9.8%(平年4.7%)と多、寄生頭数0.50頭/葉(平年0.14頭/葉)と多(+)</p> <p>5) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 県予察圃と一般圃場の発生状況を重視して現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(10月上旬)では、寄生葉率1.0%(平年5.1%)、寄生頭数0.02頭/葉(平年0.22頭/葉)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生葉率3.6%(平年1.5%)、寄生頭数0.91頭/葉(平年0.04頭/葉)とともにやや多の傾向(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
トマト	疫病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0%)と平年並に少(±)</p> <p>2) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並に少と考えられ、大きな増加要因がないので、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.1%)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	炭疽病	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0.9%(平年0.3%)と多(+)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量はやや少～やや多(概してやや多)(+)</p> <p>考察: 現状の発生量は圃場によって偏りがあるが、一部に多発圃場が見られるため、予想発生量はやや多と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	ハダニ類	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、寄生株率0%(平年5.4%)と少、寄生程度0(平年1.8)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は圃場によって偏りがあるが、一般ほ場の発生量を重視して予想発生量は平年並と考えます。</p>
ハクサイ	白斑病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年1.4%)と少、発病程度0(平年0.4)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
キャベツ	黒腐病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、発病株率0%(平年0.3%)と少、発病程度0(平年0.1)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して無)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられるが、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
ネギ	ネギコガ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(10月第1週)では、被害葉率0%(平年0.2%)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無～少(概して少)(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	シロイチモジヨトウ	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±)</p> <p>2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第3半旬～10月第2半旬)では、誘殺数72頭(平年85.4頭)と平年並(±)</p> <p>3) 巡回調査圃場(10月第2週)では、被害葉率1.1%(平年5.6%)とやや少(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
野菜 共通	コナガ	—	やや少	要因 1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第3半旬～10月第2半旬)では、誘殺数3頭(平年5.2頭)と少(－) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、ハクサイの寄生株率0%(平年0.1%)と少、キャベツの寄生株率0%(平年0.6%)と少(－) 4) 一般圃場では、発生量は少～平年並(概してやや少)(－) 考察:現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。
	ハスモンヨトウ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(10月14日発表)によると、気温は平年並、降水量は平年並か多い予想(±) 2) 県予察圃フェロモントラップ(9月第3半旬～10月第2半旬)では、誘殺数1,977頭(平年1,772頭)とやや多(+) 3) 巡回調査圃場(10月第1週)では、イチゴの寄生株率0%(平年1.7%)と少、ハクサイの寄生株率0%(平年0.2%)と少、キャベツの寄生株率0.2%(平年2.1%)と少(－) 4) 一般圃場では、発生量は少～やや多(概して平年並)(±) 考察:現状の発生量は、地域によって発生に偏りがあるが概して平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

4. 予察項目の見方

1) 「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比): 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6
評価	早	やや早		平年並				やや遅		遅			

発生量(平年比): 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並		やや多	多

発生量(程度): 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい」「平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比): 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例: 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項: 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2) 「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

(±): 平年並の要因

(+): 発生量増加または発生時期遅延の要因

(-): 発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和3年10月14日 名古屋地方気象台発表)

向こう1か月の気温は、ほぼ平年並の見込みですが、期間のはじめに寒気の影響を受けて気温がかなり低くなり、期間の前半は気温の変動が大きいです。前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

1週目 10月16日～ 22日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
2週目 10月23日～ 10月29日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
3～4週目 10月30日～ 11月12日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報(令和3年10月14日16時35分 名古屋地方気象台発表)

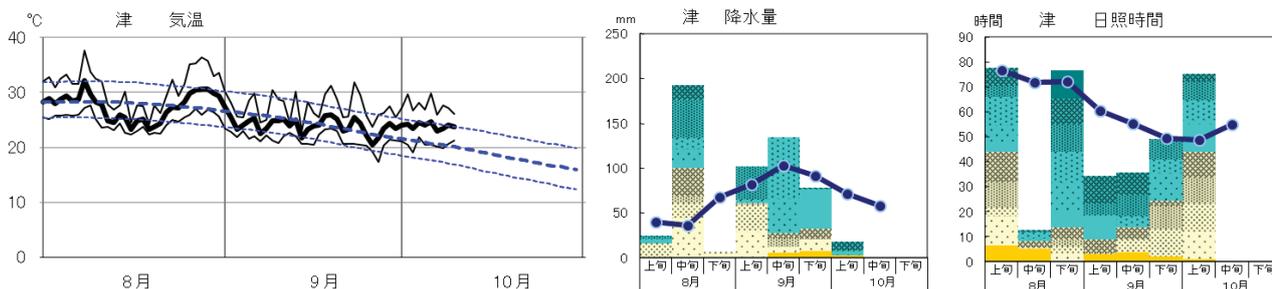
予報期間 10月18日から10月24日まで

向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日もありますが、前線や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る日があるでしょう。

最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より低く、平年よりかなり低い所もある見込みです。

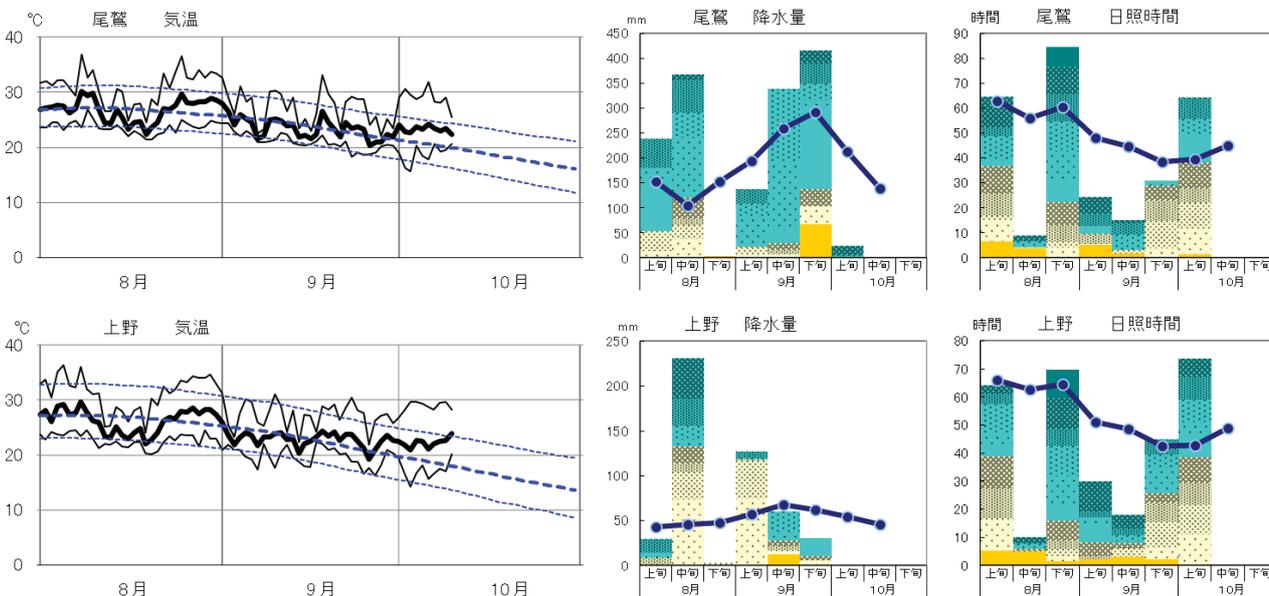
降水量は、平年並でしょう。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etm/index.php> から作成) (10月10日まで)



9

三重県病害虫防除所



凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 初10日目
 ■ 初9日目
 ■ 初8日目
 ■ 初7日目
 ■ 初6日目
 ■ 初5日目
 ■ 初4日目
 ■ 初3日目
 ■ 初2日目
 ■ 初1日目
 ■ 初平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 初10日目
 ■ 初9日目
 ■ 初8日目
 ■ 初7日目
 ■ 初6日目
 ■ 初5日目
 ■ 初4日目
 ■ 初3日目
 ■ 初2日目
 ■ 初1日目
 ■ 初平年値

10

三重県病害虫防除所

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生のないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の予定で発表します。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 第1回 4月22日(木)(済み) | 第2回 5月20日(木)(済み) |
| 第3回 6月24日(木)(済み) | 第4回 7月20日(火)(済み) |
| 第5回 8月26日(木)(済み) | 第6回 10月21日(木)(今回) |
| 第7回 3月24日(木) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして回覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況が確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mic>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

11

三重県病害虫防除所

防除第52号
令和4年3月24日

各位

三重県病害虫防除所長

令和3年度病害虫発生予報第7号

このことについて、下記のとおり発表します。

1. 向こう1か月の予報と対策

1) 作物

イネ(注1)では、イネミズゾウムシの発生量は平年並と予想されます。

コムギ(注2)では、赤かび病の発生量は平年並と予想されます。

注1:4月中旬までに移植する圃場を対象。

注2:11月下旬までに播種した圃場を対象。

2) 果樹

カンキツでは、そうか病、かいよう病(温州、中晩柑)の発生量は平年並、ミカンハダニの発生量はやや少と予想されます。

ナシでは、赤星病の発生量は平年並、黒星病はやや少と予想されます。

3) 茶

チャでは、カンザワハダニの発生量はやや多と予想されます。今後の発生状況に注意し、早期防除に努めてください。チャノホソガの発生時期は平年並と予想されます。

4) 野菜

イチゴでは、灰色かび病の発生量は平年並と予想されます。ハダニ類の発生量はやや少と予想されます。うどんこ病の発生量はやや少と予想されます。

キャベツでは、菌核病の発生量はやや少と予想されます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

2. 作物別の状況

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		3月		4月		
						3月	4月	3月	4月	
イネ	イネミズゾウムシ	—	—	小	普通				成虫誘殺数	<ul style="list-style-type: none"> 1) 近年、実害は少ないので、移植後の発生状況に応じて防除してください。 2) 常発圃場では、箱施用剤による予防を行ってください。
コムギ	赤かび病	—	—	小	普通				出穂期 開花期 感染 発病	<ul style="list-style-type: none"> 1) 圃場ごとに出穂及び開花状況を把握し、開花始めから開花盛期に予防散布してください。 2) 開花期に雨が多く多発生が予想される場合には開花期防除の7～10日後に追加防除を行ってください。
カンキツ	そうか病	—	—	小	普通	葉枝の発病			発芽	<ul style="list-style-type: none"> 1) 昨年に果実での発病がみられた圃場では、発芽期防除を実施してください。 2) 春葉が感染する期間は発芽直後から伸長停止期までです。 3) 越冬病斑の見られる枝葉は剪除して、圃場より持ち出して処分してください。
	かいよう病	—	温州 — 中晩柑	温州 — 中晩柑	温州 — 中晩柑	低			発病程度	<ul style="list-style-type: none"> 1) 越冬病斑が認められる中晩柑圃場では、発芽前防除を実施してください。 2) 夏秋梢等の発病枝葉は早く剪除し、圃場より持ち出してください。 3) ボルドー液とマシン油乳剤の近接散布による葉害に注意してください。
	ミカンハダニ	—	—	やや少	小	普通				成ダニ密度

作物名	病害虫名	発生時期	発生量		要防除圃場率	発生活消長の一例				防除の注意事項
			発生時期	発生量		3月		4月		
						3月	4月	3月	4月	
ナシ	黒星病	—	—	やや少	小	普通	発病程度			<ul style="list-style-type: none"> 1) りん片や新梢基部に発病が確認されたら、すぐに防除を実施してください。なお、発病したりん片は、基部から切除して圃場外で処分してください。 2) 例年発生が多い圃場では、早くから樹体の観察を怠らないようにしてください。
	赤星病	—	—	—	小	普通	ビャクシン類の冬胞子発芽			<ul style="list-style-type: none"> 1) 赤星病の防除時期は、黒星病の防除適期と重なります。 2) 特に開花期前後の防除が重要なので、各薬剤の特性を理解して両方に登録のある薬剤を使用してください。
チャ	カンザワハダニ	—	—	—	中	普通	成ダニ密度			<ul style="list-style-type: none"> 1) 病害虫防除技術情報第17号(3月22日発表)。 2) 2月下旬～3月上旬に産卵します。 3) 裾葉裏に生息しているので、薬剤が付着するよう丁寧に散布してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤使用は年1回に止めてください。
	チャノホソガ	—	—	—	—	—	成虫密度			<ul style="list-style-type: none"> 1) 新芽の葉裏に産卵します。 2) 萌芽は例年4月上旬です。萌芽後は新芽への産卵や幼虫発生に注意してください。
イチゴ	灰色かび病	—	—	—	小	普通	発病程度			<ul style="list-style-type: none"> 1) 病勢が進行すると防除が困難になります。圃場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めてください。 2) 20℃前後の温度と多湿条件で発生が多くなります。ハウス内の温度・湿度管理に注意してください。 3) 発病部位は伝染源となるため、こまめに取り除いて圃場外に持ち出し適切に処分してください。 4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量		要防除 圃場率 平年比	発生活消長の一例				防除の注意事項
			平年比	程度		3月		4月		
						下旬	中旬	下旬	中旬	
イチゴ	うどんこ病	—	やや少	小	普通					1) 軟弱徒長すると発生が多くなります。適切な温湿度管理、灌水管理に努めてください。 2) 発病部位は伝染源となるため、見つけ次第速やかに取り除いてください。 3) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
	ハダニ類	—	やや少	小	普通					1) 葉液がかかりやすくなるよう下葉を除去し、葉裏までしっかりと散布してください。 2) 薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。また、抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用してください。 3) 薬剤散布では、天敵やミツバチに対する影響も十分考慮して薬剤の選択を行ってください。
キャベツ	菌核病	—	やや少	小	普通					1) 発病株は伝染源となるため、菌核が形成される前に抜き取って圃場外へ持ち出し、処分してください。 2) 葉の傷口や生育の衰えた下葉から病原菌が感染し、結球期頃から発生が目立ち始めます。結球初期の予防散布を基本としてください。 3) 薬剤散布は、初発部位である株元を中心に丁寧に行ってください。

3. 発生時期・発生量(平年比)の予察根拠

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イネ	イネミズゾウムシ	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(+) 2) 予察灯(令和3年7月第1半旬~9月第2半旬 松阪市水田位置)では、誘殺数は123頭(平年118頭)と平年並(±) 3) 巡回調査圃場(令和3年8月)では、発生圃場率0.9%(平年8.6%)と少、払い落とし虫数0.01頭(平年0.15頭)と少(—) 考察: 昨年の予察灯の誘殺数を重視して、越冬虫数、予想発生量ともに平年並と考えます。
コムギ	赤かび病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(±) 2) 農業研究所作況試験田(11月12日播種・あやひかり)によると、葉齢の進展は平年並(±) 3) 生育予測システム(11月12日播種・あやひかり・松阪市嬉野。3月17日現在)によると、予想出穂期は4月11日頃(平年4月13日)と平年並(±) 考察: 今後の気象条件および現在の生育状況から、予想発生量は平年並と考えます。
カンキツ	そうか病	—	平年並	要因 1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(±) 2) 県予察圃(無防除圃場)では、昨年7月上旬の春葉発病率85.6%(平年84.4%)と平年並(±) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、旧葉での発病率0%(平年0.03%)と平年並に少、発病度0(平年0.006)と平年並に少(±) 考察: 今後の気象条件と県予察圃および巡回調査結果から、予想発生量は平年並と考えます。
	かいよう病	—	温州 平年並 中晩柑 平年並	要因 1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(±) 2) 県予察圃(無防除圃場、中晩柑、2月22日調査)では、越冬病斑の発病率38.1%(平年28.3%)と多、発病度6.97(平年6.61)と平年並(+) 3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、温州みかん旧葉での発病率0%(平年0.2%)と平年並の傾向、発病度0(平年0.1)と平年並の傾向(±)、中晩柑旧葉での発病率4.7%(平年6.2%)と平年並の傾向、発病度1.5(平年2.9)と平年並の傾向(±) 4) 一般圃場では、発生量はやや少(—) 考察: 温州みかんでは、現状の発生量は平年並に少と考えられ、引き続き予想発生量は平年並に少と考えます。中晩柑類では、現状の発生量は平年並と考えられ、引き続き予想発生量は平年並と考えます。

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
カンキツ	ミカンハダニ	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(3月上旬)では、寄生頭数は無防除区 11.1 頭/葉(平年 17.6 頭/葉)とやや少、慣行防除区 0 頭/葉(平年 1.1 頭/葉)と少(—)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生頭数 0.05 頭/葉(平年 0.31 頭/葉)とやや少の傾向、寄生率率 2.0%(平年 4.6%)とやや少の傾向(—)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量は少(—)</p> <p>考察: 現状の発生量はやや少と考えられ、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
ナシ	黒星病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場では、昨年9月の発病率率 0.3%(平年 0.7%)と平年並に少(±)</p> <p>3) 一般圃場では、昨年10月の発生量はやや少(—)</p> <p>考察: 昨年秋の調査結果はやや少であり、引き続き予想発生量はやや少と考えます。</p>
	赤星病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)</p> <p>2) 巡回調査圃場では、昨年6月の発病率率 0%(平年 0.4%)と平年並の傾向(±)</p> <p>3) 一般圃場では昨年5月の発生量は少(—)</p> <p>考察: 昨年の状況と今後の気象条件を考慮して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
チャ	カンザワハダニ	—	やや多	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(±)</p> <p>2) 県予察圃(3月中旬)では、産卵確認は3月7日(7年平均3月4日)とやや遅。寄生率率 21.0%(平年 5.7%)と多、寄生虫数 0.70 頭/葉(平年 0.19 頭/葉)と多(+)</p> <p>3) 巡回調査圃場(3月第1~2週)では、発生圃場率 77.8%(平年 42.1%)と多、寄生率率 5.2%(平年 2.2%)と多、寄生虫数 0.12 頭/葉(平年 0.06 頭/葉)と多(+)</p> <p>4) 一般圃場では、発生量はやや多(+)</p> <p>考察: 一般圃場の結果を重視して、現状の発生量はやや多と考えられ、予想発生量はやや多と考えます。</p>
	チャノホソガ	平年並	—	<p>要因</p> <p>1) 県予察圃フェロモントラップでは、初飛来は3月13日(平年の初飛来は3月13日)と平年並(発生時期±)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第1~2週)では、成虫は未確認(発生時期±)</p> <p>考察: 県予察圃、巡回調査の結果から、予想発生時期は平年並と考えます。</p>

作物名	病害虫名	発生時期 平年比	発生量 平年比	予察根拠
イチゴ	灰色かび病	—	平年並	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0.4%(平年 2.8%)と少、発病果率 0%(平年 0.7)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は平年並~やや少(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、予想発生量は平年並と考えます。</p>
	うどんこ病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0%(平年 0%)と平年並に少、発病果率 0%(平年 0.04%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無~やや多(概して平年並)(±)</p> <p>考察: 現状の発生量は少と考えられ、今後の気象条件を考慮して予想発生量はやや少と考えます。</p>
	ハダニ類	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、寄生株率 1.1%(平年 14.1%)と少、発生程度 0.3%(平年 6.7%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は少~平年並(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>
キャベツ	菌核病	—	やや少	<p>要因</p> <p>1) 1か月予報(3月17日発表)によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想(+)</p> <p>2) 巡回調査圃場(3月第2週)では、発病株率 0%(平年 1.1%)と少(—)</p> <p>3) 一般圃場では、発生量は無~平年並(概してやや少)(—)</p> <p>考察: 一般圃場での状況を重視して、予想発生量はやや少と考えます。</p>

4. 予察項目の見方

1)「作物別の状況」の見方

発生時期(平年比)： 平年の発生月日からの差を「早、やや早、平年並、やや遅、遅」の5段階評価で予測します。ただし、発生時期が毎年大きく変化する病害虫では、日数の基準が下記より大きくなります。発生時期を予察する意義の小さい病害虫では予察しません。

日数	-6	-5	-4	-3	-2	-1	平年 発生日	1	2	3	4	5	6	
評価	早		やや早				平年並				やや遅			遅

発生量(平年比)： 発生密度の平年値からの差を「少、やや少、平年並、やや多、多」の5段階評価で予測します。平年値との比較なので、平年値が小さければ、「多」になっても見かけの密度は多くないことがあります。毎年多発生している場合は「平年並」や「やや少」でも見かけ上は多いと感じることがあります。

	平年値 ↓					
度数	10%	20%	20%	20%	20%	10%
評価	少	やや少	平年並	やや多	多	

発生量(程度)： 発生程度を「小、中、大、甚」の4段階評価で予測します。評価の基準値は病害虫毎に異なりますが、大雑把には、「見た目の多さ・少なさ」です。甚になるほど見た目は多くなり、小になるほど見た目は少なくなります。「発生量(平年比)」と比

べることによって、「平年並に発生程度が小さい」「発生程度は大きい平年並の発生量である」「平年より多いが、発生程度は小さい」「平年よりやや少ないが、依然として発生程度は中くらいである」等のように判断してください。

小	中	大	甚
---	---	---	---

要防除圃場率(平年比)： 防除の必要性の目安を「低、普通、高」の3段階評価で予測します。「普通」であれば、県下の大半の圃場では防除暦に沿った通常の防除が必要と予想されます。「高」であれば、防除時期の見直しや追加防除が必要になると予想されます。「低」であれば、防除回数を減らせるか、防除しなくても済むと予想されます。

低	普通	高
---	----	---

発生消長の一例： 発生予報は向こう1か月の予報ですが、その前後を合わせて40日ほどの病害虫の発生消長の一例をグラフで示します。大まかな目安として利用してください。

防除の注意事項： 向こう1か月の病害虫の特性と防除に関する説明です。

2)「発生時期・発生量(平年日)の予察根拠」の見方

- (±)：平年並の要因
- (+)：発生量増加または発生時期遅延の要因
- (-)：発生量減少または発生時期早期化の要因

5. 気象のデータ

東海地方1か月予報(令和4年3月17日 名古屋地方気象台発表)

寒気の影響を受けにくいため、向こう1か月の気温は平年並みか高いでしょう。期間の前半は、気温の変動が大きいでしょう。気温と日照時間はほぼ平年並みの見込みです。

1週目 3月19日 ～25日	天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や気圧の谷の影響で平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
2週目 3月26日 ～4月1日	天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
3～4週目 4月2日 ～15日	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東海地方週間天気予報(令和4年3月22日 10時36分 名古屋地方気象台発表)

予報期間 3月23日～3月29日

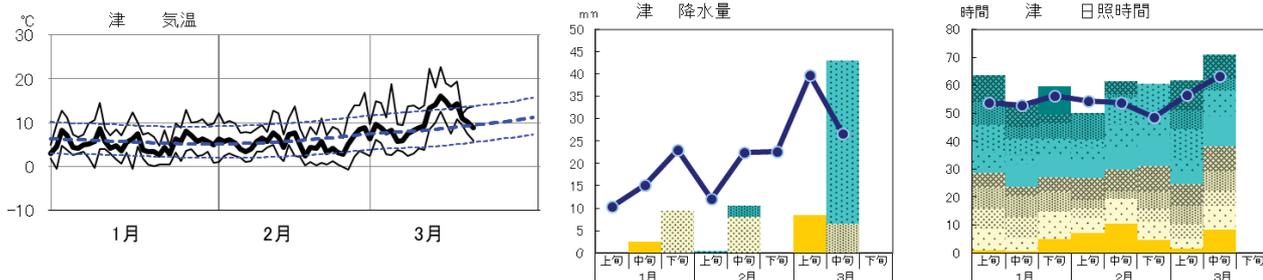
向こう一週間は、低気圧や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃にかけて雨または雪の降る日があるでしょう。

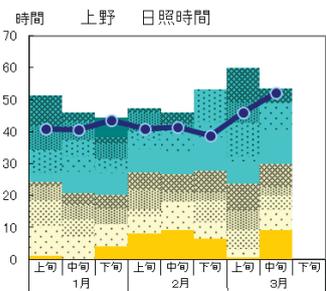
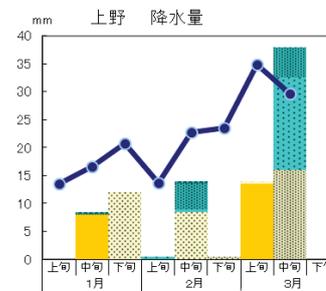
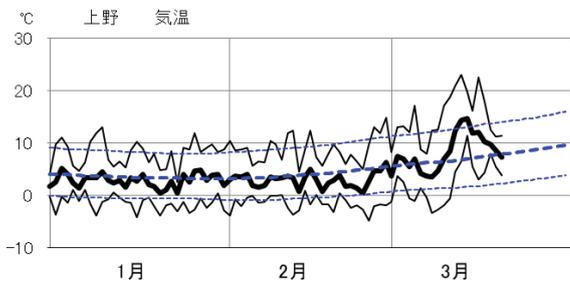
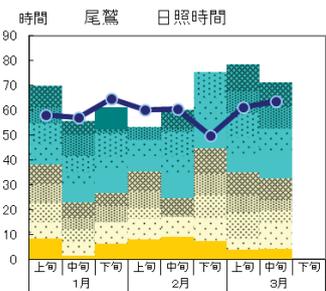
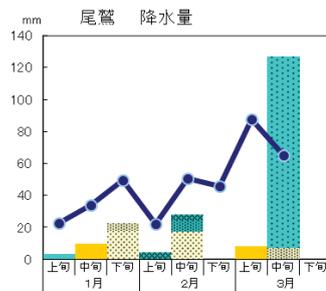
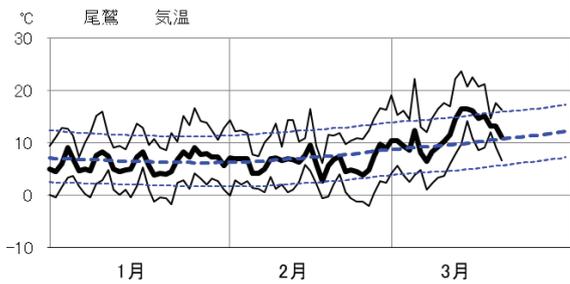
最高気温は、平年並か平年より高い日が多いですが、期間のはじめは平年より低い所もある見込みです。

最低気温は、期間のはじめは平年並か平年より低いですが、その後は平年並か平年より高く、かなり高い日もあるでしょう。

降水量は、平年より多い見込みです。

気象の日別推移(気象庁発表データ <http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/ctrn/index.php> から作成) (3月20日まで)





凡例
 — 平均
 — 最高
 — 最低
 - - - 平年平均
 - - - 平年最高
 - - - 平年最低

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 前平年値

凡例
 ■ 31日
 ■ 30日
 ■ 29日
 ■ 28日
 ■ 27日
 ■ 26日
 ■ 25日
 ■ 24日
 ■ 23日
 ■ 22日
 ■ 21日
 ■ 20日
 ■ 19日
 ■ 18日
 ■ 17日
 ■ 16日
 ■ 15日
 ■ 14日
 ■ 13日
 ■ 12日
 ■ 11日
 ■ 10日
 ■ 9日
 ■ 8日
 ■ 7日
 ■ 6日
 ■ 5日
 ■ 4日
 ■ 3日
 ■ 2日
 ■ 1日
 ■ 前平年値

6. おしらせ (前回と異なる項目には NEW の印があります)

1) 記載基準の注意点

平年ほとんど発生しないか非常に少ない病害虫については、平年並に少ない発生状態の「発生量平年比」を「平年並」、「発生量程度」を「小」と記述しています。

2) 発表日 **NEW**

本年度の病害虫発生予報は次の日程で発表しています。

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 第1回 4月22日(木) (済み) | 第2回 5月20日(木) (済み) |
| 第3回 6月24日(木) (済み) | 第4回 7月20日(火) (済み) |
| 第5回 8月26日(木) (済み) | 第6回 10月21日(木) (済み) |
| 第7回 3月24日(木) (今回) | |

3) 利用方法

全部または一部をコピーして閲覧・配布にご利用ください。ただし必ずページの右下にある「三重県病害虫防除所」の文字が入るようにしてください。

病害虫防除所ホームページには、この予報をはじめとして、不定期に発表される警報、注意報、特殊報、技術情報や、各種のグラフ、写真も載っています。下記のアドレスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/index.htm>

このホームページはフリーリンクです。リンクする場合、事前の承諾申請等は不要ですが、事後で結構ですのでメールにてご一報いただくと幸いです。

4) 本冊子の利用の手引き書

本冊子の見方を説明した「病害虫発生予報利用の手引き」があります。下記のアド

レスからお入りください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000835764.pdf>

5) メール配信サービス

予報、警報、注意報、特殊報、技術情報が発表されたときに、ホームページに掲載されたという「掲載通知」を電子メールでお知らせしています。このメールの配信を希望される方は、下記のアドレスからお申し込みください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39475007379.htm>

6) 農薬登録状況の最新情報

農薬の販売や使用に当たっては、農薬登録上の制限があります。農薬の使用時はラベルをよく読んでください。次のインターネットサイトでは、最新の農薬登録状況を確認できます。

三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>

独立行政法人農林水産消費安全技術センターの「農薬登録情報提供システム」

http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm

7) IPM(総合的病害虫・雑草管理)実践指標について

三重県では IPM を実践する上で必要な農作業の具体的な取組内容を示した作物別の指標を公表しています。農業者の皆さんの取組について、現状把握と今後の気づきにご活用ください。病害虫防除所ホームページにリンクを設定しています。

三重県農林水産部農産園芸課ホームページ内

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/80301022763.htm>

(3) 注意報

病害虫発生予察注意報第1号

令和3年7月1日
三重県病害虫防除所

- 1. 対象作物 : 水稲
- 2. 対象病害虫名 : ウンカ類(トビロウンカ、セジロウンカ)
- 3. 発生地域 : 県内全域
- 4. 発生時期 : 7月～10月
- 5. 予想発生量 : 多

6. 注意報発令の根拠

- (1) 松阪市嬉野川北町の予察灯(100w水銀灯)では、トビロウンカ(1頭)の初誘殺を6月11日に確認し、同13日にも4頭を確認しました。また、セジロウンカ(2頭)の初誘殺を6月12日確認し、同13日にも3頭を確認しました。セジロウンカの初誘殺は、平成7年7月3日ですが本年のウンカ類の飛来時期は早い状況です。
- (2) 日本植物防疫協会提供のウンカ飛来解析によると、三重県には5月17日、18日、21日、27日、29日及び6月4日に飛来した可能性があります(6月28日現在)。
- (3) 近県では、和歌山県、大阪府、奈良県、静岡県で例年より早くトビロウンカの誘殺が確認されており、三重県でも広い範囲で飛来したと推察されます。

7. 防除上の注意事項

- (1) 有効積算温度による発生予測によると、本年は飛来時期が早いことから第3世代の発生に伴う被害が8月中旬から予想されます。そのため、普通期水稲だけでなくコシヒカリ等の早期水稲でも被害が発生する可能性があるため、必ず防除対策を行いましょ。

- (2) 以下のとおり作期ごとに防除を行いましょ。

- ① 早期水稲
 - ◎ 7月後半の農薬散布は第2世代幼虫の防除に効果があります。穂ぞろい期にカメムシ類の防除を兼ねた農薬散布を行いましょ。
- ② 普通期水稲
 - ◎ 移植時に箱施用剤などでウンカ類の防除をしていない場合や、箱施用剤の農薬成分がウンカ類に対して感受性低下が報告されているもの(表)である場合は、7月後半に農薬散布を行いましょ。
 - ◎ 出穂期(8月)以降には、カメムシ類の防除を兼ねてウンカ類の防除を行いましょ。
- (3) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
- (4) 感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにしてください。

表 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

虫種	農薬成分名
トビロウンカ	イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、プロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル



写真 2020年に発生したトビロウンカの被害の状況(左)とトビロウンカ成虫(右上:長翅型、右下:短翅型)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください!

(4) 特殊報

病害虫発生予察特殊報第1号

令和3年8月4日
三重県病害虫防除所

本県のトマトにおいて、トマト立枯病が確認されました。

- 1 病害虫名 : トマト立枯病
病原体名 : *Fusarium solani-melongenae* (*Haematonectria ipomoeae*)
- 2 発生確認作物 : トマト
- 3 発生確認地域 : 三重県北勢地域
- 4 発生確認の経過
令和2年11月、三重県北勢地域のトマト養液栽培ほ場において、トマトの茎の基部が褐変腐敗する症状が発生しました。三重県農業研究所において病徴部から菌を分離し、遺伝子解析した結果、本県では未確認の *Fusarium solani-melongenae* (*Haematonectria ipomoeae*) が検出され、トマト立枯病であることが判明しました。
国内での本病の発生は、平成2年に愛知県で初めて確認され、平成11年に宮崎県、令和3年に広島県で報告されています。

5 本病の特徴および被害状況

- (1) 病原菌は糸状菌の一種で、子のう菌類に分類されています。
- (2) 本病は茎の基部に褐変やひび割れ症状が見られ(図1)、この病徴は発病部位の内部にも進展します。
- (3) 罹病部表面に、赤い小粒(子のう殻)が多数形成される特徴があります(図2)。
- (4) この病徴は10月頃から見られ、その後気温が低下するに伴い一時的に停滞しますが、気温が上昇する4月頃に再び進展します。
- (5) 発病株は樹勢低下や果実肥大の抑制がみられ、発病程度のひどいものは立枯れ症状となります。



(図1) 茎の基部の病徴



(図2) 罹病部に形成された子のう殻 (三重県農業研究所提供)

6 防除対策及び注意事項

- (1) 本病に対する登録農薬はありません。耕種的防除で対応する必要があります。
- (2) 発病株は伝染源となるので、ほ場外に持ち出して適切に処分してください。
- (3) 栽培終了後の植物残渣などは残さないよう除去し、施設内の衛生管理に努めてください。
- (4) 土耕栽培では、定植前の太陽熱利用等による土壌消毒の時間を十分長くするようにしてください。
- (5) 養液栽培では、生産資材の交換や消毒を行うようにしてください。
- (6) 施設出入りの際には、靴の履き替えや靴底の消毒など施設内の衛生管理に努めてください。

7 問い合わせ先

三重県病害虫防除所 電話番号: 0598-42-6365

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第1号

令和3年4月1日
三重県病害虫防除所

本年はムギ類の開花が早い予想です。ムギ赤かび病の防除は、適期を逃さず、開花始めから開花盛期に行いましょう！

- 1. 対象作物: ムギ類
2. 対象病害虫名: ムギ類赤かび病
3. 生育と気象の状況

本年のムギ類の生育は昨年秋から気温が高く推移したことから、出穂期は平年より早く、農業研究所(松阪市)11月12日播種の「あやひかり」では3月29日に出穂を確認しました。平年より13日早くなっています。

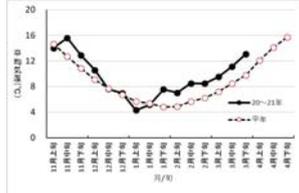


図 アメダスポイント津における旬平均気温の推移 (2020.11~)

ムギ類では開花から10日前後の間が赤かび病に最も感染しやすく、この間に降雨があつて気温が20~27℃の時に感染が激しくなります。1か月予報(3月25日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の平均気温は平年より高く、特に期間の前半はかなり高くなる予報です。降水量は平年並、日照時間は平年並の見込みです。出穂および開花の時期を把握するとともに、今後の天候に注意してください。

赤かび病は、開花期に降雨があり、気温が高いと感染し発生しやすくなります。

- 4. 防除対策
(1) 防除適期は開花始めから開花盛期です。開花前、あるいは開花後の薬剤散布では防除効果が劣ります。
(2) 圃場をよく観察して、播種時期ごとに出土および開花状況を把握し、薬剤散布を行ってください。
(3) 開花期以後に降雨が続き、気温が高く推移した場合は、開花期防除の7~10日後に追加防除を行います。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第2号

令和3年4月1日
三重県病害虫防除所

冬から春の気温が高く、スクミンゴガイによる水稻の被害の拡大が予想されます。移植後の気温に注意して適期に対策を行ってください。

- 1. 対象作物: 水稻
2. 対象病害虫名: スクミンゴガイ
3. 発生状況

- (1) 近年、伊賀地域を除く県内全域でスクミンゴガイの発生が増加しています。その発生区域は海岸近くから徐々に内陸に広がっています。
(2) 病害虫防除所が行った調査では、令和2年6月のスクミンゴガイの被害発生圃場率は8.1%(平年4.4%)と高い状況です。
(3) 津のアメダスデータにおける2020年12月~2021年2月の平均気温は7.3℃(平年6.3℃)と高く、圃場内の越冬個体数は多いと考えられます。
(4) 1か月予報(3月25日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の平均気温は平年より高く、特に期間の前半はかなり高くなる予報です。

- 4. 防除対策
1) 薬剤による防除
(1) 被害が大きい時期は移植後から移植後3週間までで、この時期の水温が17℃を超えると被害が発生する恐れがあります。スクミンゴガイが動いていることを確認してから使用基準に従い実施して下さい。
(2) 薬剤は湛水状態(水深3~5cm)で処理し、7日間は落水やかけ流しを避けましょう。
(3) 水路など水田以外の場所には散布できません。
(4) 殺菌剤と食害防止剤を併用する場合は、殺菌剤を散布後7日以降に食害防止剤を散布しましょう。
2) 耕種防除
(1) スクミンゴガイは水深が浅いと活動が制限されるため、水深4cm以下の浅水で管理すると被害が少なくなります。
(2) 入水口、出水口に約9mm以下の目合いの網を張り、水路からの侵入を防ぎましょう。
(3) 例年発生が見られる水田で使った農業機械は、作業後に十分洗浄し、未発生水田に貝を持ち込まないように注意しましょう。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第3号

令和3年4月13日
三重県病害虫防除所

サツマイモ基腐病の発生に注意しましょう

- 1. 対象作物: サツマイモ
2. 対象病害虫名: サツマイモ基腐病(もとぐされびょう)
学名: Diaporthe destruens (Harter) Hirooka, Minosh. & Rossman



図1 サツマイモ基腐病の被害状況 (九州農政局 提供)

- 3. 国内での発生と被害状況
サツマイモ基腐病は、県内では未発生の病害です。国内では2018年に沖縄県で発病が確認されて以降、鹿児島県、宮崎県、熊本県、福岡県、長崎県、高知県、静岡県、岐阜県の9県で相次いで発生が確認され、地域によっては甚大な被害が発生しています。(図1)
本県でも、今後の発生に注意する必要があります。

- 4. 本病の発生病態
本病は、糸状菌の感染によって発病する病害で、サツマイモに感染すると茎が黒〜暗褐色に変色して、地際部から塊根(サツマイモ)に向けて変色が徐々に拡大します。塊根も暗褐色に変色して腐敗するとともにやがて株は枯死します。(図2、3)
発病地域の情報では、ほ場に定植して、1~2か月経過後に発病が始まることが多いようです。本菌の第一次伝染源は、感染した種苗の使用や土壌中の罹病残渣とされています。また、本菌の生育適温は28~30℃であり、降雨の多い時期に発病株から周囲の株に広がります。



図2 茎の被害状況 (九州農政局 提供)



図3 塊根の被害状況 (岐阜県 提供) ※注1

- 5. 防除対策
(1) サツマイモ基腐病の対策の基本は、まずほ場に本病原菌を「持ち込まない」ことが重要です。
(2) ほ場に定植をする種苗は、ウイルスフリー苗や健全な種苗から採苗するなど健全種苗を定植するようにしてください(健全かどうか分からない場合は、苗または種イモの消毒を推奨します)。
(3) 栽培期間中に発病を確認した場合は、発病株の除去と薬剤散布を実施し、2次感染の防止のため補植は行いません。
(4) サツマイモの栽培期間中に本病害と疑わしい病害が発生した場合は、病害虫防除所へ情報提供をお願いします。(三重県病害虫防除所 電話: 0598-42-6365)
(5) 詳しくは農業・食品産業技術総合研究機構からマニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」が公表されていますので、ご参考してください。
(6) 防除薬剤は三重県農業情報システム(https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie)で作物等の名称「かんしょ」、病害虫雑草名「基腐病」で検索することができます。

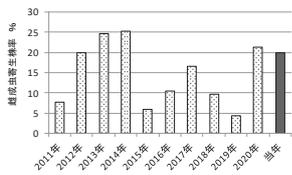
※注1 岐阜県の令和2年度病害虫発生予察特殊報第6号から引用しています。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第4号

クワシロカイガラムシの第一世代孵化時期です。

- 1 対象作物: チャ
- 2 対象病害虫名: クワシロカイガラムシ
- 3 発生時期: 平年並
- 4 発生状況: やや多



- 1) 本年4月の巡回調査圃場では、雌成虫寄生株率20.0%(平年14.6%)とやや多の状況です(図)。
- 2) 一般圃場(4月)での発生量は平年並です。
- 3) 有効積算温度による予測(計算日5月12日)では、発生時期は平年並と予想されます(表)。

表 有効積算温度による第一世代幼虫の孵化最盛期予測日と防除適期(計算日5月12日)

市町名	地点名	標高 m	予測日	防除適期
亀山市	椿世町(茶業花植木研究室)	81	5月16日	5月18日~20日
松阪市	飯南町粥見	117	5月18日	5月20日~22日
亀山市実測値(10年平均)			5月16日	

*武田(2002)の発育零点、有効積算温度を用い、農業機械メッシュ農業気象データにより、予測日を算出しました。

5 防除対策

- 1) 圃場を確認して、多発状況であれば防除を行いましょう。
- 2) 防除適期は幼虫孵化最盛日の2日後から3日程度です。歩行型幼虫が固着して白色のロウ物質に覆われると薬剤の効果が著しく低下します。
- 3) 実際の孵化状況に関する情報や、自圃場の孵化状況をルーベ等で確認して適期に防除しましょう。
- 4) 薬液を十分用意して、樹冠内の枝幹にかかるよう丁寧に散布してください。
- 5) 防除の実施にあたっては、周辺の一番茶未摘採園へのドリフトに十分注意して行ってください。

農業はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

トマトの栽培終了後、コナジラミ類の防除の徹底を!

- 1. 対象作物: トマト、ミニトマト
- 2. 対象病害虫名: トマト黄化葉巻病(媒介虫: タバココナジラミ)
トマト黄化病(媒介虫: タバココナジラミ、オンシツコナジラミ)



図1 トマト黄化病の多発生圃場

- 3. 被害の状況
今期作のトマト生産ほ場において、トマト黄化葉巻病、トマト黄化病の発生が目立っています(図1)。
2021年3月から5月の病害虫防除所の巡回調査におけるこれらの病原ウイルスを媒介するタバココナジラミの蛹寄生葉率(合計値)は、3.5%(10年平均0.5%)で平年の7倍と多い状況となっています。(図2)。被害を低減させるためには次期作へ向けての対策が必要です。

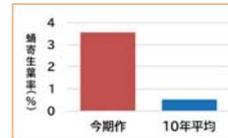


図2 タバココナジラミ 蛹寄生率 (2021年3~5月の値・10年平均)

4. 今後の対策

- (1) 薬剤防除の実施
 - ① コナジラミ類の密度が高い場合や、蒸し込み処理が実施できない場合は、薬剤防除を実施してください。
 - ② 薬剤抵抗性回避のため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
 - ③ 防除薬剤は三重県農業情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。

(2) 蒸し込み処理の実施

- 施設内に残ったコナジラミ類を死滅させ、トマト株を確実に枯死させるようにします。
次期作までの間に十分な期間を確保し、施設を密閉して蒸し込み処理を行ってください。
- ① 蒸し込み前に、施設内の雑草を除草し、施設が密閉となるよう施設の点検補修を行ってください。
- ② トマトは株を抜くか、茎を地際部で切断した後施設を密閉してください。
- ③ 効果的な蒸し込みを行うには、施設内の最高気温が50℃以上になった日が、蒸し込み期間中に3日以上経過することを目安とします。夏の晴天日(外気温27℃以上)であれば、ほとんどの場合、施設内の温度は50℃以上に上昇します。

農業はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第6号

トビイロウンカ、セジロウンカの初飛来を確認しました。
水稲では今後の被害を防ぐために対策を行ってください。

- 1. 対象作物: 水稲(早期、普通期)
- 2. 対象病害虫名: ウンカ類(トビイロウンカ、セジロウンカ)
- 3. 発生状況
 - (1) 松阪市嬉野川北町の予察灯(100w水銀灯)では、6月11日にトビイロウンカ(1頭)、同12日にセジロウンカ(2頭)の初誘殺を確認しました。セジロウンカの初誘殺は平年7月3日であることから本年のウンカ類の飛来時期は早い状況です。
 - (2) 日本植物防疫協会提供のウンカの飛来解析によると、三重県には5月17日、18日、21日、27日、29日および6月4日に飛来した可能性があります(6月15日現在)。
 - (3) 近県では和歌山県、大阪府、奈良県、静岡県でトビイロウンカの誘殺が確認されており、三重県でも広い範囲で飛来したと推察されます。

4. 防除対策

- (1) 有効積算温度による発生予測によると、本年は飛来時期が早いため第3世代の発生に伴う被害が8月中旬から予想されます。そのため普通期水稲だけでなく早期水稲でも被害が発生する可能性があるため、必ず防除対策を行いましょ。
- (2) 以下のとおり作期ごとに防除を行いましょ。
 - ① 早期水稲
 - ◎6月中の農業散布は第1世代幼虫の防除に効果があります。
 - ◎7月後半の農業散布は第2世代幼虫の防除に効果があります。穂ぞろい期にカメムシ類防除を兼ねた散布を行いましょ。
 - ② 普通期水稲
 - ◎移植時に箱施用剤などでウンカ類防除を行っていない場合や、箱施用剤の農業成分がウンカ類に対して効果の低いものである場合は、6月または7月後半に農業散布を行いましょ。
 - ◎出穂期(8月)以降にはカメムシ類防除を兼ねた散布を行いましょ。

- (3) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
- (4) 感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにしてください。

表 ウンカ類において感受性低下が報告されている農業成分

虫種	農業成分名
トビイロウンカ	イミダクロフリド、チアメトキサム、クロチアニジン、プロフロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル



図 2020年に発生したトビイロウンカによる坪枯れ被害の状況(左)とトビイロウンカ成虫(右上:長翅型、右下:短翅型)

農業(薬剤)はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第7号

令和3年7月5日
三重県病害虫防除所

水稲いもち病の感染好適日が続いています。

葉いもちの発生状況を確認し、適期防除を徹底してください。

- 対象作物 : 水稲
- 対象病害虫名 : いもち病(葉いもち・穂いもち)
- 発生状況
 - いもち病発生予測支援システム(ブラスタム)によると、県内アメダスポイント12か所の気象データをもとに判定した感染好適条件の初発は5月18日で、過去10年の中で3番目の早さです。また、5月から6月にかけての出現回数は計48回で、過去10年の中で2番目に多くなっています。
 - 6月第1～2週の巡回調査では、葉いもちの発生圃場率は0%(平年0.0%)であったものの、6月下旬から7月にかけて県内各地で発生が確認されています。今後は中山間部での発生や、業務用米等の多肥栽培を行う品種(特にいもち病に対し罹病性の高い品種)での発生が多くなると予想されます。
 - 1か月予報(7月1日・名古屋地方気象台発表)によると、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。既に葉いもちを発病している圃場では、上位葉に病徴が進展する可能性があります。
- 防除対策
 - 葉いもちが発生している圃場では発見次第、防除を徹底しましょう。穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂前および穂揃期に薬剤散布しましょう。
 - 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行いましょう。

- 追加防除を行う場合は農薬使用回数に注意しましょう。
- 薬剤散布をする時は周囲に飛散しないよう注意しましょう。
- 飼料用水稲や業務用米などの普通期水稲は、これから最も葉色が濃くなり、発病しやすい時期となるので注意しましょう。
- QoI剤(ストロビリリン系殺菌剤)の使用は最大年1回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
- QoI剤を使用したにもかかわらず、ざり込み症状などの病徴があれば、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや農協等へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫防除技術情報第8号

令和3年7月5日
三重県病害虫防除所

**クワシロカイガラムシ第2世代幼虫の発生時期は早いです。
適期防除に努めましょう。**

- 対象作物 : チャ
- 対象病害虫名 : クワシロカイガラムシ第2世代幼虫
- 発生状況
有効積算温度による第2世代幼虫孵化最盛予測日(7月2日予測)は、四日市市では7月12日(平年7月18日)、亀山市では7月12日(平年7月18日)、松阪市飯南町粥見では7月15日(平年7月22日)と予想されます(表)。
- 防除対策
 - 孵化最盛日から2日～4日後頃が防除適期です。枝幹につく歩行型幼虫を確認して防除してください。
 - この時期は土着天敵の活動が盛んになる時期ですので、天敵に影響の小さい薬剤を選択してください。

表 クワシロカイガラムシ第2世代幼虫孵化最盛予測日と防除適期(7月2日予測)

	孵化最盛予測日	平年比(日)	防除適期
四日市	7月12日	-6	7月14～16日
亀山	7月12日	-6	7月14～16日
粥見	7月15日	-7	7月17～19日

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第9号

令和3年7月12日
三重県病害虫防除所

**近年、斑点米カメムシの被害が増えています。
出穂期の防除に努めましょう。**

- 対象作物 : イネ(早期、普通期)
- 対象病害虫名 : 斑点米カメムシ類(クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ミナミアオカメムシ、ホソハリカメムシ)
- 発生状況
 - 7月上旬の巡回調査で本田での斑点米カメムシ類の発生が確認されています。
 - 過去15年の斑点米カメムシ類の発生圃場率は増加傾向にあります(図)。近年の暖冬と暑い夏の影響と推察されます。
 - 1か月予報(名古屋地方気象台7月8日発表)によると、気温は平年並で期間の後半は晴れの日が多いことから、斑点米カメムシ類の活動に好適です。
- 防除対策
 - 薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。斑点米カメムシ類は移動性が高いため、広域での一斉防除が効果的です。
 - 水田内での増殖を防ぐため、防除後も水田への侵入が確認される場合は、穂揃い期防除の7～10日後に追加防除を実施してください。
 - 周囲よりも出穂の早い水田では、被害が集中するので防除を徹底しましょう。
 - 出穂直前および出穂後の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内へ追い込み、加害を助長するので避けましょう。やむを得ず出穂前後に草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除に合わせて実施しましょう。
- その他
 - 本年はウンカ類の発生が予想されるため、なるべく斑点米カメムシ類とウンカ類の両方に登録のある薬剤を用い、同時防除を行って

ください。薬剤は三重県農薬情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。

病虫害防除技術情報第10号

令和3年7月21日
三重県病虫害防除所

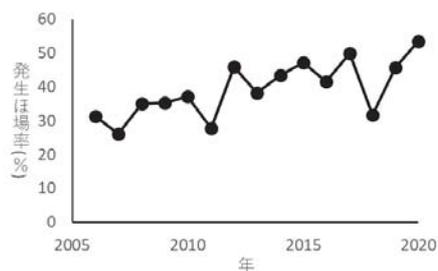
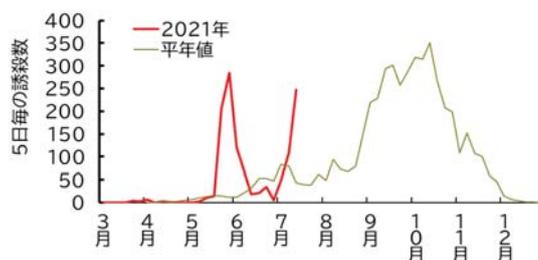


図 過去15年における防除所8月調査時の斑点米カメムシ類発生ほ場率

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています

- 対象作物：ダイズ、野菜類（イチゴ、サトイモ、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
- 対象病虫害名：ハスモンヨトウ
- 発生状況と今後の予測
県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、7月第3半旬で247頭（平年43.0頭）と平年のおよそ5.7倍と多い状況です（図）。
1か月予報（7月15日・名古屋地方気象台発表）によると、気温は平年並の予想です。このため、ハスモンヨトウの発生に好適条件であると考えられます。



(図) フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

4. 防除対策

- 高齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- 施設では開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
- ダイズでは圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- 野菜類では育苗期に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- 花き類では生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め登録のある農薬で防除してください。
- 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。



(写真)ハスモンヨトウ幼虫

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病虫害防除技術情報第11号

令和3年 7月29日
三重県病虫害防除所

トビイロウンカの飛来が続いています。被害の発生に注意し、早期の対策に努めましょう。

- 対象作物：イネ（早期、普通期）
- 対象病虫害名：トビイロウンカ
- 発生状況
(1) 7月第1～3半旬の予察灯の誘殺数は、松阪市で17頭（過去10年平均は0.1頭、100W水銀灯）、伊賀市で7頭（同0頭、以下60W白熱灯）、紀北町で17頭（同0頭）、御浜町で2頭（同0.4頭）と平年より多い状況です。
(2) 1か月予報（名古屋地方気象台7月22日発表）によると、気温は平年より高いことから、トビイロウンカの活動に好適です。
- 防除対策
(1) これから出穂期を迎える普通期水稻では、カメムシ類防除を兼ねた散布を必ず行いましょう。
(2) 株元でトビイロウンカが1株に1頭以上確認される場合、坪枯れもしくは坪状の黄化症状が認められる場合には、防除対策が必要です。
(3) 薬剤による防除を行う場合は、収穫直前にあたるため周辺への飛散がないように、また、収穫前日数に留意するなど安全使用基準を遵守してください。
(4) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
(5) 収穫時期が近づいている場合は、適期の範囲内で早めに収穫し、刈り遅れによる被害拡大を防ぎましょう。

5. その他

感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにしてください。薬剤は三重県農薬情報システム (<https://www.nouyaku.sys.com/nouyaku/user/top/mie>) で検索することができます。

病害虫防除技術情報第 12 号

令和 3 年 8 月 19 日
三重県病害虫防除所

前線の停滞により、イネいもち病の感染に好適な日が続いています。発生状況を確認し、適期防除を徹底してください。

表 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

虫種	農薬成分名
トビイロウンカ	イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、プロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

- 対象作物 : 水稻 (普通期)
- 対象病害虫名 : イネいもち病 (穂いもち)
- 発生状況
 - 1 か月予報 (8 月 12 日・名古屋地方気象台発表) によると、期間 (8/14~9/13) のはじめを中心に平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。既に葉いもちを発病しているほ場では、上位葉と穂に病徴が進展する可能性があります。
 - いもち病発生予測支援システム (プラスタム) によると、8 月 13 日以降で降雨による濡れ時間が長く、いもち病に感染しやすい条件となっています (図)。
 - 8 月第 1~2 週の巡回調査では、普通期水稻の 23% (22 ほ場中 5 ほ場) で葉いもちの発生が確認されました。今後は、業務用米等の多肥栽培を行う品種 (特にいもち病に対し罹病性の高い品種) での穂いもちの発生が多くなると予想されます。
- 防除対策
 - 穂いもち防除は予防散布が原則です。出穂前および穂揃期に薬剤散布しましょう。
 - 雨天が続く可能性があるため、天気予報を参考にしながら、雨の合間を見計らって防除を行いましょう。
 - 追加防除を行う場合は農薬使用回数に注意しましょう。薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
<https://www.nouyaku.sys.com/nouyaku/user/top/mie>

- 薬剤散布をする時は周囲に飛散しないよう注意しましょう。
- QoI 剤 (ストロビリリン系殺菌剤) の使用は最大年 1 回とし、耐性菌の発生を未然に防ぎましょう。
- QoI 剤を使用したにもかかわらず、ざり込み症状などが進展する場合は、病害虫防除所、農業研究所、農業改良普及センターや農協等へ速やかにご連絡ください。

病害虫防除技術情報第 13 号

令和 3 年 9 月 1 日
三重県病害虫防除所

**果樹カメムシ類の誘殺数が増えています
園場で飛来を確認したら防除を実施してください**

図 アメダスによるいもち病の発病条件(いもち病発生予測支援システム)

- : 表面の湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が十分で、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温が20~25℃の範囲にある
- △ : 湿潤時間が10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満
- ▲ : 湿潤時間が10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上
- : 湿潤時間が10時間以上であるが、湿潤期間中の平均気温が15~20℃の範囲外
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

令和 3 年	桑名	四日市	亀山	上野	津	小俣	羽見	鳥羽	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮
8.01	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.04	-	-	-	-	-	▲	▲	-	-	○	-	-	-
8.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
8.13	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	-
8.14	▲	-	-	-	▲	-	-	-	-	○	-	-	-
8.15	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-
8.16	-	-	●	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-
8.17	●	-	●	-	●	-	-	-	-	-	●	○	-
8.18	●	-	●	-	●	-	▲	▲	-	-	-	-	-
8.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 対象作物: カンキツ、カキ、ナシ等
- 対象病害虫名: 果樹カメムシ類 (チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
- 発生状況
 - 予察灯 (松阪市嬉野川北町) におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、8 月第 4 半旬まで平年より少ない状況でしたが、8 月第 5 半旬は 739 頭 (平年 348.0 頭) と増えています (図 1 左)。
 - 予察灯 (南牟婁郡御浜町) におけるチャバネアオカメムシの誘殺数も、8 月第 5 半旬は 1,367 頭 (平年 291.1 頭) と増えています (図 1 右)。

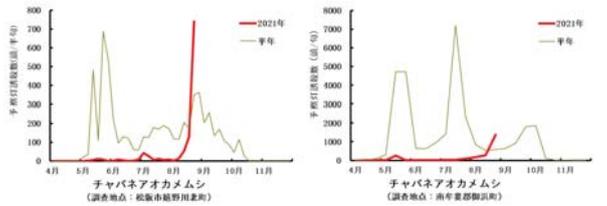


図 1. 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数の推移
左図: 松阪市嬉野川北町 (水銀灯 100W) 右図: 南牟婁郡御浜町 (白熱灯 60W)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

4. 防除の注意事項

- (1) 飛来数は、圃場による差が大きい傾向があります。台風など気象の変動をきっかけに飛来する可能性も考えられますので、今後の発生動向に注意してください。
- (2) 夜間の照明等への飛来を参考にし、圃場で飛来を確認したら防除を実施してください。
- (3) 過去に飛来が多かった圃場では特に注意してください。
- (4) 近隣圃場と散布日を合わせるなど、広域で一斉防除すると効果が高くなります。
- (5) 合成ピレスロイド系の薬剤を連続して散布することで、ハダニ類、カイガラムシ類の発生が多くなる傾向があるので注意してください。薬剤は三重県農薬情報システム (https://www.nouyaku_sys.com/nouyaku/user/top/mie) で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください！

病害虫防除技術情報第 14 号

令和3年9月8日
三重県病害虫防除所

**トビイロウンカの飛来が続いています。
引き続き被害の発生に注意しましょう。**

1. 対象作物 : 水稲（普通期）
2. 対象病害虫名 : トビイロウンカ
3. 発生状況
 - (1) 8月第1～6半旬の子察灯（60W 白熱灯）の誘殺数は、松阪市で13頭（過去10年平均2.1頭、以下同じ）、紀北町で111頭（3.0頭）、御浜町で7頭（1.9頭）、伊賀市第2～5半旬で17頭（3.7頭）といずれも平年より多い状況です（表）。
 - (2) 1か月予報（名古屋地方気象台9月2日発表）によると、気温は期間の第1週では平年並～低いものの、第2週以降は平年並～高いことから、トビイロウンカの活動に好適な状況は続く予想されます。

4. 防除対策

- (1) 株元でトビイロウンカが1株に1頭以上確認される場合、坪枯れもしくは坪状の黄化症状が認められる場合には、防除対策が必要です。
- (2) 薬剤による防除を行う場合は、収穫期にあたるため周辺の圃場への飛散がないように、また、収穫前日数に留意するなど安全使用基準を遵守してください。薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。 (https://www.nouyaku_sys.com/nouyaku/user/top/mie)
- (3) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。
- (4) 収穫時期が近づいている場合は、適期の範囲内で早めに収穫し、刈り遅れによる被害拡大を防ぎましょう。

病害虫防除技術情報第 15 号

令和3年9月17日
三重県病害虫防除所

表 予察灯（60W 白熱灯）におけるトビイロウンカの誘殺数

月.半旬	松阪	伊賀	紀北	御浜
8.1	0	欠測	17	1
8.2	1	3	28	0
8.3	1	9	27	2
8.4	2	0	15	0
8.5	4	5	15	0
8.6	5	調査中	9	4
期間計	13	17	111	7
期間平年 (10年平均)	2.1	3.7	3.0	1.9

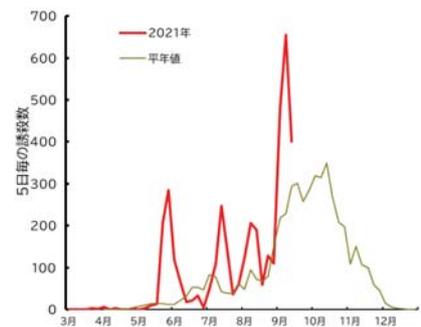
農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています

1. 対象作物：ダイズ、野菜類（イチゴ、サトイモ、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
2. 対象病害虫名：ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測

県予察灯（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、9月第1半旬から第3半旬で1,535頭（平年741.8頭）と平年のおよそ2倍と多い状況です（図）。9月の病害虫防除所によるダイズの巡回調査では、白変葉発生箇所数（a当たり）が、2.4（平年0.5）と多く確認されました。1か月予報（9月16日・名古屋地方気象台発表）によると、気温は高いと予想されています。

このような状況から、ハスモンヨトウの発生に好適な条件であると考えられます。今後の被害の発生に注意が必要です。



(図) フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
(調査場所:松阪市嬉野川北町)

病害虫防除技術情報第16号

令和3年12月1日
三重県病害虫防除所

これから年内が耕起によるスクミリンゴガイ対策の好適期です。
越冬量を減らし来春以降の被害軽減につなげましょう。

1. 対象作物 水稲
2. 対象病害虫名 スクミリンゴガイ
3. 発生状況
(1) 病害虫防除所の6月の巡回調査圃場ではスクミリンゴガイの発生圃場率は8.5%（過去7か年平均4.9%）と多い状況が続いています。
(2) 移植直後には被害がなかったほ場でも、7月には成貝や卵が確認された事例が多くあります。
(3) 3か月予報（11月24日名古屋地方気象台発表）では12月の気温は平年並か低いとされ、年内の耕起による高い効果が期待されます。
4. 防除対策
(1) 耕起防除は2回以上行いましょう。
(2) 耕起1回目は、①厳冬期前の田面が硬いときに、②ピッチを小さくし低速で土壌を細かく砕くようにすることがポイントです。深さ6cm程度の浅耕で効果が高いです。
(3) 耕起2回目は、①厳冬期（1～2月）に、②慣行の設定で走行し、作土深の確保に努めましょう。
(4) 春以降の対策とセットで体系的に防除を行うことで一層効果を高めることができます。

4. 防除対策
(1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
(2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
(3) 施設では、開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
(4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
(5) 野菜類では、育苗期や定植直後に発生すると被害が大きいため、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
(6) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、登録のある農薬で防除してください。
(7) 防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
<https://www.nouyaku.sys.com/nouyaku/user/top/mic>



(写真) ハスモンヨトウ幼虫

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

病害虫防除技術情報第17号

令和4年3月22日
三重県病害虫防除所

茶園においてカンザワハダニが多い状況です。
圃場を確認し多発状況であれば防除を行ってください。

- 1 対象作物： チャ
- 2 対象病害虫名： カンザワハダニ
- 3 発生状況： やや多
(1) 1か月予報（3月17日発表）によると、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予想です。
(2) 県予察圃（亀山市）では、2021年10月以降、寄生葉率が平年を上回っている状況が続いています。
(3) 巡回調査圃場（県内18圃場、3月第1週）では、発生圃場率 77.8%（平年 42.1%）、寄生葉率 5.2%（平年 2.2%）および寄生虫数 0.12頭/葉（平年 0.06頭/葉）で、いずれも多い状況です。

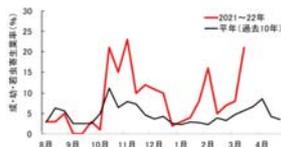


図 県予察圃（亀山市）におけるカンザワハダニの寄生率

- 4 防除対策
(1) 圃場を確認して、多発状況であれば適宜防除しましょう。
(2) 葉裏に生息しているため、薬剤は丁寧に散布してください。
(3) 世代交代が早く、薬剤抵抗性を獲得しやすいため、同一系統薬剤の連用は避けてください。
(4) カブリダニ類やハダニアザミウマなどの土着天敵が活動している圃場では、これらに影響の小さい薬剤で防除して下さい。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

IV 事業関係の試験成績

1. 診断対策

(1) 灰色かび病の薬剤感受性検定

灰色かび病菌に対する殺菌剤感受性検定 2021年度調査結果 採取作物 トマト、イチゴ、ナス

三重県農業研究所農産物安全安心研究課

耐性菌発生リスク	FRACコード	農薬名	検定結果	検定方法	防除効果	備考
高	11	アゾキシストロピン剤 (QoI-殺菌剤)	耐性菌 60.6% 感受性菌 39.4%	100ppmの薬剤とSHAM1mMを添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C72時間培養後の菌糸生育抑制率80%未満の菌株を耐性菌として判定した。	耐性菌が高頻度で検出されたので、防除には注意が必要である。	
中～高	2	イプロジオン剤 (ジカルボキシイミド系)	中程度耐性菌 19.2% 感受性菌 80.8%	5ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、20°C48時間培養後に菌そう生育があれば中程度耐性菌、無処理比80%以上の菌そう生育があれば高度耐性菌として判定した。	感受性菌が多いものの中程度耐性菌が検出されたので、防除には注意が必要である。	
		ベンチオピラド剤 (SDHI系)	耐性菌 21.6% 感受性菌 78.4%	1ppmの薬剤を添加したYBA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C7日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌率が高まっている状況であり、注意が必要である。系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う必要がある。	
中	9	メバニピリム剤 (アニリノピリミジン系)	耐性菌 13.0% 感受性菌 87.0%	3ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	
		ピラジフルミド剤 (SDHI系)	耐性菌 7.2% 感受性菌 92.8%		耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	10地域52地点における果実・茎・葉の標微部から分離した208菌株の検定結果
低～中	12	フルジオキソニル剤 (フェニルピロール系)	感受性低下菌 0.5% 感受性菌率 99.5%	0.2ppmの薬剤を添加したPDA培地に、供試菌株の菌そう面を下にして置床し、25°C48時間培養後に菌そう生育の有無により判定した。生育が認められた菌株について、生物検定を行い、実用濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌、1/10濃度での病斑抑制率が60%未満の菌株を感受性低下菌として判定した。	わずかに感受性低下菌が検出されたが即座に防除効果への影響はないと考えられる。	
		フェンヘキサミド剤 (ヒドロキシアニリド系)	耐性菌 10.6% 感受性菌 89.4%	1ppmの薬剤を添加したFGA培地に、供試菌株の孢子懸濁液を含ませたペーパーディスクを置床し、20°C4日間培養後に菌そう生育がある菌株について生物検定を行った。実用濃度で病斑抑制率が60%未満の菌株を耐性菌と判定した。	耐性菌が確認されたことから注意が必要であるが、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行えば、防除効果は期待できると考えられる。	

防除対策 前提条件

- ①換気、暖房、循環扇等を利用し、湿度を高めないことで、感染に適した環境にしない
- ②着果後の花卉の除去、わき芽かきの傷跡を大きくしない、葉先枯れる管理をしない等、感染場所をつくらない
- ③被害茎葉や果実を施設外に出すことで、施設内の伝染源を徹底除去する(多発後困難、初発前に行なう)

薬剤防除

- ①耐性菌の確認されていない薬剤を使用する
- ②耐性菌の出現を避けるため、薬剤の選定にあたっては、系統の異なるものをローテーション散布する
- ③灰色かび病の発生前から予防的に散布する
- ④初発がみられたら直ちに散布する
- ⑤葉かび、すすかび病発生の予測される場合は、葉かび、すすかび病に登録のある薬剤を散布する
- ⑥生物農薬(バチルスズブチリス)のダクト散布は発病予防を期待するものであり、発病時は化学農薬を散布する

野菜類灰色かび病菌に対する各種殺菌剤の感受性検定 2021年度試験結果

農業研究所
農産物安全安心研究課

地域毎の感受性検定の結果（2021）

耐性菌 発生リスク	FRAC コード	供試薬剤	判定	木曽岬	長島	いなべ 多度	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	紀州	全体	2020年 検定結果
高	11	アゾキシストロピン剤	R	61.1%	72.9%	43.7%	60.0%	100%	12.5%	47.2%	70.8%	50.0%	75.0%	60.6%	53.6%
			S	38.9%	27.1%	56.3%	40.0%	0%	87.5%	52.8%	29.2%	50.0%	25.0%	39.4%	46.4%
中～高	2	イプロジオン剤	MR	38.9%	6.2%	25.0%	10.0%	0%	0%	27.8%	29.2%	0%	0%	19.2%	18.2%
			S	61.1%	93.8%	75.0%	90.0%	100%	100%	72.2%	70.8%	100%	100%	80.8%	81.8%
	7	ベンチオピラド剤	R	30.6%	33.3%	25.0%	10.0%	12.5%	0%	19.4%	12.5%	0%	25.0%	21.6%	17.1%
			S	69.4%	66.7%	75.0%	90.0%	87.5%	100%	80.6%	87.5%	100%	75.0%	78.4%	82.9%
		ピラジフルミド剤	R	8.3%	0%	25.0%	0%	0%	0%	11.1%	16.7%	0%	0%	7.2%	7.2%
			S	91.7%	100%	75.0%	100%	100%	100%	88.9%	83.3%	100%	100%	92.8%	92.8%
中	9	メバニピリム剤	R	5.6%	0%	25.0%	10.0%	0%	0%	25.0%	33.3%	25.0%	0%	13.0%	12.2%
			S	94.4%	100%	75.0%	90.0%	100%	100%	75.0%	66.7%	75.0%	100%	87.0%	87.8%
低～中	12	フルジオキシニル剤	LS	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4.2%	0%	0%	0.5%	1.1%
			S	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	95.8%	100%	100%	99.5%	98.9%
	17	フェンヘキサミド剤	R	2.8%	0%	6.3%	15.0%	0%	25.0%	13.9%	29.2%	12.5%	25.0%	10.6%	7.2%
			S	97.2%	100%	93.8%	85.0%	100%	75.0%	86.1%	70.8%	87.5%	75.0%	89.4%	92.8%
検定菌株数				36	48	16	20	8	8	36	24	8	4	208	180

※R：耐性菌 MR：中程度耐性菌 LS：感受性低下菌 S：感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、LSは実用上問題ないが注意が必要。Sは問題なし

作目毎の感受性検定の結果（2021）

耐性菌 発生リスク	FRAC コード	供試薬剤	判定	トマト ミニトマト	イチゴ	ナス	全体	2020年 検定結果
高	11	アゾキシストロビン剤	R	68.1%	47.7%	100%	60.6%	53.6%
			S	31.9%	52.3%	0%	39.4%	46.4%
中～高	2	イプロジオン剤	MR	12.1%	25.0%	50.0%	19.2%	18.2%
			S	87.9%	75.0%	50.0%	80.8%	81.8%
	7	ペンチオピラド剤	R	25.0%	15.9%	37.5%	21.6%	17.1%
			S	75.0%	84.1%	72.5%	78.4%	82.9%
		ピラジフルミド剤	R	0%	13.6%	37.5%	7.2%	7.2%
			S	100%	86.4%	72.5%	92.8%	92.8%
中	9	メバニピリム剤	R	1.7%	28.4%	0%	13.0%	12.2%
			S	98.3%	71.6%	100%	87.0%	87.8%
低～中	12	フルジオキシニル剤	LS	0%	1.1%	0%	0.5%	1.1%
			S	100%	98.9%	100%	99.5%	98.9%
	17	フェンヘキサミド剤	R	4.3%	20.5%	0%	10.6%	7.2%
			S	95.7%	79.5%	100%	89.4%	92.8%
検定菌株数				116	84	8	208	181

※R：耐性菌 MR：中程度耐性菌 LS：感受性低下菌 S：感受性菌

R、MRは防除効果が劣る恐れあり、LSは実用上問題ないが注意が必要。Sは問題なし

(2)ミカンハダニの薬剤感受性検定

担 当:三重県農業研究所紀南果樹研究室

ミカンハダニ雌成虫の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死虫率(%)
			紀南果樹
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	100
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	100
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	23
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	1.0
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	93
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	100
オマイト水和剤	BPPS水和剤	× 750	100
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	0
コロマイト水和剤	ミルベメクテン水和剤	× 2,000	95
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	81

ミカンハダニ卵の薬剤感受性

供試薬剤名	一般名	希釈倍率	補正死卵率(%)
			紀南果樹
スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤	× 1,000	84
カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤	× 1,000	55
バロックフロアブル	エトキサゾール水和剤	× 2,000	100
ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤	× 2,000	75
マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤	× 1,000	30
ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤	× 2,000	90
ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス水和剤	× 2,000	44
コロマイト水和剤	ミルベメクテン水和剤	× 2,000	95
サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤	× 2,000	67

※補正死虫率=(蒸留水区の生存虫率-処理区の生存虫率)/蒸留水区の生存虫率×100

補正死卵率=(蒸留水区のふ化卵率-処理区のふ化卵率)/蒸留水区のふ化卵率×100

※調査日

<紀南果樹研究室場内>

雌成虫試験;10/20(薬剤処理 48 時間後)

殺卵試験;11/4(10/25 に産卵された卵に薬剤処理し、9 日後)

<試験方法概要>

サンプル採取場所	紀南果樹研究室圃場 11号圃(新甘夏慣行)
方 法	<p>成虫感受性</p> <p>寒天培地の上に、約3cm角に切ったカンキツの葉(無防除区)を乗せ、周囲に逃亡防止の蒸留水を薄く撒いた。そこに、露地慣行区から採取した雌成虫を約20頭接種して薬剤を散布し、25℃、16時間明期・8時間暗期で飼育した。48時間後に生存および死亡虫数(苦悶虫数を含む)を調査した。</p> <p>卵感受性</p> <p>成虫感受性試験と同様にディスクを作り、露地慣行区から採取した雌成虫を約20匹接種して25℃、16時間明期・8時間暗期で飼育し産卵させた。24時間後に雌成虫を取り除いて薬剤を散布し、同様の条件下で飼育した。9日後に幼虫数と死卵数を調査した。</p>

V 農薬の指導に関する業務

1. 農薬危害防止対策

農薬の危害防止、農薬使用の適正指導、総合防除の推進を図るため、農薬の最新の登録情報については、「三重県農薬情報システム」によりインターネットを通じて情報提供を行なった。正確かつ適正な情報を、農薬使用の指導者向けに提供するため、指導機関向けに発行している「三重県病虫害防除の手引き」の内容について修正を行ない関係機関等に発出した。

農薬取扱業者に対しては、農薬管理指導士の育成と資質向上を図るため、農薬管理指導士特別研修会を開催し農薬を取り巻く法律、情勢、安全使用の基本的事項について解説した。また、県内外農薬関係者、農業者等を対象として、植物防疫技術研修会を開催するとともに、JA グループ関係者を対象に三重県産米品質向上研修会で三重県農業における病虫害発生に関するトピックスを講演し、農薬使用を含めた効率防除について啓発を行った。

農薬の適正な使用を促すとともに使用に係る事故を防止するため、農薬危害防止運動の実施と農薬取締法に基づきゴルフ場等農薬使用者に対して農薬安全使用パトロール等を実施し、農薬の適正使用と使用簿、施錠、保管管理の徹底等について指導した。

(1) 農薬危害防止運動の実施

①実施期間 令和3年6月1日～8月31日までの3か月間

②実施内容 「三重県農薬適正使用啓発強化運動」として、各市町等の関係機関に「農薬の適正使用」についてのパンフレット等を配布し、本運動の啓発宣伝を行った。農薬取扱者へは農薬の保管管理方法及びポジティブリスト制度に伴う危被害防止について、研修会、講習会で啓発した。

(2) 農薬安全使用講習会の開催状況

項目	時期 (開催場所)	内容	対象者(人数)
三重県産米品質向上研究会 (後期)	令和3年 6/25 (津市)	病虫害の発生状況および 今後の予察	JA 中央会、全農みえ、 各 JA 担当者(39名)
ゴルフ場農薬安全使用・指 導	令和3年 12/1,3,22 (各ゴルフ場)	農薬の使用状況、帳簿、農 薬管理庫等の確認を行い、 農薬安全使用を指導	ゴルフ場 11 か所
農薬管理指導士特別研修 (新規)	令和3年 12/14～15 (津市)	関係法令、農薬安全使用、 危害防止等	農薬販売者、農薬使用 者、農薬管理責任者 (受講者 46名)
植物防疫技術研修会	令和4年 1/19 (松阪市・WEB)	テーマ:令和3年度に話題 になった水稻害虫とその対 策	病虫害防除員等 (122名、うち会場参加 者 23名、WEB61 アク セス)
三重県産米品質向上研究会 (前期)	令和4年 3/2 (津市・WEB)	令和4年産米に向けた病害 虫防除の留意点	JA 中央会、全農みえ、 各 JA 担当者(45名)

(3) ゴルフ場の調査点検実施状況

ゴルフ場の維持管理に関する指導要綱及びゴルフ場の調査・点検パトロール実施要領に基づき、下記ゴルフ場における農薬使用状況や保管管理状況等について、調査・点検を行った。

調査・点検年月日	ゴルフ場名	所在地
令和3年12月1日	近鉄ゴルフ&リゾート伊賀ゴルフコース グリーンハイランドカントリー倶楽部 アリジカントリークラブ花垣コース セントレイクスゴルフ倶楽部	伊賀市比土 4167-3 名張市薦生大峯 1116-3 伊賀市大滝 1258 伊賀市上郡大峯 1338
令和3年12月3日	ルート25ゴルフクラブ 名阪ロイヤルゴルフクラブ 随縁カントリークラブキャニオン上野コース 島ヶ原カントリークラブ	伊賀市愛田口北谷 2280 伊賀市西之澤 1598 伊賀市西山 3008 伊賀市島ヶ原 8300 番地
令和3年12月22日	エクセレントゴルフクラブ伊勢二見コース 伊勢カントリークラブ	伊勢市朝熊町字鴨谷 4383-82 度会郡玉城町世古 1362

(調査・点検項目)

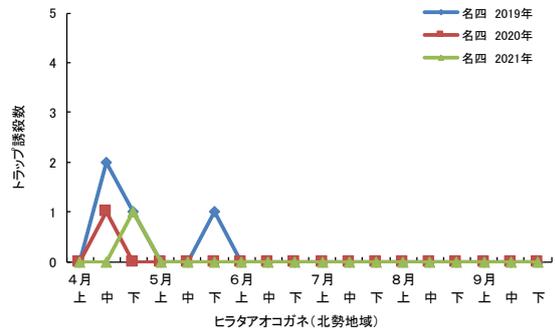
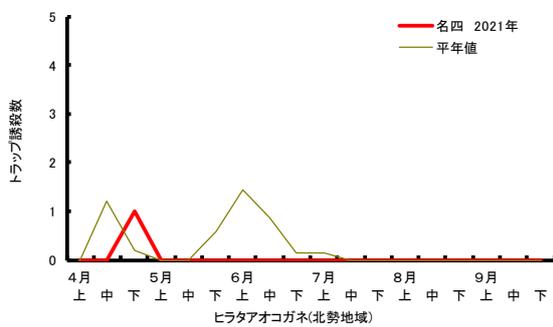
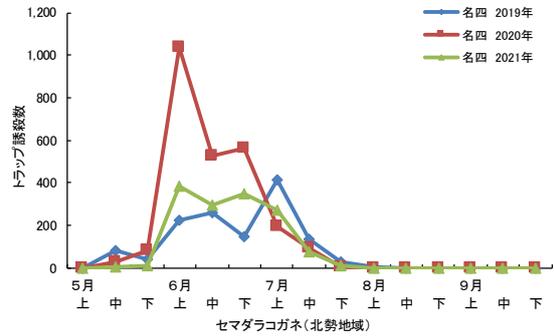
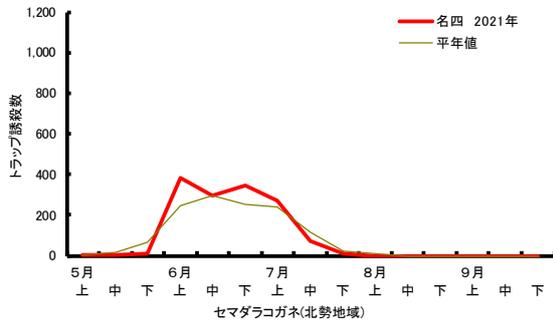
- 1.帳簿(作業日報、農薬台帳等)の整理状況
- 2.農薬の使用状況
- 3.危害防止対策、
- 4.病虫害雑草安全防除指針の遵守状況
- 5.農薬の保管管理の状況

(調査・点検結果の概要)

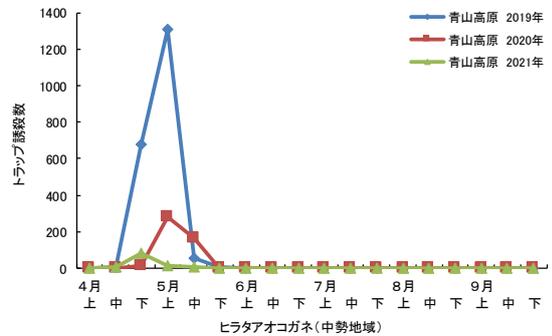
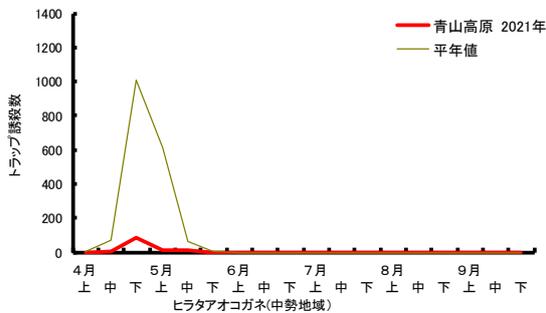
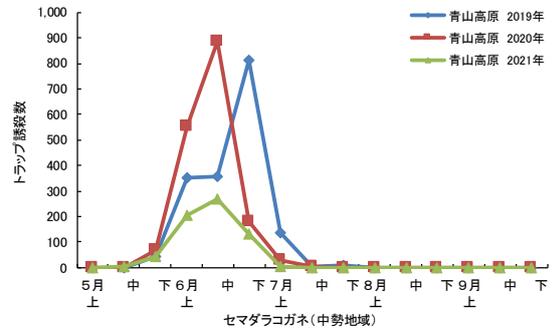
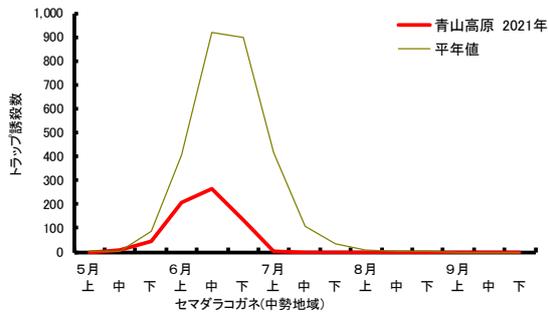
農薬庫への施錠、農薬庫への雨水の侵入対策、農薬の漏出による棚の汚染対応(トレイの設置)、3年間の管理簿の保管、管理簿の転記ミスの防止、指針外農薬の使用に係る県への届け出、委託業者の農薬使用記録の保管について指示し、了解を得た。その他の項目については、概ね適正に管理されていた。

(4) ゴルフ場におけるコガネムシ類の発生状況

北勢地域



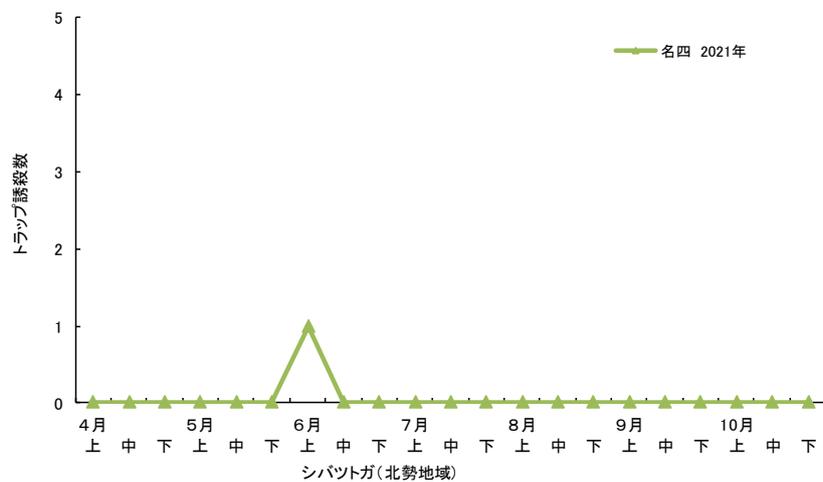
中勢地域



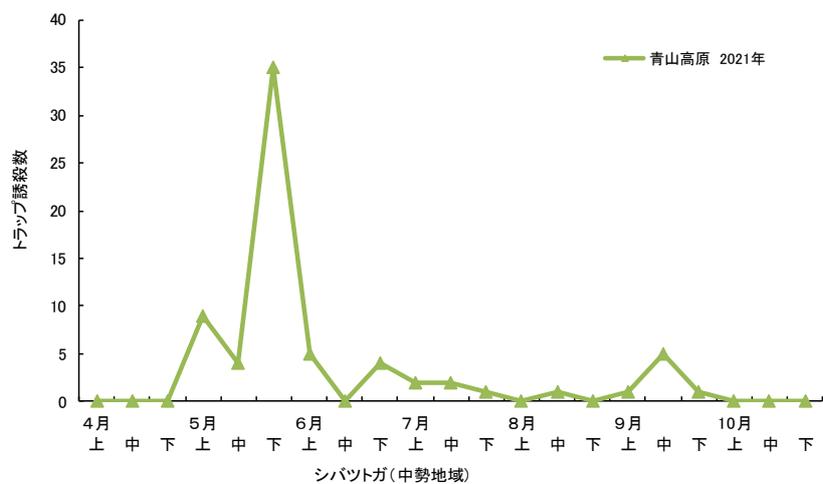
(5) ゴルフ場におけるシバツトガの発生状況

2021年度から調査を開始した。

北勢地域



中勢地域



2. 令和3年度 無人航空機による空中散布の実施状況

防除内容	総散布面積 (ha)	
		合計
水稲	前年実績	8,902
	前年対比 (%)	98.2
	合計	2,164
麦類	前年実績	2,169
	前年対比 (%)	99.8
	合計	820
大豆	前年実績	677
	前年対比 (%)	121.1
	合計	153
その他	前年実績	114
	前年対比 (%)	134.5
	合計	11,875
合計	前年実績	11,863
	前年対比 (%)	100.1

VI 各種データ

1.トランプ等データ

(1)予察灯

a 県予察灯・水田設置 (松阪市嬉野川北町； 60ワット白熱灯)

水田 2021年	ツマ グロ ヨコ バイ	ヒメ トビ ウン カ	セジ ロウ ンカ	トビ イロ ウン カ	イネ ミズ ゾウ ムシ	ホソ ハリ カメ ムシ	シラ ホシ カメ ムシ	イネ カメ ムシ	イネ ク ロカ メ ムシ	クモ ヘリ カメ ムシ	アカ ヒゲ ホソ ミドリ カスミ カメ	アカ スジ カス ミカ メ	ニカ メイ ガ	コブ ノメイ ガ	フタ オビ コヤ ガ	アワ ヨトウ	イチ モン ジカ メ ムシ	クサ ギカ メ ムシ	ホソ ヘリ カメ ムシ	ツヤ アオ カメ ムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	1	0	0	6	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2021年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
5日	0	0	0	0	6	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	1	1	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2021年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ
	8月1日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
4日	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5日	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
16日	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	6	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	3	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	2	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	7	0	1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	2	0	2	0	0	1	17	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	4	0	0	0	1	0	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	5	0	1	0	0	0	26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
26日	0	2	0	2	1	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
28日	0	0	0	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	5	1	1	0	0	0	5	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0
9月1日	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
11日	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
15日	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

水田 2021年	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネカメムシ	イネクロカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ニカメイガ	コブノメイガ	フタオビコヤガ	アワヨトウ	イチモンジカメムシ	クサギカメムシ	ホソハリカメムシ	ツヤアオカメムシ	
	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

b 県予察灯・畑地設置(松阪市嬉野川北町; 100ワット水銀灯)

畑地 2021年	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14日	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
15日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	1	19	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
18日	0	6	4	0	0	0	0	0	0	0	11	4	0	0	1	1	0	1	0	0	0	8
19日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	8
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
21日	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	0	0	1	7	0	0	0	0	0	22
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
23日	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
25日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1
26日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1

畑地 2021年																						
	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
3日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	1	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	9	4	0	0	1	8	1	1	0	0	0	0
7日	0	6	3	0	4	0	6	0	0	0	5	5	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
8日	0	1	1	0	1	0	4	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	3	0	6	0	1	0	0
12日	0	1	0	0	3	0	7	0	0	0	9	0	0	0	1	6	12	2	2	0	0	0
13日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	3	6	2	1	3	4	0	0
14日	0	0	2	0	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	16	1	0	0	0	0	1
15日	0	1	1	0	1	0	4	0	0	0	1	0	0	1	2	38	6	6	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	11	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0	0	0	2	30	32	2	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	52	12	1	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	3	11	0	1	0	0	0	0
25日	0	2	1	0	3	0	3	2	0	0	1	0	0	1	0	51	6	0	0	0	0	0
26日	0	2	0	0	2	0	7	0	0	0	1	3	0	0	5	85	30	10	0	0	0	0
27日	0	3	0	0	3	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0	22	4	0	0	0	0	0
28日	0	1	0	0	4	0	8	0	0	0	3	1	0	0	0	56	7	3	0	0	0	0
29日	0	1	0	0	4	0	11	1	0	1	1	2	4	0	0	15	0	2	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	3	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	0
7月1日	0	2	0	0	2	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0
2日	1	11	0	0	3	0	17	2	0	0	0	12	1	0	7	47	13	65	7	6	0	0
3日	0	22	0	0	5	0	27	6	0	5	8	1	97	2	0	3	83	81	8	1	1	1
4日	2	8	0	0	15	0	46	2	1	0	0	1	14	0	0	0	3	2	0	0	0	0
5日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
6日	0	2	0	0	26	4	34	2	0	1	0	2	19	0	0	4	47	45	7	0	0	54
7日	0	9	0	1	24	1	49	5	2	3	0	2	32	0	0	5	49	33	18	0	1	63
8日	0	6	0	0	6	5	34	2	0	0	0	19	0	0	2	20	2	0	0	1	3	3
9日	0	5	1	0	3	1	29	1	1	0	0	9	0	0	4	16	7	24	11	0	37	37
10日	0	3	0	0	6	1	19	4	0	0	0	1	13	0	0	2	15	2	0	0	0	16
11日	0	2	0	0	12	4	33	0	0	0	2	15	2	0	4	62	10	33	4	1	33	33
12日	0	1	0	0	1	0	15	0	0	0	0	0	0	0	6	11	0	1	0	0	6	6
13日	0	0	0	0	5	1	22	4	0	2	0	0	10	2	0	9	30	5	15	0	1	61
14日	0	2	0	0	5	0	21	0	0	0	0	5	0	0	1	15	5	29	4	3	44	44
15日	0	0	0	0	8	7	8	2	0	0	0	2	1	0	0	7	1	11	3	3	62	62
16日	0	0	0	0	2	2	4	0	1	2	0	2	5	2	0	1	17	8	24	0	0	172
17日	0	7	0	0	4	5	14	0	0	0	0	1	0	0	2	13	12	5	1	1	73	73
18日	0	0	0	0	1	5	15	1	0	1	0	2	3	1	0	8	1	3	0	0	56	56
19日	0	2	0	0	11	9	12	0	0	0	1	2	1	4	0	0	10	11	16	0	0	51
20日	0	2	0	0	12	3	11	0	0	2	0	7	1	5	0	0	10	20	9	0	1	57
21日	0	2	0	1	12	9	8	0	0	0	0	1	0	1	1	0	5	16	8	0	1	41
22日	0	0	0	0	5	6	7	0	0	0	1	0	4	0	0	6	12	2	0	0	9	9
23日	0	0	0	0	2	5	8	1	0	0	0	1	3	0	0	7	14	8	0	2	15	15
24日	0	3	0	0	3	7	15	0	0	0	2	2	8	0	0	12	29	16	1	5	15	15
25日	0	1	0	0	8	2	13	0	1	0	0	1	5	1	1	12	28	14	0	0	29	29
26日	0	0	0	0	7	9	12	2	0	4	0	1	0	0	0	2	1	0	0	1	2	2
27日	1	2	0	0	19	8	49	0	4	3	0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	4	4
28日	0	1	0	0	10	13	29	1	1	1	0	1	1	0	0	2	3	8	20	0	0	3
29日	0	3	0	0	8	18	25	0	1	1	0	0	2	2	0	1	15	9	24	2	0	20
30日	0	0	0	1	12	13	25	0	2	1	0	3	1	6	0	0	28	3	104	0	2	9
31日	0	1	0	2	6	8	27	0	1	0	0	0	5	4	0	3	15	5	73	0	3	5

畑地 2021年																												
	アオクサカメムシ	チャバネアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	ミナミアオカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ						
8月1日	2	1	0	1	4	14	15	0	0	0	0	1	3	4	2	2	6	3	39	1	2	2						
2日	0	0	0	0	2	8	20	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	7	0	0	0							
3日	0	0	3	1	4	10	23	1	0	0	0	0	2	0	3	3	13	0	99	2	2	1						
4日	0	0	2	1	9	16	37	0	0	0	0	0	3	4	2	1	13	2	51	2	2	1						
5日	0	0	0	0	3	25	37	0	0	0	0	0	4	1	3	6	0	6	0	56	0	2	1					
6日	0	1	1	1	1	14	17	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	59	0	1	0							
7日	0	2	1	2	1	25	21	2	0	1	0	0	1	1	0	7	0	25	1	2	2							
8日	0	1	1	4	10	9	32	4	10	3	0	1	5	0	4	6	13	1	54	0	0	2						
9日	0	1	0	0	1	10	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0							
10日	0	8	0	0	8	20	23	3	3	3	0	0	6	3	2	2	23	0	1	0	0	1						
11日	0	14	0	2	1	14	20	2	0	1	0	0	3	2	1	1	5	0	7	1	2	0						
12日	0	1	0	1	1	5	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	10	0	27	1	0	0						
13日	1	6	2	3	3	12	16	7	4	0	0	0	5	0	13	6	37	0	577	3	1	0						
14日	0	21	0	2	0	0	0	5	0	5	0	0	35	3	15	0	1	0	0	0	0	0						
15日	6	10	3	2	5	14	16	4	2	3	0	0	16	1	3	0	0	0	5	0	0	0						
16日	0	2	1	0	1	8	21	3	1	1	0	0	17	0	7	2	13	2	59	2	1	0						
17日	0	18	9	2	0	7	19	6	0	0	0	0	21	2	9	1	9	0	210	3	1	0						
18日	0	67	14	5	2	9	11	2	0	0	0	0	16	2	5	7	16	1	128	0	3	1						
19日	0	26	5	1	1	2	3	0	0	0	0	0	8	0	5	1	11	0	40	2	1	0						
20日	0	15	9	1	1	1	12	0	0	3	0	0	7	1	7	3	20	5	121	1	2	0						
21日	0	48	12	3	7	11	27	0	0	16	0	1	29	1	12	1	9	1	18	0	1	0						
22日																												
23日	14	472	21	14	23	19	59	8	1	61	4	33	43	11	42	2	80	9	123	0	4	12						
24日																												
25日	3	219	5	26	12	13	32	3	0	41	1	21	24	7	7	16	132	4	195	4	5	0						
26日	3	99	3	13	9	3	48	1	1	21	1	25	32	7	2	15	130	3	203	3	6	0						
27日	0	36	0	6	8	10	33	7	1	34	4	10	22	9	24	14	174	5	139	9	2	0						
28日	0	113	0	3	10	0	41	3	2	17	0	22	53	13	12	1	127	5	51	7	5	0						
29日	0	54	4	7	7	3	33	3	0	19	0	73	66	8	11	10	472	32	287	3	6	0						
30日	6	105	7	6	2	3	30	7	0	35	3	52	86	10	4	19	554	32	258	14	6	0						
31日	0	65	3	6	6	1	32	3	1	20	1	36	55	2	10	13	547	24	173	10	7	0						
9月1日	0	71	0	3	0	3	26	11	0	23	1	19	47	3	4	12	293	10	366	84	6	0						
2日	0	11	1	1	0	0	7	3	0	0	0	0	6	0	1	4	39	3	23	9	2	0						
3日	1	12	2	0	0	2	8	1	0	0	0	0	24	1	1	20	33	22	97	26	0	0						
4日	1	41	7	4	0	4	12	1	0	4	0	11	11	0	2	10	67	44	84	28	0	1						
5日	3	65	18	2	2	1	22	1	0	0	0	7	25	1	0	8	39	15	70	21	0	1						
6日	0	11	70	0	0	0	4	1	0	0	0	1	9	0	1	1	35	10	9	4	1	0						
7日	0	16	24	0	0	2	9	0	0	0	0	0	4	0	1	4	18	33	62	2	0	0						
8日	2	24	8	0	1	0	17	0	0	0	0	7	26	0	1	3	64	44	76	9	1	1						
9日	0	7	9	0	1	0	8	0	0	0	1	1	5	0	0	0	9	1	9	2	0	0						
10日	4	110	31	4	1	0	17	2	0	2	0	23	28	0	9	7	177	153	148	10	3	0						
11日	7	14	70	0	0	2	14	1	1	1	0	33	53	0	5	2	67	64	262	52	8	0						
12日	0	30	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	2	5	45	40	389	41	1	0						
13日	2	37	77	0	1	0	8	1	0	0	0	7	36	0	10	1	30	7	24	4	1	0						
14日	0	1	18	0	1	1	5	1	0	0	0	1	4	0	2	1	28	24	127	18	1	0						
15日	3	5	20	1	0	0	8	0	0	0	0	4	22	0	0	0	11	4	21	1	0	0						
16日	0	18	53	1	1	2	7	2	0	0	0	6	14	1	10	0	14	64	198	10	2	0						
17日	0	7	18	0	0	0	7	0	0	0	0	0	4	0	2	1	2	3	19	3	1	0						
18日	0	1	3	0	0	0	4	0	0	0	1	0	103	0	0	2	3	12	35	9	0	0						
19日	5	66	15	0	2	1	10	1	0	0	2	8	49	2	27	1	11	111	150	54	2	0						
20日	1	42	7	0	0	0	3	0	0	0	0	1	8	0	6	1	3	4	38	20	1	0						
21日	0	0	17	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0	4	1	1	4	11	5	0	0						
22日	2	15	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	22	0	3	2	24	4	31	7	0	0						
23日	2	56	15	1	0	0	4	0	0	0	1	7	74	1	1	2	44	5	8	1	0	0						
24日	7	16	17	0	0	0	7	2	0	0	0	1	90	0	0	0	38	0	2	0	0	0						
25日	1	3	22	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	9	4	12	4	0	0						
26日	2	0	4	0	0	0	3	0	0	0	0	1	23	0	1	2	3	1	2	0	0	0						
27日	4	49	21	0	0	0	4	0	0	0	0	0	33	0	1	3	20	2	6	2	0	0						
28日	5	55	60	0	0	0	4	0	0	0	1	2	15	0	1	3	29	10	9	7	1	0						
29日	0	113	50	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5	0	2	2	13	0	6	8	0	0						
30日	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	10	1	1	1	0	0						

畑地 2021年	アオクサカメムシ	チャバナアオカメムシ	ツヤアオカメムシ	クサギカメムシ	ドウガネブイブイ	ヒメコガネ	アオドウガネ	イチモンジカメムシ	ホソヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ	イネクロカメムシ	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	ツマグロヨコバイ	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	イネミズゾウムシ
	10月1日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
2日	3	1	20	0	0	0	1	1	0	0	0	45	0	0	1	1	2	1	0	0	0
3日	0	68	54	0	0	0	1	0	0	0	0	7	0	1	3	9	2	6	4	0	0
4日	0	56	59	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	0	2	1	0	0
5日	3	103	20	0	0	0	0	0	0	0	0	22	0	2	0	3	0	0	0	0	0
6日	2	20	68	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	1	1	12	0	5	2	0	0
7日	1	44	81	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	8	1	2	2	0	0
8日	0	61	68	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0	0	1	0	0
9日	0	70	202	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	7	0	2	2	0	0
10日	0	15	194	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	1	1	0	0
11日	0	68	375	1	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	1	4	0	3	1	0	0
12日	5	57	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	2	1	0	0
13日	1	6	22	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	3	4	0	1	2	0	0
14日	2	2	26	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	1	1	23	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22	0	0	1	0	0	1	0	0
16日	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	0	5	0	0	1	0	0
17日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月1日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

c 地区予察灯 (60ワット白熱灯)

地区 2021年	ウンカ・ヨコバイ類										カメムシ類													
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
4月1日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
2日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
3日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
4日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
6日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
7日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
8日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
9日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
10日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
11日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
12日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
13日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
14日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
15日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
16日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
17日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
18日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
19日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
20日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
21日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
22日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
23日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
24日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
25日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
26日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
27日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
28日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
29日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
30日	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0					
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区 2021年	ウンカ・ヨコバイ類											カメムシ類												
	紀北町				御浜町				伊賀市			紀北町				御浜町			伊賀市					
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
6月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	6	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	
4日	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5日	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	2	0	2	0	0	1	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
7日	0	1	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	3
8日	0	2	2	0	0	0	1	4	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
9日	0	2	0	2	0	0	0	7	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
10日	0	2	2	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
11日	0	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
12日	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13日	0	0	1	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14日	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	2	1	1	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
18日	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	8
20日	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6
21日	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
22日	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2
23日	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
25日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1
27日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
28日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
29日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
30日	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	8
31日	0	1	1	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0						

地区 2021年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
8月1日	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	9
2日	0	3	1	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	2	0	0				
3日	0	2	0	0	0	0	0	3					0	0	0	0	0	0	0	0				
4日	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	
5日	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	1		0	0	0	0	0	3	0	0				
6日	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
7日	0	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	
8日	0	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
9日	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
10日	0	6	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	9	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	
11日	0	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	
12日	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	
13日	0	7	1	0	0	1	0	0	0	4	1	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
14日	0	6	0	0	0	1	0	0	0	4	0	1	7	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
15日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	
16日	0	4	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
17日	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0	
18日	0	6	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
19日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
21日	0	6	2	1	0	0	0	1	0	0	0	1	8	0	0	0	0	10	0	0	0	0	1	
22日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	3	0	0	0	0	2	0	0	0	3	3	
23日	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
24日	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	13	0	0	0	0	4	0	0	0	0	3	
25日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
26日	0	2	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
27日	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
28日	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	6	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
29日	1	2	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
30日	0	2	0	0	2	2	1	2	12	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
31日	1	1	0	0	2	2	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
9月1日									2	7	4	0									0	0	0	
2日									6	1	3	0									0	0	1	
3日									2	0	3	0									0	0	0	
4日									2	1	2	0									0	0	1	
5日									0	0	2	0									0	0	0	
6日									0	0	0	0									0	0	1	
7日									0	0	0	0									0	0	0	
8日									2	0	0	0									0	0	1	
9日									0	0	0	2									0	0	1	
10日									1	0	0	0									0	0	1	
11日									0	0	0	0									0	0	1	
12日									0	0	1	0									0	0	1	
13日									1	0	0	0									0	0	0	
14日									3	0	1	0									0	0	0	
15日									1	1	0	0									0	0	1	
16日									1	0	2	0									0	0	0	
17日									0	0	0	0									0	0	0	
18日									1	1	0	0									0	0	0	
19日									6	3	2	0									0	0	1	
20日									13日分と20日分が重複したため13日に記載											0	0	0		
21日									0	0	0	0									0	0	1	
22日									0	0	0	0									0	0	0	
23日									0	0	0	0									0	0	0	
24日									1	1	0	1									0	0	0	
25日									1	0	0	0									0	0	0	
26日									0	0	0	0									0	0	0	
27日									1	0	0	0									0	0	0	
28日									0	0	0	0									0	0	1	
29日									0	0	0	0									0	0	0	
30日									0	0	0	0									0	0	0	

地区 2021年	ウンカ・ヨコバイ類												カメムシ類											
	紀北町				御浜町				伊賀市				紀北町				御浜町				伊賀市			
	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	セジロウンカ	トビイロウンカ	ヒメトビウンカ	ツマグロヨコバイ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	トゲシラホシカメムシ	その他
10月1日								0	0	0	1										0	0	0	0
2日								0	0	0	0										0	0	0	0
3日								1	0	0	0										0	0	0	0
4日								0	0	0	0										0	0	0	0
5日								0	0	0	0										0	0	0	0
6日								0	0	0	0										0	0	0	0
7日								0	0	0	0										0	0	0	2
8日								0	0	0	0										0	0	0	0
9日								0	0	0	0										0	0	0	0
10日								0	0	0	0										0	0	0	1
11日								0	0	0	0										0	0	0	0
12日								0	0	0	0										0	0	0	0
13日								0	0	0	0										0	0	0	0
14日								0	0	0	0										0	0	0	0
15日								0	0	0	0										0	0	0	0
16日								0	0	0	0										0	0	0	0
17日								0	0	0	0										0	0	0	0
18日								0	0	0	0										0	0	0	0
19日								0	0	0	0										0	0	0	0
20日								0	0	0	0										0	0	0	0
21日								0	0	0	0										0	0	0	0
22日								0	0	0	0										0	0	0	0
23日								0	0	0	0										0	0	0	0
24日								0	0	0	0										0	0	0	0
25日								0	0	0	0										0	0	0	0
26日								0	0	0	0										0	0	0	0
27日								0	0	0	0										0	0	0	0
28日								0	0	0	0										0	0	0	0
29日								0	0	0	0										0	0	0	0
30日								0	0	0	0										0	0	0	0
31日								0	0	0	0										0	0	0	0

d 県子察灯・畑地設置(南牟婁郡御浜町農業研究所紀南果樹研究室; 100ワット水銀灯)

畑地 2021年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
4月1日	0	0	0	18	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	13	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	16	0	0	1	0	0
4日	0	0	0	26	0	0	0	0	0
5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	3	0	0	0	0	0
13日	0	0	1	57	0	0	0	0	0
14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20日	0	0	1	10	0	0	0	0	0
21日	0	0	8	22	0	0	0	0	0
22日	0	0	1	4	0	0	0	0	0
23日	0	0	0	4	0	0	1	0	0
24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	11	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30日	0	0	4	36	0	0	0	0	0
5月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	1	50	0	1	0	0	0
5日	0	0	0	10	0	0	1	0	0
6日	0	0	1	27	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8日	0	0	9	192	0	0	0	0	0
9日	0	0	0	14	0	0	0	0	0
10日	0	0	0	3	0	1	0	0	0
11日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
12日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
13日	0	0	0	89	0	0	0	0	0
14日	0	0	11	114	0	0	0	0	0
15日	0	0	7	105	0	0	0	0	0
16日	0	0	3	24	0	1	0	0	0
17日	0	0	224	427	2	0	0	0	0
18日	0	0	5	13	0	0	0	0	0
19日	0	0	2	9	0	1	0	0	0
20日	0	0	2	36	0	0	3	0	0
21日	0	0	0	5	0	2	0	0	0
22日	0	0	1	1	0	0	0	0	0
23日	0	0	3	4	2	0	0	0	0
24日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
25日	0	0	2	8	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
27日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
28日	0	0	3	5	0	0	1	0	0
29日	0	0	0	3	0	0	2	0	0
30日	0	0	0	1	0	2	2	0	0
31日	0	0	0	0	0	0	2	0	0

畑地 2021年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
6月1日	0	0	0	1	0	1	1	0	0
2日	0	0	2	5	0	0	2	0	0
3日	0	0	0	0	0	0	2	0	0
4日	0	0	0	0	0	2	0	0	0
5日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
7日	0	0	0	1	0	1	0	0	0
8日	0	0	4	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	2	1	0	2	1	0	0
10日	0	0	0	5	0	1	0	0	0
11日	0	0	0	1	0	5	2	0	1
12日	0	0	0	2	0	2	4	0	0
13日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
14日	0	0	3	1	0	0	8	0	0
15日	0	0	0	0	0	2	1	0	0
16日	0	0	0	0	0	0	5	0	0
17日	0	0	0	0	0	0	1	0	0
18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	0	0	1	2	0	0
20日	0	0	4	1	0	0	0	0	0
21日	0	0	1	0	1	1	0	0	0
22日	0	0	0	1	0	2	1	0	0
23日	0	0	2	1	0	0	0	0	0
24日	0	0	1	0	0	0	1	0	0
25日	0	0	0	0	0	1	0	0	0
26日	0	0	4	0	0	0	1	0	0
27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29日	0	0	4	3	0	1	1	0	0
30日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7月1日	0	0	4	0	0	0	0	0	0
2日	0	1	5	2	0	0	0	0	0
3日	0	1	7	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	4	0	1	0	0	0	0
5日	0	0	1	2	1	0	0	0	0
6日	0	0	3	0	0	0	0	0	0
7日	0	0	5	0	2	0	0	0	0
8日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9日	0	0	2	0	2	0	0	0	0
10日	0	0	7	1	0	0	0	0	0
11日	0	0	2	1	0	0	0	0	0
12日	0	0	3	0	0	0	0	0	0
13日	0	0	2	0	0	0	4	0	0
14日	0	0	2	0	0	0	1	0	0
15日	0	0	1	0	1	0	0	0	0
16日	0	0	2	0	0	0	0	0	0
17日	0	0	3	0	0	0	0	0	0
18日	0	2	5	0	3	0	0	0	0
19日	0	0	2	0	0	0	1	0	0
20日	0	0	3	0	2	0	0	0	0
21日	0	0	1	0	3	0	1	0	0
22日	0	0	2	0	1	0	0	0	0
23日	0	0	2	0	2	0	0	0	0
24日	0	0	1	0	1	0	2	0	0
25日	0	0	3	0	1	0	0	0	0
26日	0	0	10	0	1	0	0	0	0
27日	0	0	13	1	0	0	0	0	0
28日	0	0	9	1	0	0	0	0	0
29日	0	0	3	2	2	0	1	0	0
30日	0	0	32	10	15	0	1	0	0
31日	0	0	19	2	1	0	0	0	0

畑地 2021年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
8月1日	0	0	10	1	7	0	0	0	0
2日	0	0	8	3	2	0	1	0	0
3日	0	0	5	0	0	0	0	0	0
4日	0	0	8	0	5	1	7	0	0
5日	0	0	16	3	1	0	2	0	0
6日	0	0	4	0	0	1	2	0	0
7日	0	0	8	6	5	0	1	0	0
8日	0	0	44	2	15	0	0	0	0
9日	0	0	35	2	3	1	0	0	0
10日	0	0	39	8	7	1	0	0	0
11日	0	0	39	5	11	1	0	0	0
12日	0	0	13	0	10	0	0	0	0
13日	0	0	43	7	6	2	0	0	0
14日	0	0	24	3	37	1	2	0	0
15日	0	0	19	5	20	0	1	0	0
16日	0	0	27	6	13	1	0	0	0
17日	0	0	48	3	8	0	0	0	0
18日	0	0	28	6	14	1	1	0	0
19日	0	0	7	2	4	1	0	0	0
20日	0	0	23	3	13	1	1	0	0
21日	0	0	71	6	41	1	0	0	0
22日	0	0	261	15	53	0	1	0	0
23日	0	0	320	22	55	0	0	0	0
24日	0	0	324	23	45	0	0	0	0
25日	0	0	391	22	30	0	0	0	0
26日	0	0	392	27	34	0	0	0	0
27日	0	3	191	7	10	0	0	0	0
28日	0	1	204	22	20	0	0	0	0
29日	0	0	260	21	27	0	0	0	0
30日	0	0	136	14	22	0	0	0	0
31日	0	4	124	4	18	0	0	0	0
9月1日	0	2	105	27	10	1	0	0	0
2日	0	0	88	16	16	2	0	0	0
3日	0	3	17	6	0	1	0	0	0
4日	0	2	82	71	15	0	1	0	0
5日	0	1	101	90	12	0	0	0	0
6日	0	0	20	20	1	0	0	0	0
7日	0	0	29	27	0	0	0	0	0
8日	0	0	32	27	2	0	2	0	0
9日	0	0	93	154	7	0	0	0	0
10日	0	1	179	187	7	0	1	0	0
11日	0	0	69	204	8	0	0	0	0
12日	0	0	17	13	1	0	0	0	0
13日	0	0	67	130	3	0	0	0	0
14日	0	0	5	18	1	0	1	0	0
15日	0	0	31	149	4	0	0	0	0
16日	0	0	87	320	3	0	0	0	0
17日	0	0	32	40	0	0	0	0	0
18日	0	0	481	127	6	0	0	0	0
19日	0	0	23	74	0	0	0	0	0
20日	0	0	67	173	6	0	0	0	0
21日	0	0	58	88	1	0	0	0	0
22日	0	0	226	128	8	0	0	0	0
23日	0	0	22	57	0	0	0	0	0
24日	0	0	156	113	0	0	0	0	0
25日	0	0	62	171	0	0	0	0	0
26日	0	0	22	84	0	0	0	0	0
27日	0	0	105	196	3	0	0	0	0
28日	0	0	115	328	4	0	0	0	0
29日	0	0	95	78	1	0	3	0	0
30日	0	0	44	7	0	0	0	0	0

畑地 2021年	ア オ ク サ カ メ ム シ	ミ ナ ミ ア オ カ メ ム シ	チ ヤ バ ネ ア オ カ メ ム シ	ツ ヤ ア オ カ メ ム シ	ク サ ギ カ メ ム シ	コ カ ク モ ン ハ マ キ	チ ヤ ハ マ キ	ア カ エ グ リ バ	ヒ メ エ グ リ バ
10月1日	0	0	24	11	0	0	0	0	0
2日	0	0	102	86	0	0	0	0	0
3日	0	0	805	720	0	0	0	0	0
4日	0	0	79	53	2	0	0	0	0
5日	0	0	22	89	0	0	0	0	0
6日	0	0	307	940	1	0	0	0	0
7日	0	0	132	499	1	0	0	0	0
8日	0	0	51	280	1	0	1	0	0
9日	0	0	156	959	1	0	0	0	0
10日	0	0	56	100	3	0	0	0	0
11日	0	0	52	125	4	1	0	0	0
12日	0	0	21	54	1	0	0	0	0
13日	0	0	14	516	1	0	1	0	0
14日	0	0	4	51	1	0	0	0	0
15日	0	0	13	998	1	0	0	0	0
16日	0	0	29	474	1	0	0	0	0
17日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
18日	0	0	0	5	0	0	0	0	0
19日	0	0	0	6	0	0	0	0	0
20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
24日	0	0	0	32	0	1	0	0	0
25日	0	0	0	19	0	0	0	0	0
26日	0	0	0	1	0	0	0	0	0
27日	0	0	1	0	0	0	0	0	0
28日	0	0	0	2	0	0	0	0	0
29日									
30日									
31日	0	0	0	6	0	0	0	0	0
11月1日									
2日									
3日									
4日	0	0	0	12	0	0	0	0	0
5日									
6日									
7日									
8日									
9日									
10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11日									
12日									
13日									
14日									
15日									
16日									
17日									
18日									
19日									
20日	0	0	0	4	0	0	0	0	0
21日									
22日									
23日									
24日									
25日									
26日									
27日									
28日									
29日									
30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注:10月後半から予察灯の回転異常があり、日毎のデータを取れなかった。

(2)フェロモントラップ

a ガ類(フェロモントラップ) ハスモンヨトウ以外は粘着板式

2021年

月	半旬	ハスモンヨトウ (箱式)	コナガ	オオタバコガ	シロイチモジ ヨトウ	チャノコカク モンハマキ	チャハマキ	ナシヒメ シンクイ
1月	1		0					
	2		0					
	3		0					
	4		1					
	5		1					
	6		1					
2月	1		2					
	2		1					
	3		1					
	4		0					
	5		0					
	6		3					
3月	1	0	0					0
	2	0	2					0
	3	0	4					2
	4	0	0					3
	5	4	4					4
	6	2	5					23
4月	1	6	3	0	0	0	9	9
	2	0	2	0	0	13	19	14
	3	3	0	0	0	11	2	1
	4	1	0	0	0	16	6	7
	5	0	5	0	1	17	0	8
	6	0	0	0	0	8	0	0
5月	1	0	0	1	1	6	0	2
	2	3	0	0	0	13	3	2
	3	10	0	0	7	5	4	2
	4	14	0	0	10	1	4	3
	5	206	0	1	15	0	0	1
	6	285	2	1	21	1	0	11
6月	1	120	0	0	2	3	1	3
	2	70	0	0	1	12	0	4
	3	18	0	0	1	9	0	5
	4	21	0	1	2	5	1	3
	5	34	0	2	0	9	1	0
	6	5	1	8	2	6	0	7
7月	1	49	0	6	12	3	0	12
	2	109	3	2	5	2	0	9
	3	247	3	2	10	3	0	12
	4	144	1	1	4	4	0	8
	5	37	0	4	7	3	0	6
	6	60	0	5	10	4	0	18
8月	1	123	0	11	34	4	0	9
	2	207	0	10	7	4	0	14
	3	190	0	0	18	2	1	15
	4	59	0	2	6	2	0	7
	5	128	0	0	10	3	0	9
	6	110	0	0	28	2	0	22
9月	1	480	0	2	34	2	1	19
	2	655	0	2	4	4	0	8
	3	400	0	0	9	2	0	12
	4	385	0	0	22	4	0	11
	5	453	1	2	15	7	0	14
	6	332	1	0	20	12	0	7
10月	1	285	1	7	4	14	0	10
	2	122	0	4	2	27	5	3
	3	423	2	12	5	12	1	2
	4	259	0	5	1	8	3	0
	5	266	8	33	1	3	0	0
	6	438	2	10	7	1	0	0
11月	1	498	1	8	6	3	0	0
	2	76	1	5	3	1	0	0
	3	96	1	0	0	1	0	0
	4	183	0	0	1	0	0	0
	5	22	1	0	0	0	0	0
	6	24	1	0	0	0	0	0
12月	1	8	3	0	0	0		
	2	3	2	0	1	0		
	3	12	5	0	0	2		
	4	0	5	0	0	3		
	5	0	3	0	0	0		
	6	0	1	0	0	0		

b コガネムシ類(フェロモントラップ)

		ヒメコガネ		マメコガネ		ドウガネブイブイ	
		2021年	平年値	2021年	平年値	2021年	平年値
5月	上旬	0	0	0	0	0	0.4
	中旬	0	0.1	0	0.2	0.8	1.2
	下旬	0	0	0.2	2.5	9.8	8.1
6月	上旬	0	0.1	2.1	14.8	15.4	10.0
	中旬	0	0.4	2.7	54.9	10.0	10.8
	下旬	0.4	1.7	1.4	28.0	5.2	10.3
7月	上旬	1.9	2.8	1.8	16.7	0.8	5.2
	中旬	1.7	7.7	0.8	17.6	0	2.1
	下旬	23.8	19.1	4.6	32.1	0	1.3
8月	上旬	1.2	25.8	7.1	24.2	0	0.9
	中旬	0	18.1	2.2	24.7	0	0.2
	下旬	0	7.8	11.1	13.9	0	0
9月	上旬	0	2.2	0	10.9	0	0
	中旬	0	0.8	0	3.9	0	0
	下旬	0	0.2	0	2.1	0	0
10月	上旬	0	0.1	1.0	2.8	0	0
	中旬	0	0	0	0	0	0
	下旬	0	0	0	0	0	0
11月	上旬	0	0	0	0	0	0
	中旬	0	0	0	0	0	0
	下旬	0	0	0	0	0	0
合計		29	87.0	35	249.3	42	50.5

c 果樹カメムシ類(フェロモントラップ誘殺数)

チャバネアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2021年
4月.1	3.5	0.6
2	4.5	8.8
3	16.7	34.4
4	30.8	21.9
5月.1	53.6	34.2
2	52.3	42.9
3	55.9	29.2
4	102.1	52.5
6月.1	79.4	98.3
2	144.6	195.2
3	162.1	153.9
4	210.0	130.6
7月.1	345.1	148.9
2	402.6	80.7
3	298.3	9.3
4	248.9	7.8
8月.1	275.1	6.4
2	205.6	4.0
3	101.3	2.5
4	58.1	1.9
9月.1	70.4	1.5
2	72.0	23.5
3	76.3	41.5
4	63.4	62.4
10月.1	58.8	105.5
2	41.7	54.6
3	15.7	5.5
4	10.0	2.8
11月.1	8.5	1.3
2	4.1	0
3	0.5	0
4	0.2	0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2021年
4月.1	2.3	4.5
2	5.3	33.7
3	23.1	76.1
4	34.1	27.7
5月.1	85.2	37.2
2	96.2	64.3
3	120.7	86.6
4	155.9	116.5
6月.1	150.3	151.9
2	272.7	193.7
3	283.7	140.0
4	311.4	91.4
7月.1	413.6	83.1
2	423.1	35.3
3	441.7	20.0
4	442.7	6.1
8月.1	487.0	3.1
2	369.5	1.3
3	233.7	1.2
4	114.9	1.1
9月.1	79.5	1.5
2	52.1	1.9
3	30.0	3.0
4	19.9	11.0
10月.1	17.3	38.5
2	8.7	37.7
3	2.7	3.7
4	1.4	2.1
11月.1	1.5	1.3
2	0.9	0
3	0.3	0
4	0.1	0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2021年
4月.1	0	0
2	0.1	0
3	1.9	4.8
4	2.8	2.6
5月.1	21.2	2.8
2	49.3	3.8
3	74.6	2.6
4	51.3	3.8
6月.1	25.2	3.9
2	20.7	3.4
3	26.6	1.8
4	34.9	2.5
7月.1	62.0	8.0
2	100.4	5.0
3	134.2	0
4	120.4	0
8月.1	124.0	0.8
2	96.4	1.2
3	57.4	5.5
4	33.9	5.3
9月.1	29.1	7.3
2	23.1	32.7
3	14.4	20.7
4	7.3	6.8
10月.1	7.8	15.7
2	4.8	10.0
3	2.8	0
4	1.4	1.4
11月.1	0.9	2.9
2	0.4	0.7
3	0.1	0
4	0.1	0

月・週	多気郡多気町矢田	
	平年	2021年
4月.1	3.6	1.0
2	6.4	8.6
3	22.1	30.4
4	25.7	23.7
5月.1	52.1	34.6
2	89.2	39.5
3	118.8	27.0
4	196.9	22.3
6月.1	102.5	30.5
2	135.7	27.8
3	138.2	18.5
4	168.8	19.8
7月.1	278.6	11.7
2	260.3	7.3
3	248.0	0
4	271.7	0
8月.1	249.9	0.5
2	183.3	1.5
3	114.2	0
4	41.6	0.4
9月.1	27.4	1.6
2	22.7	15.3
3	16.3	21.2
4	13.8	24.5
10月.1	19.4	43.5
2	10.5	32.2
3	3.1	2.7
4	3.3	1.4
11月.1	2.6	1.1
2	1.3	0.1
3	0.1	0
4	0	0

ツヤアオカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2021年
4月.1	0	0
2	0.1	0
3	0.1	0
4	0.6	0
5月.1	2.5	0
2	4.4	0
3	1.9	0
4	1.9	0
6月.1	3.0	0
2	6.6	0
3	4.8	0
4	2.3	0
7月.1	2.3	0
2	1.7	0
3	1.6	0
4	1.7	0
8月.1	0.7	0
2	0.9	0
3	0.5	0
4	1.2	0
9月.1	2.2	0
2	3.7	0
3	4.6	0
4	5.2	0.3
10月.1	6.5	0.8
2	7.0	0.3
3	3.4	1.2
4	2.3	1.2
11月.1	2.5	1.3
2	1.2	0
3	0.1	0
4	0.1	0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2021年
4月.1	0.1	0
2	0.2	0
3	1.0	1.6
4	1.2	0.9
5月.1	2.2	0.5
2	3.6	0
3	4.4	0.1
4	6.8	0.5
6月.1	7.6	0.9
2	8.8	1.5
3	3.9	0
4	1.6	0
7月.1	1.1	0
2	0.8	0
3	0.4	0
4	0.3	0
8月.1	0.6	0
2	0.4	0
3	0.8	0
4	0.3	0
9月.1	0.9	0
2	0.8	0
3	1.2	0
4	1.2	0.3
10月.1	1.3	0.8
2	1.3	0
3	0.7	0
4	0.5	0
11月.1	0.5	0
2	0.2	0
3	0.1	0
4	0.1	0

ツヤアオカメムシ

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2021年
4月.1	0	0.3
2	0.2	0.8
3	0.5	0
4	0.6	0
5月.1	2.7	0.3
2	5.4	0.7
3	6.9	0
4	5.5	0
6月.1	2.2	0
2	1.1	0
3	0.3	0
4	0.3	0
7月.1	0.2	0
2	0.2	0
3	0.4	0
4	0.5	0
8月.1	0.4	0
2	1.0	0
3	1.2	0
4	1.1	0
9月.1	1.0	0
2	1.5	0
3	4.4	0.5
4	5.1	1.6
10月.1	9.2	3.9
2	8.1	2.0
3	9.1	0
4	4.9	1.1
11月.1	3.5	2.3
2	1.5	0.6
3	0.1	0
4	0	0

月・週	多気郡多気町矢田	
	平年	2021年
4月.1	0.9	0
2	2.0	0
3	8.8	0
4	10.4	0.5
5月.1	46.2	3.7
2	75.1	12.4
3	118.8	10.8
4	106.5	1.9
6月.1	58.0	0.8
2	18.2	0
3	6.8	0
4	3.4	0
7月.1	2.5	0
2	0.6	0
3	0.2	0
4	0.1	0
8月.1	0.3	0
2	0.1	0
3	0.4	0
4	0.4	0
9月.1	1.4	0
2	2.1	0
3	5.9	0.5
4	7.4	1.3
10月.1	12.3	5.5
2	13.4	10.1
3	8.5	1.3
4	8.7	1.8
11月.1	5.7	2.3
2	2.5	0.3
3	0.3	0
4	0	0

クサガカメムシ

月・週	津市白山町川口	
	平年	2021年
4月.1	0.1	0
2	0.0	0
3	0.2	0
4	0.7	0
5月.1	4.7	0.3
2	5.9	0.7
3	5.6	0
4	7.5	0
6月.1	7.8	0.8
2	11.6	2.5
3	4.6	0.7
4	2.7	0
7月.1	3.6	0.4
2	7.5	0.8
3	6.8	0.7
4	4.0	0.1
8月.1	2.9	0
2	1.3	0
3	1.3	0
4	2.3	0.2
9月.1	3.1	0.7
2	4.1	0.7
3	6.8	3.0
4	8.6	10.2
10月.1	22.3	31.5
2	20.1	34.8
3	6.7	4.3
4	3.9	2.0
11月.1	0.7	0.6
2	0.1	0
3	0.1	0
4	0	0

月・週	津市白山町二本木	
	平年	2021年
4月.1	0	0
2	0	0
3	0.3	0.8
4	2.0	0.7
5月.1	11.6	0.8
2	24.0	1.3
3	32.8	2.5
4	41.8	7.5
6月.1	47.5	8.2
2	68.5	6.4
3	31.9	2.9
4	11.9	0
7月.1	9.2	0
2	8.0	0
3	5.8	0
4	2.8	0
8月.1	1.7	0
2	1.2	0
3	1.0	0
4	0.8	0
9月.1	1.0	0
2	0.9	0
3	1.3	0.4
4	1.4	2.3
10月.1	1.2	6.5
2	1.0	3.8
3	0.3	0
4	0.2	0
11月.1	0	0
2	0	0
3	0	0
4	0	0

月・週	松阪市嬉野川北町	
	平年	2021年
4月.1	0	0
2	0	0
3	0.1	0
4	0.0	0
5月.1	0.1	0
2	0.2	0
3	0.1	0
4	0.2	0
6月.1	0.1	0
2	0.2	0
3	0.3	0
4	2.1	0
7月.1	1.4	0
2	0.4	0
3	0.9	0
4	1.1	0
8月.1	0.6	0
2	0.2	0
3	0.1	0
4	0.1	0
9月.1	0.1	0
2	0.2	0
3	0.1	0
4	0.1	0
10月.1	0.2	0
2	0.1	0.2
3	0.1	0.6
4	0	0.2
11月.1	0	0
2	0	0
3	0	0
4	0	0

月・週	多気郡多気町矢田	
	平年	2021年
4月.1	0.1	0
2	0.2	0
3	0.5	0
4	0.8	0
5月.1	3.7	0.3
2	9.2	1.9
3	30.1	3.1
4	40.0	1.9
6月.1	40.8	1.3
2	26.9	0.5
3	15.6	0
4	9.2	0
7月.1	9.1	0
2	6.4	0
3	5.3	0
4	6.1	0
8月.1	2.3	0
2	1.1	0
3	0.6	0
4	0.5	0
9月.1	0.9	0
2	0.7	0
3	0.9	0
4	1.1	1.5
10月.1	2.4	6.0
2	1.5	4.5
3	0.3	0
4	0.2	0
11月.1	0.2	0
2	0.1	0
3	0	0
4	0	0

(3) ウメ輪紋ウイルス (PPV) に関する調査

平成 21 年 4 月、東京都青梅市でウメにおいて、ウメ輪紋ウイルス (以下 PPV) の感染が確認された。PPV は我が国のモモやスモモなどの果樹に重大な被害を与えるウイルスとして、これまでも特に侵入を警戒していたものである。このことから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。

三重県では、観光ウメ園地で平成 25 年 6 月に感染が確認され、以降 28 年まで発生した。感染樹と周囲の樹は伐採され、その後 3 年間、園地周辺一定範囲における全ての宿主植物について感染の有無を調査したが、感染の再発・広がり等が確認できなかったため、令和 2 年度より県内産地での目視による調査に切り替えた。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県に産地があるウメについて、主要な 3 産地にそれぞれ 1~2 か所ずつ調査地を設定した。

PPV の症状について、目視により葉および果実を確認した。

b 調査樹種および地点

○ウメ(五ヶ所小梅、白加賀、南高)

調査圃場	調査樹数
津市片田田中町	13
南伊勢町五ヶ所浦	12
御浜町中立	30
紀宝町大里	25

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

(4) キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統に関する調査

キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統は、2014 年 5 月に国内で最初の発生が確認され、2021 年 12 月時点で 16 都県において発生が確認されている。

本病は、国内にまん延した場合に有用な植物に重大な被害を与えるおそれがある重要病害虫に該当することから、全国的な発生状況調査が実施されることとなった。三重県においても、県内のキウイフルーツ生産園地を対象に発生状況を把握するため 2014 年~2019 年に調査を実施したが、発生は確認できなかったことから、栽培園地での調査は終了した。

本年度は、苗出荷を行う事業者に対し、苗での調査に切り替えた。

a 調査方法

出荷予定のキウイフルーツ苗を対象とし、6 月 24 日に 1 事業者に対し目視にて感染によると思われる病徴の有無を確認した。

b 調査地点

津市苗木出荷業者 1 地点

c 調査結果

全ての 7 品種において、感染を疑う症状は確認されなかった。

(5)ミバエ類等侵入警戒調査

ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエは、果樹、果菜類の重要害虫である。これらの害虫における海外からの侵入防止に万全を期するため、都道府県と農林水産省植物防疫所では、地域を分担協力し、侵入警戒調査を実施している。三重県では、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、チチュウカイミバエを対象に、県内 6 か所にミバエ類誘引トラップを設置し、侵入警戒調査を実施した。

a 調査方法

スタイナー型トラップにミバエ類誘引用資材(メドフライコールあるいはユーゲルア)を装填し、2021 年 4 月 5 日に桑名市多度町小山、紀北町道瀬および紀南果樹研究室(御浜町志原)、4 月 8 日に津市大里窪田、4 月 9 日に多気町五桂および南伊勢町船越に各 1 器ずつ設置した。1 か月に 2 回程度(原則として、第 2 週及び第 4 週)、11 月 16 日まで調査した。

b 調査結果

対象種の侵入は確認されなかった。

誘引頭数

調査月	桑名市多度町小山					津市大里窪田町					多気町五桂					南伊勢町船越					紀北町道瀬					御浜町志原					
	ユーゲルア		メドフライコール																												
	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	その他	ミカンコミバエ群	ウリミバエ	ミスジミバエ	チチュウカイミバエ	その他	
4月			0	0				0					12	0				9						2					0		
5月			0	0				16					40	0				14						1				1			
6月			1	0				7					6	5				5						0				1			
7月			0	3				12					0	0				0						4				0			
8月			7	0				81					1	0				3						3				0			
9月			6	0				30					0	2				11						55				55			
10月			0	0				0					0	0				0						0				0			
合計			14	3				146					59	7				42						65				57			

(6) 火傷病侵入警戒調査

りんご、なしなどに被害をもたらす火傷病は、国内で発生・まん延した場合に農業生産に与える影響が極めて大きく、また、その宿主植物の輸入時における発見が困難であることから、植物防疫法で輸入禁止植物の対象病害として取り扱われている重要病害である。三重県においても、火傷病防疫指針に従い、侵入警戒調査を実施している。

a 調査方法

宿主植物のなかで、本県の果樹・花木を生産する目的で栽培される主要な植物として「日本なし」、「かなめもち」を選定し、調査対象植物とした。「日本なし」については主要な5産地にそれぞれ1~2か所ずつ調査地を設定した。また、「かなめもち」については農業研究所鈴鹿市駐在(旧花植木センター)に1か所の調査地を設定した。

火傷病の症状について、枝、葉、果実等で目視により確認した。

日本なしについては、2021年4月から9月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

かなめもちについても、2021年4月から9月まで、1か月に1回(第2~3週)調査した。

b 調査樹種および地点

○日本なし(幸水、豊水)

調査圃場	調査樹数
四日市市下海老町	60
津市久居小野辺町	63
津市香良洲町	60
松阪市嬉野川北町	30
玉城町富岡	60
伊賀市羽根 1	33
伊賀市羽根 2	55

○かなめもち(レッドロビン)

調査圃場: 鈴鹿市高塚町 農業研究所鈴鹿市駐在圃場

調査本数: 40本(植栽本数6本、34本の2か所)

c 調査結果

対象病害の発生は確認されなかった。

2. 巡回等データ

(1) 水稲

a ブラスタムによる葉いもちの感染好適条件判定結果

- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件 (湿潤時間の平均気温が比較的低い湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件 (湿潤時間の平均気温は15～25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件 (前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件 (前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。

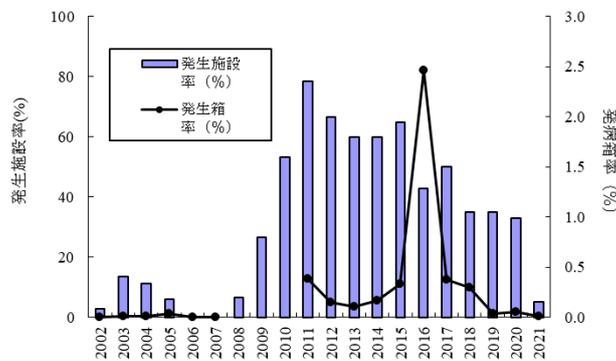
2021年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
5/01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/04	—	—	—	—	—	◎	△	—	—	△	△	◎	◎	
5/05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/07	—	▲	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/10	◎	◎	◎	◎	—	◎	△	—	◎	—	—	—	△	
5/11	△	△	△	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎	
5/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/16	—	—	—	—	—	—	◎	△	—	△	●	●	△	東海地方梅雨入り
5/17	—	—	—	◎	△	△	◎	△	△	△	△	◎	△	
5/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/19	—	—	—	—	—	—	△	—	—	—	—	—	—	
5/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	—	
5/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	—	—	
5/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎	—	—	
5/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/27	●	●	●	●	●	●	◎	●	●	—	—	●	●	
5/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5/31	—	—	△	—	—	—	△	—	—	—	●	—	—	
6/01	●	●	△	—	—	△	△	△	△	△	●	●	●	
6/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/05	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/10	—	—	—	—	—	—	—	●	●	—	—	—	—	
6/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/12	—	▲	●	●	—	—	—	—	●	●	—	—	—	
6/13	—	●	●	●	—	●	●	●	—	●	—	—	—	
6/14	—	—	—	—	●	●	●	●	●	—	—	—	—	
6/15	▲	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	—	—	—	
6/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/19	—	—	—	欠	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△	—	
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/22	—	—	—	—	—	—	—	△	●	—	—	—	—	
6/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/25	●	●	●	—	●	—	●	—	—	●	●	●	—	
6/26	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	▲	
6/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	
6/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

2021年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮(参考)	備考
7/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/05	●	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/07	●	●	●	-	●	▲	●	-	-	-	-	-	-	
7/08	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/09	●	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/10	●	●	●	-	-	-	-	-	●	●	-	-	-	
7/11	●	●	●	-	●	▲	-	▲	▲	-	●	-	-	
7/12	●	●	-	●	-	-	●	●	●	-	●	-	-	
7/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/14	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
7/15	-	-	-	-	-	●	△	-	-	-	-	-	-	
7/16	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/17	-	-	-	-	-	●	●	●	●	●	-	●	●	東海地方梅雨明け
7/18	-	-	●	●	-	●	●	-	-	●	-	-	-	
7/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/22	-	-	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	
7/23	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	
7/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/25	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/26	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	○	-	
7/27	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
7/28	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
7/29	-	▲	-	-	-	▲	-	●	-	▲	-	-	-	
7/30	-	-	▲	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7/31	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
8/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	
8/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	▲	-	
8/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠
8/08	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/13	-	-	▲	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/28	-	-	-	▲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

水稲育苗施設巡回調査における、ばか苗病の発生状況(2021年4月)

調査日	JA育苗施設	コシヒカリ			その他の品種			種子消毒 床土消毒 播種時散布剤	培土		
		発生箱率(%)	発生箱数	調査箱数	発生箱数	調査箱数	品種				
4/8	伊勢	紀宝	0.0	0	1000	0	740	三重23号	温湯消毒 ナエファインフロアブル (前半タチガレエースM液)	クリーン2号	
			-			0	300	キヌヒカリ			
		御浜	0.0	0	1000	0	290	キヌヒカリ	紀宝で実施、播種翌日移動 ナエファインフロアブル	クリーン2号	
		熊野	0.0	0	1000	0	240	キヌヒカリ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
			-								
紀北	0.0	0	1000	0	150	キヌヒカリ	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号			
4/12	伊勢	鵜方	0.3	2	800	0	300	あきたこまち	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号	
			-			0	600	あゆみもち			
		北部	0.0	0	1,000	0	1,080	かぐらもち	モミガード・スミチオン ナエファインフロアブル	クリーン2号	
		多気郡 兄国	0.0	0	1,000	0	83	あゆみもち	温湯消毒 タチガレエースM液剤	軽量サンバイド(床土) グリーン培土(覆土)	
		みえなか	大足	0.0	0	1,000	0	420	きぬひかり	温湯消毒 タチガレエースM液剤	サンバイド
機殿	0.0		0	1,000	-	-	-				
4/13	鈴鹿	津安芸 櫛形	0.0	0	1,000	0	1,000	みえのえみ	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号(床土) イセグリーン(覆土)	
		南部	0.0	0	710	0	680	あきたこまち	テクリードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号	
		南部	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 モミガードC・スミチオン タチガレエースM液剤	クリーン2号	
		みえきた	員弁	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 テクリードC・スミチオン ナエファインフロアブル	クリーン2号 覆土三菱軽量
			桑名	0.0	0	1,000	-	-	-	温湯消毒 テクリードC・スミチオン ナエファインフロアブル	クリーン2号
4/14	いが ふるさと	阿山	0.0	0	1,000	0	1000	キヌヒカリ	温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号 一部城南培土	
		上野南	0.0	0	1,000	0	1000	キヌヒカリ	温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号	
		名張	0.0	0	1,000	0	324	キヌヒカリ	温湯消毒 ナエファインフロアブル	クリーン2号	
		みえなか	白山	0.0	0	1,000	0	1,000	どんとこい	種子消毒:酸性水 床土消毒:酸性水	クリーン2号
嬉野	0.0		0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号		
三雲	0.0		0	1,000	-	-	-	温湯消毒 タチガレエースM液剤	クリーン2号		

県全体平均(コシヒカリ) 0.01 (昨年0.05%) 発生施設率 1/20=5% (昨年33%)



JA育苗施設におけるばか苗病の発生状況の推移(2002年～2021年、巡回調査結果、コシヒカリのみ、2008～2010年は発生箱率未調査)

水稲病害虫の発生状況(2021年5月)

地区	調査 月日	調査 圃場数	葉いも ち 発生 圃場率 (%)	補植苗 確認 圃場率 (%)	イネミズゾウムシ							株当 り 成虫数 (頭)	被害 株率 (%)	被害度	イネドロ オイム シ 発生圃 場率%
					被害発生 圃場率 (%)	被害程度別圃場割合(%)									
						甚	多	中	少	無					
桑名	5/11	17	0	17.6	52.9	0	0	0	52.9	47.1	0.01	20.5	5.1	0	
四日市鈴鹿	4/30,5/7,5/9	39	0	38.5	20.5	0	0	0	20.5	66.7	0.01	2.4	0.7	0	
津	5/11,5/12	32	0	53.1	43.8	0	0	0	43.8	43.8	0.04	8.5	2.5	0	
松阪	4/30,5/6	34	0	41.2	14.7	0	0	0	14.7	85.3	0.00	1.2	0.3	0	
伊勢志摩	4/30,5/7,5/10	33	0	36.4	45.5	0	0	0	45.5	54.5	0.01	8.4	2.1	0	
伊賀	5/10	23	0	26.1	8.7	0	0	0	8.7	73.9	0.01	1.0	0.3	0	
紀州	5/6	16	0	12.5	25.0	0	0	6.3	18.8	75.0	0.03	12.0	3.0	0	
平均		194	0	35.6	29.4	0	0	0.5	28.9	66.0	0.01	8.0	1.7	0	
前年		191	0	30.4	22.5	0	0	0.5	22.0	77.5	0.01	3.4	1.0	0	
平年(10年平均)			0	37.9	45.9	0.2	1.0	4.3	41.3	53.2	0.03	14.5	4.1	0.1	

定点におけるイネミズゾウムシ発生状況(2021年5月)

地区	調査場所	品種	移植(予定)日	移植時の殺虫剤・殺菌剤施用等	被害株率(%)	被害度	被害程度	株当たり虫数(頭)
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	5/1~2	なし	0	0	無	0
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	コシヒカリ	5/4	エバーゴールド箱粒剤	0	0	無	0
	菰野町千草	コシヒカリ	4/18	ルーチンエキスパート種子粉衣	0	0	無	0
	鈴鹿市矢橋町		5/中旬以降				未定植のため調査不能	
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	4/18	ルーチンエキスパート箱粒剤	8	2	少	0.04
津	亀山市山下町	コシヒカリ	4/19or20	ダントツ箱粒剤	0	0	無	0
	津市安東町	コシヒカリ	4/25	なし	0	0	無	0
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/27	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
松阪	津市一志町井生	コシヒカリ	4/25	タチガレエースM液剤	0	0	無	0
	松阪市美濃田町	コシヒカリ	4/27	バリアード箱粒剤	0	0	無	0
	多気町兄国	コシヒカリ	4/20	ルーチンエキスパート箱粒剤	0	0	無	0
伊勢 志摩	明和町坂本	コシヒカリ	4/25	ルーチンエキスパート箱粒剤	0	0	無	0
	伊勢市円座町	コシヒカリ	4/18	オリゼメートオンコル粒剤	0	0	無	0
	玉城町蚊野	みえのえみ	5/22	なし			未定植のため調査不能	
伊賀	志摩市磯部町田之郷	コシヒカリ	4/19	なし	16	4	少	0.16
	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/2	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
紀州	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/6	ツインターボ箱粒剤	0	0	無	0
	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/24	ファーストオリゼプリンス箱粒剤	0	0	無	0
県田察圃	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/30	ブイグットバリアード箱粒剤	0	0	無	0
	農業研究所	コシヒカリ	4/24	なし	0	0	無	0
	定点平均	-	-	-	1.4	0.4	少	0.01
	平年値(10年平均)	-	-	-	18.0	5.9		0.03

※イネミズゾウムシ被害度に対する被害程度:0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

c 6月データ

本田および置き苗における葉いもちの発生状況(2021年6月)

地区	調査 月日	調 査 圃場数	本田調査						置き苗調査		
			発生程度別圃場割合(%)					発生無	発病度	放置率 (置き苗のある 圃場/調査圃場 %)	発生圃場率 (置き苗に発病がある 圃場/調査圃場 %)
			計	甚	多	中	少				
桑名	6/10	28	0	0	0	0	0	100	0	14.3	0
四日市鈴鹿	6/8,6/9	40	0	0	0	0	0	100	0	15.0	2.5
津	6/7,6/9	32	0	0	0	0	0	100	0	31.3	0
松阪	6/4,6/7,6/10	32	0	0	0	0	0	100	0	31.3	0
伊勢志摩	6/3,6/4,6/10	36	0	0	0	0	0	100	0	11.1	0
伊賀	6/7	28	0	0	0	0	0	100	0	21	0
紀州	6/3,6/10	16	0	0	0	0	0	100	0	18.8	0
平均		212	0	0	0	0	0	100	0	20.3	0.5
前年		236	0	0	0	0	0	100	0	8.5	0.8
10年平均			0	0	0	0	0	100	0	13.0	8.3

広域病害虫防除員によるいもち病初発調査(2021年6月) 畦畔から2条の100mを10圃場見歩き調査。

地区	調査 月日	調査場所	本田調査		置き苗調査		備考
			発生 圃場率 (%)	放置率 (置き苗が放置され ていたほ場の割 合%)	発生圃場率 (全調査圃場に対する いもち病の発生割合%)		
桑名	6/3,7	桑名市多度町香取 東員町山田 いなべ市北勢町治田外面	0 0 0	0 10.0 0	0 0 0	4月30日移植。数か所藻が多発。 スクミンゴガイ被害有 イネミズゾウムシによる食害平年並み、またはやや多い。その他病害虫による症状特になし。 イネミズゾウムシによる食害平年並み。その他病害虫による症状特になし。	
四日市	6/10,11	四日市市楠町 菰野町	0 0	0 0	0 0	中干し開始頃。一部無農薬栽培であるが、目立った病害虫の発生なし。 5月15日移植、移植後26日経過。移植直後の気温の低さと強風で葉先が少し枯 れているところあり。いもち病はなし。	
鈴鹿	6/3	鈴鹿市須賀町 鈴鹿市算所町 鈴鹿市中富田町	0 0 0	40.0 0 10.0	0 0 0	特になし。生育差はありますが良好な生育と見受けられました。 特になし。生育良好。 特になし。畔際の欠株(条単位で)や、雑草が目立った。	
津市	6/2	津市森町 津市一志町井生 津市白山町川口	0 0 0	30.0 10.0 0	0 0 0	No6は置き苗が畔に置かれていた。 一部の圃場でイネの葉先枯れ 一部の圃場で畦畔雑草が茂っている	
松阪	6/4	松阪市美濃田町北蔵、八田 松阪市岩内町東出 松阪市小野町字車	0 0 0	0 0 30.0	0 0 0	一部で雑草多クウキヤガラ、ヒエ、スクミンゴガイ少発。卵確認。 一部畦畔草刈りが実施されていない 一部スクミンゴガイ確認(少)卵	
伊勢	6/7	伊勢市上地町 玉城町上田辺 度会町大野木	0 0 0	20.0 10.0 0	0 0 0		
伊賀	6/6	伊賀市猪田 伊賀市森寺 伊賀市下郡	0 0 0	20.0 0 20.0	0 0 0	移植日:5月下旬 品種:コシヒカリ 移植日:5月上旬 品種:コシヒカリ、みえのゆめ カイエビ発生 移植日:5月上旬 品種:コシヒカリ	
東紀州	6/7	熊野市金山 御浜町阿田和 紀宝町井田	0 10 0	0 0 10.0	0 0 0	草丈:35~40cm。スクミンゴガイ活動盛ん。	
県全体			0.4	9.1	0		
県全体(前年)			0	13.3	0		
平年			0.0	14.6	0.3		

水稲の害虫発生状況(2021年6月)

地区	調査 月日	調 査 圃場数	はらい落とし調査						見取り調査				その他病害虫 (10株はらい落とし調査 および10m見取り調査)	
			セジロ ウンカ	ヒメビ ウンカ	ツマグロヨコバイ	イネミズ ゾウムシ	フタオビ コヤガ	イナゴ類	イネドロオイムシ	イネク ロカメムシ	イネ ゾウムシ			
			成虫数 /10株	成虫数 /10株	成虫数 /10株	幼虫数 /10株	成虫数 /10株	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	発生 圃場率(%)	被害度	発生 圃場率(%)		被害発生 圃場率(%)
桑名	6/10	28	0	0.07	0.11	0.07	0.29	0	17.9	0	0	0	0	アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカスミカメ
四日市鈴鹿	6/8,6/9	40	0	0.05	0.03	0	0.25	2.5	27.5	5.0	0.04	0	10.0	アカスジカスミカメ、ニカメイガ
津	6/7,6/9	32	0	0.06	0.09	0.03	0.75	0	15.6	0	0	6.3	0	アカスジカスミカメ、ササキリ
松阪	6/4,6/7,6/10	32	0	0.03	0.06	0.09	0.22	0	40.6	6.3	0.06	0	0	ササキリ、ニカメイガ
伊勢志摩	6/3,6/4,6/10	36	0	0	0	0.03	0.44	0	11.1	0	0	0	0	ササキリ、ニカメイガ、アカスジカスミカメ
伊賀	6/7	28	0	0.04	0	0	0.18	3.6	50.0	0	0	3.6	0	ササキリ、
紀州	6/3,6/10	16	0	0	0	0	0.13	0	0	0	0	0	12.5	イネゾウムシ
平均	212	0	0.04	0.04	0	0.34	0.9	24.5	1.9	0.02	1.4	2.8		
前年	236	0	0.03	0.03	0	0.41	0	26.7	3.4	0.15	1.3	8.1		
10年平均		0	0.03	0.06	0.10	0.43	0.9	27.6	4.1	0.12	0.2	17.3		

圃場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況(2021年6月)

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソミドリカスミカ メ成虫		その他 斑点米カメムシ成幼虫
			発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	発生地点率 (%)	虫数	
桑名	6/10	15	6.7	0.07	26.7	0.47	0	0	26.7	0.53	0	0	
四日市鈴鹿	6/8,6/9	25	4.0	0.08	0	0	8.0	0.08	16.0	0.92	8.0	0.16	
津	6/7,6/9	19	5.3	0.05	0	0	15.8	0.16	15.8	0.53	0	0	
松阪	6/4,6/7,6/10	19	10.5	0.16	0	0	0	0	15.8	1.11	0	0	
伊勢志摩	6/3,6/4,6/10	21	9.5	0.14	0	0	4.8	0.05	14.3	0.29	0	0	
伊賀	6/7	16	0	0	0	0	0	0	6.3	0.06	0	0	
紀州	6/3,6/10	9	11.1	0.11	0	0	0	0	0	0	0	0	
平均		124	6.5	0.09	3.2	0.06	4.8	0.05	14.5	0.56	1.6	0.03	
前年		137	6.6	0.12	0.0	0	8.0	0.09	30.7	1.95	5.8	0.09	
10年平均			7.9	0.13	0.0	0	3.7	0.07	41.5	2.58	10.7	0.28	

※畦畔、のり面、休耕地等における20回振りすくい取り調査

定点圃場(または畦畔、のり面)における病害虫発生状況(2021年6月)

地区	調査場所	葉いもち		はらい落とし調査(虫数/10株)					イネドロオイムシ		イネクロカメムシ		その他病害虫 (見取り調査および圃場内(または畦畔、のり面)すくい取り虫数)
		発病度	発病 程度	セジロウ ンカ成虫	ヒメトビウ ンカ成虫	ツマグロコバ イ成虫	イネミス ヅウムシ 幼虫	被害度	発生 程度	成虫数 (25株)	被害株 率(%)		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	クモヘリカメムシ幼虫(3)
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	シラホシカメムシ類幼虫(1)
	菟野町千種	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫(5)、イナゴ類幼虫(3)
	鈴鹿市矢橋	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鈴鹿市御園町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	亀山市山下町	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津	津市安東町	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	アカスジカスミカメ成虫(5)
	津市安濃町草生	0	無	0	0	0	0	5	0	無	0	0	ササキリ(5)
	津市一志町井生	0	無	0	0	0	0	2	0	無	0	0	イネカメムシ幼虫(1)、イナゴ類幼虫(1)
松阪	松阪市美濃田町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(1)
	多気町兄国	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	ツマグロコバイ幼虫(2)、イナゴ類幼虫(4)
伊勢 志摩	明和町坂本	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	伊勢市円座町	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	
	玉城町蚊野	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(1)
伊賀	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	0	0	0	2	0	無	0	0	
	伊賀市大野木	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(5)
紀州	伊賀市甲野	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(8)、アカスジカスミカメ成虫(1)
	紀北町赤羽	0	無	0	0	0	0	0	0	無	0	0	イナゴ類幼虫(1)
	熊野市飛鳥町	0	無	0	0	0	0	1	0	無	0	0	
県予察園	農業研究所	0	無	0	0	1	0	0	0	無	0	0	トゲシラホシカメムシ成虫(1)、アカスジカスミカメ成虫(7)、イナゴ類幼虫(2)

葉いもち発病度(発病程度):0(無)、1-20(少)、21-40(中)、41-70(多)、71以上(甚)。イネドロオイムシ被害度(発生程度):0(無)、1-20(少)、21-50(中)、51-70(多)、71以上(甚)

スクミリンゴガイの発生状況(最近8年間)

地区	調査月日 (2021年)	調査 圃場数 (2021年)	スクミリンゴガイの発生ほ場率(%)							
			2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
桑名	6/10	28	0	2.8	3.1	9.4	12.5	9.4	12.5	14.3
四日市鈴鹿	6/8,6/9	40	0	0	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	7.5
津	6/7,6/9	32	0	2.3	5.6	5.6	8.3	11.1	8.3	12.5
松阪	6/4,6/7,6/10	32	0	0	8.3	5.6	5.6	27.8	16.7	15.6
伊勢志摩	6/3,6/4,6/10	36	0	0	0	2.5	2.5	0	0	0
伊賀	6/7	28	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	6/3,6/10	16	0	0	0	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5
平均		212	0.0	0.6	3.4	5.9	6.8	9.7	8.1	8.5

d 7月データ

水稲病害発生状況(2021年7月)早期栽培

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち							紋枯病			
			程度別発生圃場率(%)					発生 無	発病 度	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)
			計	甚	多	中	少						
桑名	7/6	32	6.3	0	0	0	6.3	93.8	0.38	1.5	0	0	0
四日市鈴鹿	7/1.2	42	19.0	0	0	2.4	16.7	81.0	1.36	5.0	11.5	0	0
津	6/30.7/5	32	15.6	0	0	0	15.6	84.4	0.61	2.4	31.8	0	0
松阪	7/6.7	32	34.4	0	0	0	34.4	65.6	1.53	6.1	0	3.1	0.13
伊勢志摩	7/1.6.7	36	27.8	0	5.6	5.6	16.7	72.2	5.17	11.2	18.8	2.8	0.11
伊賀	7/2	28	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0
紀州	7/5.6	16	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0
県全体		218	16.5	0	0.9	1.4	14.2	83.5	1.52	4.4	13.2	0.9	0.04
前年		236	6.8	0	0	1.7	5.1	93.2	0.58	2.1	2.4	0	0
平年(10年平均)			11.3	0	0	0.8	10.5	88.7	0.67	2.6	3.9	3.6	0.30

水稲害虫発生状況(2021年7月)早期栽培

地区	調査 月日	調査 圃場 数	はらい落とし調査(10株当たり)										見取り調査								
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメトビウンカ		ツマグロコバエ			イネミズゾウムシ		フタオビコバヤガ		イネクロカメムシ		ニカ メイガ	イネ ヨトウ	コブノメ イガ	
			発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	幼虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	被害 圃場率(%)	被害 株率(%)	発生圃 場率(%)	発生圃 場率(%)
桑名	7/6	32	0	0	0	0	3.1	0.03	15.6	0.28	0	0	0	0	0	0	28.1	2.0	28.1	0	0
四日市鈴鹿	7/1.2	42	0	0	0	0	9.5	0.10	11.9	0.12	0.07	0	0	0	0	0	7.1	0.8	21.4	0	0
津	6/30.7/5	32	0	0	0	0	0	0	21.9	0.31	0.09	3.1	0.03	0	0	0	53.1	4.9	56.3	0	3.1
松阪	7/6.7	32	0	0	0	0	28.1	0.31	6.3	0.06	0	6.3	0.06	12.5	0.13	12.5	1.4	18.8	6.3	0	
伊勢志摩	7/1.6.7	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11.1	0	0	
伊賀	7/2	28	0	0	0	0	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	7.1	0.3	0	0	0
紀州	7/5.6	16	0	0	0	0	31.3	0.81	18.8	0.19	0	6.3	0.06	0	0	0	0	0	6.3	25.0	0
県全体		218	0	0	0	0	8.7	0.13	10.6	0.14	0.03	1.8	0.02	1.8	0.02	16.1	1.39	21.6	2.75	0.5	
前年		2	0	0	0	0	11.4	0.17	27.1	0.21	0.98	5.8	0.08	5.0	0.07	16.1	1.63	11.9	1.41	2.8	
平年(10年平均)			1.2	0.01	0.04	0.00	12.8	0.21	26.8	0.22	0.95	5.4	0.07	3.5	0.04	13.0	1.2	11.5	11.5	0.6	

虫数は調査圃場あたり

定点圃場における水稲病害虫発生状況(2021年7月)

地区	調査場所	葉いもち			紋枯病			すくい取り20回調査					すくい取り調査・斑点米カメムシ類 (見取り調査・その他病害虫)	
		発病 株率(%)	発病度	発病 程度	発病株 率(%)	発病度	発病 程度	ヒメトビ ウンカ	センシ ロウンカ	トビイ ロウンカ	ツマグロ コバエ 成虫	幼虫		
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0		無	0		無	0	0	0	0	0	0	ホソハリカメムシ(1)、クモヘリカメムシ(1)
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
	菰野町千草	0		無	0		無	0	0	0	0	0	アカスジカスミカメ(1)	
	鈴鹿市矢橋町	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
	鈴鹿市御園町	32	8	少	0		無	0	0	0	0	0	クモヘリカメムシ(1)	
津	津市安東町	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
	津市安濃町草生	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
	津市一志町井生	8	2	少	0		無	0	0	0	0	0		
松阪	松阪市美濃田町	0		無	0		無	0	0	0	0	0	ホソハリカメムシ(1)、アカスジカスミカメ(1)	
	多気町兄国	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
	明和町坂本	4	1	少	0		無	0	0	0	0	0		
伊勢 志摩	伊勢市円座町	0		無	4	1	少	0	0	0	0	0		
	玉城町蚊野	100	35	中	0		無	0	0	0	0	0		
	志摩市磯部町下之郷	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
伊賀	伊賀市大野木	0		無	0		無	0	0	0	0	0	クモヘリカメムシ(1)	
	伊賀市甲野	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
紀州	紀北町赤羽	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
	熊野市飛鳥町	0		無	0		無	0	0	0	0	0		
県庁農圃	農業研究所(無防除)	0	0	無	0	0	無	0	0	0	0	0		

葉いもちおよび紋枯病発病度(発病程度);0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2021年7月)早期栽培

地区	調査月日	調査地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソドリカ スミカメ成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米 カメムシ類
			発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	発生 地点率(%)	虫数	
桑名	7/6	15	6.7	0.27	0	0.07	33.3	0.60	40.0	4.13	0	0	0	0	
四日市鈴鹿	7/1.2	24	0	0	4.2	0.04	0	0	29.2	2.75	8.3	0.08	0	0	
津	6/30.7/5	18	11.1	0.11	5.6	0.06	11.1	0.11	11.1	0.44	5.6	0.06	0	0	
松阪	7/6.7	21	9.5	0.14	4.8	0.05	4.8	0.05	0	0.05	0	0	0	0	
伊勢志摩	7/1.6.7	20	15	0.30	5.0	0.05	0	0	10.0	0.50	0	0	5.0	0.05	
伊賀	7/2	16	0	0	0	0	0	0	25.0	0.56	0	0	0	0	
紀州	7/5.6	10	0	0	0	0	0.0	0	10.0	0.40	30.0	0.90	0	0	
県全体		124	6.5	0.12	3.2	0.04	6.5	0.10	17.7	1.29	4.8	0.10	0.8	0.01	
前年		139	8.6	0.15	15.8	0.91	1.4	0.01	8.6	0.39	1.4	0.05	0.7	0.06	
平年(10年平均)			18.7	0.46	7.1	0.49	9.4	0.14	35.0	3.88	11.6	0.37	2.2	0.07	

定点ほ場以外の畦畔、のり面等で調査したもの。

畦畔および圃場内における、斑点米カメムシ類(中型種成虫)の発生状況・広域病害虫防除員による調査(2021年7月)

地区	調査月日	調査場所	ホソハリカメムシ 成虫数	クモヘリカメムシ 成虫数	シラホシカメムシ類 成虫数	備考
桑名	7/11	桑名市多度町香取	0.2	0	0	全体的にワサビ、キジウズズメノエが多い。圃場23シ、圃場69サネム、97サ、圃場8のキヤガラが見られた。
	7/5	東員町山田	1.4	0.4	0	中干時期で畦畔雑草も繁茂しておらず個体数は少なかった。
	7/5	いなべ市北勢町治田外荘	1	2.4	0	中干時期で畦畔雑草も繁茂しておらず個体数は少なかった。
四日市	7/9	四日市市楠町	0.2	1.4	0	圃場1,3,5は圃場内、2,4は畦畔。アカスジカスミカメ、アカヒゲホソドリカメ、ミナミアオカメムシなども見られた。
	7/12	菰野町宿野	0	0.6	0	イナゴ類は、圃場内で老齢幼虫、畦畔で若齢幼虫を捕獲。イナゴ類平均28頭捕獲。畦畔管理は適切に行われている。法面でシラホシカメムシの幼虫を確認。
鈴鹿	7/12	鈴鹿市須賀町	0.6	0.2	0	出穂前、きれいに除草されていました(畦畔)。
		鈴鹿市算所	0	0	0	出穂前、きれいに除草されていました。
		鈴鹿市中富田町	0	3.4	1.6	出穂チラホラ、雑草多し(畦畔)
津市		津市森町	0.4	2.0	0	ヨコバエの幼虫散見、圃場4、5は雑草(ホタルイ)多発生
	7/5	津市一志町井生	0.2	0.6	0	畦畔雑草例年より多い。圃場5イナゴモンジカメムシ1頭。アカスジカスミカメ平均1、2頭
		津市白山町川口	0	0	0	アカスジカスミカメ平均0、4頭
松阪飯多	7/5	松阪市美濃田町	0.4	3.4	0	圃場2,3,4でスクミリンゴガイ多。
		松阪市岩内町東出	6.0	4.8	0	圃場1ミナミアオカメムシ幼虫1頭、圃場3アオカメムシ成虫1頭、圃場4畦畔除草されていない(田植後)
		松阪市小野町字車	0.8	0	0	圃場1スクミリンゴガイ少確認。
伊勢	7/9	伊勢市上地町	1.0	11.4	0.4	出穂前であるが、草刈りがされていない圃場1、2の畦畔で調査。クモヘリ多発。イナゴ平均0.8頭。
		玉城町上田辺	0.2	6.4	0	出穂前、圃場3は除草済のため圃場内を調査。圃場1,2,4,5は畦畔。クモヘリ目立った。イナゴ平均0.6頭。
		度会町大野木	1.6	0.4	1.0	出穂前、圃場3,4は除草済のため圃場内を調査。圃場1,2,5は畦畔。イナゴ平均4頭。
伊賀	7/2	伊賀市猪田	0	0	0	中干終了、イナゴ多い
		伊賀市森寺	0	0	0	中干終了、イネドロオイムシ少
		伊賀市下郡	0	0	0	中干虫、生育ムラ有
東紀州	7/9	熊野市金山	0.4	0	0.4	
		御浜町阿田和	1.2	1.8	0.6	
		紀宝町井田	0	0.8	0	出穂初期、圃場5は未出穂の為、畦畔雑草の調査
県全体			0.66	1.74	0.18	-
前年			0.20	0.30	0.03	-
平年値(10年平均)			0.43	0.50	0.08	-

すくいとり調査(各調査場所において、5ほ場×20回振り)、成虫数は1ほ場当りの頭数

スクミリンゴガイの発生状況(2021年7月)早期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	スクミリンゴガイ またはその卵を 確認したほ場の数	スクミリンゴガイまたは その卵を確認した 圃場の割合(%)
桑名	7/6	32	3	9.4
四日市鈴鹿	7/1.2	42	4	9.5
津	6/30.7/5	32	3	9.4
松阪	7/6.7	32	5	15.6
伊勢志摩	7/1.6.7	36	0	0
伊賀	7/2	28	0	0
紀州	7/5.6	16	3	18.8
県全体		218	18	8.3

スクミリンゴガイの発生状況の推移(7月)

地区	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
桑名	18.8	12.5	12.5	6.3	9.4
四日市鈴鹿	8.3	8.3	6.3	8.3	9.5
津	11.1	11.1	11.1	11.1	9.4
松阪	11.1	11.1	27.8	22.2	15.6
伊勢志摩	0	0	0	0	0
伊賀	0	0	0	0	0
紀州	25	25.0	25.0	25.0	18.8
県全体	9.3	8.5	10.6	9.3	8.3

水稲病害発生状況(2021年7月)普通期栽培

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち								紋枯病		
			程度別発生圃場数					発生 圃場 数	発病 率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場 数	発病 率 (%)	
			発生有										
計	甚	多	中	少	発生 無	発病度	発病 株率 (%)	発生 圃場 数	発病 率 (%)				
桑名	7/6	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	7/1.2	5	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
津	6/30	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
松阪	7/7	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
伊勢志摩	7/1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
県全体		18	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0

水稲害虫発生状況(2021年7月)普通期栽培

地区	調査 月日	調査 圃場 数	ほらい落とし調査(10株当たり)												見取り調査					
			セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメビウンカ		ツマグロヨコバイ			イネミズノウムシ		フタオビコヤガ		イネクロカメムシ		ニカ メイガ	イネ ヨトウ	コブノメ イガ
			発生圃 場数	成虫数	発生圃 場数	成虫数	発生圃 場数	成虫数	発生圃 場数	成虫数	幼虫数	発生圃 場数	成虫数	発生圃 場数	成虫数	被害発生 圃場数	被害 株率(%)	被害発生 圃場数	被害発生 圃場数	被害発生 圃場数
桑名	7/6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8.0	0	0	0
四日市鈴鹿	7/1.2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	6/30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	7/7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	7/1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体		18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.8	0	0	0

斑点米カメムシ類の発生状況(20回振りすくい取り)(2021年7月)普通期栽培

地区	調査 月日	調査 地点数	ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		アカヒゲホソドリカ スミカメ成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米 カメムシ類
			発生 地点数	虫数	発生 地点数	虫数	発生 地点数	虫数	発生 地点数	虫数	発生 地点数	虫数	発生 地点数	虫数	
			桑名	7/6	2	0	0	0	0	1	0.5	0	0	0	
四日市鈴鹿	7/1.2	1	0	0	0	0	0	0	1	35	0	0	0	0	
津	6/30	2	0	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0	0	0	
松阪	7/7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伊勢志摩	7/1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5	
県全体		9	0	0	0	0	1	0.11	2	4	0	0	1	0.11	-

e 8月データ

水稻病害発生状況(2021年8月)早期栽培

地区	調査 月日	調査 圃場 数	葉いもち			穂いもち			紋枯病					発病 度	発病 株率 (%)	白葉枯 病 発生圃 場率(%)	ごま葉 枯病 発生圃 場率(%)
			発生 圃場 率 (%)	発病 株率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	発生 圃場率 (%)	発病 株率 (%)	発病 穂率 (%)	程度別発生圃場率(%)								
									計	甚	多	中	少				
桑名	8/3	28	7.1	0.3	0	0	0	-	7.1	0	0	0	7.1	0.1	0.6	0	0
四日市鈴鹿	8/2.3	40	12.5	0.9	0	10.0	3.6	0.35	12.5	0	0	0	12.5	0.8	3.0	0	2.5
津	8/5.11	32	21.9	5.1	2.6	3.1	0.3	0.01	9.4	0	0	0	9.4	0.1	0.4	0	0
松阪	8/5.6.11	32	62.5	10.7	0.6	31.3	10.9	0.32	37.5	0	0	3.1	34.4	1.9	6.0	0	0
伊勢志摩	8/10.11	35	25.7	7.5	24.2	11.4	5.0	0.36	8.6	0	0	0	8.6	0.6	1.7	0	0
伊賀	8/6	28	28.6	4.6	0.7	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
紀州	8/2.11	16	37.5	14.8	3.4	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県全体		211	28.0	5.5	16.7	9.0	3.2	0.16	11.8	0	0	0.5	11.4	0.5	1.9	0	0.5
前年		236	11.0	2.6	4.0	1.3	0.1	0.003	35.2	0	0	0.4	34.7	1.3	4.9	0	0
平年値(10年平均)			12.0	2.4	24.1	7.0	1.2	0.07	8.0	0.0	0.03	0.9	7.1	1.4	3.9	0.2	2.4

穂いもち発生状況・広域病虫害防除員による調査(2021年8月)

地区	調査 月日	調査場所	発病 株率(%)	発病穂率(%)			備考
				計	穂首	枝梗	
桑員	8/10	桑名市多度町香取	0	0	0	0	
	8/6	東員町山田	0	0	0	0	いもちの発生は確認されず。カメムシは昨年並み。
四日市	8/6	いなべ市北勢町治田外面	0	0	0	0	いもちの発生は確認されず。カメムシは昨年並み。
	8/13	四日市市楠町	0	0	0	0	イナゴの発生多い。ラジハリ実施圃場では虫も少ない。内稈褐変はあるがいもち病は無し。
	8/13	菰野町宿野	0	0	0	0	出穂が始まって2~3日後に調査。
鈴鹿	8/8	鈴鹿市須賀町	0	0	0	0	圃場4で枯穂散見(コブノメイガ?)。
	8/8	鈴鹿市算所	0	0	0	0	圃場1スクミリンゴガイ多、被害なし。
	8/8	鈴鹿市中富田町	0	0	0	0	圃場5紋枯多、枯死粒(鳥?)チラホラ。
津市	8/5	津市森町	2.40	0.13	0.04	0.08	傾穂期~乳熟期、イナゴ一部発生、圃場4は葉いもちの病斑が見られる。
	8/5	津市一志町井生	1.60	0.15	0.10	0.05	乳熟期、一部圃場でイナゴ多い。雀の食害有。圃場3は一部倒伏
	8/5	津市白山町川口	0.80	0.03	0	0.03	傾穂期~乳熟期、イナゴ多い。
松阪飯多	8/5	松阪市美濃田町北蔵	0	0	0	0	
	8/5	松阪市岩内町東出	0	0	0	0	
	8/5	松阪市小野町字車	0	0	0	0	
伊勢	8/3	伊勢市上地町	11.20	1.02	0.64	0.38	
	8/3	玉城町上田辺	19.20	1.62	0.77	0.85	
	8/3	度会町大野木	3.20	0.16	0.16	0	
伊賀	8/6	伊賀市猪田	0	0	0	0	
	8/6	伊賀市森寺	1.60	0.07	0	0.07	生育早い。
	8/6	伊賀市下郡	1.60	0.07	0.04	0.04	イナゴ多数。
東紀州	8/6	熊野市金山	1.60	0.16	0.04	0.12	イナゴ多数。
	8/6	御浜町阿田和	3.20	0.16	0.11	0.05	
	8/6	紀宝町井田	0	0	0	0	
		平均	2.02	0.16	0.08	0.07	
		前年	2.63	0.12	0.07	0.05	
		平年(10年平均)	3.54	0.33	0.15	0.19	

水稻害虫発生状況(2021年8月)早期栽培

地区	10株払い落とし調査										見取り調査による被害発生圃場率(%)												
	セジロウシカ		トビイロウシカ		ヒメビウシカ		ウシカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		イネミズノウムシ		フタオビコヤガ		イネ ヨトウ	ニカ メイガ	イチ モンジ セセリ	アワ ヨトウ	コブノ メイガ	イネクロ カメムシ	ササ キリ 類	イナゴ 類	
	発生 圃場 数	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数	発生圃 場率(%)	成虫数									発生圃 場率(%)
桑名	3.6	0.14	0	0	28.6	0.50	21.4	0.32	32.1	2.89	0.68	0	0	0	0	0	0	0	0	10.7	7.1	39.3	
四日市鈴鹿	0	0	0	0	55.0	1.18	42.5	3.08	45.0	1.75	1.73	0	0	0	0	5	0	2.5	0	0	2.5	12.5	
津	0	0	0	0	65.6	2.09	50.0	1.28	68.8	1.75	4.94	0	0	0	0	53.1	3.1	0	0	3.1	6.3	78.1	
松阪	3.1	0.03	0	0	43.8	1.91	43.8	1.88	25.0	0.25	0.50	3.1	0.06	6.3	0.13	3.1	12.5	0	0	12.5	0	40.6	
伊勢志摩	2.9	0.03	0	0	48.6	1.97	28.6	0.69	54.3	1.43	4.83	2.9	0.03	0	0	25.7	0	0	0	0	5.7	17.1	
伊賀	0	0	0	0	7.1	0.07	14.3	0.25	25.0	0.57	0.32	0	0	0	0	3.6	3.6	0	0	3.6	10.7	100	
紀州	6.3	0.06	0	0	43.8	0.50	6.3	0.06	12.5	0	0.25	0	0	0	0	0	0	0	0	12.5	12.5	25.0	
平均	1.9	0.03	0	0	45.0	1.52	34.1	1.36	40.3	1.33	2.10	0.9	0.01	0.9	0.02	0.5	15.6	0.9	0.5	0	5.2	5.7	43.6
前年	0	0	0	0	33.5	0.70	17.8	0.55	21.2	0.63	0.29	5.5	0.11	7.6	0.09	0	6.8	1.3	0.4	11.9	0.8	28.4	
平年値(10年平均)	4.8	0.08	0	0	24.0	0.44	45.5	2.44	35.6	1.05	2.44	8.6	0.15	14.6	0.30	1.0	12.8	0.4	4.0	4.4	1.8	8.0	15.7

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2021年8月、20回振りすくい取り調査、圃場内)早期栽培

地区	調査 月日	調査 圃場 数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場率(%)					ホソハリ カメムシ 成幼虫		クモヘリ カメムシ 成幼虫		シラホシ カメムシ類 成幼虫		アカスジ カスミカメ 成虫		ミナミアオ カメムシ 成幼虫		イネ カメムシ 成幼虫		その他 カメムシ類
			計	甚	多	中	少	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	
			計	甚	多	中	少	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	発生 圃場率 (%)	虫数	
桑名	8/3	28	32.1	0	0	3.6	28.6	7.1	0.07	3.6	0.04	0	0	7.1	0.11	3.6	0.07	14.3	0.46	イネカメムシ、アカヒゲホソハリカスミカメ
四日市鈴鹿	8/2.3	40	27.5	0	0	2.5	25.0	5.0	0.05	5.0	0.05	0	0	17.5	0.35	2.5	0.03	2.5	0.03	アカヒゲホソハリカスミカメ
津	8/5.11	32	59.4	0	0	9.4	50.0	25.0	0.41	15.6	0.16	6.3	0.06	18.8	0.19	6.3	0.09	12.5	0.19	イネカメムシ、アカヒゲホソハリカスミカメ
松阪	8/5.6.11	32	56.3	12.5	3.1	15.6	25.0	9.4	0.09	31.3	13.13	18.8	0.19	15.6	0.53	12.5	0.22	18.8	0.38	
伊勢志摩	8/10.11	35	68.6	0	11.4	8.6	48.6	17.1	0.20	34.3	2.06	2.9	0.03	37.1	1.26	0	0	11.4	0.14	
伊賀	8/6	28	46.4	0	0	7.1	39.3	7.1	0.11	7.1	0.11	10.7	0.14	10.7	0.11	0	0	25.0	0.54	
紀州	8/2.11	16	43.8	0	6.3	12.5	25.0	18.8	1.25	12.5	0.38	0	0	25.0	0.31	0	0	12.5	0.44	
平均		211	47.9	1.9	2.8	8.1	35.1	12.3	0.24	16.1	2.41	5.7	0.06	19.0	0.44	3.8	0.06	13.3	0.28	
前年			53.4	0.4	3.8	12.3	36.9	13.6	0.19	21.6	1.01	9.3	0.12	19.1	0.43	3.0	0.07	8.9	0.14	
平年値(10年平均)			42.5	0.5	1.8	8.1	32.1	16.0	0.26	12.5	1.00	6.1	0.08	19.2	0.46	1.9	0.04	3.8	0.04	

発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振): (甚)31以上、(多)11~30、(中)4~10、(少)1~3、(虫数・頭/圃場)

定点圃場における水稻病害発生状況(2021年8月)

地区	調査場所	穂いもち				紋枯病				すくい取り虫数20回				斑点米カメムシ類ほか	その他病害虫 (拡散し、見取り)								
		発病 穂率(%)	発病 程度	発病 程度	発病 程度	セジロトビイロ ウンカ	トビイロ ウンカ	ヒメトビ ウンカ	ウンカ 類幼虫	ツマグロコバエ 成虫	幼虫	ツマグロコバエ											
		発病 穂率(%)	発病 程度	発病 程度	発病 程度	発病 穂率(%)	発病 穂率(%)	発病 穂率(%)	発病 穂率(%)	発病 穂率(%)	発病 穂率(%)	発病 穂率(%)	発病 穂率(%)			発病 穂率(%)							
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ウンカ類幼虫			
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	0	無	0	無	0	0	0	0	1	1												
	菟野町千種	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0										アカスジカスミカメ	ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫	
	鈴鹿市矢橋町	0	無	0	無	0	0	0	2	6	6										ヒメトビウンカ、アカヒゲホソハリカスミカメ		
	鈴鹿市御園町	0	無	0	無	0	0	0	1	0	0										ササキ類	ウンカ類幼虫	
津	亀山市山下町	0	無	0	無	0	0	1	0	6	0										アカスジカスミカメ、ササキ類	ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫、イナゴ類、ササキ類	
	津市安東町	0	無	0	無	0	0	2	0	26	22										ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、ササキ類ツマグロコバエ、ニカメイガ		
	津市安濃町草生	0	無	0	無	0	0	16	5	0	4										ホソハリカメムシ、イネカメムシ、アカヒゲホソハリカメムシ、ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫、イネカメムシ幼虫、ニカメイガ、ソトハリカスミカメ、ササキ類	ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫、イネカメムシ幼虫、ニカメイガ、イナゴ類	
松阪	津市一志町井生	0	無	0	無	0	0	0	0	22	0										イネカメムシ、イナゴ類	ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫、ツマグロコバエ成幼虫	
	松阪市美濃田町	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0										イネカメムシ、アカスジカメムシ、イナゴ類、ササキ類		
	多気町兄国	0	無	0	無	0	0	2	38	0	0										ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫、ニカメイガ、イナゴ類		
伊勢 志摩	明和町坂本	4.2	少	0	無	0	0	5	2	0	0												
	伊勢市田原町	0	無	0	無	0	0	1	0	2	0											アカスジカスミカメ	イネミスジウメシ、ホソハリカメムシ幼虫、クモヘリカメムシ
	玉城町蚊野	7.0	少	0	無	0	0	0	0	0	2											アカスジカスミカメ	ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫、ツマグロコバエ成幼虫、ホソハリカメムシ幼虫、クモヘリカメムシ、シラホシカメムシ、ニカメイガ、イナゴ類
伊賀	志摩市磯部町下之郷	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0											ヒメトビウンカ、イナゴ類	
	伊賀市大野木	0	無	0	無	0	0	5	3	0	0											イナゴ類	
	伊賀市甲野	0	無	0	無	0	0	0	0	0	0											ウンカ類幼虫、ツマグロコバエ、イネカメムシ、イナゴ類	
紀州	紀北町島原	0	無	0	無	1	0	10	0	0	0											クモヘリカメムシ、イナゴ類	セジロウンカ、ヒメトビウンカ、ウンカ類幼虫、クモヘリカメムシ
	熊野市飛鳥町	0	無	0	無	1	0	1	0	2	0											イナゴ類	
	平均	0.59		0.00		0.1	0	2.3	2.7	3.5	1.9												
前年	0.01		0.84		0	0	1.2	9.6	0.3	0													
平年値(10年平均)	0.06		1.35		0.6	0	2.5	9.4	7.3	4.2													
県予察圃 農業研究所(無防除)	0		0		0	0	1	0	0	0												クモヘリカメムシ、アカスジカスミカメ	

穂いもち発病穂率(発病程度): 0(無)、1~10(少)、11~30(中)、31~60(多)、61以上(甚) 紋枯病発病度(発病程度): 0(無)、1~20(少)、21~40(中)、41~70(多)、71以上(甚)

水稻病害発生状況(2021年8月)普通期栽培

地区	調査 月日	調査 圃場 数	穂いもち					葉いもち					紋枯病					白葉枯 病	ごま葉 枯病							
			発生 圃場 数	発病 率 (%)	発病 率 (%)	発生 圃場 数	発病 率 (%)	発生 圃場 数	発病 率 (%)	上位葉 進展率 (発病株 に対する 割合%)	程度別発生圃場数					発病 度	発病 率 (%)									
			計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少			計	甚	多	中	少		
桑名	8/3	4	0	0	0	1	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
四日市鈴鹿	8/2.3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	8/5	4	0	0	0	4	74.0	9.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	8/5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	8/10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		22	0	0	0	5	13.6	9.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水稲害虫発生状況(2021年8月)普通期栽培

地区	10株払い落とし調査												見取り調査による被害発生圃場数											
	セジロウンカ		トビイロウンカ		ヒメビウンカ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		イネミズゾウムシ		フタオビコヤガ		イネ	ニカ	イチ	アワ	コブノ	イネク	ササ	イナ		
	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	幼虫数	発生圃場数	成虫数	幼虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	ヨトウ	メイガ	モンシ	ヨトウ	メイガ	ロカメ	ムシ	キリ	類
桑名	1	0.25	0	0	2	0.50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
四日市鈴鹿	0	0	0	0	3	0.63	0	0	1	0.13	0	1	0.13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津	0	0	0	0	1	0.50	0	0	4	0.50	1.00	1	0.75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
松阪	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	0	0	0	0	1	1.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	0.05	0	0	7	1.05	0	0	6	0.45	0.32	2	0.18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5

虫数・頭/調査圃場

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2021年8月、20回振りすくい取り調査、出穂前のため畦畔で実施)普通期栽培

地区	調査月日	調査圃場数	斑点米カメムシ類 発生程度別発生圃場数					ホソハリカメムシ 成幼虫		クモヘリカメムシ 成幼虫		シラホシカメムシ類 成幼虫		アカスジカスミカメ 成虫		ミナミアオカメムシ 成幼虫		その他 斑点米カメムシ類
			計	甚	多	中	少	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	
			桑名	8/3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
四日市鈴鹿	8/2.3	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.60	0	0		
津	8/5	2	1	0	1	0	0	1	2.00	0	0	1	2.50	1	7.00	0	0	アカヒゲ'ホ'ドリカスミカメ
松阪	8/5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
伊勢志摩	8/10	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0.50	1	0.50	0	0	
合計		12	4	0	1	0	3	1	0.31	0	0	2	0.46	3	1.38	0	0	

発生程度別基準・すくい取り虫数(20回振): (甚)31以上、(多)11~30、(中)4~10、(少)1~3、(無)虫数・頭/調査箇所

f 9月データ

水稲(普通期)病害発生状況(2021年9月)

地区	調査日	調査圃場数	葉いもち			穂いもち			紋枯病					ごま葉枯病			白葉枯病		稲こうじ病			
			発生圃場数	発生株率(%)	発病圃場数	発病株率(%)	発生圃場数	発生株率(%)	発病圃場数	発病株率(%)	程度別発生圃場数					発生圃場数	発病度	発生圃場数	発病度	発生圃場数	発病度	
			計	甚	多	中	少	発病度	発生圃場数	発病度	発生圃場数	発病度	発生圃場数	発病度	発生圃場数	発病度						
桑名	9/8	4	1	1	0	0	-	3	0	0	1	2	10.3	31	0	0	0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	9/10,9/13	6	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0.0	0	3	8.5	34	0	0	0	0	
津	9/10	4	2	2	0	0	-	1	0	0	0	1	0.8	3	0	0	0	0	0	0	0	
松阪	9/9	4	2	47	0	0	-	1	0	0	0	1	1.3	4	0	0	0	0	0	0	0	
伊勢志摩	9/14	2	2	34	2	34	2.0	0	0	0	0	0	0.0	0	1	9.0	36	0	0	0	0	
合計・平均		20	7	13	2	3.4	2.0	5	0	0	1	4	2.5	7.6	4	3.5	13.8	0	0	0	0	

合計・平均欄の発生圃場数は合計、発病株率、発病度率は平均

水稲(普通期)害虫発生状況(2021年9月)

地区	調査月日	調査圃場数	10株払い落とし調査										見取り調査による被害発生圃場数										
			セジロウシ		トビイロウシ		ヒメトビウシ		ウンカ類幼虫		ツマグロヨコバイ		フタオビコヤガ		イネヨトウ	ニカメイガ	ササキリ類	イナゴ	アワヨトウ	イチモンジセセリ	コブノメ		
			発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	幼虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	幼虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	発生圃場数	成虫数	
桑名	9/8	4	1	0.50	0	0	3	1.50	2	0.50	2	0.50	0.50	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
四日市鈴鹿	9/10,9/13	6	2	0.33	0	0	2	0.33	3	1.17	2	1.17	0.33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
津	9/10	4	0	0	0	0	2	2.00	0	0	3	3.25	0	0	0	2	0	2	0	0	1	1	
松阪	9/9	4	0	0	0	0	2	2.25	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	4	
伊勢志摩	9/14	2	0	0	0	0	2	12.50	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	
合計・平均		20	3	0.20	0	0	11	2.50	5	0.45	7	1.10	0.20	0	0	0	2	1	7	0	2	7	

合計・平均欄の発生圃場数は合計、成虫数、幼虫数は平均

圃場内の斑点米カメムシ類の発生状況(2021年9月、20回振りすくい取り調査)普通期栽培

地区	調査圃場数	ホソハリカメムシ		クモヘリカメムシ		シラホシカメムシ類		アカスジカスミカメ		ミナミアオカメムシ		イネカメムシ	
		発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数	発生圃場数	虫数
		桑名	4	0	0	1	0.25	0	0	0	0	0	0
四日市鈴鹿	6	2	0.33	0	0	0	0	0	0	1	2.00	2	0.67
津	4	2	2.50	4	24.75	2	0.75	2	1.50	4	7.75	4	2.00
松阪	4	3	2.00	3	10.50	0	0	3	2.75	1	0.25	2	1.50
伊勢志摩	2	1	2.50	2	11.50	1	1.50	1	6.50	2	3.00	1	1.50
合計・平均	20	8	1.25	10	8.25	3	0.30	6	1.50	8	2.50	13	2.20

合計・平均欄の発生圃場数は合計、虫数は平均

定点圃場における斑点米および斑点米カメムシ類発生状況(2021年)

地区	調査場所	品種	移植日	採取日	斑点米発生率(%)						斑点米カメムシ類(8月)20回振りすくいとり虫数
					精玄米調査(1.85mm)						
					カメムシ被害粒発生率	斑紋型変色	くさび型加害	頂部の黒変	基部の黒変	側部加害・銜合部の黒点	
桑名	いなべ市北勢町阿下喜	コシヒカリ	5/1	8/26	0.11	0.05	0.05	0	0	0	
四日市鈴鹿	四日市市下海老町	ミキマイン	5/4	8/19	0.27	0.05	0.22	0	0	0	
	菟野町千草	コシヒカリ	4/18	8/19	0.42	0.32	0.11	0	0	0	アカスジカスミカメ成虫1
	鈴鹿市矢橋町	コシヒカリ	5/10	9/13	1.83	0.41	1.00	0.18	0	0.24	
	鈴鹿市御園町	コシヒカリ	4/18	8/16	0.50	0.17	0.06	0.22	0.06	0	
津	亀山市山下町	コシヒカリ	4/19	8/16	0.16	0.10	0	0	0	0.05	アカスジカスミカメ成虫1
	津市安東町	コシヒカリ	4/25	8/11	0.11	0.05	0	0	0	0.05	ホソハリカメムシ成虫1・幼虫2、アカスジカスミカメ成虫1
	津市安濃町草生	コシヒカリ	4/27	8/16	0.32	0	0.11	0.11	0.05	0.05	ホソハリカメムシ幼虫1、イネカメムシ幼虫1、カスミカメ幼虫1
松阪	津市一志町井生	コシヒカリ	4/25	8/16	0.99	0.17	0.17	0	0.39	0.28	イネカメムシ幼虫1
	松阪市美濃田町	コシヒカリ	4/27	8/16	9.38	2.52	1.02	2.84	0.38	2.63	イネカメムシ幼虫1、アカスジカスミカメ成虫8
	多気町兄国	コシヒカリ	4/20	8/11	1.20	0.27	0.16	0.27	0.16	0.33	
伊勢志摩	明和町坂本	コシヒカリ	4/25	8/16	0.21	0.11	0.05	0.05	0	0	
	伊勢市田原町	コシヒカリ	4/18	8/16	0.27	0.16	0	0	0	0.11	アカスジカスミカメ成虫1
	玉城町蚊野	みえのえみ	5/22	8/31	1.17	0.32	0.05	0.32	0.21	0.27	アカスジカスミカメ成虫2
伊賀	志摩市磯部町下之郷	コシヒカリ	4/19	8/10	0.16	0	0.05	0.05	0.05	0	
	伊賀市大野木	コシヒカリ	5/2	8/26	0.11	0	0	0.05	0.05	0	
紀州	伊賀市甲野	コシヒカリ	5/6	8/26	3.42	0.60	0.11	0	2.66	0.05	
	紀北町赤羽	コシヒカリ	4/24	8/11	0.72	0.39	0.06	0.06	0.17	0.06	クモヘリカメムシ幼虫5
果予寮園	熊野市飛鳥町	コシヒカリ	4/30	8/13	0	0	0	0	0	0	
	松阪市越野川北町・無防除	コシヒカリ	4/24	8/11	0.57	0	0.06	0.11	0.17	0.23	クモヘリカメムシ成虫1、アカスジカスミカメ成虫2
	定点平均	-	-	-	1.12	0.30	0.17	0.22	0.22	0.22	斑点米カメムシ類成虫数・定点平均1.4頭
前年	-	-	-	1.08	0.72	0.07	0.19	0.09	0.09	同前年1.3頭	
平年値(10年平均)	-	-	-	0.56	0.30	0.08	0.13	0.06	0.06	同平年1.5頭	

頂部の黒変、基部の黒変は本年より分けて調査。前年まではまとめて調査していたので、平年値は頂部、基部の合計。

(2) 麦類

コムギ病害虫の発生状況(2021年4月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病率(%)	縮萎縮病 発病率(%)	アブラムシ類 寄生程度	ハモグリ バエ類 寄生率(%)	品種	生育状況
桑名	いなべ市大安町片種	4/5	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈82.5cm(昨年83cm)、穂揃期
四日市	菰野町竹成	4/9	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈80cm(昨年75cm)、開花始め
鈴鹿	鈴鹿市下大久保		0	25.0	0	0	0	0	あやひかり	草丈95cm(昨年62cm)、穂揃い期
津	津市殿村	4/8	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈70cm(昨年78cm)、出穂期、湿害あり
松阪	松阪市藤之木	4/7	0	0	0	0	0	0	あやひかり	草丈85cm(昨年79cm)、穂揃い期(開花期)
	多気町見国		0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	草丈85cm(昨年75cm)、穂揃い期(開花前)
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	4/6	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	草丈90cm(昨年80cm)、出穂始め
伊賀	伊賀市西之澤	4/7	0	0	0	0	0	0	タマイズミR	草丈50cm(昨年61cm)、止葉抽出期、湿害あり
	伊賀市畑村		0	0	0	0	0	0	タマイズミR	草丈55cm(昨年68cm)、穂はらみ期
県全体			0	2.8	0	0(伊賀タマイズミR)	0	0		—
県全体前年			0	0	0	0(伊賀タマイズミR)	0	0		—
平年(10年平均)			0.2	0	0.3	※0.9 0(伊賀タマイズミR)	0.1	0.3		—

各地点4圃場において、1圃場あたり25茎を調査。 ※令和2年産はタマイズミR

コムギ病害虫の発生状況(2021年5月)

地区	調査地点	調査日	さび病類 発病程度	うどんこ病 発病程度	黒穂病 発病率 (%)	アブラムシ 類 寄生程度	ムギアカタマバエ		赤かび病		品種	備考
							発生圃場率(%)	発生率(%)	発生圃場率(%)	発生率(%)		
桑名	いなべ市大安町片種	5/11	0	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	微発生:赤かび病
四日市	菰野町竹成	4/30	0	0	0	0	0	0	0	0	あやひかり	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	5/7	0	25	0	0	0	0	0	0	あやひかり	黄斑病
津	津市殿村	5/11	0	0	0	0	0	50	0.09	0	あやひかり	
松阪	松阪市藤之木	5/6	0	0	0	0	0	50	0.01	0	あやひかり	
	多気町見国	5/6	0	0	0	0	0	0	0	0	ニシノカオリ	微発生:赤かび病
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	5/10	0	0	0	0	0	100	0.07	0	ニシノカオリ	
伊賀	伊賀市西之澤	5/10	0	0	0	0	0	0	0	0	タマイズミR	ホソハリカメムシ確認
	伊賀市畑村		0	0	0	0	0	0	0	0	タマイズミR	クサギカメムシ、コガネムシ類確認
平均			0	2.8	0	0	0	22.2	0.02	0	—	—
前年			0	0	0	0.3	0	0	0	0	—	—
平年(10年平均)			0.1	0.2	0	0.7	0	29.4	0.04	0	—	—

各地点4圃場を調査。赤かび病:50m見取り調査。平年値は追加調査時の最終結果を示す。1圃場あたり25茎調査。

コムギ巡回調査圃場における赤かび病の発生状況(2021年)

地区	調査地点	品種	5月第2週		5月第4週		備考
			発生圃場率(%)	発生率(%)	発生圃場率(%)	発生率(%)	
桑名	いなべ市大安町片種	あやひかり	0	0	50	0.009	
四日市	菰野町竹成	あやひかり	0	0	0	0	
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	あやひかり	0	0	100	0.193	
津	津市殿村	あやひかり	50	0.093	50	0.054	
松阪	松阪市藤之木	あやひかり	50	0.012	100	0.085	
	多気町見国	ニシノカオリ	0	0	100	0.065	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	ニシノカオリ	100	0.068	100	0.249	
伊賀	伊賀市西之澤	タマイズミR	0	0	100	0.558	
	伊賀市畑村	タマイズミR	0	0	100	0.087	
平均	—	—	22.2	0.017	77.8	0.139	
前年	—	—	0	0	5.6	0.002	
平年(10年平均)	—	—	13.8	0.052	29.4	0.043	

各地点4圃場において50m見取り調査。(サーモンピンクの胞子が確認された穂のみカウント)

コムギを指標作物とした、斑点カメムシ類の発生状況(1圃場あたりのすくい取り成虫数)(2021年5月)

地区	調査地点	発生状況(1圃場あたりのすくい取り成虫数)					備考
		ミナミアオカメムシ	アオクサカメムシ	ホソハリカメムシ	シラホシカメムシ類	アカスジカメムシ	
桑名	いなべ市大安町片種	0	0	0	0	0	
四日市	菰野町竹成	0	0	0	0	2.50	0
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	0.25	0	0	0	0.50	0
津	津市殿村	0	0	0	0	0.25	0
松阪	松阪市藤之木	0.25	0	0	0	0	0
	多気町見国	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	0	0	0	0	0.25	0
伊賀	伊賀市西之澤	0	0	0.25	0	0	0
	伊賀市畑村	0	0	0	0	0	0
平均	発生圃場率(%)	5.56	0	2.78	0	19.44	0
	すくい取り成虫数	0.06	0	0.03	0	0.39	0
前年	発生圃場率(%)	0	0	2.78	0	33.33	0
	すくい取り成虫数	0	0	0.03	0	6.64	0
平年(8年)	発生圃場率(%)	4.38	0	9.43	0.83	42.63	0.69
	すくい取り成虫数	0.07	0	0.16	0.01	2.43	0.01

すくい取り成虫数(個/20回振・圃場)、各地点4圃場において調査。

コムギ縮萎縮病の発生状況(2022年3月)

地区	調査地点	調査日	被害率(%)	品種	草丈(cm)	備考
桑名	いなべ市大安町片種	3/8	0	あやひかり	23 (42cm)	
四日市	菰野町竹成・音羽	3/3	0	あやひかり	21 (39cm)	
	鈴鹿市下大久保		0	あやひかり	14 (37cm)	
津	津市殿村	3/7	0	あやひかり	28 (25cm)	
松阪	松阪市藤之木	3/4	0	あやひかり	20 (41cm)	
	多気町見国		0	ニシノカオリ	33 (41cm)	
伊勢志摩	伊勢市西豊浜	3/9	0	ニシノカオリ	33 (31cm)	
伊賀	伊賀市西之澤	3/8	0	タマイズミR	13 (18cm)	
	伊賀市畑村		0	タマイズミR	20 (21cm)	
平均			0			
前年			0			
平年(10年平均)			0.6			

各地点4圃場にて、1圃場当たり25茎を調査。

(3) 大豆

ダイズ虫害発生状況(2021年8月)

地区	調査地点	調査 月日	アブラムシ類		ハスモンヨトウ・ シロイチモジヨトウ		コガネムシ類		カメムシ類		草丈および備考
			寄生株率(%)	葉食害度	白変か所数(a)	葉食害度	寄生株率(%)	寄生虫数(25株)			
桑名	いなべ市大安町片種	8/3	0	1.5	0	0	0	0	0	草丈：20cm	
四日市 鈴鹿	四日市市江村町	8/3	-	-	-	-	-	0	0	降雨による欠測	
	鈴鹿市下大久保	8/2	-	-	-	-	-	0	0	未定植	
津	津市白山町川口	8/10	0	3.0	2.9	0.3	0	0	0	草丈：25cm	
松阪	松阪市藤之木町	8/6	0	0.3	0.4	0	0	0	0		
	松阪市六根町	8/6	0	2	0	0	0	0	0	草丈：10～20cm	
伊賀	伊賀市木興	8/6	0	0	0	0	0	0	0	草丈：12.5cm	
	伊賀市千戸	8/6	0	0	0	0	0	0	0	草丈：25cm	
	平均	—	0	1.1	0.5	0.0	0	0	0		
	前年		0	0	0	0	0	0	0		
	平年(10年平均)	—	0	0.2	0.4	0.7	0.004	0	0		

ダイズ病害虫発生状況(2021年9月)

地区	調査地点	調査 月日	ダイズ アブラムシ 発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		コガネムシ類		吸水性カメムシ類		その他 病害虫
				白変か所数 (a当たり)	葉 食害度	葉食害度	寄生株率 (%)	寄生虫数 (頭/25株)	種類	
桑名	いなべ市大安町片種	9/8	0	0	0	0	0	0	0	開花～若莢期 ホソハリカメムシ、ベト病、マメドクガ確認
四日市 鈴鹿	菟野町田光	9/10	0	1.4	0	0	0	0	0	開花～若莢期 シヤクガ幼虫、ベト病確認
	鈴鹿市下大久保	9/13	0	4.4	2.8	0	0	0	0	開花前 コガネ、ベト病確認
津	津市白山町川口	9/10	0	0.7	0.3	0	1.0	0.8	イチモンジカメムシ	開花～若莢期 ベト病、ヨモギエダシヤク確認
松阪	松阪市藤之木町	9/9	0	3.2	0.8	0	1.0	0.3	ミナミアオカメムシ	開花～若莢期 ベト病確認
	松阪市六根町	9/9	0	7.7	7.0	0	0	0	0	開花～若莢期 ベト病、ミナミアオ、その他ヨトウ確認
伊賀	伊賀市木興	9/14	0	0.8	1.5	0	0	0	0	開花～若莢期 シヤクガ幼虫、ベト病、イナゴ食害確認
	伊賀市千戸	9/14	0	1.3	2.5	0	0	0	0	開花～若莢期 イナゴ食害、ベト病確認
	平均		0	2.4	1.8	0	0.3	0.1	—	—
	前年		0	2.1	1.5	0.2	0.5	0.1	—	—
	平年(10年平均)		0.2	0.5	1.5	0.2	2.6	1.6	—	—

ハスモンヨトウ発生状況・広域病害虫防除員による調査(2021年9月)

地区	調査 月日	調査場所	白変か所数 (葉当たり)	備考	
桑名	9/10	桑名市多度町下野代	0.2	わずかな食害を受けた株は多くあったが白変に至った株は少なかった。	
	9/7	員弁郡東員町山田	0.6	ケイトウの食害はひどかったが、大豆の食害はほとんど無し。	
		いなべ市員弁町西方	0.6	思いのほか、見受けられなかった。	
四日市	9/21	四日市市北小松町	3.6	雑草(ホウソキ)の発生多い。発生少ないところは、大豆の発芽不良・生育不良が問題。発生が多いところは大豆の生育も良好。防除を2回実施する予定。	
鈴鹿	9/20	鈴鹿市須賀町	2.0	ごく小さな被害葉。除草はしっかりされていたが、タデ類が散見。	
	9/20	鈴鹿市算所町 鈴鹿市西富田町	8.4 5.0	ごく小さな被害痕。除草良好、黄化やや目立つ。 畦畔雑草多。各圃場中ほどに被害ヶ所多。	
津市	9/8	津市南河路	0.4	開花期。畦畔に散布した除草剤の薬害が目立つ。一部に湿害が見られる。	
	9/8	津市一志町其村 津市安濃町荒木	1.0 0.2	着莢初期。一部縮葉が見られる。 開花期。雑草(アサガオ類)が一部が目立つ。	
松阪 飯多	9/7	松阪市小阿坂町 松阪市美濃田町 松阪市深長町	5.8 9.4 5.6	圃場No2雑草が多く大豆がそろっていない。 圃場No3カナブン多少確認。 草刈りが行われていない。畦畔イナゴ多い。	
	伊勢	9/13	伊勢市西豊浜 伊勢市小俣町	0 0	草高50～70cmで生育は良好である。ハスモンヨトウによる食害痕は多い。 草高40～50cmで生育は良く揃っている。開花期、ハスモンヨトウの食害痕が散見される。
		9/13	玉城町原	0	草高30～50cm、開花期、ハスモンヨトウの食害痕が散見される・圃場1は湿害で苗立ち50%程度。圃場5は草高20～40cmで全体に生育不良・
伊賀	9/3	伊賀市猪田 伊賀市依那具 伊賀市摺見	0 0 0.2	生育は良好。イナゴ。 生育良好。 生育やや遅い。開花期。	
		平均	2.3		
		前年	2.0		
		平年(10年平均)	2.1		

ダイズ病害虫発生状況(2021年10月)

地区	調査地点	調査月日	ダイズアブラムシ発生程度	ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ		吸実性カメムシ類			その他
				白変か所数(a当たり)	葉食害度※	寄生株率(%)	寄生虫数(/25株)	種類	
桑名	いなべ市大安町片種	10/1	0	1.8	0	0	0		ミナミアオ成幼虫微発生、べと病確認
四日市	菰野町田光	10/5	0	0	0	2.0	0.5	ミナミアオカメムシ成幼虫	べと病確認
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	10/5	0	0	0	4.0	1.3	ミナミアオカメムシ幼虫	シャクガ幼虫確認
津	津市白山町川口	10/7	0	1.3	0	10.0	13.0	ミナミアオカメムシ成幼虫	シロイチモジヨトウ微発生、マドクガ、べと病、ウコンノメイガ、ヨモギエダシヤク確認
松阪	松阪市藤之木町	10/6	0	0.7	0	2.0	0.5	ミナミアオカメムシ幼虫	べと病確認
	松阪市六根町		0	2.1	0	1.0	2.5	ミナミアオカメムシ成虫	
伊賀	伊賀市木興	10/1	0	1.3	0	0	0		シロイチモジヨトウ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ微発生、べと病、イナゴ確認
	伊賀市千戸		0	0.7	0.3	0	0		
	平均		0	1.0	0.03	2.4	2.2	—	
	前年		0	1.7	0.7	1.4	2.1	—	
	10年平均		1.3	0.6	0.4	12.8	9.1	—	

葉食害度※:25株中の被害度

ダイズ成熟期における莢および子実の被害発生状況(2021年12月)

地区	調査地点	採取月日	*莢調査被害率(%)		被害粒調査(著しい未熟粒を除く)											
			虫害1	虫害2	フタスジヒメハムシ				吸実性カメムシ類				9月		10月	
					紫斑粒率(%)	褐斑粒率(%)	黒斑粒率(%)	腐敗粒率(%)	合計	萎縮粒(しぼみ粒)	変形粒(へこみ粒)	変色粒(しみ粒)	寄生株率(%)	寄生虫数(/25株)	寄生株率(%)	寄生虫数(/25株)
桑名	いなべ市大安町片種	11/24	0	2.0	0	3.4	1.1	0.0	10.3	2.8	2.4	5.1	0	0	0	0
四日市	菰野町田光	11/24	0.4	5.2	0	0.9	1.1	1.1	29.1	7.2	5.7	16.2	0	0	2.0	0.5
	鈴鹿市下大久保	12/6	0	4.0	0	4	0.5	0.8	55.1	18.1	5.1	31.9	0	0	4.0	1.3
津	津市白山町川口	11/24	1	3.8	0	5	0.4	0.7	12.8	5.6	2.9	4.3	1.0	0.8	10.0	13.0
松阪	松阪市藤之木	11/24	1.2	4.4	0	9	1.2	0	28.4	8.3	4.2	15.9	1.0	0.3	2.0	0.5
	松阪市六根町	11/24	2	3.0	0	5	1.0	6.0	53.8	25.3	10.2	18.4	0	0	1.0	2.5
伊賀	伊賀市木興	11/24	0	5.0	0	3.8	1.5	1.9	8.1	3.0	0.4	4.7	0	0	0	0
	伊賀市千戸	11/24	0.4	0.0	0	2	0.6	0.4	3.9	2.1	0.4	1.3	0	0	0	0
	平均		0.6	3.5	0	4.0	0.9	1.3	23.9	8.5	3.7	11.6	0.3	0.1	2.4	2.2
	前年		0.2	0.4	0.1	0.5	1.9	0.8	13.6	1.5	1.6	10.5	0.5	0.1	1.4	2.1
	平年(10年平均)		0.6	1.3	0.3	0.2	1.9	0.5	30.7	3.1	12.0	15.6	2.6	1.6	12.8	9.1

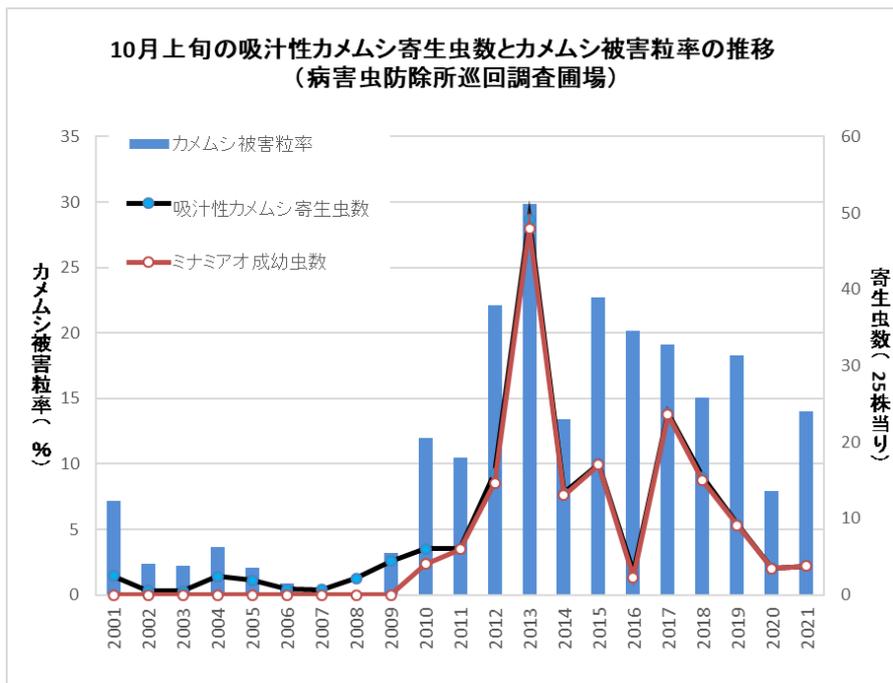
1地点あたり4圃場を調査。1圃場あたり任意の10株を選定し、それぞれ上位約5莢ずつを採取(200莢程度)。

平均は全調査個体に対する平均。

*被害率率はフタスジヒメハムシ被害莢を含まず集計

虫害1: 莢外部からの食害および被害、タバコガ類等。

虫害2: 莢内部における食害、シロイチモジマダラメイガ、ダイズサヤムシガ、マメシクイガ等。



(4) 果樹

県予察圃(カンキョウ・紀南果樹研究室)における発生消長

そうか病発病率 葉

	4月			5月			6月			7月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	1.7	21.0	55.3	69.2	76.7	79.8	82.2	83.5	84.4	85.3	85.6	86.6
2021年	4月6日	2.0	9.0	41.0	51.0	66.9	70.8	77.5	81.9	85.6	90.6	90.6

そうか病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	8.5	47.5	70.5	87.8	96.1	98.3	98.3	99.2	99.5	100.0	100.0	99.8
2021年	5月12日	12.5	69.2	92.5	98.3	94.2	100.0	100.0	99.2	100.0	100.0	100.0

黒点病発病率

	6月			7月			8月			9月			10月			
	初発	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年発病果率	24.7	53.7	87.0	98.5	99.3	99.5	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
2021年発病果率	5月23日	45.8	68.3	81.7	93.3	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
平年果実発病度	2021年	3.8	13.0	25.3	37.5	47.6	52.1	62.0	68.9	76.0	76.6	81.8	82.6	86.9	86.9	90.7
2021年果実発病度	5月23日	8.5	13.3	19.0	27.1	60.2	60.5	64.8	80.0	73.3	73.6	80.5	81.2	82.6	87.9	93.6

かいよう病発病率 葉

	5月			6月			7月			8月		
	初発	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0	0.5	1.2	1.6	1.9	2.1	2.3	2.5	2.8	2.8	3.0	3.0
2021年	5月18日	0	0.4	0.8	1.0	2.1	2.1	2.4	2.6	3.1	3.3	3.3

かいよう病発病率 果実

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	初発	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
平年	0	0.2	0.3	0.2	2.2	6.2	10.7	16.5	18.8	17.3	18.2	20.0	20.8	22.5	24.2	17.6	18.8	
2021年	6月20日	0	0	0	1.7	8.3	16.7	25.0	24.2	20.8	31.7	31.7	22.5	24.2	21.7	19.2	19.2	

果実外観調査

無防除区	そうか病		黒点病		かいよう病		そうか病		黒点病		かいよう病	
	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度
平年	94.6	63.1	100	82.6	14.2	7.0	0.7	0.1	64.3	16.0	8.5	3.1
2021年	93.1	62.8	100	92.6	14.0	5.7	0.2	0	99.5	52.2	5.9	1.4

ハダニ発生消長調査結果(無防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数) ※6月上旬調査から新葉による調査

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	29.8	32.3	50.7	19.9	29.6	27.1	74.9	71.4	53.2	12.1	3.4	2.1	5.2	4.0	13.3	19.9	20.5	20.1
2021年	5月	5.6	1.1	0	0	0	18.9	75.6	28.9	0	4.4	1.1	2.2	1.1	2.2	65.6	56.7	98.9
平年	10月	22.9	18.0	22.9	18.9	9.0	17.1	15.2	16.0	17.1	20.4	19.9	22.3	31.1	—	17.6	21.2	—
2021年	11月	16.7	13.3	0	11.1	6.7	15.6	2.2	0	21.1	8.9	3.3	2.2	8.9	—	11.1	4.4	—

ハダニ発生消長調査結果(横行防除区・雌成虫100葉当たり寄生虫数)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	3.4	0.4	0.7	1.6	1.1	3.7	21.8	15.2	6.2	7.7	7.4	3.6	16.4	22.4	16.8	141.6	54.8	65.1
2021年	10月	0	0	0	0	0	4.4	7.8	11.1	0	1.1	5.6	0	0	1.1	22.2	12.2	18.9
平年	63.1	53.1	111.3	76.7	49.0	36.3	46.4	51.9	40.1	7.0	4.9	—	3.4	1.9	—	1.1	0.2	—
2021年	6.7	1.1	0	1.1	0	1.1	0	0	1.1	0	0	—	0	0	—	0	0	—

チャパネアオカメムシ発生消長調査結果 予祭灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	4.5	12.5	98.8	299.4	4722.1	4720.1	647.3	630.0	941.7	1412.0	7206.0	2333.2	841.1	545.4	589.3	647.9	916.9	1809.7
2021年	0	2	14	11	254	9	8	8	13	39	25	95	177	271	2,674	746	879	905
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	1867.0	116.3	14.0	2.3	0.1	0.2												
2021年	1,734	133	2	0	0	0												

ソヤアオカメムシ発生消長 予祭灯誘殺数

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	29.2	81.8	469.9	1304.5	816.7	254.8	68.1	74.9	15.8	10.3	7.4	8.3	16.6	26.5	64.9	127.7	517.5	1600.3
2021年	73	72	78	297	826	31	16	5	5	5	1	16	25	40	183	625	1248	1250
	10月			11月														
	上	中	下	上	中	下												
平年	3627.0	1136.5	296.7	85.6	7.3	5.9												
2021年	3737	2230	60	12	4	0												

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 100果実あたり寄生数調査

	6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	1.6	0.6	4.4	5.4	10.5	11.8	5.6	8.7	2.9	4.6	2.3	1.3	1.8	1.8	0.6
2021年	0	0	0	0	2.5	1.7	1.7	0	1.7	0	0	1.7	0	0	0

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果 黄色粘着板誘殺数

	5月			6月			7月			8月			9月			10月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
平年	0.9	1.7	0.9	2.8	3.5	3.3	2.0	2.9	5.3	10.0	11.6	11.2	7.2	7.6	6.2	4.3	1.6	0.6
2021年	0.5	0	0.3	1.3	0.8	0.4	1.2	1.5	1.3	7.0	4.1	6.8	10.6	8.9	6.5	3.8	0.3	0.3

県予察圃(ナシ・農業研究所)における発生消長
ナシバシロクイ

月・半旬	トランプ勝殺数		2021年
	月・半旬	トランプ勝殺数	
3月・1	0	0	0
2	0.1	0	0
3	1.2	2	2
4	0.7	3	3
5	7.1	4	4
6	14.0	23	23
4月・1	31.1	9	9
2	23.3	14	14
3	14.9	1	1
4	25.6	7	7
5	15.3	8	8
6	6.7	0	0
5月・1	7.9	2	2
2	5.8	2	2
3	4.3	2	2
4	4.8	3	3
5	8.4	1	1
6	17.6	11	11
6月・1	16.4	3	3
2	23.3	4	4
3	15.4	5	5
4	8.7	3	3
5	7.2	0	0
6	6.6	7	7
7月・1	11.3	12	12
2	26.4	9	9
3	30.2	12	12
4	31.1	8	8
5	24.3	6	6
6	26.8	18	18
8月・1	34.2	9	9
2	38.6	14	14
3	29.4	15	15
4	24.5	7	7
5	22.3	9	9
6	36.0	22	22
9月・1	27.3	19	19
2	41.1	8	8
3	52.7	12	12
4	30.8	11	11
5	22.0	14	14
6	14.0	7	7
10月・1	7.2	10	10
2	5.4	3	3
3	2.3	2	2
4	1.3	0	0
5	0.5	0	0
6	0.5	0	0
11月・1	0	0	0
2	0	0	0
3	0.3	0	0
4	0.2	0	0
5	0.2	0	0
6	0	0	0

チャノコカクモクソノハマキ

月・半旬	トランプ勝殺数		2021年
	月・半旬	トランプ勝殺数	
4月・1	4.6	0	0
2	6.2	13	13
3	12.9	11	11
4	24.9	16	16
5	40.0	17	17
6	36.4	8	8
5月・1	40.5	6	6
2	26.2	13	13
3	18.8	5	5
4	7.2	1	1
5	5.4	8	8
6	5.2	1	1
6月・1	14.9	3	3
2	19.8	12	12
3	37.6	9	9
4	33.3	5	5
5	35.3	9	9
6	22.1	6	6
7月・1	12.2	3	3
2	10.0	2	2
3	5.0	3	3
4	6.6	4	4
5	8.6	3	3
6	11.1	4	4
8月・1	9.4	4	4
2	6.7	4	4
3	3.6	2	2
4	4.0	2	2
5	1.8	3	3
6	2.4	2	2
9月・1	1.6	2	2
2	5.8	4	4
3	8.4	2	2
4	11.7	4	4
5	12.3	7	7
6	9.9	12	12
10月・1	12.9	14	14
2	22.0	27	27
3	24.7	12	12
4	12.3	8	8
5	15.5	3	3
6	10.9	1	1
11月・1	10.2	3	3
2	8.7	1	1
3	4.0	1	1
4	3.2	0	0
5	1.8	0	0
6	2.8	0	0
12月・1	1.5	0	0
2	0.7	0	0
3	0.8	2	2
4	0.6	3	3
5	0.2	0	0
6	0	0	0

予察灯(畑・農業研究所)における発生消長
ツヤアオカメムシ

月・半旬	予察灯勝殺数		2021年
	月・半旬	予察灯勝殺数	
4月・1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
4	0.4	0	0
5	1.8	0	0
6	0.6	0	0
5月・1	20.1	0	0
2	34.8	2	2
3	48.1	5	5
4	109.3	12	12
5	686.0	8	8
6	533.3	0	0
6月・1	219.1	1	1
2	96.2	7	7
3	129.5	3	3
4	120.6	0	0
5	59.9	2	2
6	59.3	7	7
7月・1	128.5	43	43
2	126.3	25	25
3	179.0	5	5
4	168.9	11	11
5	188.3	6	6
6	173.0	7	7
8月・1	118.6	1	1
2	115.9	13	13
3	204.7	52	52
4	175.7	128	128
5	348.0	739	739
6	362.5	472	472
9月・1	203.0	200	200
2	258.1	168	168
3	134.0	87	87
4	168.0	134	134
5	109.6	90	90
6	87.6	220	220
10月・1	45.4	229	229
2	113.2	210	210
3	27.4	134	134
4	0.2	3	3
5	0.2	0	0
6	0	0	0

クサギカメムシ

月・半旬	予察灯勝殺数		2021年
	月・半旬	予察灯勝殺数	
4月・1	0	0	0
2	0	0	0
3	0	0	0
4	0.2	0	0
5	0.6	0	0
6	0.2	0	0
5月・1	0.1	0	0
2	0	0	0
3	0.1	0	0
4	0	0	0
5	0.8	0	0
6	2.3	0	0
6月・1	0.5	0	0
2	1.1	0	0
3	2.5	0	0
4	1.3	0	0
5	2.9	0	0
6	5.8	0	0
7月・1	12.5	0	0
2	32.1	1	1
3	47.6	0	0
4	82.1	0	0
5	112.3	1	1
6	122.9	3	3
8月・1	50.9	3	3
2	27.2	7	7
3	22.8	10	10
4	22.9	9	9
5	18.2	43	43
6	11.2	41	41
9月・1	4.6	10	10
2	2.7	4	4
3	1.4	1	1
4	0.6	1	1
5	0.6	1	1
6	0.4	0	0
10月・1	0	0	0
2	0.3	0	0
3	0	1	1
4	0.1	0	0
5	0	0	0
6	0	0	0

カンキツ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	そら病		かいよう病		ミカンハダニ		カイガラムシ類 寄生枝率(%)	カイガラムシ 寄生葉率(%)	カヌムシ類 叩き殺し数	品 種	生育状況等	調査月日
		旧葉発病度	温州(旧葉) 発病率(%)	中晩柑(旧葉) 発病率(%)	寄生葉率(%)	寄生枝率(%)	寄生葉率(%)						
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	微発生:かんよう病	4月5日
津	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		4月8日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		4月8日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	2	0.16	0	0	0	普通温州	微発生:カイガラムシ類	4月8日
伊勢	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州		4月8日
	南伊勢町泉	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	セミノール	微発生:かんよう病	4月8日
志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	2	0.4	0	0	0	0	0	カラ		4月8日
紀州	紀北町道瀬	0	0	2	0.4	82	6.06	0	0	0	新甘夏		4月5日
	熊野市久生屋	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	早生温州		4月5日
	御浜町下市木	0	0	6	4.4	0	0	0	0	0	カラ		4月5日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	微発生:かんよう病	4月5日
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	微発生:ハダニ類	4月5日
	紀宝町大里	0	0	2	0.4	2	0.12	0	0	0	セミノール		4月5日
平均		0	0	2.0	0.9	6.9	0.49	0	0	0			
前年平均		0.03	0.3	4.7	2.0	4.5	0.07	0.2	0	0			
平 年 (10年平均)		0.006	0.2	8.7	3.8	5.0	0.25	1.1	0.2	0			

5月

地区	調査場所	そが病				かいじょう病				品 種
		旧薬		新薬		温州(旧薬)		中晩柑(旧薬)		
		発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	発病度	発病率(%)	
津	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
松阪	多気町五程(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	松阪市小師坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール
	南伊勢町五功所浦	0	0	0	0	0	0	4	2.4	セミノール
	紀北町道瀬	0	0	0	0	0	0	6	2.8	新甘夏
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	12	5.6	カラ
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	4	0.8	新甘夏
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	4	0.8	セミノール
平均	0	0	0	0	0	0	5.0	2.1		
前年	0	0	0	0.3	0.06	2.7	1.1			
平年(10年平均)	0.02	0.006	0.1	0.03	6.4	2.2				

(5月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ		ヤノカイガラムシ		カイガラムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
		旧薬		新薬		カメムシ類				
		寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	叩き落とし	寄生枝率(%)			
津	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	新薬5cm 満開 着花数少	5月11日
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	新薬5cm 満開 着花数やや多	5月11日
松阪	多気町五程(定)	0	0	0	0	0	0	0	開花始め 着花数少	5月7日
	松阪市小師坂町	0	0	0	0	0	0	0	2分咲 着花数少	5月7日
伊勢志摩	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	6分咲 着花数やや少	5月7日
	南伊勢町五功所浦	0	0	0	0	0	0	0	3分咲 着花数やや多	5月7日
紀州	紀北町道瀬	40	1.32	20	0.24	0	0	0	7分咲 着花数中	5月7日
	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	0	満開 着花数やや多	5月6日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	落弁期 着花数やや多 果実5mm 微発生:ミカンハダニ	5月6日
	御浜町阿田和	0	0	4	0.04	0	0	0	満開 着花数中 微発生:ミカンハダニ	5月6日
	御浜町中立	0	0	4	0.04	0	0	0	落弁期 着花数多	5月6日
紀宝町大里	0	0	4	0.04	0	0	0	7分咲 着花数中 アブラムシ	5月6日	
平均	3.1	0.10	2.5	0.03	0	0	0	新薬3-5cm 7分咲 着花数やや多	5月6日	
前年	1.4	0.02	0	0	0	0.2	0.2			
平年(10年平均)	6.3	0.71	4.7	0.17	0.05	0.2	1.2			

7月

地区	調査場所	そらか病		かいじょう病(療薬)		かいじょう病(果実)		黒点病	
		果実発病度	発病率(%)	温州	発病度	温州	発病度	中晩柑	果実発病度
津	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0
	多気町五桂	0	0	0	0	0	0	0	0
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	0	0	0	0
	南伊勢町泉	0	0	0	0	0	0	0	0.8
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	8	3.2	0	0.4	0
	紀北町道瀬	0	0	0	10	5.2	0	0	0
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町下市木	0	0	0	10	5.2	0	0	0
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0
	紀宝町大里	0.4	0	0	2	0.4	0	0.4	0
	平均	0.03	0	0	5.0	2.3	0	0.1	0.06
前年	0.03	0	0	3.3	1.7	0	0.07	0	
平年(10年平均)	0.05	0.1	0.02	6.9	2.6	0	0.3	1.1	

(7月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ		チャノキイロアザミワマ		カメムシ類		アカマル		ハメキムシ類		品	種	生育状況等	調査月日	
		寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	被害率(%)	被害率(%)	被害率(%)	寄生新梢率(%)	寄生新梢率(%)	被害率(%)	被害率(%)					
津	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月6日
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月30日
	多気町五桂	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月7日
	南伊勢町泉	6	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月7日
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月7日
	紀北町道瀬	30	0.62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月6日
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
	御浜町中立	8	0.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
	平均	3.4	0.07	0	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年	6.5	0.65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平年(10年平均)	8.1	0.34	0.9	0.02	0	0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

8月

地区	調査場所	七か病		かみよつ病(養葉)		かみよつ病(果実)		黒点病	
		果実発病度	発病率(%)	温州	発病度	温州	発病度	温州	発病度
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	0	0
	津市大里窪田町	0	0	0	0	0	0	0	0
	多気町五経(定)	0	0	0	0	0	0	0	0
松阪	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	0	0	0	0
	南伊勢町能登(定)	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢志摩	南伊勢町泉	0	0	0	0	0.4	0	0.4	1.2
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	0	1.2	0	0.8	0
紀州	紀北町道頓	0	0	0	30	6.0	0	4.0	0
	熊野市久生屋町	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町下市木	0	0	0	14	7.6	0	5.2	0
	御浜町阿田和	0	0	0	0	0	0	0	0
	御浜町中立	0	0	0	2	0.4	0	0.4	0
紀宝町大里	1.2	0	0	2	0.4	0	0.4	0.8	
平均	0.1	0	0	9.0	2.6	0	1.9	0.2	
前年	0	0	0	3.0	1.1	0	1.6	0.8	
前年(10年平均)	0.06	0.2	0.05	6.8	2.4	0.006	2.5	3.2	

(8月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ		チャハキイロ		ミカンハモゾリガ		カミムシ類		カイガラムシ類		アカマル		ハマキムシ類		品 種	備 考	調査月日
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	アザミウマ	被害果率(%)	被害新梢率(%)	叩き落とし	虫数	寄生枝率(%)	カイガラムシ	寄生果率(%)	被害果率(%)	寄生果率(%)	被害果率(%)				
桑名	桑名市多度町小山	82	19.78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州		8月3日
	津市大里窪田町	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実横径3~5cm	8月5日
	多気町五経(定)	24	0.34	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	黄斑病確認、果実横径3cm	8月10日
松阪	松阪市小阿坂町	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	アブラムシ類確認、果実横径3cm	8月10日
	南伊勢町能登(定)	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	微発生:ハマキムシ類、果実横径3cm	8月10日
伊勢志摩	南伊勢町泉	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	微発生:ミカンハモゾリガ、ヤノネカイガラムシ、果実横径2~3cm	8月10日
	南伊勢町五カ所浦	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	微発生:チャハキイロアザミウマ、アブラムシ類確認、果実横径3cm	8月10日
紀州	紀北町道頓	10	0.18	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏		8月11日
	熊野市久生屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実横径4~4.5cm	8月2日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	カラ	多発生:フジコカイガラムシ、果実横径3cm	8月2日
	御浜町阿田和	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実横径3.5~4.5cm	8月2日
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実横径5~6cm	8月2日
紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノール	果実横径3~3.5cm	8月2日	
平均	8.9	1.56	1.2	6.8	0	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0		
前年	5.1	0.24	0.8	8.0	0	0.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
前年(10年平均)	4.3	0.16	0.6	32.9	0.02	0.02	0.2	0.08	0	0.08	0	0	0	0	0	0		

9月

地区	調査場所	かんとう病(春葉)		かんとう病(果実)		黒点病 果実発病度	褐色腐敗病 発病果率(%)	品 種	調査月日
		温州 発病率(%)	発病度	温州 発病度	中晩柑 発病度				
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	0	0	早生温州	9月8日
	津市大里窪田町	0	0	0	0	0.8	0	早生温州	9月10日
	多気町五桂(定)	0	0	0	0	8.8	0	早生温州	9月10日
松阪	松阪市小阿波町	0	0	0	0	1.2	0	普通温州	9月13日
	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	12.4	0	普通温州	9月13日
伊勢志摩	南伊勢町果	0	0	0	0.4	18.4	0	セミノーブル	9月13日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	20	10.4	2.4	0	0	カラ	9月13日
紀州	紀北町道瀬	0	18	10.0	2.4	37.2	0	新甘夏	9月8日
	熊野市久生屋町	0	0	0	0	6.8	0	早生温州	9月8日
	御浜町下市木	0	44	15.2	7.2	0	0	カラ	9月8日
	御浜町阿田和	0	0	0	0	3.6	0	早生温州	9月8日
	御浜町中立	0	2	0.4	36.4	0	0	新甘夏	9月8日
紀宝町大里	0	14	2.8	4.8	14.4	0	セミノーブル	9月8日	
平 均	0	0	16.3	6.5	0	8.0	0		
前 年	0	6.0	2.5	4.2	6.3	0			
平年(10年平均)	0.3	0.2	10.2	4.2	4.3	0			

(9月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ		チャ/キ/イロ ア/サ/ウマ		ミカンハモ/リ/ガ		カメムシ類		カイガラムシ類		ヤ/ノ/ネ/カイガラムシ		ア/カ/マ/ル カイガラムシ		品 種	生育状況等
		寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生葉率(%)	被害果率(%)	被害新梢率(%)	被害新梢率(%)	叩き落とし虫数	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)			
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	微発生:チャ/キ/イロ/ア/サ/ウマ、果実径4~5cm、夏枝少
	津市大里窪田町	2	0.04	38	68	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径4~6cm、夏枝少
松阪	多気町五桂(定)	0	0	14	58	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5~6cm、夏枝少
	松阪市小阿波町	0	0	32	64	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径4.5~6cm
伊勢志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	34	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	普通温州	果実径5~6cm、夏枝少
	南伊勢町泉	0	0	30	38	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径5~5.5cm、夏枝少
	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	18	72	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	果実径5~6cm、夏枝多
紀州	紀北町道瀬	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径7~8cm、夏枝少
	熊野市久生屋町	2	0.02	0	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5~6cm、夏枝少
	御浜町下市木	0	0	0	14	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	カラ	
	御浜町阿田和	0	0	0	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	早生温州	果実径5~5.5cm、夏枝少
	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新甘夏	果実径8cm、夏枝少
紀宝町大里	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セミノーブル	果実径4~5cm、夏枝少	
平 均	0.3	0.005	12.9	33.7	33.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
前 年	2.9	0.07	1.8	10.6	10.6	0	0	0.2	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)	5.9	0.14	1.4	32.8	32.8	0.02	0.3	0.03	0.1								

10月

地区	調査場所	かいよ病(春葉)		かいよ病(果実)		黒点病	褐色腐敗病	品 種
		温州	中晩柑	温州	中晩柑			
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	0	3.6	0	早生温州
	津市大里窪田	0	0	0	0	0	0	早生温州
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	0	19.6	0	早生温州
	松阪市小阿坂町	0	0	0	0	4.0	0	普通温州
伊勢	南伊勢町船越(定)	0	0	0	0	21.6	0	普通温州
	南伊勢町泉	0	0	0	0	10.4	0	セミノール
志摩	南伊勢町五カ所浦	0	6	1.2	2.0	3.6	0	カラ
	紀北町道瀬	0	6	1.2	0.4	19.2	0	新甘夏
紀州	熊野市久生屋	0	0	0	0	2.4	0	早生温州
	御浜町下市木	0	24	12.8	4.4	0	0	カラ
伊勢	御浜町阿田和	0	0	0	0	1.6	0	早生温州
	御浜町中立	0	0	0	0	0.4	0	新甘夏
紀州	紀宝町大里	0	4	0.8	1.2	14.8	0	セミノール
	平均	0.1	0.02	6.7	2.7	2.1	7.8	0
前年		0.1	0.02	10.9	5.4	5.8	10.6	0
平年(10年平均)		0.1	0.02	9.6	4.4	4.8	9.9	0

(10月続き)

地区	調査場所	ミカンハダニ	チャノキイロ	アザミウマ	カメムシ類	カイガラムシ類	ヤシカイガラムシ	アカマル	品 種	生育状況等	調査月日
桑名	桑名市多度町小山	0	0	28	0	0	0	0	早生温州	果実横径6cm, 夏秋梢数少	10月1日
	津市大里窪田	26	0.38	0	0	0	0	0	早生温州	果実横径4-7cm, 夏秋梢数少	10月7日
松阪	多気町五桂(定)	94	6.00	20	0	0	0	0	早生温州	果実横径6cm, 夏秋梢数少	10月7日
	松阪市小阿坂町	0	0	22	0	0	0	0	普通温州	果実横径6cm, 夏秋梢数少	10月7日
伊勢	南伊勢町船越(定)	0	0	56	0	0	0	0	普通温州	果実横径6cm, 夏秋梢数少	10月7日
	南伊勢町泉	0	0	12	0	0	0	0	セミノール	微発生:かいよ病(春葉、果実)、果実横径4cm, 夏秋梢数少	10月7日
志摩	南伊勢町五カ所浦	0	0	14	0	0	0	0	カラ	果実横径5cm, 夏秋梢数多	10月7日
	紀北町道瀬	0	0	44	0	0	0	0	新甘夏	果実横径8cm, 夏秋梢数少	10月6日
紀州	熊野市久生屋	0	0	2	1	0	0	0	早生温州	ツノロウムシ類確認, 果実横径6cm, 夏秋梢数少	10月6日
	御浜町下市木	0	0	0	0	0	0	0	カラ	コナカイガラムシ確認, 果実横径5cm, 夏秋梢数少	10月6日
伊勢	御浜町阿田和	0	0	4	0	0	0	0	早生温州	果実横径5.5cm, 夏秋梢数多	10月6日
	御浜町中立	8	0.14	2	0	0	0	0	新甘夏	果実横径10cm, 夏秋梢数少	10月6日
紀州	紀宝町大里	0	0	22	0	0	0	0	セミノール	果実横径6cm, 夏秋梢数少	10月6日
	平均	9.8	0.50	17.4	0.08	0	0	0	0	0	0
前年		6.0	0.11	3.1	0	0	0	0	0	0	0
平年(10年平均)		4.7	0.14	1.3	0.06	0.5	0.1	0.2	0	0	0

3月

地区	調査場所	そらか病		かい、上病		ミカンハダニ		カイガラ ムシ類 寄生枝率(%)	ヤノネ カイガラムシ 寄生葉率(%)	品 種	生育状況等	調査月日
		旧葉発病度	温州(旧葉) 発病葉率(%)	発病度	中晩柑(旧葉) 発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉					
桑名	桑名市多度町小山	0	0	0	—	0	0	0	0	早生温州		3月8日
	津市大里窪田	0	0	0	—	0	0	0	0	早生温州		3月7日
松阪	多気町五桂(定)	0	0	0	—	2	0.02	0	0	早生温州		3月3日
	松阪市小阿坂町	0	0	0	—	0	0	0	0	普通温州	カミキリムシ確認	3月4日
伊勢 志摩	南伊勢町船越(定)	0	0	0	—	0	0	0	0	普通温州		3月3日
	南伊勢町泉	0	—	—	2	0.4	0	0	0	セミノール		3月3日
	南伊勢町五ヶ所浦	0	—	—	4	0.8	0	0	0	カラ		3月3日
	紀北町道瀬	0	—	—	6	2.8	0.36	0	0	新甘夏		3月3日
	熊野市久生屋	0	0	0	—	8	0.18	0	0	早生温州		3月4日
紀州	御浜町下市木	0	—	—	14	4.4	0	0	0	カラ	微発生:アカマルカイガラムシ	3月4日
	御浜町阿田和	0	0	0	—	0	0	0	0	早生温州		3月4日
	御浜町中立	0	—	—	0	0	0	0	0	新甘夏	微発生:カイハシ病	3月4日
	紀宝町大里	0	—	—	2	0.4	0.06	0	0	セミノール		3月4日
平均	0	0	0	4.7	1.5	2.0	0.05	0	0			
前年	0	0	0	2.7	1.1	6.3	0.32	0	0			
前年(10年平均)		0.006	0.2	0.06	6.2	2.9	4.6	0.31	0.7	0.2		

ナシ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	黒星病		赤星病		ハダニ類		アブラムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
		発病芽率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)				
四日市 鈴鹿	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	幸水満開4/5頃	4月9日
	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	幸水満開4/8頃	4月8日
津	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	幸水満開4/8頃	4月8日
	松阪市嬉野川北町	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	幸水満開4/3頃	4月5日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	幸水満開4/7頃	4月8日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	幸水満開4/9頃	4月7日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	幸水満開4/9頃	4月7日
平均		0	0	0	0	0	0	0	0			
前年平均		0	0	0	0	0	0	0	0			
前年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0.2		
				(8年平均)		(8年平均)		(8年平均)				

5月

地区	調査場所	黒星病		赤星病		ハダニ類		アブラムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)			
四日市	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実1~2cm	4月30日
鈴鹿	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実2cm	5月11日
	津市香良洲町(定)	0	2	0	0	0	0	0	0	幸水	果実1~2cm	5月11日
松阪	松阪市嬉野川北町(場内)	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:赤星病	5月6日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:黒星病	5月7日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水		5月10日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	微発生:黒星病	5月10日
	平均	0	0.3	0	0	0	0	0	0			
	前年	0	0	0	0	0	0	0	0.3			
	平年(10年平均)	0.4	0.7	0.04	0.0004	0.04	0.0004	0.9				

6月

地区	調査場所	黒星病		赤星病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		品 種	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	見取り虫数	見取り虫数			
四日市	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	幸水	果実3cm	6月9日
鈴鹿	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実4cm、微発生:赤星病	6月9日
	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実3cm、微発生:赤星病	6月9日
松阪	松阪市嬉野川北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実3cm、微発生:赤星病	6月7日
伊勢志摩	玉城町富岡(定)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実3cm	6月4日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	果実3cm	6月7日
	伊賀市羽根2	0.3	0	0	0	0	0	0	0.6	0	0	幸水	果実3cm	6月7日
	平均	0	0.3	0	0	0	0	0	1.7	0	0			
	前年	0	0.4	0.06	0.0006	0.06	0.0006	2.4	0.0003					
	平年(10年平均)	1.9	0.4	0.06	0.0006	2.4	0.0003							

7月

地区	調査場所	黒星病 発病率(%)	うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	見取り虫数		
四日市	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	8	0	0	幸水	7月1日
鈴鹿	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	微発生:黒星病	6月30日
津	津市香良洲町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	6月30日
松阪	松阪市嬭野川北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	微発生:黒星病、赤星病	7月5日
伊勢志摩	玉城町富原(定)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	7月7日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	7月2日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水	7月2日
	平均	0.3	0	0	0	0	0	1.1	0	0		
	前年	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0		
	平年(10年平均)	1.7	0.1	1.8	0.07	0.1	0.04	0	0	0		

8月

地区	調査場所	黒星病 発病率(%)	うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		備考 生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	見取り虫数		
四日市	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	8月3日
鈴鹿	津市久居小野辺町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	8月5日
津	津市香良洲町(定)	0	0	0	2	0.10	0	0	0	0	果実横径10~11cm	8月11日
松阪	松阪市嬭野川北町	0	0	6	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	8月3日
伊勢志摩	玉城町富原(定)	2	16	0	6	0.06	0	0	0	0	幸水(有袋)	8月10日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	8月6日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	8月6日
	平均	0.3	2.3	0.9	1.1	0.02	0	0	0	0		
	前年	0	0.3	0	1.4	0.05	0	0	0	0.1		
	平年(10年平均)	1.3	1.0	0.6	3.2	0.17	0.04	1.2	0.01	0.01		

9月

地区	調査場所	黒星病 発病率(%)	うどんこ病		疫病		ハダニ類		アブラムシ類		カメムシ類		生育状況等	調査月日
			発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生虫数/葉	寄生率(%)	寄生虫数/葉	被害果率(%)	見取り虫数		
四日市	四日市市下海老	0	0	0	0	0	0	2	0.02	2	0	0	幸水(有袋)	9月10日
鈴鹿	津市久居小野辺町(定)	0	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	9月10日
津	津市香良洲町(定)	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	9月10日
松阪	松阪市嬭野川北町	0	0	50	0	0	0	0	0	4	0	0	幸水(有袋)	9月13日
伊勢志摩	玉城町富原(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(有袋)	9月13日
伊賀	伊賀市羽根1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	9月14日
	伊賀市羽根2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	幸水(無袋)	9月14日
	平均	0.3	0	10.9	0	0	0.3	0.003	0.9	0	0	0		
	前年	0	0.3	0	0	0	3.7	0.37	0	0	0	0		
	平年(10年平均)	0.7	1.3	4.8	0	0.02	2.9	0.15	0.1	0.1	0.1	0.1		

(9年平均)

カキ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	炭疽病 発病枝率(%)	備考	調査月日
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0		4月5日
	松阪市嬉野川北町1	0		4月5日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0		4月8日
	玉城町蚊野1	0		4月8日
平均		0		
前年平均		0		
平年(10年平均)		0		

5月

地区	調査場所	うどんこ病 発病葉率(%)	炭疽病		生育状況等	調査月日
			発病新梢率(%)	病斑数/枝		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0		5月6日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0		5月6日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0		5月7日
	玉城町蚊野1	0	0	0		5月7日
平均		0	0	0		
平年(10年平均)		0.05	0	0		

6月

地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病葉率(%)	発病新梢率(%)	叩き落とし虫数	叩き落とし虫数		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	6月7日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0	0	6月7日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	6月4日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	6月4日
	平均	0	0	0	0	0	0		
	前年	1.5	0	0	0	0	0		
	平年(10年平均)	1.7	0	0	0	0	0.1		

7月

地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病葉率(%)	発病新梢率(%)	カキノヘタムシガ 被害果率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0	0	7月5日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	7月7日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	7月7日
	平均	0	0	0	0	0	0	0	
	前年	1.5	0	0	0	0	0	0	
	平年(10年平均)	8.1	0	0	0	0.2	0.8	0	

8月

地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		備考	調査月日
		発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病葉率(%)	発病新梢率(%)	カキノヘタムシガ 被害果率(%)	カメムシ類 叩き落とし虫数		
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	8月3日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0	0	8月3日
伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	8月10日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	8月10日
	平均	0	0	0	0	0	0	0	
	前年	2.5	0	0	0	0	0	0	
	平年(10年平均)	7.3	0	0	0	0.7	0.03	0.05	

9月

地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ		調査月日
		発病率(%)	発病葉率(%)	発病新梢率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	被害果率(%)	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	9月13日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0	0	0	9月13日
伊勢	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	9月13日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	0	9月13日
平均		0	0	0	0	0	0	0	0	
前年		2.5	0	0	0	0	0	0	0.5	
平年(10年平均)		13.4	0	0	0	1.4	0	0	0.9	

10月

地区	調査場所	うどんこ病		炭疽病		カメムシ類		カキノヘタムシガ		調査月日
		発病率(%)	発病葉率(%)	発病果率(%)	発病果率(%)	被害果率(%)	見取り虫数	被害果率(%)	被害果率(%)	
松阪	松阪市嬉野川北町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日
	松阪市嬉野川北町1	0	0	0	0	0	0	2	2	10月4日
伊勢志摩	玉城町蚊野(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	10月7日
	玉城町蚊野1	0	0	0	0	0	0	0	0	10月7日
平均		0	0	0	0	0	0	0	0.5	
前年		18.0	0	0	0	1.0	0	0	0	
平年(10年平均)		15.2	0.2	0.2	0.2	5.6	0	0	0.5	

ブドウ巡回調査結果

5月

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		品種	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	展葉10枚	5月11日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	デラウェア	展葉11枚	5月7日
	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		5月10日
	伊賀市森寺1	0	0	0	0	0	0	巨峰		5月10日
伊賀	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰		5月10日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	0	0	巨峰	展葉8枚	5月10日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	デラウェア	展葉9.5枚	5月10日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰		5月10日
	平均	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)	0	0.8	0.3	0.03	0.003				

6月

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャノキイロアザミウマ 被害穂軸率(%)	品種	生育状況等	調査月日
		発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	発病葉率(%)	寄生葉率(%)	寄生虫数/葉				
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		6月9日
伊勢志摩	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア		6月4日
	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	コガネムシ類確認	6月7日
	伊賀市森寺1	0	4	0	0	0	0	0	巨峰	コガネムシ類確認	6月7日
伊賀	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	6/1満開	6月7日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		6月7日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア		6月7日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		6月7日
	平均	0	0.5	0	0	0	0	0			
	前年	0	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)	0	1.3	0.06	0.0006	0					

7月

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		品 種	生育状況等	調査月日
		発病薬率(%)	発病率(%)	発病薬率(%)	発病率(%)	寄生薬率(%)	寄生虫数/葉			
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		6月30日
	伊勢志摩 玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	デラウェア	褐斑病確認	7月7日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		7月2日
	伊賀市森寺1	2	50	0	0	0	0	巨峰		7月2日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	巨峰		7月2日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	0	0	巨峰		7月2日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	デラウェア	コガネムシ類確認	7月2日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	巨峰	微発生:べと病	7月2日
平 均		0.3	6.3	0	0	0	0			
前 年		2.5	1.3	0	0					
平年(10年平均)		3.1	1.4	1.0	0.02					

8月

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャキイロアザミウマ		カメムシ類		備 考	調査月日
		発病薬率(%)	発病率(%)	発病薬率(%)	発病率(%)	寄生薬率(%)	寄生虫数/葉	被害總軸率(%)	寄生率(%)	品 種	生育状況等		
津	津市久居明神町	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	マコガネ確認	8月5日
	伊勢志摩 玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	収穫済	8月10日
伊 賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	安芸クイーン	8月6日
	伊賀市森寺1	80	29	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	落葉のためハダニは評価できない
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	8月6日
	伊賀市上ノ庄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	8月6日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	収穫中
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	収穫直前
平 均		10.0	3.6	0.6	0.6	0	0	0.3	0.3	0	0		
前 年		10.0	0	3.5	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		7.3	1.6	7.0	2.6	0.09	3.3	0.02	3.3	0.02	0.02		

(6年平均)

(8年平均)

9月

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		チャノキイロ アザミウマ		生育状況等	調査月日
		発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	被害種転率(%)	被害種転率(%)		
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	9月10日
	玉城町勝田	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	9月13日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	9月14日
	伊賀市森寺1	90	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	9月14日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	9月14日
	伊賀市上ノ庄1	0	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	9月14日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	9月14日
	名張市下小波田2	2	0	0	0	0	0	0	0	巨峰	9月14日
平均		11.5	0	0	0	0	0	0	0		
前年		0.8	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		3.3	1.6	0.4	0.4	0.01	16.4				

(5年平均)

10月

地区	調査場所	べと病		黒とう病		ハダニ類		生育状況等	調査月日		
		発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	発病率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)				
津	津市久居明神町	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン	微発生:ハダニ類	10月7日
	伊勢志摩 玉城町勝田	-	-	-	-	-	-	-	デラウェア	落葉のため未調査	10月7日
伊賀	伊賀市森寺(定)	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		10月1日
	伊賀市森寺1	-	-	-	-	-	-	-	巨峰	落葉のため未調査	10月1日
	伊賀市上ノ庄(定)	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		10月1日
	伊賀市予野	0	0	0	0	0	0	0	安芸クイーン		10月1日
	名張市下小波田1	0	0	0	0	0	0	0	デラウェア	うどんこ病、さび病確認	10月1日
	名張市下小波田2	0	0	0	0	0	0	0	巨峰		10月1日
平均		0	0	0	0	0	0	0			
前年		2.3	0	0	0	0	0	0			
平年(10年平均)		7.3	0.2	0.7	0.7	0.02					

ウメ巡回調査結果

4月

地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等	調査月日
		果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	津市片田中町	0	0	0	0.3	0	0	0	0	白加賀	4月8日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	0	0	8	五ヶ所小梅	4月8日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	南高	4月5日
	紀宝町大里	0	0	0	0	0	0	0	0	南高	4月5日
平均		0	0	0	0.07	0	0	0	2.0		
前年平均		0	0	0	0	0	0	0	3.0		
平年(10年平均)		0	0.06	0.02	0.02	0.02	0	0	10.7		

(9年平均)

5月

地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等	調査月日
		果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	津市片田中町	15.7	0	0	4.3	3.0	10	6	24	果実3cm 果実極少	5月11日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅	5月7日
紀州	御浜町中立	0	0	0	0	0	0	0	0	南高	5月6日
	御浜町上市木	0	0	0	0	0	0	0	0	南高	5月6日
平均		3.9	0	0	1.1	0.8	2.5	7.5			
前年		0	0	0	0	0	0	0	5.5		
平年(10年平均)		2.1	0.1	0.1	0.1	0	0.3	8.5			

6月

地区	調査場所	黒星病		かいよう病		アブラムシ類		ウメシロカイガラムシ		生育状況等	調査月日
		果実発病度	葉発病度	果実発病度	葉発病度	葉発病度	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)	寄生枝率(%)		
津	津市片田中町	36.6	3.4	0	0	0	6	6	0	白加賀	6月9日
伊勢志摩	南伊勢町五ヶ所浦	0	0	0	0	0	0	0	0	五ヶ所小梅	6月4日
紀州	御浜町中立	0.3	0.3	0	0	0	2	2	0	南高	6月3日
	御浜町上市木	0	0.3	0	0	0	2	2	0	南高	6月3日
平均		9.2	1.0	0	0	0	2.5	2.5			
前年		0.07	0	0.2	1.0	0.5					
平年(10年平均)		10.4	1.0	0.04	0.2	4.7					

果樹カメシ類越冬個体数調査

a. チャバナネアオカメシ越冬冬量調査

調査年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	10年平均
津市白山町二本木	1	0	1	1	0	0	5	2	1	0	0	1.1
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	17	1	13	9	0	0	3	0	1	0	2	4.4
松阪市大阿坂町(広葉樹林)	4	1	27	1	0	1	14	1	0	0	1	4.9
松阪市小阿坂町(ヒノキ林)	2	2	36	28	0	6	11	0	1	0	0	8.6
松阪市嬉野川北町	2	0	3	0	0	7	3	1	0	0	1	1.6
平均	5.2	0.8	16.0	7.8	0.0	2.8	7.2	0.8	0.6	0.0	0.8	4.1
採集地点率(%)	100	60	100	80	0	60	100	60	60	0	60	62.0

※1地点あたり1㎡範囲内の落葉を3カ所採取し(計3㎡)、捕獲した数を計測。

※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、松阪市大阿坂町、松阪市小阿坂町、松阪市嬉野川北町の5地点。

※調査は、2017年までは1月～3月に実施。2018～2020年は12月に実施。2021年は1月に実施。

b. クサギカメシ越冬冬量調査

調査年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	10年平均
津市白山町二本木	17	1	12	9	7	4	6	6	9	6	2	7.7
津市白山町川口(スギ、ヒノキ林)	294	8	658	543	46	38	172	50	152	10	82	197.1
南伊勢町船越(カンキツ園)	5	0	55	5	4	30	27	1	2	0	14	12.9
御浜町志原(カンキツ園)	1	0	3	10	1	0	3	0	0	1	2	1.9
平均	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	52.0	14.3	40.8	4.3	25.0	54.9
採集地点率(%)	100	50	100	100	100	75	100	75	75	75	100	85.0

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。

※調査地点は津市白山町二本木、津市白山町川口、南伊勢町船越、御浜町志原の4地点。

※小屋の設置は10月。1月～2月に回収調査を実施。

広域病害虫防除員調査結果
カンキョウ 6月

地区	調査地点	品種	そうか病		かいよう病		黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病葉数	発病率	発病葉数	発病率	発病果数	発病率	発病果数	発病率			寄生葉率
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	過去の平均値 (データ数)		0.6 10	1.2 10	0.3 9	0.6 9	0.1 10	0.1 10	0 9	0 9	1.5 10	0.19 10	
	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	1	2	0	0	56	1.72	6月8日
	熊野市金山町2	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日
熊野市金山町3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.10	6月8日	
東紀州	御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	御浜町志原2	不知火	0	0	0	0	0	0	0	4	0.08	6月8日	
	御浜町志原3	甘夏	0	0	0	0	5	10	0	0	18	0.84	6月8日
	御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	御浜町下市木2	カラ	15	30	0	0	9	18	0	0	0	6月8日	
	御浜町下市木3	セミノール	2	4	0	0	6	12	0	0	0	6月8日	
	御浜町阿田和1	極早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	6月8日	
	御浜町阿田和2	甘夏	0	0	0	0	7	14	0	0	4	0.06	6月8日
	御浜町阿田和3	セミノール	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0.18	6月8日
	紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	1	2	0	0	0	6月8日	
紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	2	4	0	0	2	0.04	6月8日	
紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.06	6月8日	
平均		1.3	2.5	0	0	2.1	4.1	0	0	7.1	0.21		
過去の平均値 (データ数)		0.3 10	0.7 10	0 9	0 9	1.1 10	2.2 10	0 9	0 9	14.8 10	0.73 10		

※いずれも50果または50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは5月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果
カンキョウ 8月

地区	調査地点	品種	そうか病			かいよう病			黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日	
			発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	発病果数	発病果率	寄生果率	虫数/葉			
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8月8日	
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	0.08	ハダニの寄生痕が確認されるが、現在は少発生	8月8日	
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0.04	灰色かび病は微発生	8月8日	
	南伊勢町五ヶ所1	早生温州	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	果実横径35~50mm 摘果作業終期	8月8日	
	南伊勢町五ヶ所2	早生温州	5	10	0	0	0	0	0	0	2.0	0.04	1,2は海岩側 3は山中のほ場	8月8日	
	南伊勢町五ヶ所3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	0.08	1,2のほ場は葉のせうか病および灰色かび病が微発生 3のほ場は、灰色かび病微発生、ハダニの寄生痕あり	8月8日	
	平均		1.2	2.3	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	2.0	0.04	摘果作業終期	8月8日	
	過去の平均値 (データ数)		0.2	0.3	0.4	0.8	0.4	0.6	1.1	0.7	1.4	1.6	0.05		
	10		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0	10		
	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30.0	1.42	早生温州1,3;マルチ栽培	8月7日
熊野市金山町2	早生温州	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月7日	
熊野市金山町3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8月7日	
御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	早生温州;マルチ栽培	8月7日	
御浜町志原2	不知火	0	0	0	0	0	0	4	8	0	0	0	甘夏;樹勢弱、肥大少、落葉散見	8月7日	
御浜町志原3	甘夏	0	0	0	0	8	16	8	16	0	0	0.08		8月7日	
御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	5	10	2	4	1	2	0	極早生温州;肥大良	8月7日	
御浜町下市木2	カラ	2	4	0	0	24	48	8	16	0	0	0	カラ;かいよう病多発生	8月7日	
御浜町下市木3	セミノール	0	0	0	0	1	2	3	6	0	0	0.04		8月7日	
御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	極早生温州;マルチ栽培、枯れ枝散見	8月7日	
御浜町阿田和2	セミノール	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2.0	0.04	セミノール;着果量やや多、肥大良	8月7日	
御浜町阿田和3	甘夏	0	0	0	0	6	12	3	6	0	2.0	0.06	甘夏;肥大良、かいよう病散見	8月7日	
紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	極早生温州;マルチ栽培	8月7日	
紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	5	10	3	6	0	0	0	不知火;奇形果多	8月7日	
紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	1	2	9	18	0	0	0		8月7日	
平均		0.2	0.4	0	0	3.3	6.7	2.9	5.7	0.2	0.4	2.9	0.11		
過去の平均値 (データ数)		0.3	0.5	0.0	0.0	1.0	2.1	1.6	3.1	4.2	8.3	8.1	0.48		
10		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10.0	10.0	10		

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは7月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果
カンキョウ 10月

地区	調査地点	品種	そうか病		かいよう病		黒点病		ミカンハダニ		生育状況等	調査日		
			発病葉数	発病果数	発病葉率	発病果率	発病葉数	発病果数	発病葉率	発病果率			寄生葉率	虫数/葉
伊勢	南伊勢町切原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日	
	南伊勢町切原2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日	
	南伊勢町切原3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日	
	南伊勢町五ヶ所浦1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日	
	南伊勢町五ヶ所浦2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日	
	南伊勢町五ヶ所浦3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月4日	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	過去の平均値 (データ数)		0.3 10	0.5 10	0.6 10	0.3 10	0.2 10	0.6 10	0.4 10	0.6 10	1.3 10	14.5 10	0.3 10	0.02 10
	熊野市金山町1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月5日
	熊野市金山町2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月5日
熊野市金山町3	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月5日	
御浜町志原1	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月5日	
御浜町志原2	甘夏	0	0	0	0	7	14	5	10	1	2	0	10月5日	
御浜町志原3	不知火	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	10月5日	
御浜町下市木1	極早生温州	0	0	0	0	2	4	0	0	11	22	0	10月5日	
御浜町下市木2	セミノール	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10月5日	
御浜町下市木3	カラ	11	22	0	0	15	30	19	38	0	0	0	10月5日	
御浜町阿田和1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	0	10月5日	
御浜町阿田和2	セミノール	0	0	0	0	1	2	4	8	0	0	0	10月5日	
御浜町阿田和3	甘夏	0	0	0	0	6	12	9	18	0	0	0.04	10月5日	
紀宝町井田1	極早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	10月5日	
紀宝町井田2	早生温州	0	0	0	0	0	0	0	0	9	18	0	10月5日	
紀宝町井田3	不知火	0	0	0	0	5	10	4	8	0	0	0	10月5日	
平均		0.9	1.9	0.0	0.0	2.4	4.8	2.9	5.7	3.3	6.5	0.3	0.003	
過去の平均値 (データ数)		0.3 10	0.5 10	0.0 10	0.0 10	1.2 10	2.3 10	2.8 10	5.5 10	8.7 10	17.5 10	4.4 10	0.21 10	

※いずれも50葉または50果調査。過去の平均値は、平成23年までは9月の調査結果。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 7月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	現在、生育状況は良好	7月3日
	伊賀市湯屋谷2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		7月3日
	伊賀市予野1	巨峰	0	0%	0	0%		7月3日
	伊賀市予野2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		7月3日
	名張市美旗中村	巨峰	3	6%	0	0%		7月3日
	平均		0.6	1.2%	0	0%		
	過去の平均値 (データ数)		1.6 (5)	2.9% (5)	0.8 (5)	1.7% (5)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 8月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	生育良好 収穫中 べと病、晩腐病とも発生量は少ない	8月5日
	伊賀市湯屋谷2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		8月5日
	伊賀市予野1	巨峰	2	4%	3	6%		8月5日
	伊賀市予野2	シャインマスカット	0	0%	0	0%		8月5日
	伊賀市美旗中村	巨峰	2	4%	2	4%		8月5日
	平均		1	2%	1	2%		
	過去の平均値 (データ数)		3.7 (4)	6.8% (4)	3.2 (4)	6.2% (4)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

広域病害虫防除員調査結果
ブドウ 9月

地区	調査地点	品種	べと病		晩腐病		生育状況等	調査日
			発病葉数	発病葉率	発病房数	発病房率		
伊賀	伊賀市湯屋谷1	巨峰	0	0%	0	0%	生育良好、収穫中および収穫終了 湯屋谷:発生はほぼ無し 予野:巨峰の一部で晩腐病発生 美旗中村:一部で晩腐病発生	9月3日
	伊賀市湯屋谷2	安芸クイーン	0	0%	0	0%		9月3日
	伊賀市予野1	巨峰	2	4%	-	-		9月3日
	伊賀市予野2	シャインマスカット	2	4%	-	-		9月3日
	伊賀市美旗中村	巨峰	1	2%	-	-		9月3日
	平均		1.0	2.0%	0	0.0%		
	過去の平均値 (データ数)		7.7 (4)	15.7% (4)	14.2 (4)	20.6% (4)		

※べと病は1圃場当り50葉、晩腐病は1圃場当り50房調査。

(5) 茶

茶巡回調査結果(2021年4月)

地区	調査場所	炭疽病		カンザワハダニ		チャノミドリ		チャノキイロ		ハマキムシ類		クワシロカイ		チャトゲコナジラミ		備考
		旧葉病 枚数/m ²	新葉病 枚数/m ²	寄生率(%)	寄生率(%)	たつきと し虫数	たつきと し虫数	たつきと し虫数	たつきと し虫数	幼虫数 (頭/葉)	巻葉数 /m ²	雌成虫寄生 株率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	発生程度	
	四日市市水沢町(定)	11	6	0.50	2	0	0	1	0	0	42	80	27.3	少	4月6日 萌芽期	
	四日市市水沢町1	3	14	0.74	0	0	0	0	0	0	4	18	6.0	少	4月6日 萌芽期	
	四日市市水沢町2	4	6	0.14	0	0	0	1	0	0	2	82	27.3	少	4月6日 萌芽期	
	鈴鹿市山本町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	66	22.7	少	4月6日 萌芽期	
四日市	鈴鹿市山本町1	2	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	24	8.7	少	4月6日 萌芽期	
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	0	2	0.38	0	0	0	0	0	0	16	46	16.0	少	4月6日 萌芽期	
	鈴鹿市山本町3	3	2	0.42	0	0	0	2	0	0	20	54	18.7	少	4月6日 萌芽期	
	亀山市太森町1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	70	78	26.0	少	4月6日 萌芽期	
	亀山市太森町2	2	0	0	1	0	0	4	1	0	16	58	19.3	少	4月6日 萌芽期	チャノホソガ成虫多
	亀山市太森町3	4	0	0	0	0	0	2	0	0	84	36	12.0	少	4月6日 萌芽期	
	松阪市飯南町粥見1	2	8	0.12	0	0	0	0	0	0	2	100	33.3	少	4月6日 萌芽期	チャノホソガ成虫多
	松阪市飯南町粥見2	9	24	0.86	0	0	0	1	1	0	38	88	30.7	少	4月6日 萌芽期	
	松阪市飯南町粥見3	2	32	1.90	0	0	1	0	0	0	22	60	20.0	少	4月6日 萌芽期	
松阪	大台町栃原(定)	7	6	0.14	2	0	0	1	0	0	10	40	14.7	少	4月6日 萌芽期	
	大台町栃原1	3	4	0.16	3	0	0	0	0	0	8	30	10.0	少	4月6日 萌芽期	
	大台町栃原2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	8	56	19.3	少	4月6日 萌芽期	
伊勢	度会町牧戸1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	4	26	8.7	少	4月8日 萌芽期	
志摩	度会町牧戸2	13	0	0	0	0	0	1	0	0	6	70	24.7	少	4月8日 萌芽期	
	平均	4.3	5.9	0.30	0.5	0.06	0.8	0.1	0.1	0.2	20.0	56.2	19.2	少		
	前年	5.3	6.9	0.38	0.06	0	11.0	0.2	21.3	54.2	18.4					
	前年(10年平均)	2.1	4.9	0.24	0.2	1.6	1.6	0.1	14.6	40.9	15.6					

※チャトゲコナジラミ裾葉裏幼虫寄生程度;A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭

寄生度= $\{(A \times 3) + (B \times 2) + (C \times 1)\} / \{3 \times (\text{調査葉数})\} \times 100$

発生程度のランク分けは右表による

チャトゲコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2021年5月)

地区	調査場所	炭疽病		もち病		カンザワハダニ		チャノミドリヒメコバエ		チャノキイロアザミマ		チャノボンガ		ハマキムシ類		クワシロカイガラムシ		チャトゴコナジミ幼虫		調査月日	備考				
		新葉発病 枚数/㎡	新葉発病 枚数/㎡	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)			寄生率(%)	寄生率(%)	寄生率(%)	
四日市	水沢町(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	78	28.0	少	4月30日	摘採前、一部被覆中
四日市	水沢町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4月30日	被覆中
四日市	水沢町2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4月30日	被覆中
鈴鹿市	山本町(定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4月30日	被覆中
四日市	鈴鹿市山本町1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4月30日	被覆中
鈴鹿	鈴鹿市山本町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	76	26.0	少	4月30日	摘採前
	鈴鹿市山本町3	0	0	2	0.04	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	74	26.0	少	4月30日	摘採後
	亀山市太森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58	84	28.0	少	5月7日	摘採前
	亀山市太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	88	29.3	少	5月7日	摘採前
	亀山市太森町3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	52	17.3	少	5月7日	摘採前
	松阪市飯南町彌見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	88	29.3	少	4月30日	摘採前、チャトゴコナジミ成虫多
	松阪市飯南町彌見2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	94	31.3	少	4月30日	摘採前
松阪	松阪市飯南町彌見3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	74	24.7	少	4月30日	摘採前
	大台町柳原(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	8.7	少	4月30日	摘採前、一部被覆中
	大台町柳原1	0	0	4	0.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	13.3	少	4月30日	摘採前
	大台町柳原2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	34	11.3	少	4月30日	摘採前
伊勢	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	20	6.7	少	4月30日	摘採後
志摩	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	36	12.0	少	4月30日	摘採前
	平均	0	0	0.4	0.007	0	0	0.2	0	0.07	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	14.7	61.7	20.9	少		
	前年	0	0	5.4	0.10	0.3	0	0.07	0.07	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	19.3	44.3	16.4			
	前年(10年平均)	0.04	0	4.1	0.09	0.8	1.4	0.6	0.6	0.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	12.7	33.5	12.8			

※炭疽病、もち病、ハマキムシ類、チャノボンガについては、軟調査(1/8㎡×8ヶ所=1㎡)による。
 ※チャトゴコナジミ裾葉発病寄生率程度; A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
 寄生率=(A×3)+(B×2)+(C×1)/3×(調査葉数)×100
 寄生率程度のランク分けは右表による。

広域防除員報告

調査地点、調査日	カンザワハダニ		炭疽病	
	頭数/葉	寄生率%	発病葉数	寄生率%
四日市市水沢町	R3	0.08	7.1	-
4月10日調査	平年	-	-	-
松阪市飯南町彌見	R3	0.01	1.2	0.0
5月10日調査	平年(9年)	0.03	1.2	0.0

※摘採面旧葉で調査

チャトゴコナジミ	
寄生率	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

(8年平均)

茶巡回調査結果(2021年6月)

地区	調査場所	成植病										チャトゴコナジラミ		調査日	備考			
		発病枚数/m ²	チャトゴコナジラミ発生率(%)	寄生率(%)														
四日市	水沢町(定)	0	0	4	0.08	0	0	0	0	0	0	0	24	6	46	16.7	少	6月8日 3.5薬期
四日市	水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	2	0.7	少	6月8日 2.5~3.0薬期
四日市	水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	34	11.3	少	6月8日 2.0~2.5薬期
鈴鹿	山本町(定)	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	0	2	12	12	4.0	少	6月8日 2.5薬期
鈴鹿	山本町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	14	20	6.7	少	6月8日 2.5薬期
鈴鹿	山本町2	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	6	24	32	10.7	少	6月8日 1.5~2.0薬期
鈴鹿	山本町3	0	0	12	0.30	2	0	0	0	5	1	3	20	18	6	2.0	少	6月8日 3.5薬期
亀山	太森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	19	64	38	26	8.7	少	6月8日 2.0薬期
亀山	太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	2	46	0	44	14.7	少	6月8日 2番茶摘採直後
亀山	太森町3	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	2	32	32	14	4.7	少	6月8日 2.0薬期
松阪	飯南町粥見1	0	0	14	0.16	0	0	0	0	3	0	0	42	10	44	16.0	少	6月8日 3.5薬期
松阪	飯南町粥見2	0	0	8	0.10	2	0	0	0	1	0	0	42	24	26	8.7	少	6月8日 3.5薬期
松阪	飯南町粥見3	0	0	6	0.06	3	0	0	0	0	0	0	48	34	20	6.7	少	6月8日 3.5薬期
大台	栃原(定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	8	8	2.7	少	6月10日 3.5薬期
大台	栃原1	0	0	4	0.04	0	0	0	0	0	0	0	24	4	8	2.7	少	6月10日 2.5薬期
大台	栃原2	0	0	6	0.02	5	0	0	0	1	0	0	30	20	12	4.7	少	6月10日 2.5薬期
伊勢	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	3	26	0	24	8.0	少	6月10日 中刈のため隣接茶園調査
志摩	度会町牧戸2	0	0	0	0	1	0	0	0	19	0	2	32	8	16	5.3	少	6月10日 3.5薬期
平均		0	0	3.3	0.05	0.7	0	0	0	3.6	0.1	1.9	25.0	15.1	21.9	7.5	少	
前年		0	0	3.5	0.08	2.3	0	0	0	5.3	0.4	0.3	16.6	17.6	23.8	8.5		
前年(10年平均)		0.2	0.01	4.4	0.11	2.3	0	0	0	8.8	1.1	0.2	1.9	8.7	7.5	24.3	9.1	

※成植病、もち病、チャトゴコナジラミ、ハマキムシ類、ツマゴロアオカスミカメは、枠調査(1m²)による。
 ※チャトゴコナジラミ: 罹病幼虫寄生程度; A: 51頭以上、B: 26頭~50頭、C: 1頭~25頭、E: 0頭
 寄生率 = ((A×3)+(B×2)+(C×1))/(3×(調査葉数))×100
 発生程度のランク分けは右表による。

チャトゴコナジラミ幼虫	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2021年7月)

地区	調査場所	炭疽病		輪斑病		カンザワハダニ		チャノコハダニ		ツマグロカ		クワシロカイガラムシ		チャトゲコゾリジミ		備考		
		発病枚数 (新葉・残 葉)/㎡	発病枚数 (新葉・残 葉)/㎡	寄生率 (%)		寄生率 (%)	調査月日											
四日市市	水沢町(定)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	36	50	82	29.3	少	6月30日 整枝後
四日市市	水沢町1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	8	42	14.0	少	6月30日 整枝後
四日市市	水沢町2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	2	94	58.0	中	6月30日 整枝後
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	4	8	6	2.0	少	6月30日 刈取後
四日市市	鈴鹿市山本町1	0	11	0	0	0	0	5	0	0	0	2	2	12	44	14.7	少	6月30日 整枝後
鈴鹿市	山本町2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	4	12	56	18.7	少	6月30日 整枝後
鈴鹿市	山本町3	0	1	0	2	0.02	1	0	0	0	0	6	0	10	72	27.3	少	6月30日 刈取後
亀山市	太森町1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	78	28	10.0	少	6月30日 整枝後
亀山市	太森町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	54	44	58	24.0	少	6月30日 二番茶摘採前展葉1.5枚
亀山市	太森町3	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	50	58	19.3	少	6月30日 整枝後
松阪市	飯南町粥見1	0	2	0	2	0.02	0	0	0	0	7	0	18	8	84	34.0	少	6月30日 刈取後
松阪市	飯南町粥見2	1	12	0	2	0.02	2	0	0	1	0	0	18	26	76	26.0	少	6月30日 刈取後
松阪市	飯南町粥見3	0	0	0	4	0.04	4	0	0	0	0	0	56	12	42	14.0	少	6月30日 刈取後
大台町	栃原(定)	5	1	0	0	0	9	0	0	3	0	0	10	0	22	7.3	少	7月6日 整枝後
大台町	栃原1	0	0	0	8	0.08	3	0	0	0	0	0	10	0	20	6.7	少	7月6日 整枝後
大台町	栃原2	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	16	0	26	8.7	少	7月6日 整枝後
伊勢	度会町牧戸1	1	0	0	0	0	9	0	0	8	2	24	0	26	8.7	少	7月6日 中刈後展葉4枚	
志摩	度会町牧戸2	0	1	0	0	0	9	0	0	125	0	30	0	26	8.7	少	7月6日 二番茶摘採前展葉4枚	
平均		0.4	2.4	0.06	1.1	0.01	3.4	0	8.2	1.1	1.2	19.3	17.8	47.9	18.4	少		
前年		1.2	0	0.8	0.4	0.01	0.4	0.06	0.2	0.9	0.2	27.5	29.2	47.8	17.4			
平年(10年平均)		1.2	0.02	1.3	1.2	0.07	2.3	13.7	0.2	0.5	0.8	12.8	15.9	40.7	15.8			

(9年平均)

※炭疽病、輪斑病、カンザワハダニについては、特調査(1㎡)による。
 ※クワシロカイガラムシ・雄マコ寄生程度: A: 株の1/2以上かつ1株に発生、B: 株の1/4以上又は枝幹の一部に発生、C: 枝幹に発生、D: 寄生なし、寄生率=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査株数))×100
 ※チャトゲコゾリジミ一葉当たり寄生程度: A: 51頭以上、B: 26~50頭、C: 1~25頭(福葉当年春葉~前年最終葉)、寄生率=[((A×3)+(B×2)+(C×1))/(3×(調査葉数))]×100

広域防除員報告

対象病害虫	カンザワハダニ		炭疽病		カンザワハダニ		炭疽病	
項目	頭数/葉	寄生率%	発病葉数	寄生率%	頭数/葉	寄生率%	発病葉数	寄生率%
四日市市								
水沢町	0.08	7.1	-	-	0	0	0	0
平年*	-	-	-	-	-	-	-	-
松阪市								
飯南町粥見	0.01	1.2	0	0	0	0	4.6	10.7
平年(9年)	0.03	1.1	0	0.01	0.8	10.7		

*2021年度から調査のため平年値はなし

チャトゲコゾリジミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2021年8月)

地区	調査場所	成虫病 新葉発 病葉数/ m ²	もち病 新葉発 病葉数/ m ²	輪斑病 新葉発 病葉数/ m ²	カンザワハダニ 寄生率 (%)	寄生葉 数/葉	寄生虫 数/葉	チャノトリ たつき し虫数	アザミソ たつき し虫数	チャノキ アザミソ 虫数	ハマキム シ類 巻葉 数/m ²	チャノボ カ 巻葉 数/m ²	ツマグロ アオカ カスミ カ 巻葉 数/m ²	ヨモギ ダシヤク 被葉 数/m ²	チャトゲ コナジラ ミ幼虫 寄生率 (%)	クワシロ カイガラ ムシ 雌成虫 寄生率 (%)	雄成虫 寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	寄生率 (%)	調査月日	備考
四日市市	水沢町(定)	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	1	0	0	3	0	10	12	68	28.0	少	8月5日 5~6葉期	
四日市市	水沢町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10	0	8	0	16	5.3	少	8月5日 5~6葉期	
四日市市	水沢町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	4	76	36.7	少	8月5日 5~6葉期	
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	0	0	14	0	1	0	1	0	0	1	0	14	14	20	6.7	少	8月5日 5~6葉期	
四日市市	山本町1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	26	8.7	少	8月5日 3~4葉期	
鈴鹿市	山本町2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	12	0	0	26	2	82	28.0	少	8月5日 5~6葉期	
鈴鹿市	山本町3	1	1	0	0	0	1	0	1	11	1	14	0	0	0	48	10	40	14.7	少	8月5日 4~5葉期	
亀山市	太森町1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0	0	44	52	16	5.3	少	8月5日 3~4葉期	
亀山市	太森町2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	14	40	34	11.3	少	8月5日 3~4葉期	
亀山市	太森町3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	58	38	54	18.0	少	8月5日 4~5葉期	
松阪市	飯南町粥見1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	14	90	32.7	少	8月5日 2.5~3.5葉期	
松阪市	飯南町粥見2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	42	24	80	26.7	少	8月5日 3~4葉期	
松阪市	飯南町粥見3	0	0	0	2	0.02	9	2	0	0	0	0	0	0	0	24	24	66	22.0	少	8月5日 4~5葉期	
大台町	柳原(定)	0	0	0	10	0.24	0	4	0	0	0	0	1	0	0	2	6	8	2.7	少	8月11日 5~6葉期	
大台町	柳原1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	12	0	0	4	6	36	12.0	少	8月11日 4~5葉期	
大台町	柳原2	0	0	0	42	1.36	0	2	0	0	0	0	5	0	0	4	6	14	4.7	少	8月11日 4~5葉期	
伊勢	度会町牧戸1	0	0	0	0	0	2	0	0	9	9	39	4	4	0	30	16	66	22.0	少	8月11日 3~4葉期	
志摩	度会町牧戸2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	6	2	30	10.0	少	8月11日 3~4葉期	
平均		0.06	0.1	0.06	3.1	0.09	1.9	0.6	0.8	2.8	4.8	0.3	22.2	15.4	45.7	16.4	少					
前年		0.2	0	2.4	0	0	0.9	4.8	0.1	3.7	1.5	0	17.4	7.8	54.8	21.0						
10年平均		1.2	0.06	3.3	0.9	0.02	1.4	7.4	0.6	0.6	1.1	0.03	7.0	7.6	28.7	11.1						

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノトリ、ツマグロアオカスミカス、ヨモギエダシヤクについては、枠調査(1m²)による。

※チャトゲコナジラミ:一葉当たり寄生程度(稀葉当年春葉):A:51頭以上、B:26~50頭、C:1~25頭、E:0頭

寄生率=[(A×3)+(B×2)+(C×1)]/(3×(調査葉数))×100、発生程度は右表によりランク分け

※9年平均

チャトゲコナジラミ 寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2021年9月)

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ	チャノミドリヒ メロコバイ	チャノキイロ アザミウマ	ハマキム シ類	チャノホ ソガ	クワシロカイガラムシ	チャトクゴナジラミ幼虫	調査月日		備考		
											新葉発病葉 数/㎡	寄生虫数 (頭/葉)		寄生率 (%)	発生程 度
	四日市市水沢町(定)	1	3	4	0.08	0	1	7	31	6	22	42	26.0	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	四日市市水沢町1	6	19	6	0.06	0	0	0	0	2	4	22	7.3	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	四日市市水沢町2	1	16	4	0.06	0	1	5	11	0	4	62	37.3	少	三番茶硬化期(6~7葉)
	鈴鹿市山本町(定)	4	6	0	0	0	0	0	0	6	26	28	9.3	少	三番茶硬化期(7~8葉)
四日市	鈴鹿市山本町1	2	42	0	0	0	0	2	0	16	38	16	5.3	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	鈴鹿市山本町2	1	29	4	0.14	0	0	2	0	16	36	50	16.7	少	三番茶硬化期(6~7葉)
	鈴鹿市山本町3	0	0	0	0	1	0	0	0	36	46	50	17.3	少	三番茶硬化期(4~5葉)
	亀山市太森町1	3	0	0	0	0	0	1	0	14	24	26	8.7	少	三番茶硬化期(6~7葉)
	亀山市太森町2	2	0	0	0	0	0	0	1	16	30	16	5.3	少	三番茶硬化期(6~7葉)
	亀山市太森町3	4	1	0	0	0	1	1	1	22	26	38	12.7	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	松阪市飯南町粥見1	1	0	0	0	0	2	0	17	6	30	44	18.7	少	三番茶硬化期(7~8葉)
	松阪市飯南町粥見2	4	2	0	0	1	0	0	11	8	30	60	20.0	少	三番茶硬化期(7~8葉)
	松阪市飯南町粥見3	5	0	0	0	2	0	0	2	4	46	44	14.7	少	三番茶硬化期(6~7葉)
松阪	大台町栃原(定)	3	8	0	0	0	0	1	0	6	22	8	2.7	少	三番茶硬化期(9~10葉)
	大台町栃原1	2	7	2	0.02	5	0	0	0	0	14	26	8.7	少	三番茶硬化期(5~6葉)
	大台町栃原2	4	2	0	0	0	2	0	0	2	2	26	8.7	少	三番茶硬化期(7~8葉)
伊勢	度会町牧戸1	2	43	2	0.02	4	1	4	1	22	28	18	6.0	少	三番茶硬化期(5~6葉)
志摩	度会町牧戸2	2	18	0	0	3	0	1	1	6	20	26	8.7	少	三番茶硬化期(4~5葉)
	平均	2.6	10.9	1.2	0.02	0.9	0.4	1.3	4.2	10.4	24.9	33.4	13.0	少	
	前年	0.3	0.8	5.9	0.13	0.6	0.4	3.2	0.4	16.8	11.8	22.3	8.0		
	平年(10年平均)	1.3	3.6	2.0	0.04	1.7	4.8	1.6	0.9	5.3	6.6	17.8	7.1		

※炭疽病、もち病、輪斑病、ハマキムシ類、ホソガは、枠調査(1㎡)による。

※輪斑病は新梢枯死症を含む。

※チャトクゴナジラミ: 寄生程度: 裾葉当年春葉~前年最終葉一葉当たり: A: 51頭以上、B: 26~50頭、C: 1~25頭、E: 0頭、

寄生度=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(調査葉数))×100

発生程度: 右表による。

チャトクゴナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2021年10月)

地区	調査場所	炭疽病	輪斑病	カンザワハダニ	チャノキドリエヨコバイ	チャノキイロアザミウマ	ハマキムシ類	チャノボンガ	ツマグロアオカスミカメ	クワシロカイガラムシ	チャトコナゾミ幼虫	調査月日	備考						
		発病枚数/m ²	発病枚数/m ²	寄生率(%)	寄生数/葉	寄生虫数	巻葉数/幼虫数/m ²	巻葉数/幼虫数/m ²	被害葉数/m ²	雌成虫寄生率(%)	寄生率(%)	発生程度							
四日市市	水沢町(定)	1	2	12	0.38	0	1	0	0	16	2	8	54	6	68	26.0	少	10月4日	摘採前
四日市市	水沢町1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	34	6	30	10.0	少	10月4日	摘採後
四日市市	水沢町2	0	0	8	0.16	0	1	1	0	1	0	7	40	14	76	39.3	少	10月4日	摘採前
鈴鹿市	山本町(定)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	38	6	28	9.3	少	10月4日	摘採後
四日市市	鈴鹿市山本町1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3	2	6	2	0.7	少	10月4日	摘採前
鈴鹿市	山本町2	0	0	2	0.04	0	2	0	0	0	0	0	32	8	52	18.0	少	10月4日	摘採後
鈴鹿市	山本町3	9	0	0	0	4	1	0	0	1	0	6	44	14	34	12.7	少	10月4日	摘採後
亀山市	太森町1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	28	6	26	8.7	少	10月4日	摘採後
亀山市	太森町2	6	0	6	0.18	0	0	0	0	0	0	2	20	8	10	3.3	少	10月4日	摘採前
亀山市	太森町3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	24	18	28	9.3	少	10月4日	摘採後
松阪市	飯南町粥見1	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	8	78	30.0	少	10月5日	摘採後
松阪市	飯南町粥見2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	20	10	80	32.0	少	10月5日	摘採後
松阪市	飯南町粥見3	2	1	0	0	2	2	0	0	76	51	0	22	8	28	9.3	少	10月5日	摘採前
大台町	枳原(定)	4	0	2	0.02	0	0	0	0	0	0	0	4	2	10	3.3	少	10月5日	摘採後
大台町	枳原1	2	0	4	0.08	0	2	0	0	0	0	0	2	4	28	9.3	少	10月5日	摘採後
大台町	枳原2	6	0	10	0.12	0	1	0	0	0	0	0	2	0	12	4.0	少	10月5日	摘採前
伊勢志摩	度会町牧戸1	7	2	2	0.10	0	0	0	0	1	0	0	4	2	26	8.7	少	10月5日	摘採前
伊勢志摩	度会町牧戸2	5	2	18	0.56	0	0	0	0	0	0	0	4	0	22	7.3	少	10月5日	摘採後
平均		2.9	0.4	3.6	0.09	0.4	0.8	0.06	0	5.4	2.9	1.6	20.8	7.0	35.4	13.4	少		
前年		4.7	0.9	0.9	0.02	0.1	0.1	0.4	0	2.7	0	3.8	13.9	10.4	43.4	15.3			
前年(10年平均)		2.5	2.3	1.5	0.04	1.2	1.3	0.1	0.02	1.7	0.6	1.1	12.0	4.1	21.8	8.0			

※炭疽病、輪斑病、ハマキムシ類、チャノボンガについては、種調査(1m²)による。

※チャトコナゾミ: 寄生程度: 罹葉当年春葉~前年最終葉一葉当たり; A: 51頭以上, B: 26~50頭, C: 1~25頭, E: 0頭, 寄生率=(A×3)+(B×2)+(C×1)/(3×(罹葉葉数))×100

発生程度: 右表による。

チャトコナゾミ	寄生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

茶巡回調査結果(2022年3月)

地区	調査場所	カンザワハダニ		クワシロカイガラムシ		チャトグコナジラミ幼虫		調査月日	備考
		寄生葉率 (%)	寄生虫数/葉	雌成虫寄生株率 (%)	寄生率 (%)	寄生度	発生程度		
四日市	四日市市水沢町(定)	6	0.08	38	78	38.7	少	3月7日	クワシロカイガラムシ雄繭
	四日市市水沢町1	16	0.46	6	48	16.0	少	3月7日	
	四日市市水沢町2	18	0.56	40	80	37.3	少	3月7日	
鈴鹿市	鈴鹿市山本町(定)	2	0.02	2	26	8.7	少	3月7日	
	鈴鹿市山本町1	6	0.20	12	28	9.3	少	3月7日	
	鈴鹿市山本町2	2	0.18	24	36	14.0	少	3月7日	クワシロカイガラムシ雄繭
亀山市	鈴鹿市山本町3	0	0	16	22	8.0	少	3月7日	
	亀山市太森町1	2	0.02	24	8	2.7	少	3月7日	炭疽病
	亀山市太森町2	0	0	8	4	1.3	少	3月7日	
亀山市	亀山市太森町3	0	0	12	22	7.3	少	3月7日	クワシロカイガラムシ雄繭
	松阪市飯南町粥見1	4	0.04	14	90	34.7	少	3月3日	クワシロカイガラムシ雄繭
	松阪市飯南町粥見2	2	0.02	10	80	30.0	少	3月3日	炭疽病
松阪	松阪市飯南町粥見3	8	0.10	4	64	22.0	少	3月3日	クワシロカイガラムシ雄繭
	大台町栃原(定)	2	0.02	6	14	4.7	少	3月3日	炭疽病
	大台町栃原1	0	0	6	36	12.0	少	3月3日	クワシロカイガラムシ雄繭
伊勢志摩	大台町栃原2	12	0.16	2	12	4.0	少	3月3日	スノ葉こもハダニ
	度会町牧戸1	2	0.16	6	70	23.3	少	3月3日	クワシロカイガラムシ雄繭、炭疽病
	度会町牧戸2	12	0.12	4	16	5.3	少	3月3日	クワシロカイガラムシ雄繭、輪斑病
平均		5.2	0.12	13.0	40.8	15.5	少		
前年		1.7	0.03	22.4	53.3	19.3			
平年(10年平均)		2.2	0.06	12.8	36.1	12.7			

チャトグコナジラミ	
寄生度	発生程度
81以上	甚
61~80	多
41~60	中
1~40	少
0	無

※チャトグコナジラミ糖葉裏幼虫寄生程度；
A:51頭以上、B:26頭~50頭、C:1頭~25頭、E:0頭
寄生度 = $\{(3 \times NA + 2 \times NB + 1 \times NC) / 3N\} \times 100$
発生程度のランク分けは右表による。

広域防除員報告(茶)

調査方法

1圃場あたり炭疽病は1㎡を調査(1/8㎡柵調査×10カ所)

カンザワハダニは50葉の寄生葉率、寄生頭数を調査。

新葉がない場合は、旧葉を調査する。

生育状況、特記事項等を記録する。

調査結果

調査地点:四日市市水沢町 7圃場

調査日	令和3年3月10日						調査日	令和3年7月21日					
対象 病害虫	カンザワハダニ				炭疽病	備 考	対象 病害虫	カンザワハダニ				炭疽病	備 考
圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生葉 率(%)	発病葉数 (枚/㎡)		圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生葉 率(%)	発病葉数 (枚/㎡)	
1	5	0.03	6	3.0	0		1	0	0.0	0	0.0	0	
2	5	0.03	5	2.5	0		2	0	0.0	0	0.0	0	
3	0	0.00	0	0.0	0		3	0	0.0	0	0.0	0	
4	1	0.01	1	0.5	0		4	0	0.0	0	0.0	0	
5	1	0.01	1	0.5	0		5	0	0.0	0	0.0	0	
6	49	0.25	33	16.5	0		6	0	0.0	0	0.0	0	
7	55	0.28	54	27.0	0		7	0	0.0	0	0.0	0	
平均	16.6	0.08	14.3	7.1	0		平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0	
平年	—	—	—	—	—		平年	—	—	—	—	—	
生育状況等 12~2月の寒波と4/10の霜害により生育に遅れが出ている園地もある。						生育状況等 2番茶後の更新園でチャノコカクモンハマキ、チャノホソガ、チャノミドリヒメコバイの発生が見られるが多発ではない。一番茶後更新園では炭疽病、もち病、新梢枯死症が見られた。							

調査地点:松阪市飯南町粥見藤ヶ瀬 榎田川左岸下流(魚瀬橋付近)10圃場

調査日	令和3年5月6日						調査日	令和3年7月6日					
対象 病害虫	カンザワハダニ				炭疽病	備 考	対象 病害虫	カンザワハダニ				炭疽病	備 考
圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生葉 率(%)	発病葉数 (枚/㎡)		圃場 NO.	寄生 虫数	頭数/ 葉	寄生 葉数	寄生葉 率(%)	発病葉数 (枚/㎡)	
1	1	0.02	1	2.0	0		1	0	0.00	0	0.0	4	
2	2	0.04	2	4.0	0		2	0	0.00	0	0.0	0	
3	0	0.00	0	0.0	0		3	0	0.00	0	0.0	3	
4	1	0.02	1	2.0	0		4	0	0.00	0	0.0	13	
5	0	0.00	0	0.0	0		5	0	0.00	0	0.0	7	
6	1	0.02	1	2.0	0		6	0	0.00	0	0.0	6	
7	0	0.00	0	0.0	0		7	0	0.00	0	0.0	5	
8	0	0.00	0	0.0	0		8	0	0.00	0	0.0	0	
9	0	0.00	0	0.0	0		9	0	0.00	0	0.0	4	
10	1	0.02	1	2.0	0		10	0	0.00	0	0.0	4	
平均	0.6	0.01	0.6	1.2	0		平均	0	0	0	0.0	4.6	
9年平均	1.4	0.03	0.5	1.1	0		9年平均	0.7	0.01	0.4	0.8	10.7	
生育状況等 生育順調で害虫の発生も少ない。						生育状況等 炭疽病がやや多い。ハダニは確認できなかったが、コナジラミ、クワシロカイガラムシは多数確認された。							

(6)野菜

1. イチゴ

イチゴ《2021年4月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		アザミウマ類	コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	寄生花率(%)	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町	4月8日	2	0	0	0	0	0	2	0.5	1	0	0	かおり野	土耕	ヒラズハナアザミウマ
	津市雲出長常町	4月8日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	天敵確認
松阪	松阪市首原町	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	微発生:ハダニ類、灰色かび病、アザミウマ類
	松阪市槇野権現前町	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	章姫	ベンチ	微発生:ハダニ類、ヒラズハナアザミウマ
	松阪市藤之木町	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	章姫	土耕	ヒラズハナアザミウマ
	松阪市新開町	4月7日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	1	0	0	かおり野	土耕	ヒラズハナアザミウマ
伊勢志摩	玉城町岩出	4月6日	0	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	微発生:ハダニ類、アザミウマ類
	伊勢市小俣町	4月6日	0	0	0	0	0	0	6	2.0	0	0	0	章姫	ベンチ	
	玉城町藤田	4月6日	0	0.5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	章姫	ベンチ	微発生:アブラムシ類、ヒラズハナアザミウマ
	伊勢市二見町	4月6日	10	1.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	ベンチ	微発生:アザミウマ類
	志摩市磯部町栗木広	4月6日	0	0	0	0	30	10.0	0	0	0	0	0	章姫	ベンチ	
平均			1.1	0.2	0	0	3.1	1.0	0.7	0.2	1.7	0	0			
前年			0.4	0.2	0	0	14.4	7.0	3.6	1.1	0.7	0	0			
平年(10年平均)			1.8	0.8	0.4	0.7	14.3	7.6	1.8	0.6	11.8	0.7	0.06			(7年平均) (6年平均)

イチゴ(親株)《2021年6月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病		萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	品種	生育状況	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町	6月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地	
	津市雲出長常町	6月9日	0	0	0	2	0.5	0	0	0	かおり野	育苗期	露地	
松阪	松阪市首原町	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地	
	松阪市槇野権現前町	6月4日	0	0	0	0	0	2	0.5	章姫	育苗期	露地		
	松阪市藤之木町	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス	育苗ハウス変更、微発生:ハダニ類
	松阪市新開町	6月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	ハウス	
伊勢志摩	伊勢市小俣町	6月3日	0	0	0	0	0	40	10.0	かおり野	育苗期	露地	カキノヒメヨコバイ確認	
	伊勢市二見町	6月3日	0	0	0	0	0	10	2.5	かおり野	育苗期	露地	カキノヒメヨコバイ確認	
	玉城町岩出	6月4日	0	0	0	4	1.0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス	カンザフハダニ確認
	玉城町藤田	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地	
	志摩市磯部町栗木広	6月3日	0	0	0	0	0	40	10.0	章姫	育苗期	ハウス		
平均			0	0	0	0.5	0.1	8.4	2.1					
前年			0	0	0	0.6	0.1	9.1	2.3					
平年(10年平均)			0	4.1	0	6.8	2.7	4.4	1.3					(7年平均)

イチゴ(親株)《2021年7月》

地区	調査場所	調査月日	炭疽病	うどんこ病		萎黄病	ハダニ類		アブラムシ類		備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	品種	生育状況	栽培形式	その他	
津	津市芸濃町	###	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ベンチ	カキノヒメヨコバイ被害確認
	津市雲出長常町	###	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ベンチ	
松阪	松阪市首原町	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	カキノヒメヨコバイ被害確認(多)
	松阪市槇野権現前町	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	
	松阪市藤之木町	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	
	松阪市新開町	7月7日	0	0	0	0	0	20	5.5	かおり野	育苗期	ハウス・地床	輪斑病確認	
伊勢志摩	伊勢市小俣町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ベンチ	
	伊勢市二見町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	露地・ベンチ	
	玉城町岩出	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野	育苗期	露地・ベンチ	微発生:アブラムシ類
	玉城町藤田	7月1日	0	0	0	30	7.5	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ベンチ	ハマキムシ類確認
	志摩市磯部町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫	育苗期	ハウス・ベンチ	
平均			0	0	0	2.7	0.7	1.8	0.5					
前年			0	0	0	0.5	0.1	0.2	0.05					
平年(10年平均)			0.05	2.4	0.1	5.7	1.9	1.3	0.4					(7年平均)

イチゴ《2021年12月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕 微発生:アブラムシ類
	津市雲出長常町	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ タバコが類食害確認(CO2処理)
松阪	松阪市曾原町	12月8日	0	0	0	0	2.0	1.0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市嬉野権現前町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 微発生:アブラムシ類、コナジラミ類
	松阪市藤之木町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 土耕
	松阪市新聞町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕 微発生:アブラムシ類
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	12月9日	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ 微発生:灰色かび病
	伊勢市二見町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ クロバネキノコバエ類確認
	玉城町勝田	12月9日	0	0	0	0	20.0	5.0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ クロバネキノコバエ類確認、ハダニ類天敵確認
	玉城町岩出	12月9日	0	0	0	0	20.0	6.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ 微発生:灰色かび病
	志摩市磯部町栗木広	12月9日	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ アブラムシ類確認、ハダニ類天敵確認
平均		0	0	0	0	4.2	1.2	0	0	0	0	0	0		
前年		0	0	0	0	10.0	3.0	4.5	1.6	0	0	0	0		
平年(10年平均)		0.3	0.3	0.2	0.008	13.4	5.6	1.6	0.5	0.07	0.03				

イチゴ《2022年1月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	1月11日	0	0	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	かおり野 土耕 微発生:灰色かび病
	津市雲出長常町	1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ ハダニ類CO2処理
松阪	松阪市曾原町	1月12日	0	0	0	0	6.0	2.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ ハダニ類天敵確認
	松阪市嬉野権現前町	1月12日	0	0	0	0	0	0	2.0	0.5	2.0	0	0	0	章姫 ベンチ タバココナジラミ、オンシツコナジラミ確認
	松阪市藤之木町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 土耕
	松阪市新聞町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	1月14日	0	0	0	0	0	0	6.0	2.5	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
	伊勢市二見町	1月14日	0	0	0	0	4.0	2.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	玉城町勝田	1月14日	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 捕縛2割、ハダニ類天敵確認
	玉城町岩出	1月14日	0	0	0	0	4.0	1.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
	志摩市磯部町栗木広	1月14日	0	0	0	0	4.0	1.0	2.0	1.0	0	0	0	0	章姫 ベンチ ハダニ類天敵確認
平均		0	0	0	0	1.8	0.7	1.1	0.4	0.2	0	0	0		
前年		0	0	0	0	8.5	3.6	0.2	0.05	0	0	0	0		
平年(10年平均)		0.7	0.5	0.08	0.009	17.4	8.7	0.3	0.08	0.1	0.08				

イチゴ《2022年2月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		備考		
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕
	津市雲出長常町	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ 微発生:ハダニ類(CO2処理)
松阪	松阪市曾原町	2月7日	0	0.5	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 微発生:タバココナジラミ
	松阪市嬉野権現前町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	2.0	0	0	章姫 ベンチ
	松阪市藤之木町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 土耕
	松阪市新聞町	2月7日	0	0	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 土耕
伊勢志摩	伊勢市小俣町	2月4日	0	0	0	0	0	0	4.0	1.0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
	伊勢市二見町	2月4日	0	0	0	0	4.0	2.0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
	玉城町勝田	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ 微発生:ハダニ類
	玉城町岩出	2月4日	0	0.5	0	0	10.0	6.0	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ
	志摩市磯部町栗木広	2月4日	0	0	0	0	2.0	0.5	4.0	1.0	0	0	0	0	章姫 ベンチ
平均		0	0.09	0	0	1.8	0.9	0.7	0.2	0.9	0.2	0	0		
前年		0	0	0	0	7.8	2.7	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		1.1	0.7	0.02	0.02	17.5	7.6	0.3	0.1	0.3	0.1				

イチゴ《2022年3月》

地区	調査場所	調査月日	灰色かび病		うどんこ病		ハダニ類		アブラムシ類		コナジラミ類		アザミウマ類		備考	
			葉発病株率(%)	発病果率(%)	葉発病株率(%)	発病果率(%)	寄生株率(%)	発生程度	寄生株率(%)	発生程度	成虫寄生株率(%)	蛹寄生株率(%)	寄生花率(%)	品種	栽培形式	その他
津	津市芸濃町椋本	3月7日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	かおり野 土耕	
	津市雲出長常町	3月7日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ	
松阪	松阪市曾原町	3月4日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	1	章姫 ベンチ ハダニ類天敵確認	
	松阪市嬉野権現前町	3月4日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	22	2	0	0	章姫 ベンチ オンシツコナジラミ確認	
	松阪市藤之木町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	章姫 土耕	
	松阪市新聞町	3月4日	0	0	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	1	かおり野 土耕	
伊勢志摩	伊勢市小俣町	3月9日	2	0	0	0	0	0	6	2.0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ	
	伊勢市二見町	3月9日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ ハダニ類天敵確認	
	玉城町勝田	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	章姫 ベンチ	
	玉城町岩出	3月9日	0	0	0	0	6	1.5	0	0	0	0	0	0	かおり野 ベンチ	
	志摩市磯部町栗木広	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	章姫 ベンチ	
平均		0.4	0	0	0	1.1	0.3	0.9	0.3	2	0.2	5.8				
前年		0	0	0	0	7.8	3.7	0.4	0.09	0.2	0	0.09				
平年(10年平均)		2.8	0.7	0	0.04	14.1	6.7	0.4	0.2	0.3	0.1	2.4				

2. トマト

トマト《2021年4月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ ハエ類	アブラ ムシ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)	蟻寄生 率(%)	蟻寄生 率(%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾町源緑輪中	4月5日	0	0	0	0	40	2	0	0	0	0	TYみそら109	8月10日	
	木曾町和泉	4月5日	0	0	0	0	30	2	0	2	0	0	TYみそら109	8月10日	黄化病疑い、コナジラミ類成虫確認
	桑名市長島町	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	うどんこ病、コナジラミ類成虫確認、黄発生、葉かび病
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	4月9日	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	かれん	9月18日	黄化病疑い確認、コナジラミ類成虫確認
松阪	松阪市榎野一志町	4月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月10日	黄発生、ハモグリハエ類、動物被害
	明和町佐田	4月7日	0	0	0	0	20	20	0	0	0	0	ごほうび	1月7日	黄発生、黄化葉巻病、コナジラミ類成虫確認
伊勢志摩	伊勢市小俣町	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	コナジラミ類成虫確認
平均			0	0	0	0	13.1	3.7	0	6.0	0	0			
前年			0	0.9	2.9	1.4	0	0.3	0	0.9	0.3	0			
平年(10年平均)			0	1.7	0.4	0.4	6.2	0.9	0.2	0.3	0.2	0			

トマト《2021年5月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	灰色かび病		オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ ハエ類	アブラ ムシ類	備考		
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	葉 発病 株率(%)	果実 発病 株率(%)	蟻寄生 率(%)	蟻寄生 率(%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾町源緑輪中	5月11日	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0	TYみそら109	8月10日	
	木曾町和泉	5月11日	0	0	0	0	0	0	2	4	0	0	りんか409	9月30日	黄化病(基)、うどんこ病確認
	桑名市長島町	5月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	9月18日	
四日市	四日市市貝家町	5月9日	0	0	4	0	0	2	0	0	10	0	ハウス桃太郎	12月10日	コナジラミ類成虫確認
松阪	松阪市榎野一志町	5月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	ごほうび	1月7日	
	明和町佐田	5月6日	0	0	0	0	30	40	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月1日	
伊勢	伊勢市小俣町	5月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	9月2日	収穫終了
平均			0	0	0.7	0	13.3	7.0	0.3	0.7	2.0	0			
前年			0	0	0	1.7	1.0	0	0	0.3	0.7	0.3			
平年(10年平均)			0	1.7	0.9	0.4	7.0	1.7	0	0.5	1.2	0.2			

トマト《2021年9月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラ ムシ類	オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ ハエ類	ハスモンヨトウ	オオタ バコガ	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	蟻寄生 率(%)	蟻寄生 率(%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾町源緑輪中	9月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月12日		
	木曾町和泉	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	みそら109	未定植		
	桑名市長島町	9月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	りんか409	未定植		
四日市	四日市市貝家町	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	はれそら	未定植		
松阪	松阪市榎野一志町	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植		
	明和町佐田	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植		
伊勢	伊勢市小俣町相合	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	黄色粘着板:コナジラミ類	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平年(10年平均)			0	0	0	0	0	0	0	0.08 (7年平均)	0.08 (7年平均)	0.1 (7年平均)	0			

トマト《2021年10月》

地区	調査場所	調査月日	疫病	葉かび病	すすかび病	黄化葉巻病	アブラ ムシ類	オンシツ コナジラミ	タバコ コナジラミ	ハモグリ ハエ類	ハスモンヨトウ	オオタ バコガ	備考			
			発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	蟻寄生 率(%)	蟻寄生 率(%)	被害株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾町源緑輪中	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月12日	黄発生:コナジラミ類	
	木曾町和泉	10月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら109	9月14日	黄発生:コナジラミ類	
	桑名市長島町	10月1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	りんか409	9月30日	定植直後	
四日市鈴鹿	四日市市貝家町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	はれそら	9月下旬		
松阪	松阪市榎野一志町	10月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎	未定植	12月定植予定	
	明和町佐田	10月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび	未定植	1月定植予定	
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	黄色粘着板:コナジラミ類	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
前年			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
平年(10年平均)			0	0	0.6	2.0	0	0.1	0.5	0.2	0	0.04 (7年平均)	0.1			

トマト《2021年11月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ		オオタバコガ	備考				
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉発病株率(%)	果実発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期	その他
桑名	木曾町源緑輪中	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月12日	黄化病確認
	木曾町和泉	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら109	9月14日	微発生:すすかび病、黄化葉巻病
	桑名市長島町	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	
四日市	四日市市貝家町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	はれぞら	9月下旬	
松阪	松阪市嬉野一志町	11月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハウス桃太郎		未定植
	明和町佐田	11月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび		未定植
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	コナジラミ類成虫確認(多)
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	前年		0	0	0	0	0.8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	平年(10年平均)		0	0.1	0.7	1.3	0.06	0.06	0	0.03	1.9	0.9	0	0.06	0.10									

トマト《2021年12月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉発病株率(%)	果実発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期
桑名	木曾町源緑輪中	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月12日	黄化病疑い確認、粘着板:コナジラミ類確認
	木曾町和泉	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら109	9月14日	粘着板:コナジラミ類確認、微発生:ハモグリバエ類
	桑名市長島町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	
四日市	四日市市貝家町	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	はれぞら	9月下旬	
松阪	松阪市嬉野一志町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0	0	ハウス桃太郎	11月下旬	
	明和町佐田	12月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ごほうび		未定植
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	コナジラミ類成虫確認
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.7	0			
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0					
	平年(10年平均)		0	0.06	7.5	1.8	1.0	0.03	0.03	0.4	0.5								

トマト《2022年1月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉発病株率(%)	果実発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期
桑名	木曾町源緑輪中	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月12日	コナジラミ類成虫確認
	木曾町和泉	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0	みそら109	9月14日	コナジラミ類成虫確認、黄化病確認
	桑名市長島町	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	微発生:灰色かび病(茎)
四日市	四日市市貝家町	1月7日	0	0	0	0	0	8.0	0	0	0	0	0	0	0	0	はれぞら	9月下旬	微発生:灰色かび病(果実)
松阪	松阪市嬉野一志町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	12月8日	微発生:ハモグリバエ類
	明和町佐田	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ごほうび	1月4日	微発生:すすかび病、ハモグリバエ類
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	1月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6.0	2.0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	
	平均		0	0	0	0	1.1	0	0.9	0.6	0								
	前年		0	0	0.3	0	0.6	0	0.6	2.0	0.9								
	平年(10年平均)		0.1	2.2	5.4	0.4	1.4	0.06	0.09	0.9	0.5								

トマト《2022年2月》

地区	調査場所	調査月日	疫病		葉かび病		すすかび病		黄化葉巻病		灰色かび病		オンシツコナジラミ	タバココナジラミ	ハモグリバエ類	備考			
			発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	発病株率(%)	葉発病株率(%)	果実発病株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	寄生株率(%)	品種	定植時期
桑名	木曾町源緑輪中	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	かれん	8月12日	微発生:オンシツコナジラミ、黄化病確認
	木曾町和泉	2月8日	0	0	0	0	0	2.0	0	0	0	0	0	0	0	0	みそら109	9月14日	黄化病確認(多)
	桑名市長島町	2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	りんか409	9月30日	微発生:葉かび病
四日市	四日市市貝家町	2月8日	0	0	0	0	0	20.0	0	0	0	0	0	0	0	0	はれぞら	9月下旬	
松阪	松阪市嬉野一志町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0	ハウス桃太郎	12月上旬	微発生:葉かび病
	明和町佐田	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0	ごほうび	1月14日	
伊勢志摩	伊勢市小俣町相合	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	6.0	0	0	0	0	ハウス桃太郎	9月2日	
	平均		0	0	0	0	3.1	0	1.4	0.9	0.6								
	前年		0	0	0	0	0.3	0	0.6	1.7									
	平年(10年平均)		0.03	1.6	5.2	0.2	2.7	0.4	0.03	0.7	1.1								

4. 冬キャベツ

冬キャベツ《2021年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考			
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市	四日市市平尾町	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	四日市市下海老町	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	鈴鹿市鈴鹿	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	鈴鹿市国府町1	9月13日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	鈴鹿市国府町2	9月13日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
津	津市芸濃町椋本	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	松波	8月末
	津市北河路町	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	津市久屋野口町	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
	津市新家町	9月10日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9月1日	
松阪	松阪市鶴野森本町	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
伊勢	玉城町岡出	9月14日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年(10年平均)			0	0	2.7	2.7	0.08	0.001	0.02	0.0002	0.2	0.1	0.08					
			(9年平均)													(6年平均)		
県予察ほ	松阪市鶴野川北町(場内)	9月13日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植	

冬キャベツ《2021年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考					
			発病株率 (%)	発病度	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他			
四日市	四日市市平尾町1	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	11~13葉	
	四日市市平尾町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	9~10葉	
	四日市市下海老町	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月下旬	7~8葉	
	鈴鹿市国府町1	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月22日	8葉	
	鈴鹿市国府町2	10月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月22日	8葉	
津	津市芸濃町椋本	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月下旬	22~24葉	シロイチモジヨトウ確認
	津市河辺町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	新藍	8月下旬	22~24葉	
	津市久屋野口町	10月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	松波	10月6日	5葉	定植直後
	津市新家町	10月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	輝みさき	9月下旬	9~10葉	シロイチモジヨトウ確認
松阪	松阪市鶴野森本町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新藍	9月5日	12葉	微発生:ハスモンヨトウ
伊勢志摩	玉城町岡出	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	9月上旬	16~18葉	キャベツ株腐病確認
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2						
前年			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0						
前年(10年平均)			0.3	0.1	3.9	1.4	0.6	0.01	1.0	0.01	0.7	2.1	2.1	1.2						
			(7年平均)																	
県予察ほ	松阪市鶴野川北町(場内)	10月4日	0	0	2.0	0.5	0	0	0	0.02	0	10.0	30.0	0	0	0	夢ごころ	9月24日	7葉	ハムシ類確認

冬キャベツ《2021年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		ヨトウガ		ハスモンヨトウ		備考				
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	被害株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他		
四日市	四日市市平尾町1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	生育期	
	四日市市下海老町1	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月中旬	生育期	
	四日市市下海老町2	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	冬のほり	10月上旬	生育期	
	鈴鹿市国府町1	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月22日	生育期	タバコガ類確認、微発生:モンシロチョウ
	鈴鹿市国府町2	11月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢舞台	9月22日	生育期	タバコガ類確認
津	津市芸濃町椋本	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	8月中旬	生育期	微発生:モンシロチョウ、ハスモンヨトウ
	津市河辺町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	2.0	0	0	新藍	8月下旬	生育期	
	津市久屋野口町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	松波	10月6日	生育期	
	津市新家町	11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	2.0	0	0	輝みさき	9月下旬	生育期	
松阪	松阪市鶴野森本町	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	2.0	2.0	0	0	新藍	9月5日	生育期	微発生:モンシロチョウ
伊勢志摩	玉城町岡出	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	TCA-517	9月上旬	生育期	
平均			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.5	0.5						
前年			0.9	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4	0.4						
前年(10年平均)			6.3	1.8	0.1	4.6	1.7	0.4	0.006	0.8	0.009	0.5	0.5	0.3							
			(7年平均)																		
県予察ほ	松阪市鶴野川北町(場内)	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.02	0	0	0	0	0	夢ごころ	9月24日	生育期	無防除

冬キャベツ《2021年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒腐病		菌核病		コナガ		アブラムシ類		根こぶ病		備考					
			発病株率 (%)	発病度	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	寄生度	発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他				
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町1	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	夢舞台	9月中旬	生育期				
	四日市市下海老町1	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	夢舞台	9月中旬	生育期				
	四日市市下海老町2	12月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	冬のほり	10月上旬	生育期				
	鈴鹿市国府町1	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	夢舞台	9月22日	生育期	タバコガ類被害確認			
	鈴鹿市国府町2	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	夢舞台	9月22日	生育期	タバコガ類被害確認			
津	津市芸濃町椋本	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	松波	8月中旬	生育期	カラス食害確認			
	津市河辺町	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新藍	8月下旬	収穫期				
	津市久居野口町	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	松波	10月6日	生育期	カラス食害確認			
	津市新家町	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	輝みさき	9月下旬	生育期	微発生：菌核病、タバコガ類食害確認			
松阪	松阪市嬉野算所町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	新藍	9月5日	収穫期	タバコガ類食害確認			
伊勢志摩	玉城町岡出	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	-	TCA-517	9月上旬	生育期	タバコガ類食害確認、菌核病確認			
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	前年		0.2	0.05	0.7	0	0	0	0	0	0							
	平年(10年平均)		6.5	2.0	0.8	0.3	0.005	0.3	0.1	0.7								
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	夢ごろも	9月24日	生育期	タバコガ類食害確認
	平年(10年平均)		0	0	0	1.0	0.02	0.6	0.1	0								

冬キャベツ《2021年度 根こぶ病調査》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考			
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町1	1月7日	-	夢舞台	9月中旬	精起済み		
	四日市市下海老町1	3月3日	0	夢舞台	9月中旬			
	四日市市下海老町2	3月3日	-	冬のほり	10月上旬	生育期		
	鈴鹿市国府町1	3月3日	-	夢舞台	9月22日	生育期		
	鈴鹿市国府町2	3月3日	-	夢舞台	9月22日	生育期		
津	津市芸濃町椋本	3月8日	-	松波	8月中旬	精起済み		
	津市河辺町	1月7日	0	新藍	8月下旬			
	津市久居野口町	3月7日	-	松波	10月6日	生育期		
	津市新家町	12月9日	0	輝みさき	9月下旬			
松阪	松阪市嬉野算所町	2月12日	0	新藍	9月5日			
伊勢志摩	玉城町岡出	12月7日	18	TCA-517	9月上旬			
	平均		3.5					
	前年		3.9					
	平年(10年平均)		1.2					
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	3月14日	0	夢ごろも	9月24日	(無防除)		

5.春キャベツ

春キャベツ《2021年4月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病		アブラムシ類		コナガ		モンシロチョウ		備考		
			発病株率 (%)	寄生株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	腐敗病確認
	四日市市下海老町	4月9日	0	0	0	0	0	0	0	若女将	3月中旬	生育期	9果期
津	津市川方町1	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市川方町2	4月8日	0	0	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	コナガ成虫確認
	津市新家町1	4月8日	24	0	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	収穫終了	
	津市新家町2	4月8日	6	0	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	収穫期	区外：コナガ幼虫
	平均		5.0	0	0	0	0	0	0				
	前年		8.8	0	0	0	0	0	0				
	平年(10年平均)		2.9	2.5	0.7	0.3	0.003	0.1	0.001				
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	4月5日	0	0	0	0	0.3	0	0	味春	11月10日	生育期	
	平年(10年平均)		0.2	4	1.1	2	0.0	1	0.0				

春キャベツ《2021年5月》

地区	調査場所	調査月日	根こぶ病		備考			
			発病株率 (%)	品種	定植時期	生育状況	その他	
四日市 鈴鹿	四日市市下海老町	5月9日	-	若女将	11月下旬	精起済み		
	四日市市平尾町	5月9日	-	若女将	3月中旬	生育期		
津	津市川方町1	5月11日	-	味春	12月上旬	精起済み		
	津市川方町2	5月11日	0	味春	12月中旬	収穫期		
	津市新家町1	5月11日	-	味春	11月中旬	精起済み		
	津市新家町2	5月11日	-	若女将	11月下旬	精起済み		
	平均		0					
	前年		0					
	平年(10年平均)		0					
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	5月6日	0	味春	11月10日	収穫期		

春キャベツ《2021年12月》

地区	調査場所	調査月日	アブラムシ類		コナガ		備考			
			寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	12月7日	-	-	-	-	-	-	未定植	
	四日市市下海老町	12月7日	-	-	-	-	-	-	未定植	
津	津市川方町1(久居)	12月10日	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	モンシロチョウ幼虫確認
	津市川方町2(久居)	12月10日	0	0	2	0.02	味春	11月下旬	生育期	モンシロチョウ幼虫確認
	津市新家町1(久居)	12月10日	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2(久居)	12月10日	-	-	-	-	石井	-	未定植	
	平均		0	0	0	0.7	0.007			
前年		0.7	0.5	1.3	0.01					
平年(10年平均)		1.7	0.5	0.2	0.002					
県予察ほ	松阪市鶴野川北町(場内)	12月10日	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	
	平年(10年平均)		23.6	6.2	0	0				

春キャベツ《2022年1月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考			
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市平尾町	1月7日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	四日市市下海老町	1月7日	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
津	津市川方町1	1月11日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市川方町2	1月11日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	
	津市新家町1	1月11日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2	1月11日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	平均		0	0	0	0	0				
前年		0	0	0	0	0					
平年(10年平均)		0	0.7	0.2	0.07	0.0007					
県予察ほ	松阪市鶴野川北町(場内)	1月7日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	
	平年(10年平均)		0	24	6.6	0	0.002				

春キャベツ《2022年2月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考			
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市赤水町	2月8日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	四日市市下海老町	2月8日	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
津	津市川方町1	2月9日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市川方町2	2月9日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	
	津市新家町1	2月9日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2	2月9日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育初期	
	平均		0	0	0	0	0				
前年		0	0.4	0.1	0	0					
平年(10年平均)		0	2.0	0.5	0.1	0.002					
県予察ほ	松阪市鶴野川北町(場内)	2月7日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	
	前年		0	8	2.1	0	0				
平年(10年平均)		0	8	2.1	0	0					

春キャベツ《2022年3月》

地区	調査場所	調査月日	菌核病 発病株率 (%)	アブラムシ類		コナガ		備考			
				寄生株率 (%)	寄生度	寄生株率 (%)	株当たり虫数 (頭/株)	品種	定植時期	生育状況	その他
四日市 鈴鹿	四日市市赤水町	3月3日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	四日市市下海老町	3月3日	-	-	-	-	-	-	-	未定植	
津	津市川方町1	3月7日	0	0	0	0	0	味春	12月上旬	生育期	
	津市川方町2	3月7日	0	0	0	0	0	味春	12月中旬	生育期	
	津市新家町1	3月7日	0	0	0	0	0	味春	11月中旬	生育期	
	津市新家町2	3月7日	0	0	0	0	0	若女将	11月下旬	生育期	
	平均		0	0	0	0	0				
前年		0	0	0	0.8	0.008					
平年(10年平均)		1.1	0.5	0.1	0.1	0.002					
県予察ほ	松阪市鶴野川北町(場内)	3月3日	0	0	0	0	0	味春	11月10日	生育期	(無防除)

6.青ネギ

青ネギ《2021年4月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミワマ 被害率 (%)	草丈	備考 その他	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								
松阪	松阪市柿木原町	4月7日	0	0	0	0	2	0.5	0	0	0	0	20.0	40cm		
	伊勢市東豊浜町	4月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	ネギアザミワマ成虫確認	
	伊勢市小俣町1	4月6日	10	2.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45cm	ネギアザミワマ成虫確認	
	伊勢市小俣町2	4月6日	2	0.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75cm		
	平均		3.0	0.8	0	0	0.5	0.1	0	0	0	0	0	5.2		
前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
平年(10年平均)		0.05	0.01	0.8	0.2	1.2	0.3	0.1	0.1	0	0	0.03	1.3			
			(5年平均) (5年平均)													
泉予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	4月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm		
	平年(10年平均)		0	0	2.2	0.6	4.0	1.0	1.0	0.8	0	1.1	4.5			

青ネギ《2021年5月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミワマ 被害率 (%)	草丈	備考 その他	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								
松阪	松阪市柿木原町	5月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	53.3	40cm		
	伊勢市東豊浜町	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	45cm	微発生:ネギハモグリハエ	
	伊勢市小俣町1	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm		
	伊勢市小俣町2	5月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.8	13.5			
前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.4			
平年(10年平均)		0	0	0.5	0.1	0.1	0.3	0	0	0.03	6.2	21.7				
			(5年平均) (5年平均)													
泉予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	5月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90cm	開花期	

青ネギ《2021年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミワマ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							
伊勢市東豊浜町	伊勢市東豊浜町	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15cm	
	伊勢市小俣町1	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15cm	
	伊勢市小俣町2	6月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	30cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	0		
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.5	0		
平年(10年平均)		0	0	3.9	1.4	0	0	0.05	0.05	0	6.8	40.2			
泉予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	6月7日	0	0	0	0	0	0	10	0	0	3.3	76.0	20cm	未定植 九条細 育苗中
平年(10年平均)		0	0.06	7	1.8	0	0	7.4	2.6	0.2	6.9	83.7			

青ネギ《2021年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミワマ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							
伊勢市東豊浜町	伊勢市東豊浜町	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.7	20.0	30cm	生育差大きい(株枯れ目立つ)	
	伊勢市小俣町1	7月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	13.3	15cm		
	伊勢市小俣町2	7月1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	16.7		
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	12.9		
平年(10年平均)		1.0	1.2	1.0	0.6	0	0	0	1.6	0.07	5.5	26.6			
泉予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	7月5日	0	0	0	0	0	0	32.0	0	9.3	20.7	34cm		
平年(10年平均)		1.6	0.4	0.5	0.2	0	0	10.6	5.7	0	9.6	66.8			

青ネギ《2021年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		バト病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチ モジトウ 被害率 (%)	ネギハモ グリハエ 被害率 (%)	ネギアザ ミワマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ 被害率 (%)	草丈	備考 その他
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度								
伊勢市東豊浜町	伊勢市東豊浜町	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	16.7	0	0	35cm		
	伊勢市小俣町1	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm		
	伊勢市小俣町2	8月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.6	0	0		
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0	0			
平年(10年平均)		0	0	0	0	0.1	0.03	0.02	0.4	9.3	20.7	0.1	0.1			
			(5年平均) (5年平均)													
泉予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	8月4日	6.0	1.5	0	0	0	0	4.0	0	14.7	1.3	0	50cm	(露地-無防除)	
	平年(10年平均)		0.7	0.2	0	0	0	0	10.2	0	10.1	60.8	0	0		
			(5年平均) (5年平均)													

青ネギ《2021年9月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		寄生株率 (%)	被害率 (%)
松阪	松阪市柿木原町	9月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植		
	伊勢市東豊浜町	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0.7	0	0	0	40cm		
伊勢	伊勢市小俣町1	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	4.7	0	0	0	0	40cm		斑点性病害
	伊勢市小俣町2	9月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm		斑点性病害
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	4.9	0.2	0	0	0			
	前年(10年平均)		0.03	0.008	0	0	0	0	0.02	0.1	2.5	23.4	9.0	0.2	0.1			
								(4年平均)	(4年平均)				(6年平均)	(6年平均)				
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	9月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46.7	0	0	0	60cm		ハモグリハエ別系統混入
	平均(10年平均)		1.0	0.3	0	0	0	0	0.4	0	34.6	44.2	0	0				

青ネギ《2021年10月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		寄生株率 (%)	被害率 (%)
松阪	松阪市柿木原町	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	3.3	0	0	0	30cm		
	伊勢市東豊浜町	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	0	0	0	35cm		
伊勢志摩	伊勢市小俣町1	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	0	0	0	20cm		
	伊勢市小俣町2	10月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	8.9	0	0	0			
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0.2	4.0	28.5	0.8	0.5	0			
	前年(10年平均)		0.3	0.1	0	0	0	0	0	0.2	5.6	30.1	11.4	2.0	2.2			
													(7年平均)	(7年平均)				
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	40.0	0	0	0	60cm		微発生:ネギコガ
	平均(10年平均)		0	0.1	0	0	0	0	0	0.6	0	39.4	28.4	0.7	1.0			

青ネギ《2021年11月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		寄生株率 (%)	被害率 (%)
松阪	松阪市柿木原町	11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0.7	0	0	0	50cm		微発生:黒斑病
	伊勢市東豊浜町	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0	0	30cm		微発生:ネギコガ、シロイチモジヨトウ
伊勢志摩	伊勢市小俣町1	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	25cm		
	伊勢市小俣町2	11月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0	0	0	30cm		微発生:シロイチモジヨトウ
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.3	0.7	0.2	0	0			
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	1.5	13.3	0	0			
	前年(10年平均)		0.2	0.05	0	0	0	0	0	0.07	0.6	5.6	7.0	0.05	0.1			
								(5年平均)	(5年平均)				(7年平均)	(7年平均)				
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	11月8日	4.0	1.0	0	0	0	0	0	1.3	0	1.3	0	0	0	50cm		無防除
	平均(10年平均)		1.4	0.4	0	0	0	0	0	0.5	1.1	15.3	28.4	0	0			

青ネギ《2021年12月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトウ		草丈	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)		寄生株率 (%)	被害率 (%)
松阪	松阪市柿木原町	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	1.3	0	0	70cm		微発生:黒斑病
	伊勢市東豊浜町	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm		微発生:ネギコガ
伊勢志摩	伊勢市小俣町1	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0.7	0	0	0	40cm		
	伊勢市小俣町2	12月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm		
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2	0.2	0.3	0	0			
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	20.0	0	0			
	前年(10年平均)		0.3	0.09	0.07	0.02	0	0	0	0.06	0.1	0.8	5.6	0.05	0.05			
							(5年平均)	(5年平均)					(7年平均)	(7年平均)				
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	12月10日	0	0	0	0	0	0	0	2.0	0	0.7	0	0	0	70cm		
	平均(10年平均)		0.8	0.2	0.1	0.02	0	0	0	0.05	0.10	0.8	8.9	0.07	0.07			

青ネギ《2022年1月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトウ 被害率 (%)	ネギハモグリハエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	草丈	備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度							寄生株率 (%)	被害率 (%)	その他
松阪	松阪市柿木原町	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm			
	伊勢市東豊浜町	1月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm			
伊勢志摩	伊勢市小俣町1	1月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm			
	伊勢市小俣町2	1月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm			
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.5				
	前年(10年平均)		0.07	0.02	0.4	0.1	0	0	0	0	3.1						
							(5年平均)	(5年平均)									
県予察ほ	松阪市磯野川北町(場内)	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm		微発生:ネギアザミウマ	
	0年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.0				

青ネギ《2022年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	20cm	
	伊勢市東豊浜町	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢志摩 伊勢市小俣町1	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	伊勢市小俣町2	2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	2.3	
	平年(10年平均)		0	0	0.08	0.02	0	0	0	0	1.4	
					(5年平均) :		(5年平均) :					
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	50cm	
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	2.2	
	平年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	2.2	

青ネギ《2022年3月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトフ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
松阪	松阪市柿木原町	3月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	再生株
	伊勢市東豊浜町	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	伊勢志摩 伊勢市小俣町1	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30cm	
	伊勢市小俣町2	3月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40cm	
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12.5	
	平年(10年平均)		0	0	0.2	0.1	0	0	0	0	0	0	0	1.6	
					(5年平均)		(5年平均)								
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	3月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	(無防除)
	平年(10年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.5	

7.白ネギ

白ネギ《2021年6月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトフ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	品種
四日市鈴鹿	鈴鹿市椿一宮町	6月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	鈴鹿市深溝町	6月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	40cm	夏扇パフォー
松阪	明和町佐田	6月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	多気町三足田	6月4日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	未定植
	平均		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20.0	
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0.3	0	0.7	85.0		
	平年(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	1.8	0	0.6	38.5		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	6月7日	0	0	0	0	0	0	4	0	0	5	87	20cm	未定植 石倉一本太 育苗中
	平年(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67		

白ネギ《2021年7月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトフ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市山本町	7月2日	2	5.0	0	0	0	0	0	0	0.7	13.3	30cm		
	鈴鹿市深溝町	7月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	品種:夏扇	
松阪	明和町佐田	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	40.0	30cm	品種:元蔵	
	多気町三足田	7月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35cm	品種:龍翔	
	平均		0.5	1.3	0	0	0	0	0	0	0.7	13.3			
	前年		1.5	3.8	0	0	0	0	0	0	0.2	35.0			
	平年(4年平均)		1.1	2.8	0.4	0.9	0	0	0	3.8	0	1.2	28.4		
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	7月5日	0	0	0	0	0	0	0	30.0	0	7.3	18.7	30cm	品種:石倉一本太
	平年(4年平均)		0.5	0.5	8	18.8	0	0	0	3.5	0	10.5	79.2		

白ネギ《2021年8月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類	ネギコガ	シロイチモジトフ	ネギハモグリバエ	ネギアザミウマ	備考			
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	寄生株率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	被害率 (%)	草丈	品種		
四日市鈴鹿	鈴鹿市山本町	8月2日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	33.3	0	0	50cm	黒光	
	鈴鹿市深溝町	8月2日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	夏扇	
松阪	明和町佐田	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16.0	0	0	40cm	元蔵	
	多気町三足田	8月6日	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	60cm	龍翔 雑草多	
	平均		1.0	2.5	0	0	0	0	0	0.3	0.2	12.3	0	0			
	前年		2.5	6.3	0	0	0	0	0	0	0.2	24.2	0	0			
	平年(4年平均)		2.4	6.1	0	0	0	0	0.1	0.3	4.3	19.9	0	0			
県予察ほ	松阪市嬉野川北町(場内)	8月4日	4.0	10.0	0	0	0	0	0	3.3	0	6.7	2.0	0	0	30cm	石倉一本太 (露地・無防除)
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	80.0	0	0			
	平年(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	42.5	0	0			

白ネギ（2021年9月）

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトフ 被害率 (%)	ネギハモグリバエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトフ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈	品種	その他
鈴鹿	鈴鹿市山本町	9月13日	4.0	10.0	0	0	0	0	0	0	0.7	66.7	0	0	0	60cm	照光	ハモグリバエ別系統疑い
	鈴鹿市深溝町	9月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	3.3	0	0	0	65cm	夏扇	
松阪	明和町佐田	9月9日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	32.0	0	2.0	2.0	50cm	元蔵	ハモグリバエ別系統疑い
	多気町三疋田	9月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.0	0.7	0	0	20cm	龍翔	ハモグリバエ別系統疑い
	平均		1.5	3.8	0	0	0	0	0	0	3.2	28.0	0.2	0.5	0.5			
	前年(4年平均)		1.8	4.4	0	0	0.9	0	0.2	0.4	1.2	19.9	18.0	0	0			
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	9月13日	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	63.3	0.0	0	0	40cm	石倉一本太	ハモグリバエ別系統疑い
	平均(4年平均)		0.8	1.9	0	0	0	0	0	2.5	0	27.2	70.8	0	0			

白ネギ（2021年10月）

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトフ 被害率 (%)	ネギハモグリバエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトフ		備考		
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈	品種	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市山本町	10月5日	30.0	7.5	0	0	0	0	0	0	0	30.0	0	0	0	60cm		
	鈴鹿市深溝町	10月5日	40.0	10.0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	50cm		
松阪	明和町佐田	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3	36.7	0	0	0	50cm	欠株:多	
	多気町三疋田	10月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	6.7	0	0	0	40cm		
	平均		17.5	4.4	0	0	0	0	0	0	1.2	18.5	0	0	0	-		
	前年		3.0	7.5	0	0	0	0	0	0	0	40.0	25.0	0	0			
	前年(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	40.0	6.7	0	0			
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	10月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	2.0	53.3	0	0	0	50cm		
	平均(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	62.8	45.8	0	0			

白ネギ（2021年11月）

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトフ 被害率 (%)	ネギハモグリバエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトフ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市山本町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16.7	0	0	0	60cm	微発生:黒斑病
	鈴鹿市深溝町	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55cm	微発生:軟腐病
松阪	明和町佐田	11月10日	14.0	35.0	0	0	0	0	0	0	0	4.0	0.7	0	0	50cm	微発生:シロイチモジヨトフ
	多気町三疋田	11月10日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0.7	0	0	50cm	
	平均		4.0	10.0	0	0	0	0	0	0.2	0	5.3	0.2	0	0		
	前年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	7.7	8.0	0	0		
	前年(4年平均)		1.8	0.5	0	0	0	0	0	0.8	0.5	8.7	48.5	0	0		
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	11月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13.3	0.7	0	0	60cm	無防除
	平均(4年平均)		0.5	1.3	0	0	0	0	0	0.2	0	20.2	37.5	0	0		

白ネギ（2021年12月）

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトフ 被害率 (%)	ネギハモグリバエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	ハスモンヨトフ		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						寄生株率 (%)	被害率 (%)	草丈	その他
四日市鈴鹿	鈴鹿市山本町	12月6日	10.0	25.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	50cm	照光
	鈴鹿市深溝町	12月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70cm	夏扇
松阪	明和町佐田	12月8日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0	0	60cm	元蔵
	多気町三疋田	12月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0	0	50cm	龍翔
	平均		3	7.5	0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	0	0		
	前年		5.5	13.8	0	0	0	0	0	0	0	0.3	2.7	0	0		
	前年(4年平均)		7.3	18.3	0	0	0	0	0	0	0	3.3	7.8	0	0		
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	12月10日	2	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0.7	0	0	70cm	石倉一本太
	平均(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	11.1	0	0		

白ネギ（2022年1月）

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		アブラムシ類 寄生株率 (%)	ネギコガ 被害率 (%)	シロイチモジヨトフ 被害率 (%)	ネギハモグリバエ 被害率 (%)	ネギアザミウマ 被害率 (%)	備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度						草丈	品種
四日市鈴鹿	鈴鹿市山本町	1月13日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	照光	収穫終了
	鈴鹿市深溝町	1月13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	夏扇
松阪	明和町佐田	1月13日	2.0	5.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	元蔵
	多気町三疋田	1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	龍翔
	平均		0.7	1.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	前年		0.5	1.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	前年(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	0	11.8				
県予察ほ	松阪市福野川北町(場内)	1月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	8.7	60		石倉一本太	
	平均(4年平均)		0	0	0	0	0	0	0	2.2					

白ネギ《2022年2月》

地区	調査場所	調査月日	黒斑病		さび病		べと病		ネギアザミウマ被害率 (%)		備考	
			発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	発病株率 (%)	発生程度	草丈	品種	その他	
四日市	鈴鹿市山本町	2月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	照光	収穫終了
	鈴鹿市深溝町	2月9日	0	0	0	0	0	0	0	60cm	夏福	
松阪	明和町佐田	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	70cm	元蔵	
	多気町三足田	2月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	龍翔	収穫終了
	平均		0	0	0	0	0	0	0			
	前年		0	0	0	0	0	0	0			
	平均(4年平均)		0	0	0	0	0	0	1.1			
県予察ほ	松阪市菟野川北河(堀内)	2月7日	0	0	0	0	0	0	0	60cm	石倉一本太	
	前年		0	0	0	0	0	0	0	2.5		
	平均(4年平均)		0	0	0	0	0	0	2.5			

3. 気象データ

(1) 気象概況(津地方気象台)

月	旬	気温	降水量	日照時間	備 考
2021 1	上	△	△	○	冬型の気圧配置が多く、晴れの日が多かった。
	中	□	△	□	天気は周期的に変化したが冬型の気圧配置が多かった。
	下	●	●	▲	天気は周期的に変化した。
2	上	○	□	●	冬型の気圧配置が多く、晴れの日が多かった。
	中	●	●	●	前半は晴天が多く、後半は雨の日が多かった。
	下	○	▲	●	晴天の日が多く、気温は高く、日照時間が多かった。
3	上	●	○	▲	天気は周期的に変化したが曇りや雨の日が多かった。
	中	●	○	○	晴天の日が多く、統計開始後最速の20日に桜が開花した。
	下	●	○	○	天気は周期的に変化したが曇りや雨の日が多かった。
4	上	●	□	○	前半は曇りや雨の日が多く、後半は晴天が多かった。
	中	□	●	△	天気は周期的に変化した。降水量は多かった。
	下	○	△	○	中ごろまでは晴天が多く、旬の終わりに雨の日があった。
5	上	△	△	○	天気は周期的に変化した。
	中	○	□	▲	晴天もあったが雨や曇りの日が多かった。
	下	□	○	△	天気は周期的に変化したが、曇りや雨の日があった。
6	上	○	△	●	低気圧や前線の影響を受けたが、旬の終わりは晴れた。
	中	□	○	□	上空の寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。
	下	□	△	○	上空の寒気の影響で天気は不安定だった。
7	上	□	●	△	低気圧、梅雨前線などの影響で曇りや雨の日が多かった。
	中	□	○	○	上空の寒気や湿った空気の影響で曇りや雷雨となった。
	下	○	△	●	晴天が多かったが、旬の終わりは大気が不安定であった。
8	上	○	□	□	台風等からの湿った空気の影響で気温が高かった。
	中	▲	●	▲	前線が停滞し、曇りや雨の日が多かった。
	下	○	△	□	中頃まで曇りや雨の日が多かったが、後半は晴天となった。
9	上	△	○	▲	前線や上空の寒気の影響で、雨や曇りの日が多かった。
	中	□	○	▲	台風14号などの影響により、曇りや雨の日が多かった。
	下	○	□	□	上空の寒気や湿った空気により、曇りや雨の日が多かった。
10	上	●	△	●	晴天が多かったが湿った空気により曇りや雨の日もあった。
	中	○	△	△	晴天が多かったが、前線などにより曇りや雨の日もあった。
	下	▲	□	□	晴天が多かったが、まとまった雨もあった。
11	上	○	○	○	前半は晴天が多く、後半は気圧の谷などで雨となった。
	中	□	△	●	高気圧に覆われ晴天が続いた。
	下	□	□	○	冬型の気圧配置や高気圧により晴天が多かった。
12	上	□	●	□	気圧の谷や湿った空気の影響で雨の日が多かった。
	中	○	○	○	晴れた日が多かったが、期間の中頃に雨の日があった。
	下	△	□	□	周期的に変化した後、強い冬型の気圧配置となった。

気 温： ▲かなり低い △低い □平常並 ○高い ●かなり高い

降 水 量： ▲かなり少ない △少ない □平常並 ○多い ●かなり多い

日 照： ▲かなり少ない △少ない □平常並 ○多い ●かなり多い

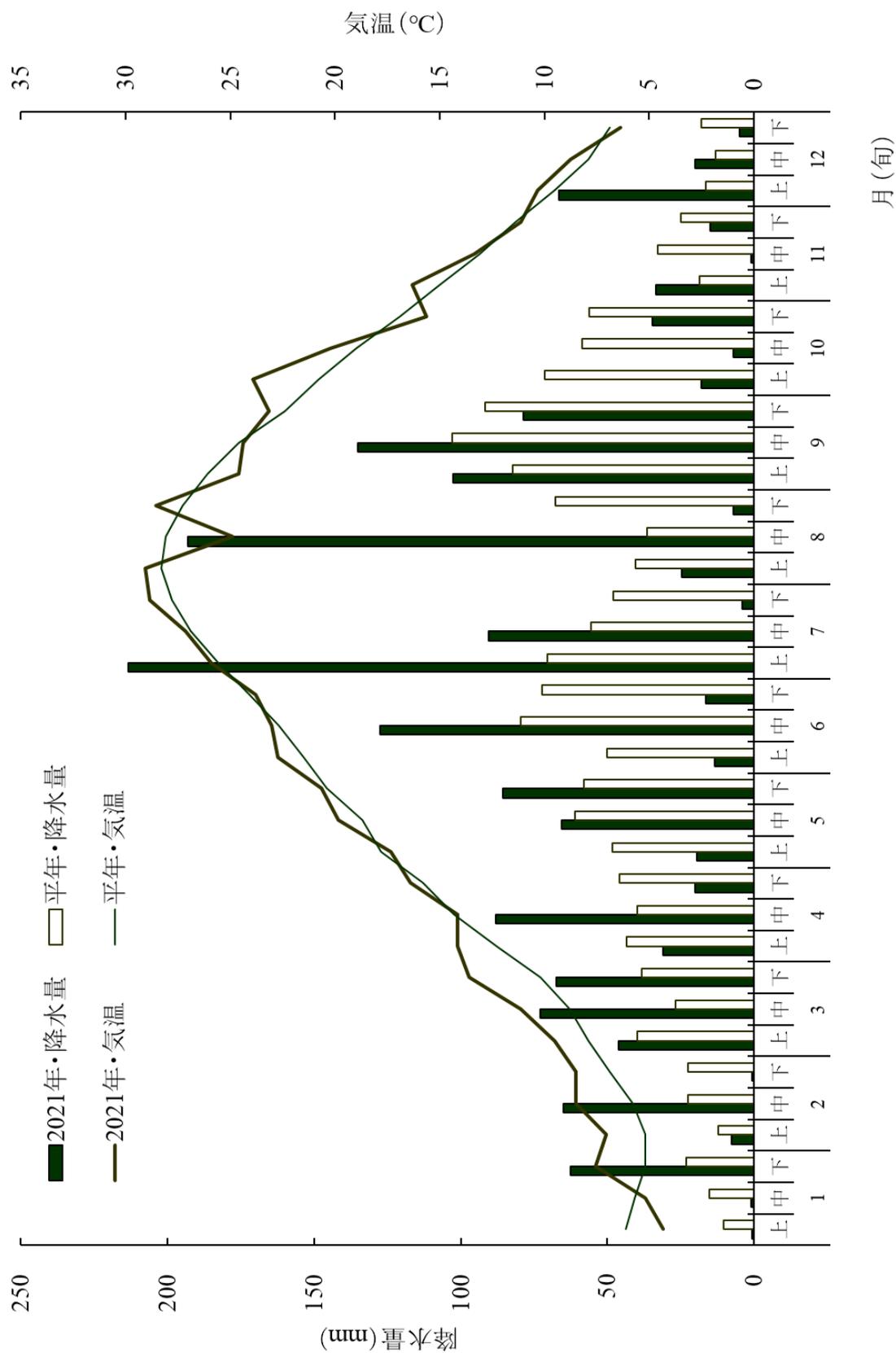
(2) 旬別気象表(津地方気象台)

月	旬	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(h)	
		2021年	平年	2021年	平年	2021年	平年
1	上	4.3	6.1	0.5	10.4	68.4	53.9
	中	5.2	5.7	1.0	15.1	55.1	52.8
	下	7.6	5.2	62.5	23.0	45.5	56.2
2	上	7.1	5.2	7.5	12.2	70.0	54.4
	中	8.5	5.8	65.0	22.4	65.1	53.9
	下	8.5	6.9	0.5	22.6	58.8	48.6
3	上	9.5	7.9	46.0	39.7	39.5	56.6
	中	11.1	8.8	73.0	26.7	70.1	63.2
	下	13.6	10.2	67.5	38.1	81.0	66.4
4	上	14.2	12.3	31.0	43.5	78.1	63.1
	中	14.2	14.3	88.0	39.8	62.3	63.8
	下	16.4	15.8	20.0	45.8	73.3	65.8
5	上	17.3	17.8	19.5	48.2	70.9	61.3
	中	19.9	18.7	65.5	61.1	20.9	63.8
	下	20.6	20.4	85.5	58.0	64.1	72.7
6	上	22.7	21.5	13.5	50.1	75.9	59.5
	中	23.0	22.7	127.5	79.6	45.1	47.5
	下	23.8	24.1	16.5	72.1	47.1	39.9
7	上	25.9	25.6	213.5	70.4	19.4	47.3
	中	27.2	26.9	90.5	55.4	74.5	56.8
	下	28.9	27.8	4.0	48.1	105.8	76.1
8	上	29.1	28.3	24.5	40.3	77.8	76.6
	中	24.9	28.1	193.0	36.4	12.8	72.0
	下	28.6	27.3	7.0	67.8	76.8	72.1
9	上	24.6	26.1	102.5	82.3	34.5	60.4
	中	24.4	24.6	135.0	102.8	35.7	55.3
	下	23.2	22.4	78.5	91.6	49.1	49.6
10	上	23.9	20.8	18.0	71.4	75.5	48.9
	中	20.2	19.0	7.0	58.5	44.2	55.2
	下	15.6	16.9	34.5	56.1	65.2	60.5
11	上	16.3	15.0	33.5	18.5	65.8	56.8
	中	13.3	13.1	1.0	32.9	75.7	53.2
	下	11.1	11.4	15.0	25.0	64.7	53.7
12	上	10.3	9.5	66.5	16.3	54.3	56.1
	中	8.8	7.9	20.0	13.0	62.9	55.4
	下	6.4	6.9	5.0	17.9	60.3	59.9

※平年値は、1991年から2020年までの30年間による地上気象観測での値。

※気象庁発表「気象統計情報」より作成。

(3) 気象グラフ



令和3年 旬別気温と降水量(津地方気象台・地上気象観測)

令和 3 年度植物防疫年報

発行 2023 年 2 月 1 日
三重県病虫害防除所

〒515-2316

三重県松阪市嬉野川北町 530

Tel 0598-42-6365

Fax 0598-42-7568